

附章四

市川橋遺跡出土の文字資料について

例言

一、本章は、市川橋遺跡A区・D区から出土した木簡・漆紙文書・墨書土器についてまとめたものである。

二、本章二節の執筆は新井重行氏（東京大学史料編纂所）がおこなつた。

三、資料の整理から調査にいたるまで平川南氏（国立歴史民俗博物館教授）、三上喜孝氏（山形大学助教授）に「指導・教示」いただいている。記して感謝の意を表したい。

一 木簡について

凡例

一、道路側溝（南北大路・東西大路・東一道路・東〇道路・西〇道路・西一道路・南一道路）、河川、その他の遺構（溝・土壙・井戸）とにまとめ、各遺構内で文書（文書様木簡・記録簡）、付札（貢進物荷札・付札）、その他の木簡の順で記載した。

一、各木簡については、法量（長さ・幅・厚さ）。欠損している場合は括弧付きで示す）、型式、出土遺構及び層位をまず記載し、続いて釈文、形状を述べ、適宜解釈を加えた。出土遺構の詳細については本編を参照されたい。なお、木簡番号については、市川橋遺跡出土木簡の通し番号である。

一、型式番号は以下の通りである。

例言

- 一 木簡について
- 二 漆紙文書について
- 三 墨書・刻書土器について

目次

011 短冊形。

019 一端が方頭で他端は折損・腐食で原形が失われたもの。

031 長方形の材の両端の左右に切り込みを入れたもの。

032 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れたもの。

033 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れ、他端を尖らせたもの。

039 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損あるいは腐食して不明なもの。

051 長方形の材の一端を尖らせたもの。

059 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は欠損。

061 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

065 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

081 折損、腐食その他によつて原形の判明しないもの。

091 削屑。

一、釈文に加えた符号は木簡学会で定めたものを使用し、以下の通りである。

「 」 木簡の上端・下端が原形をとどめていることを示す。

○ 穿孔のあることを示す。

■ 抹消により判読困難なもの。

□□□ 欠損文字のうち、字数の確認できるもの。

□□ 欠損文字のうち、字数の数えられないもの。

『 』 異筆、追筆であることを示す。

・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

〔 〕 校訂に関する注で、原則として釈文の右傍に付し、本文に置き換えるべき文字を含む場合。

力 筆者、編者が加えた注で疑問の残るもの。

一、掲載した写真および実測図の縮尺は特に断らない限り約1/2である。

一、当教育委員会発行の略報や『木簡研究』(木簡学会)などで既報告のものあるが、報告内容が異なる場合は本報告内容が優先するものとする。

第四九号木簡 659×(38)×9 011 SD1767c

・「

○ 磐城団解 申進上兵士事 合九人

刑部子立

道□□□人足

道丈部竹万呂 代丁

」

・「

□□

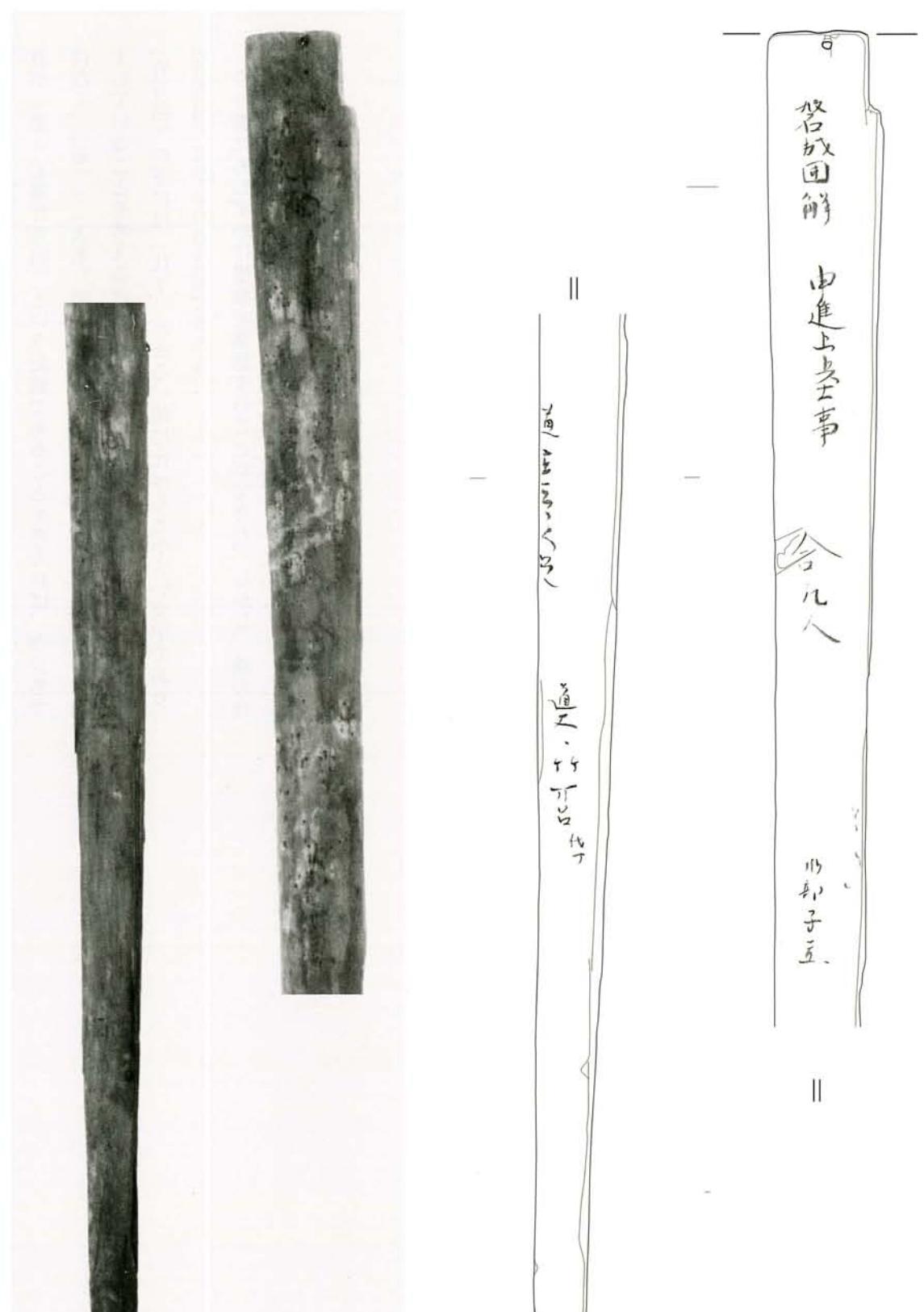
」

南北大路東側溝SD一七六七cから出土した。南北大路の側溝には五時期の変遷があるが、そのうち三番目の時期の側溝である。『日本三代実録』貞觀十一年（八六九）五月二十六日癸未條にみえる陸奥国大地震による津波の影響を受けたと思われるSX一七七九によって破壊されているため、下限については八六九年以前に求めることができる。

また、この層からは口ク口調整された土師器が出土していることから、上限を八世紀末に求めることができる。陸奥国で最後に設置された磐城団の史料上の初見は承和十五年（八四八）五月辛未（十五日）条である。承和初年まで遡るとする説もあるが（鈴木拓也「九世紀陸奥国の軍制と支配構造」『古代東北の支配構造』吉川弘文館、一九九八）、いずれにせよ、磐城団の設置時期と出土遺構の年代とは相違しない。

上端および下端は原形をとどめるが、左右両側面は欠損している。本来はより幅広の短冊形であつたと推測される。上端近くに孔があるが、その孔はオモテからウラにかけて垂直なものではなく、斜め上から下にむかって穿たれたものである。柱などに掛けて使用されたと推測できるだろう。

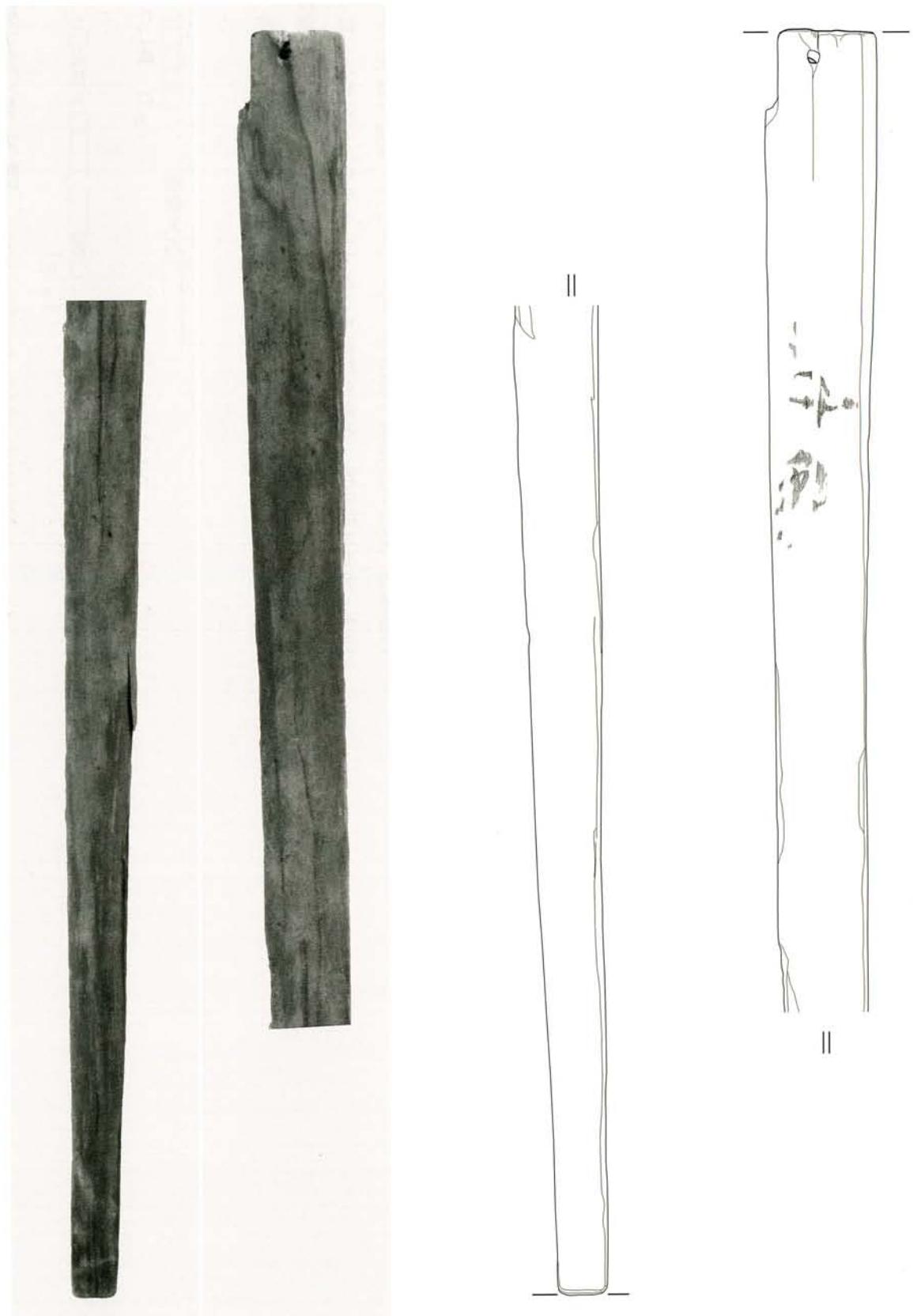
内容は、磐城団からの兵士進上に関する上申文書である。進上する兵士の人数は、残画から九人と判断できる。「合九人」の記載の下には九人の名前が列記されていたと思われるが、現況では三人の人名しか確認することができない。一人目「刑部子立」の右上にも墨痕を確認することができるが、人名か否かについては判断が難しい。二人目と三人目（二段目・三段目）の冒頭は「道」で共通している。「道」で始



第49号木簡才モテ面

まるウジ名の例として「道守」や「道嶋」などがある。ただし、三人目が「道 + 丈部竹万呂」という記載であることを考えれば、ウジ名ではなく、「道」 + 「人名」の可能性があろう。本木簡が道路側溝から出土していることを考えると、「道」字と道路との関連性が注目される。「竹万呂」の下には「代丁」とある。他に比べると小さい文字であり、「竹万呂」にかかる注記であろう。

ウラ面にもわずかに墨痕を確認することができた。しかし、墨の残りは良くなく、文字数などは不明で、オモテ面との関係についても不明とせざるを得ない。



第49号木簡ウラ面

第五〇号木簡 (330)×35×6 019 SD1767c

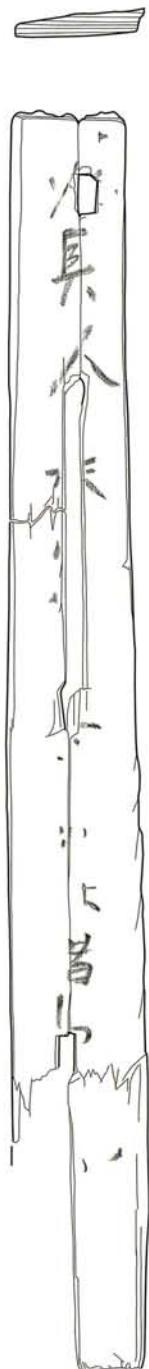
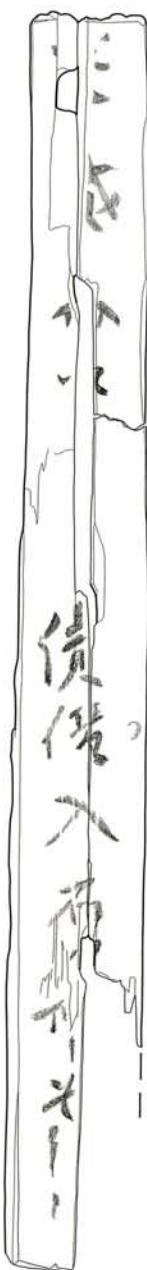
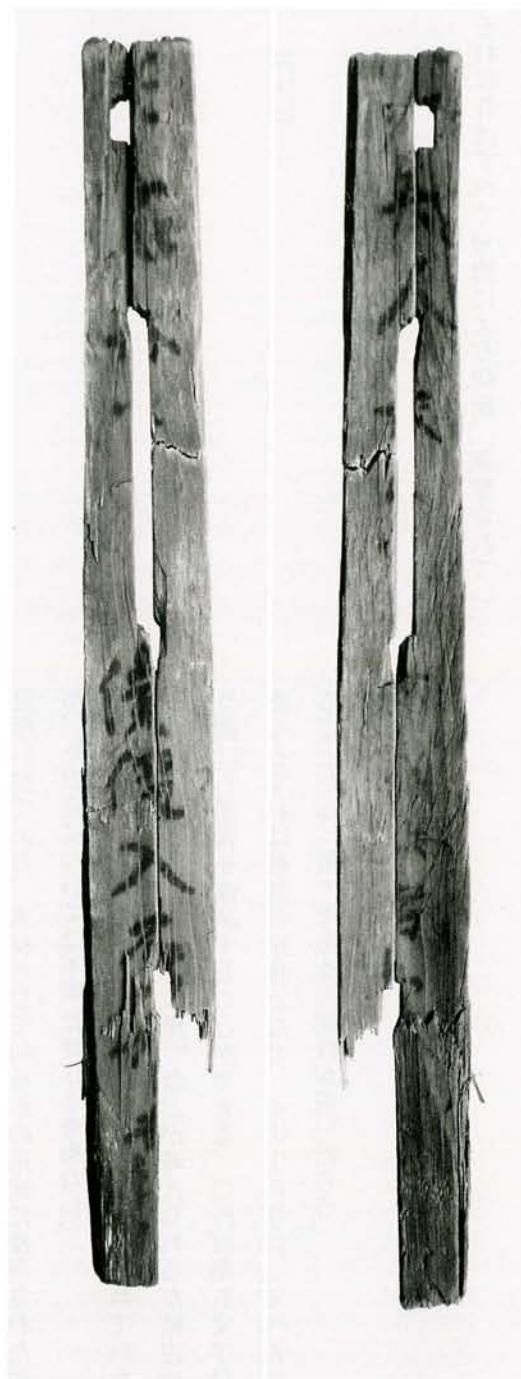
・「□火長人□□——者□ □

[上カ]

・「貳 口カ」

「□□□□ 債借入石□——」

三片接合。上端は刃物によるキリオリ。下端は欠損し、左右両側面は原形をとどめる。上部にある墨痕が切れているため、上端のキリオリは二次利用のためのものである可能性もある。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。ただし下方は一部荒れている。四箇所に長方形の孔がある。間隔は等しくない。墨痕を切る孔であるため、二次利用のための孔であると判断される。第一孔が比較的丁寧な作りであるのに対し、第二・四孔特に第二・第三孔は粗雑な作りである。第四九号木簡と同一遺構から出土している。オモテ面には軍団における兵士十人の長である「火長」とみえる。それ以外の詳細については不明とせざるを得ないが、軍団関係の内容であり、第四九号木簡との関連性が注目される。



第50号木簡

第五一号木簡

(142)×49×19 065 SD2342d

・『□□』

謹解 申進上春
米事 合□□□□

『□□』

・
〔更カ〕 〔枚カ〕
合□□ □□
□□ □□

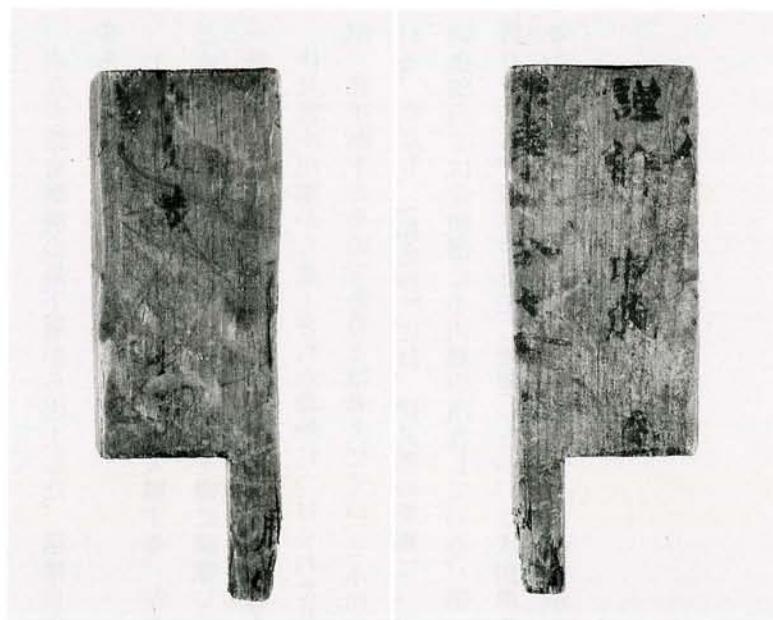
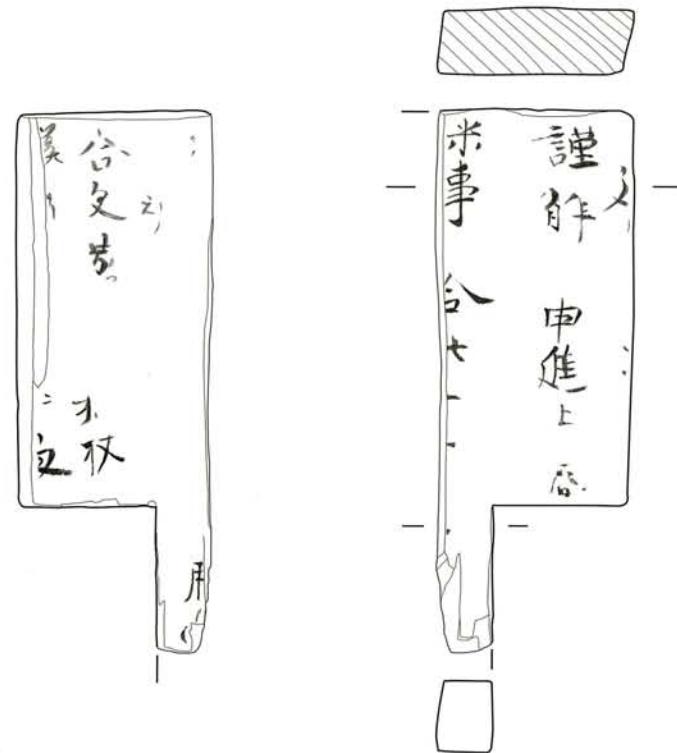
下端のみ欠損し、それ以外はすべて刃物により切断、調整されてい
ることが確認できる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されてい
る。

墨書は二種類確認できる。一つは春米進上についての「解」であり、
もう一つはオモテ面右側およびウラ面右側に見える墨書である。

一度の使用のうち最初の使用は、オモテ面右側面およびウラ面右下
方に見える墨書内容である。これはともに墨書が切られていることか
ら、横は左右ともに現況よりも大きいものであったと考えられる。そ
して不要になった後、春米の「解文」木簡として使用されたと考えら
れる。右側面は刃物による成形をうけている」と、一度目の墨書を切
つていていることなどから解文が記載される時に切断されたと考えられる。
また、材が不整形であるにもかかわらず、解文の一行目と二行目の文
言が続いているため、下部も解文が記載される時に切断されたと考え
られる。ただし、左側面に関しては、解文の墨書（三行目）を切つて
いることから、横幅はより大きなものであつたと考えられる。解文が

不要になつた後左側面が切断されたのであろう。本木簡は不整形かつ
分厚い材であり、木材として何らかの用途に使用された可能性もある
が、その点については不明とせざるを得ない。

オモテ面「合」の下は春米の合計数量が記載されていたと考えられ
る。残画からは「廿」や「卅」などが考えられるが断定は難しい。ウ
ラ面にも墨書を確認することができる。二行目第五文字目が「枚」で
あるとすれば数量の単位となり、その上の字は「てへん」が見えてい
ることから「拾」である可能性が高いだろう。



第51号木簡

第五二号木簡 167×14×7 051 SD2342d

〔郷
カ〕

・「□□□戸主物部□速□□□」

・「延暦十年九月□日」

第五三号木簡 (141)×26×4 039 SD2767a

〔削り残り〕

「▽『□』伊具郡小川里公□□」

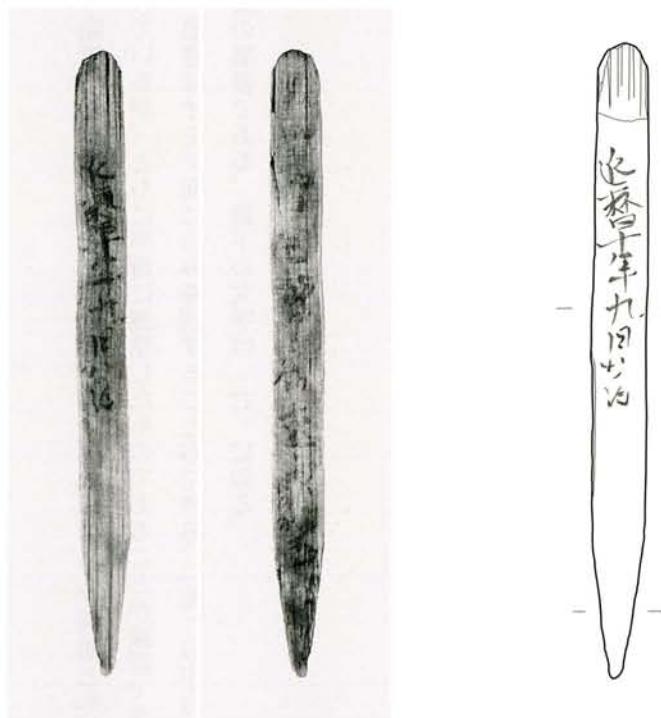
完形。上端は圭頭状につくる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

「戸主物部(某)」から進上された物品に付けられた荷札。上から一字目は「野」などが考えられるが、断定は難しい。下部の墨書を物品名およびその数量とみれば、「糒六斗」の可能性もあるだろう。延暦十一年は七九一年にあたる。

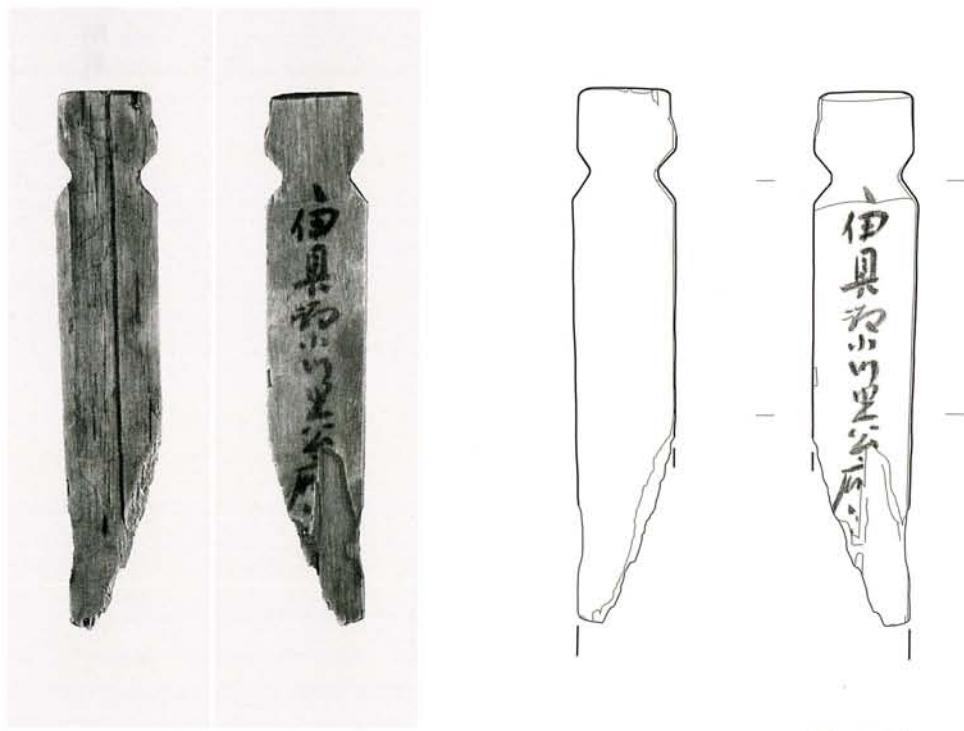
南北大路東側溝の最下層から出土した。遺構自体は八世紀後半ころのものである。

上端は原形をとどめるが、下端は欠損する。左右両側面は原形をとどめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整しているが、ウラ面は一部剥離している。オモテ面上端を面取り加工している。

伊具郡小川里から進上された荷物につけられた札。「小川里」とあるが、郡里制下のものであるとは考えにくい。「小川郷」のことと考えられる。ただし、『和名抄』には、伊具郡の管郷に「小川郷」はみえない。陸奥国内では安積郡に小川郷が所在している。第一文字目部分は削り残りである。誤字を訂正し使用したか、二次利用された可能性などが考えられる。「公」の下の字は「公解」の可能性がある。



第52号木簡



第53号木簡

第五四号木簡 109×17×5 033 SD2342d

「高□□」

完形。ただし材の腐食が甚だしい。オモテ・ウラ両面とも表面が荒れているが、ともに平滑に調整したものであることが確認できる。

墨書はオモテ面にのみ確認することができる。「高」以下は四文字程度の墨書である。最下の文字は「衣」に似る。

第五六号木簡 091 SD1767a

□□

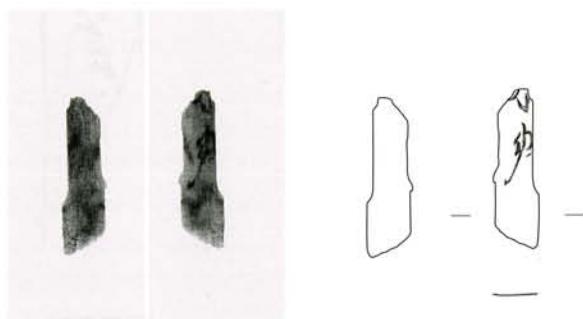
削屑。二文字分の墨痕が確認できる。

第五五号木簡 (209)×(21)×4 081 SD1767a

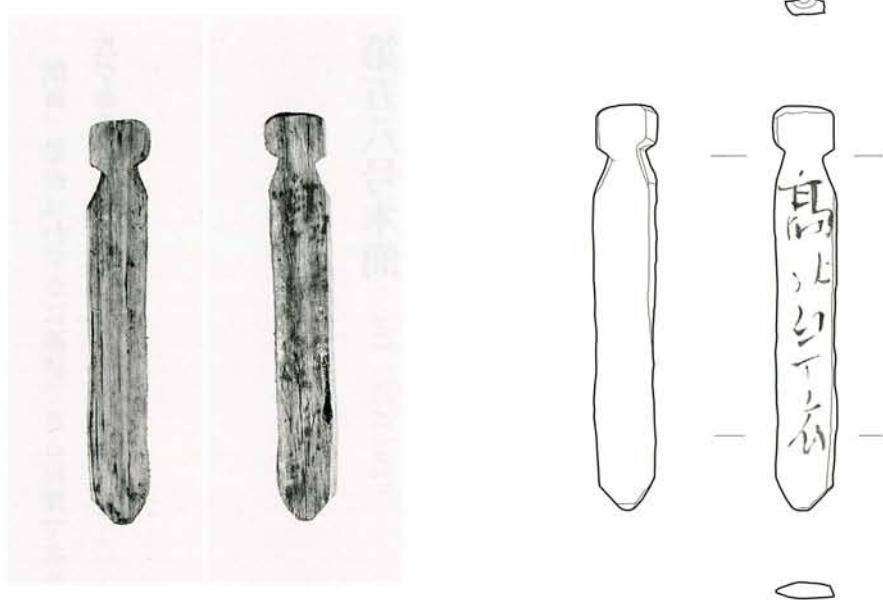
□□

下端および右側面は原形をとどめるが、上端および左側面は欠損する。表面はオモテ・ウラとともに平滑に調整している。

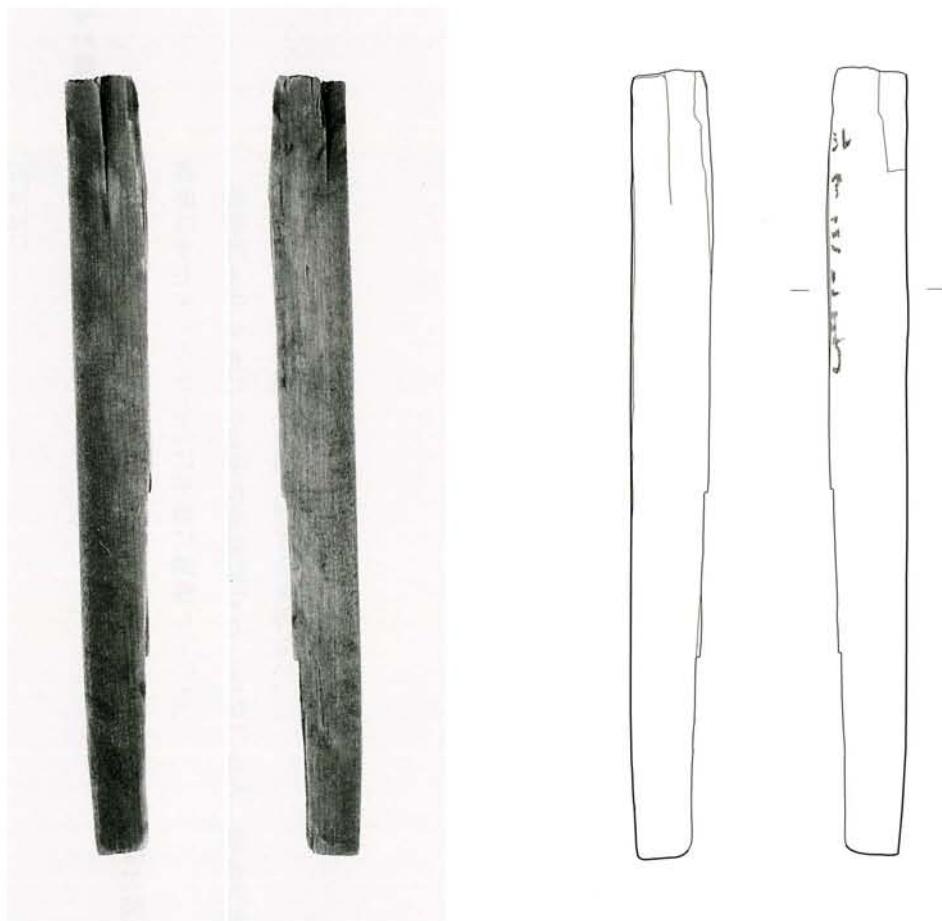
オモテ面にのみ墨痕を確認することができる。ただし文字は半截されており、判読は困難である。



第56号木簡



第54号木簡



第55号木簡

第五七号木簡 091 SD1767a

□

〔麻カ〕

削屑。墨痕はわずかに確認できる程度である。ほかに接合しない細

片がある。

上端および左右両側面の上半は原形をとどめるが下半は欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

墨書はオモテ面に三文字程度確認することができる。墨書内容や形状との関係など詳細は不明とせざるを得ない。

第五八号木簡 091 SD1767a

□

削屑。墨痕はわずかに確認できる程度である。

第六〇号木簡 (67)×(19)×5 039 SD1918c

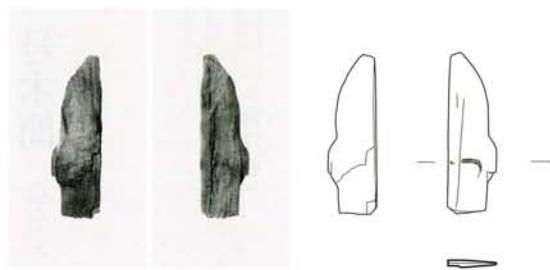
〈白米上

上端・下端ともに欠損する。左側面も欠損するが、右側面はほぼ原形をとどめる。また、右側面上部に切り込みのあることがわずかに確認でき、付札状の木簡であったことが判明する。表面については、ウラ面の欠損が甚だしいが、オモテ・ウラ両面ともに平滑に調整されている。

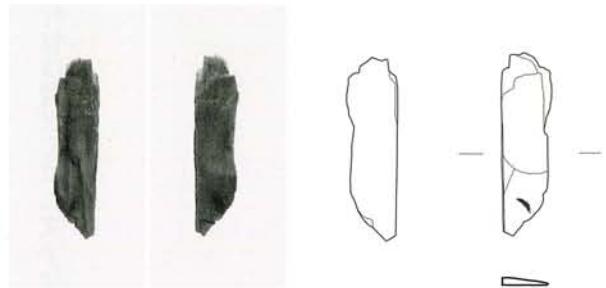
一文字目は字体としては「百」に似るが、「白」であると判断した。

白米の付札である。

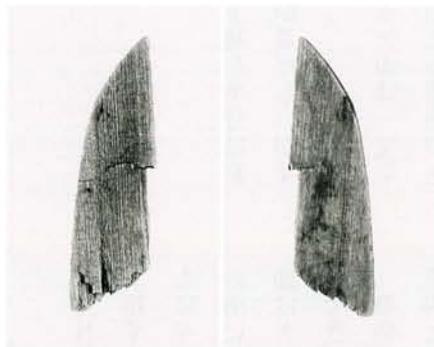
第五九号木簡 (74)×(21)×2 065 SX2451



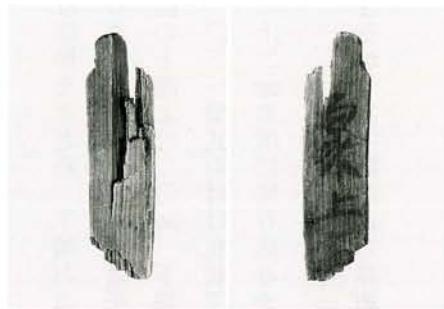
第58号木簡



第57号木簡



第59号木簡



第60号木簡

〔符
カ〕

・「□□

□□ (題箋軸)

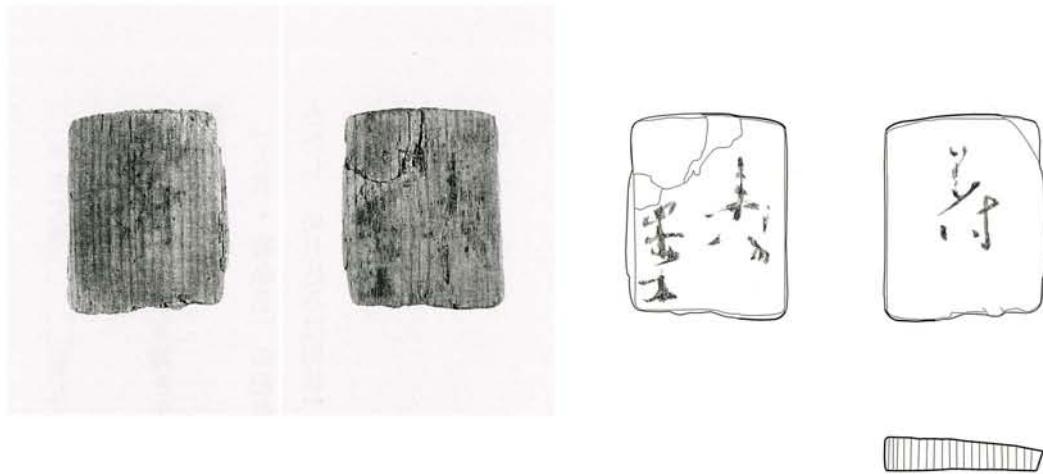
軸部はすべて欠損し、題箋部のみ残る。上端および下端左半分は原形をとどめるが、左右両側面は欠損する。表面は腐食が甚だしいが才モテ・ウラともに平滑に調整している。

題箋軸。才モテ・ウラともに墨書が確認できる。才モテ面は一文字の墨書と見れば「符」と解釈できる。ウラ面は二行にわたる墨書である、一行目の文字数は一文字とも見られるが断定し難く、上部を欠損する二行目は現況では二文字分確認できる。

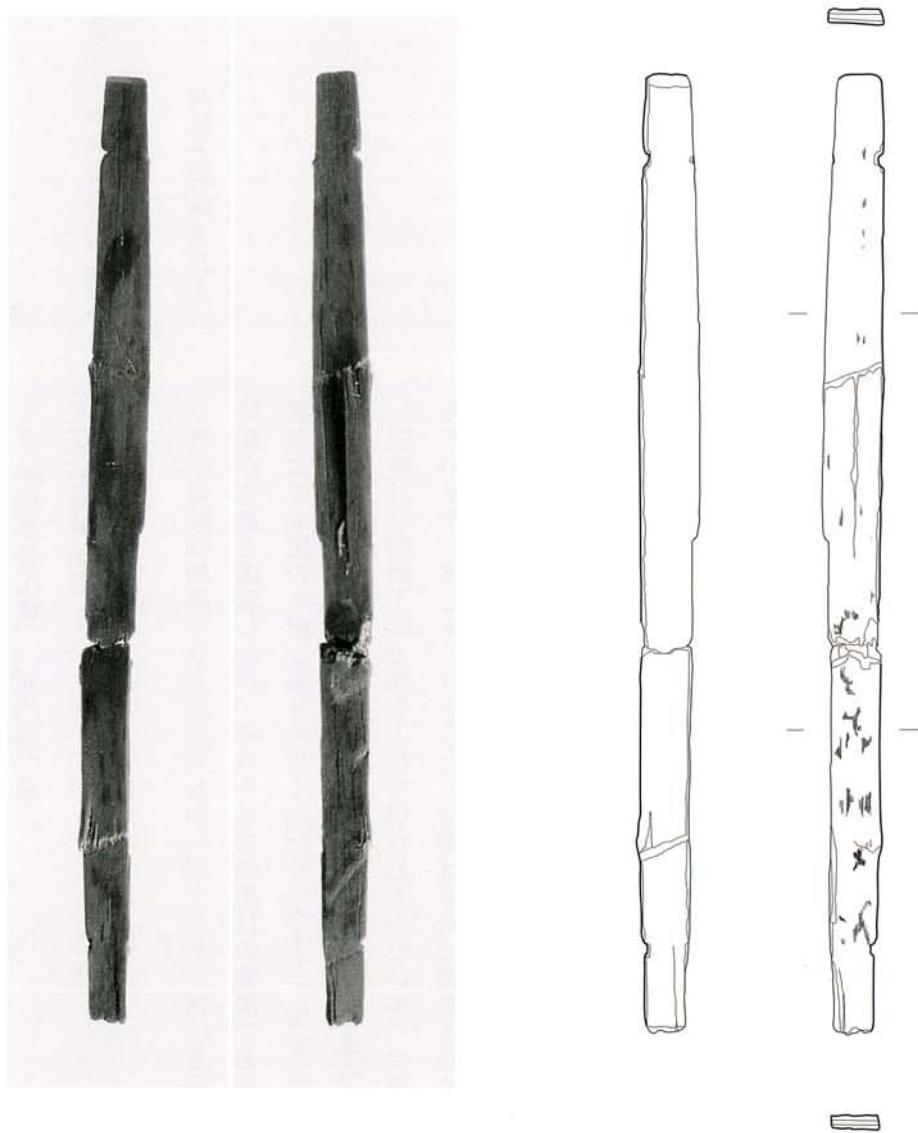
「▽□――――▽」

二片接合。上端および右側面は原形をとどめ、下端および左側面は欠損する。ウラ面の上端は面取りされている。表面は才モテ・ウラともに平滑に調整している。右側面の上端より10mm、下端より10mmの所にそれぞれ切り込みがあり、○三一型式の付け札状である。左側面は欠損しているが、上端より21mmの所に切り込みをわずかに確認できる。

墨書は才モテ面にのみ確認できるが、文字数などの詳細については不明とせざるを得ない。



第61号木簡



第62号木簡

第六二号木簡 (235)×33×5 019 SD2386e

「戸主丈部□□米五斗

・「▽安積郡長江郷□部□米□斛
〔五カ〕
・「▽七月廿四日」

上部右隅および下端を欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

「人名十物品名」の記載形式をとることから、付札と判断される。ただし、切り込みは現状では確認できない。

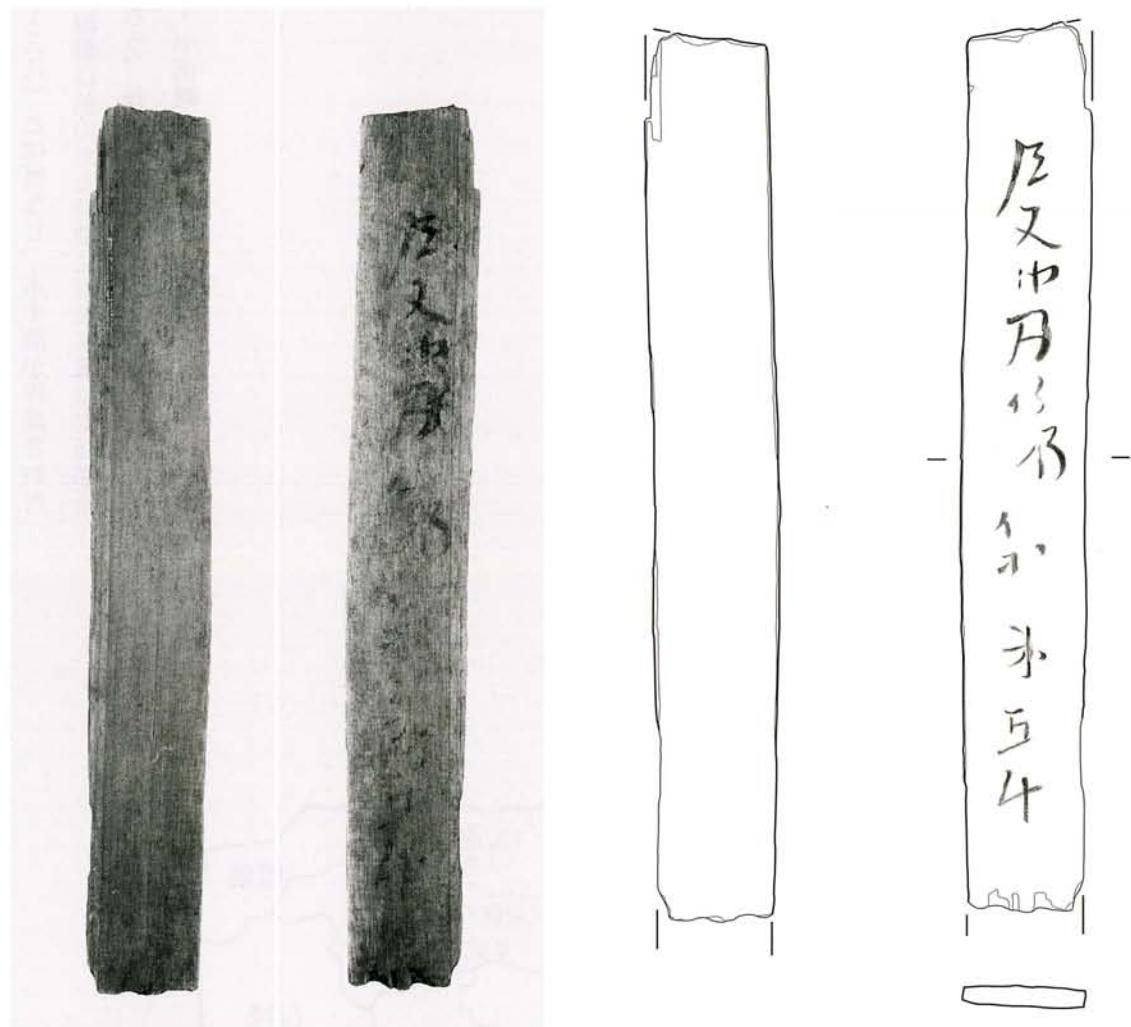
西〇道路西側溝SD1111八六bから出土した。西〇道路西側溝は六時期の変遷を確認したが、そのうち一時期目の側溝である。前後の側溝および木簡の年紀（第九六号—「□□〔天平カ〕宝字三年」、第七四号—延暦十九年）から、遺構の年代は八世紀後半と考えられる。

完形。右側面下は刃物を入れて切りおとしている。ウラ面は少々荒れているが、オモテ・ウラともに表面は平滑に調整されている。オモテ面上端は面取りしている。切り込みは、半円形にえぐるいわゆる「エグリ技法」によるものである。

安積郡長江郷から進上された米の荷札。オモテ面「郷」より下の字は三文字程度であり、「鳥部□」「□鳥部」などの可能性もあるが、断定は難しい。ウラ面には進上の月日が記載されている。

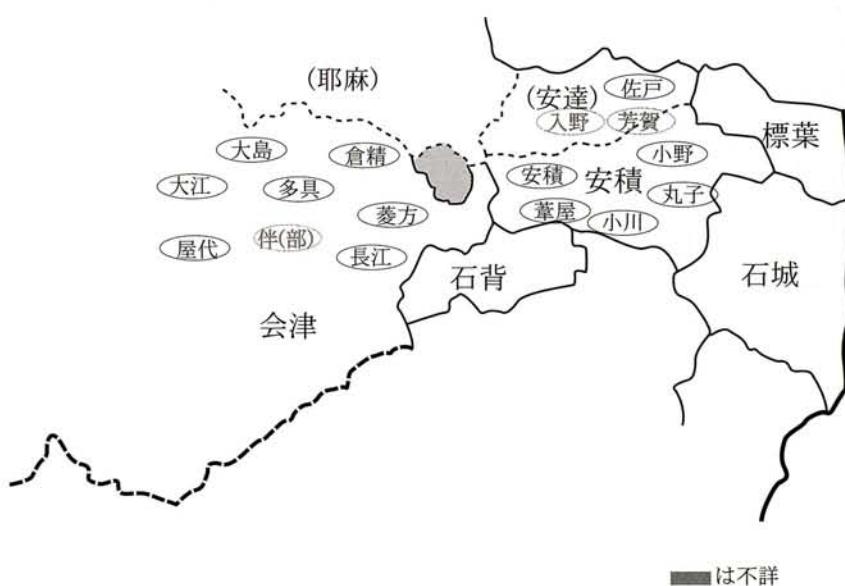
『和名類聚抄』によれば、長江郷は安積郡ではなく、会津郡の管郷である。そもそも安積郡を含む会津地域は、郡郷編成に数度の変遷がある。『続日本紀』によれば養老二年（七一八）の石背国設置により陸奥国から分置され、その後数年で陸奥国に再併合されている。また、延喜六年（九〇六）正月、安積郡北部（入野・佐戸）を安達郡として独立させたとされる（『延喜式民部省頭注』）。ただし、『和名抄』（承平年間＝九三一～三八編纂）諸本には反映されていない。さらに、『和名抄』高山寺本は入野・佐戸両郷を耶麻郡所属にするなど相違が見られる。

第六四号木簡 215×21×5 032 SD2486b



第63号木簡

会津地方の郡郷編成に混乱があつたのかもしれない。よつて、『和名抄』編纂時（承平年間＝九三一～三八）とは異なり、本木簡が作成された時期、すなわち、『和名抄』編纂以前のある時期には長江郷は安積郡所屬だつたと考えられるであろう。長江郷は、会津地方南部、現在の下郷町弥五島・大沢・湯野上・小沼崎から会津若松市大戸町上三寄にかけての地域に比定される。



会津・安積郡内諸郷位置図



第64号木簡

第六五号木簡 199×22×5 032 SX2459

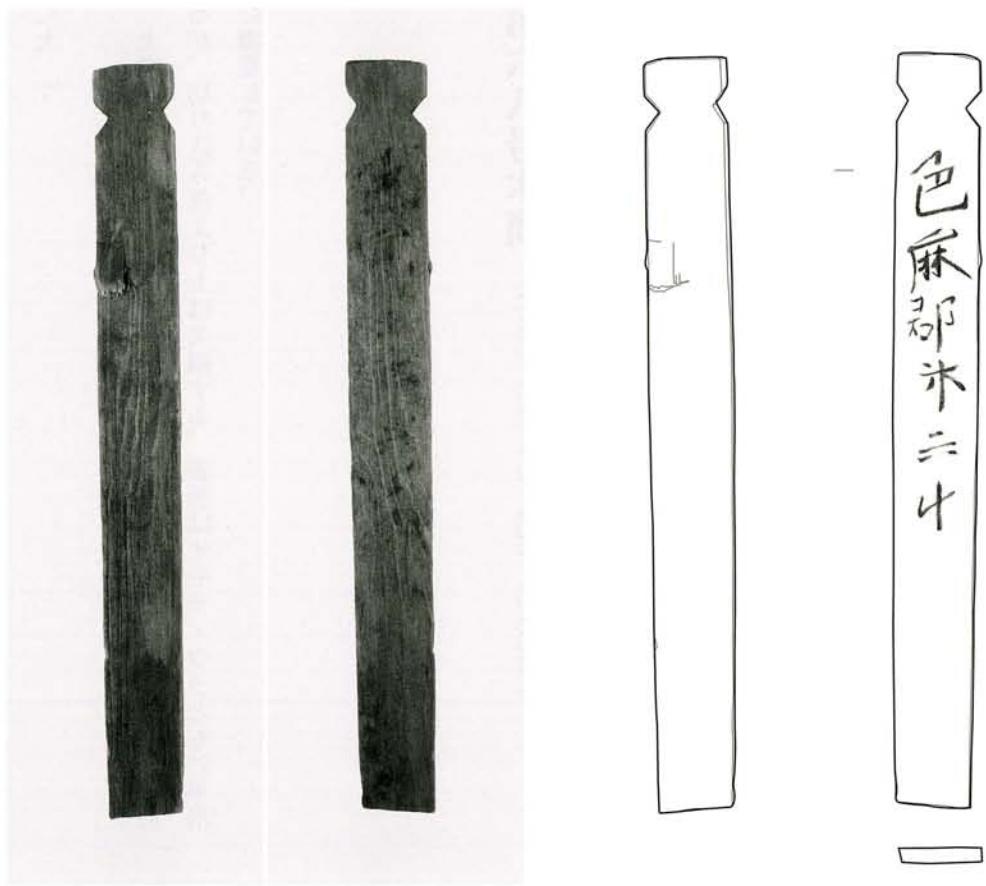
〔六
カ〕
「▽色麻郡米□斗
」

第六六号木簡 143×30×6 031 SD2386b

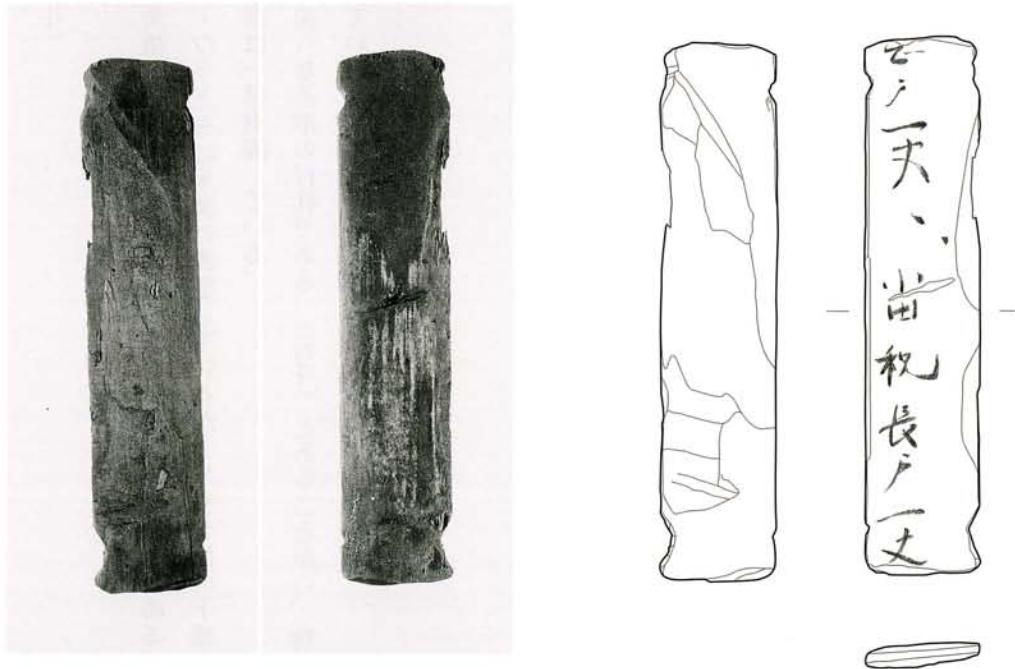
〔小田
カ〕
「▽□口一丈□□□口口税長口一丈▽」

完形。オモテ・ウラともに表面を平滑に調整している。
色麻郡から進上された米の付札。数量は「三」にも似るが、運筆か
らは「六」の可能性が高い。色麻郡は、現在の宮城県加美郡中新田町
(現・加美町) 付近に比定されている。

完形。ただし、左側面は一部欠損している。表面はオモテ・ウラと
もに平滑に調整しているが、ウラ面はそのほとんどが粗く削られてい
る。粗い削りが一次的成形か否かについては不明とせざるを得ない。
墨書きはオモテ面にのみ確認することができる。



第65号木簡



第66号木簡

第六七号木簡 (83)×24×5 032 SD2459

「大」

上端は欠損し、下端は原形をとじめる。左右両側面は原形をとじめるが、切り込み部より上は欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

第六八号木簡 (124)×(10)×3 032 SD2386b

「□□□万□」

材の腐食が甚だしい。上端は欠損するが、下端および左右両側面は原形をとどめる。ただし、左右両側面ともに切り込み部より上は欠損している。表面は荒れているが、平滑に調整している。

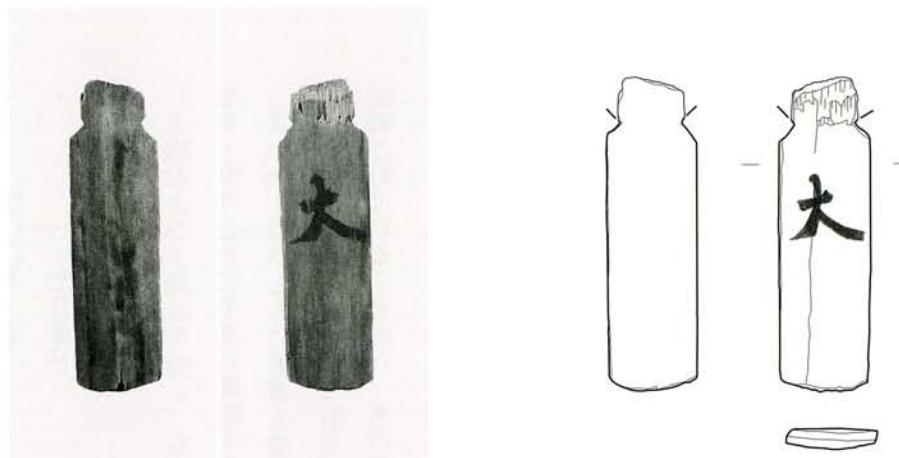
物品の付け札。

第六九号木簡 (75)×26×3 059 SD2386b

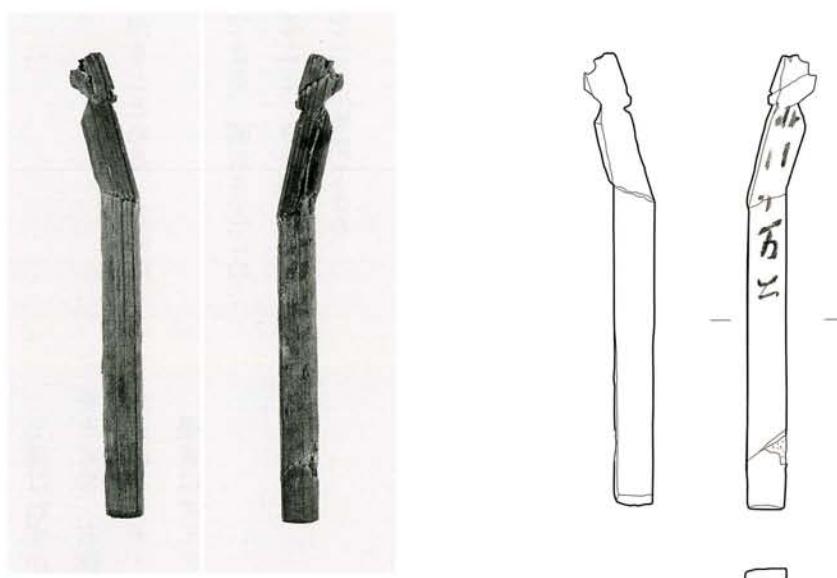
「万呂五斗」

上端は欠損するが、下端および左右両側面は原形をとじめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整しているが、オモテ面の下部および裏面の上部は一部剥離している。

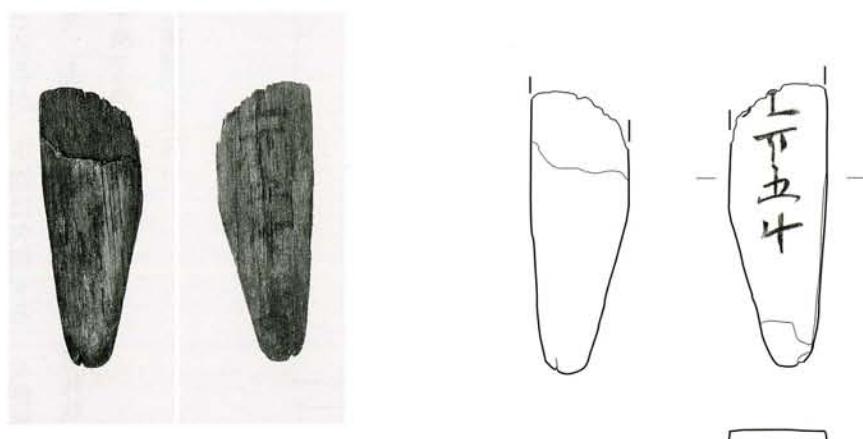
下端を尖らせる形の付札である。「五斗」とあることから、物品名は記載されていないが米であろう。



第67号木簡



第68号木簡



第69号木簡

第七〇号木簡 (185)×16×5 081 SD2386b

〔石カ〕
□□□角 五斗

七月卅日

上端および下端は欠損し、左右両側面は原形をとじめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整する。

オモテ・ウラともに墨書を確認することができる。原形をとじめてはいないが、オモテ面に「五斗」の記載がある」と、ウラ面に日付が記載されてゐる」とから、米の進上荷札であることが推測できる。

第七一號木簡 (96)×(18)×7 039 SD2386e

「

上端はわずかに原形をとじめるが、下端は欠損する。左側面は原形をとじめ、右側面は欠損する。上部に切り込みがあり、付札状である。表面はオモテ・ウラともに平滑である。

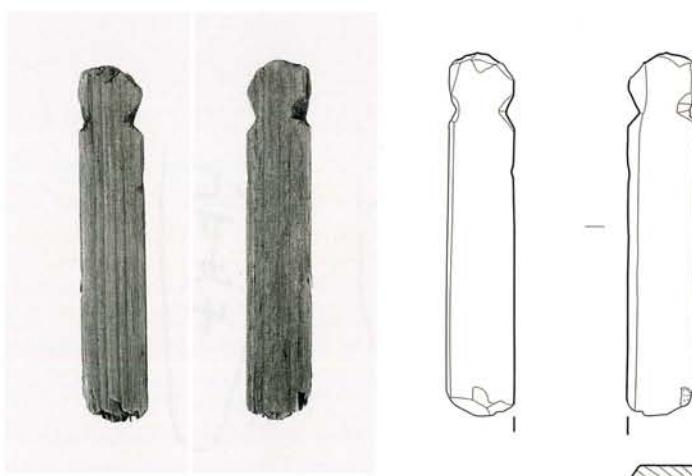
墨書はオモテ・ウラともに確認できない。

第七一號木簡 (102)×16×6 039 SD2386b

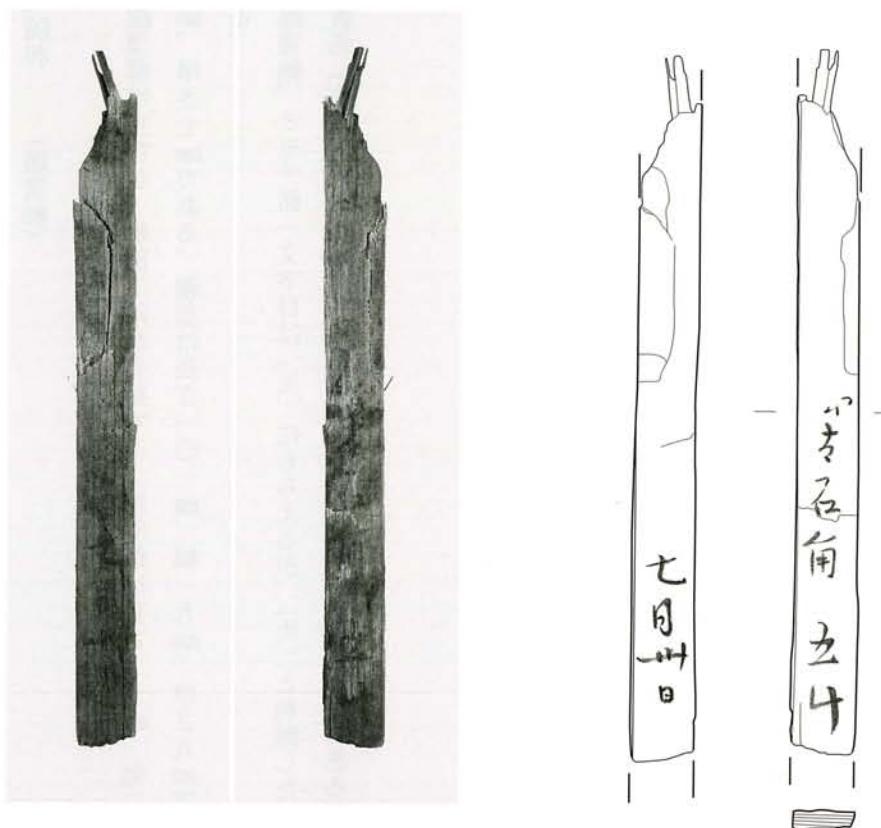
「

上端および左右両側面は原形をとじめ、下端が欠損する。ただし、左右両側面ともに切り込み部より上を欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

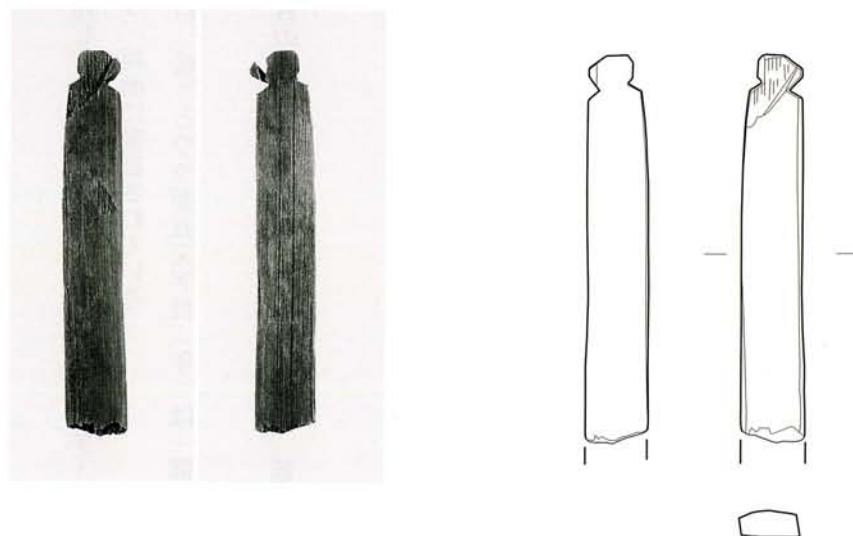
墨書はオモテ・ウラともに確認できない。



第七〇号木簡



第70号木簡



第71号木簡

第七二号木簡 (130) × 26 × 9 061 SD2386b

・「失馬文

・「国判 (題簽軸)

題簽部は完存し、軸部下端が欠損する。題簽部は長さ二一九mm、幅二六mm、厚さ七mmである。軸部は長さ一〇一mm、幅一九mm、厚さ九mmである。

題簽軸。オモテ面一文字目は「矢」にもみえるが、「失」と判断した。

文書名「失馬文」は六国史や「計会帳」などの諸史料には未見である。

・「収納借貸正税貳
・「延暦十九年□ (題簽軸)

題簽部はほぼ完存し、軸部は欠損する。表面はオモテ・ウラとともに平滑に調整しており、両面に墨書されている。

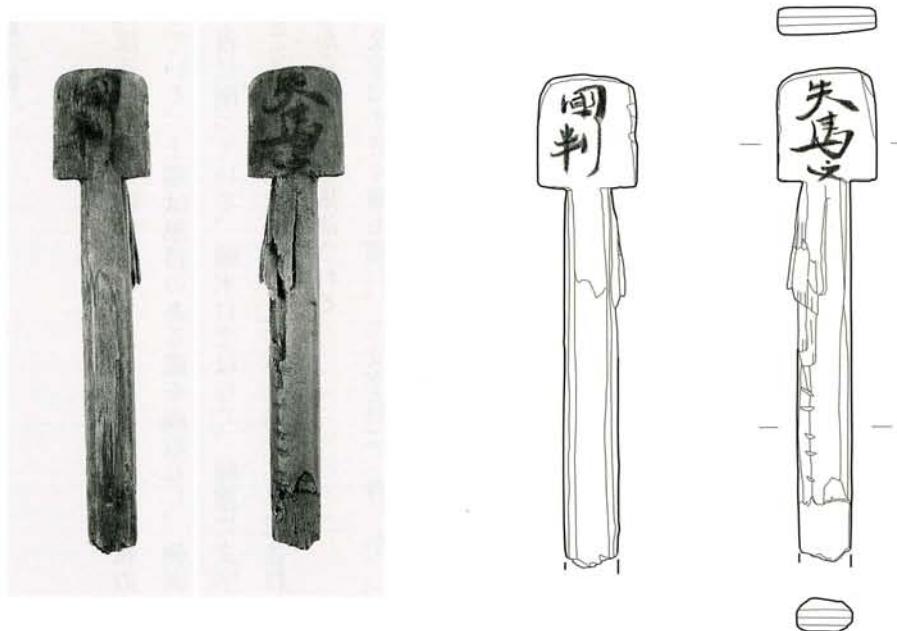
オモテ面七文字目「貳」とウラ面五文字目「年」は一部表面が削り取られている。

題簽軸。正税借貸の収納にかかる文書の軸である。延暦十九年は八〇〇年にあたる。

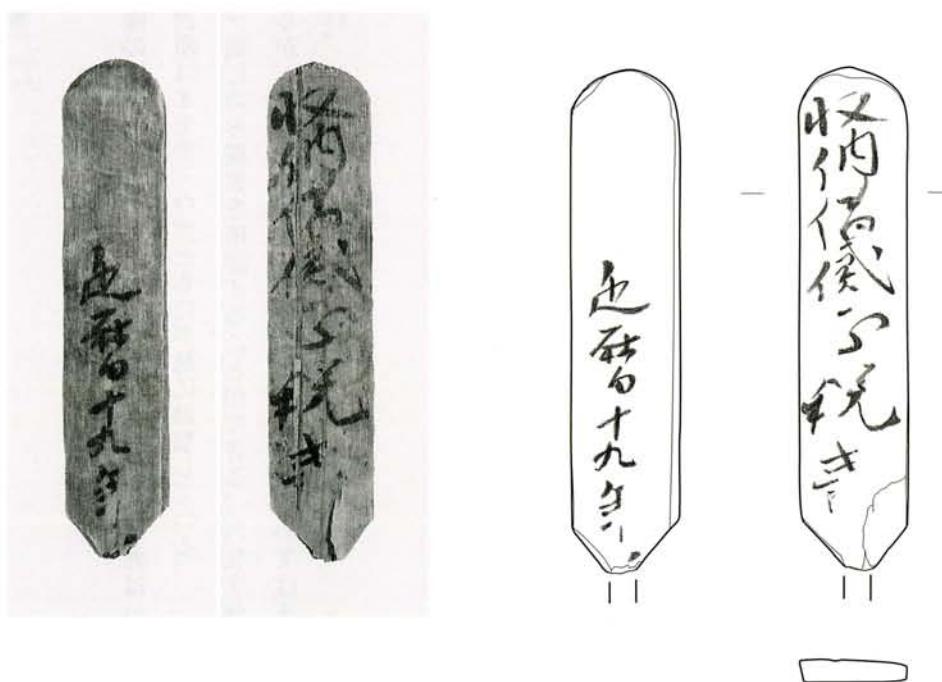
第七四号木簡 (133) × 28 × 6 061 SD2386c

・「収納借貸正税貳

・「延暦十九年□ (題簽軸)



第73号木簡



第74号木簡

第七五号木簡 (274)×11×11 061 SD2386b

〔券カ〕
「馬口」(題箋軸)

□□三寶□□

断面がほぼ正方形で、四隅をわずかに面取りした棒状の木簡。下端のみ欠損している。上端は墨書のある面を面取りし、側面は、四面とも表面を平滑に削っている。軸木口ではなく、軸部に文字を記した例は現在のところ見当たらないが、文字が上端近くに記されていぬ」とや形態などから題箋軸と推測される。

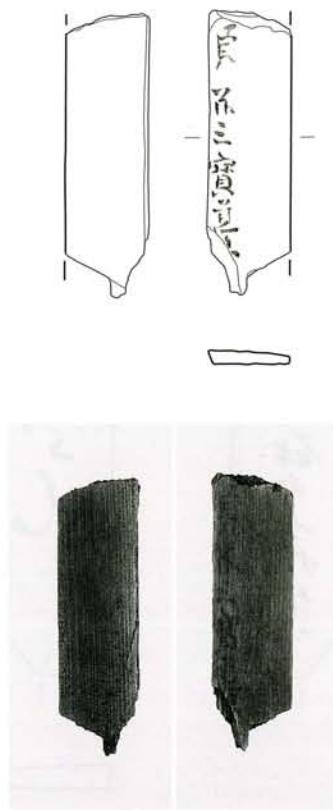
題箋軸。文字は小さく筆も細い。11文字目は「券」か。「馬券」という文書名は六国史や「計会帳」などの諸史料には未見である。

第七六号木簡 (75)×(22)×4 081 SD2386e

〔道カ〕
□□三寶□□

右側面のみ原形をとるめ、上端・下端および左側面はいずれも欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

オモテ面にのみ墨書を確認することができる。六文字分の墨書が確認できるが、その一部は左側が欠損し、詳細については不明とせざるを得ない。



第76号木簡



S=1/1



第75号木簡

第七七号木簡 (110) × (40) × 4 081 SD2386g

な成形であると推測される。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

・ □□
□□□ [道カ]
□□□□□ □

文字はオモテ面にのみ確認できる。半截されているため詳細は不明であるが、二～四文字目は同字で「道」に似る。右側面上端の調整痕跡のある部分にも墨痕を確認することができる。この墨痕は切られたいため、本木簡は木簡として使用された後何らかの材に転用された可能性がある。

右側面は原形をとどめるが、上端・下端および左側面は欠損する。表面はオモテ・ウラともに少々荒れているが、平滑に調整している。

オモテ・ウラで天地が逆に文字が書かれている。おそらく一連のものではなく、別々に記されたものであろう。

ウラ面の第二～四文字目までは、門構えの文字であることが確認でき、第五文字目も同じく門構えの文字である可能性が高い。ウラ面は、門構えの文字を習書したものか。

・ □
〔大カ〕 『□』
□ 大

第七九号木簡 (73) × 22 × 4 081 SD2386b

・ □
〔大カ〕 『□』
□ □ □

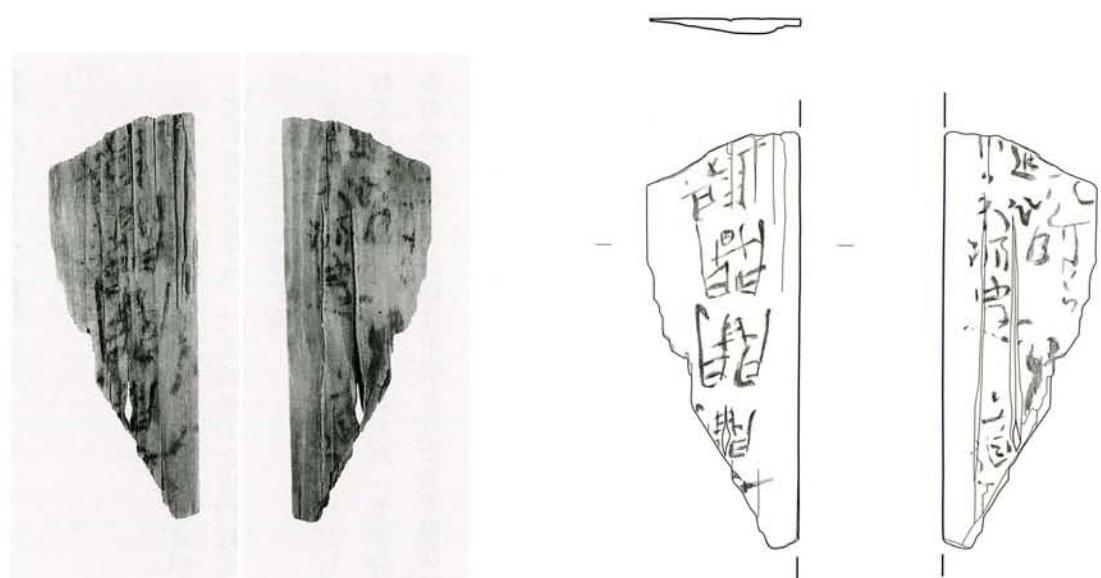
第七八号木簡 (98) × (19) × 3 081 SD2386b

上端・下端ともに欠損する。左右両側面は刃物を入れ調整している。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

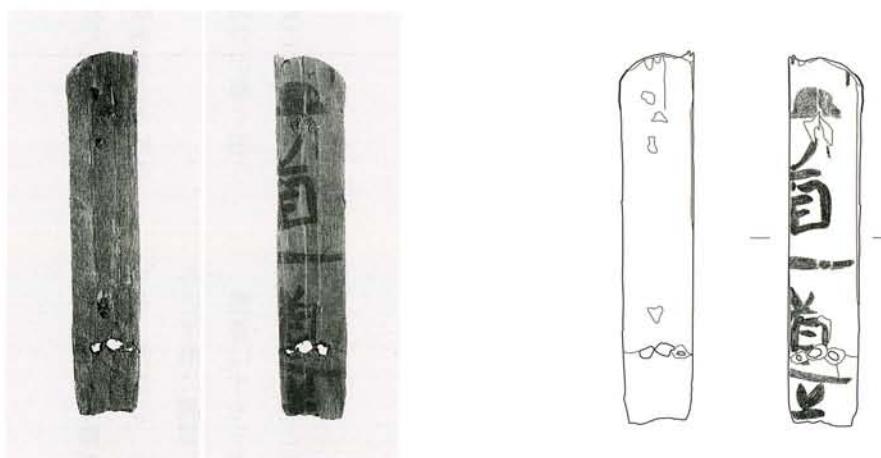
〔道道道カ〕
□□□□

上端・下端および左右両側面いすれも欠損する。ただし、右側面上端は刃物により角を丸く調整したことが確認できることから、二次的に

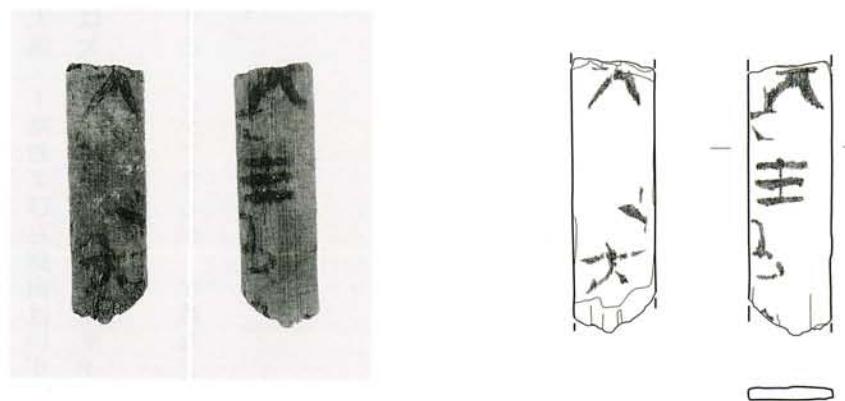
墨書は、濃いものと薄いものとの二種類が認められる。薄いものについては半截されており、右半分のみが残る。薄い墨書が書かれ、不要になつた後に転用され、濃い墨書が書かれたか。左右両側面は、転用時に成形された可能性がある。



第77号木簡



第78号木簡



第79号木簡

第八〇号木簡 (60)×17×1 081 SD2386e

□ □

上端は欠損し、下端は円弧状に成形されている。ただし、文字を切っていることから、二次的加工と思われる。左側面は原形をとどめるが、右側面は欠損する。

オモテ面のみ墨痕が確認できる。ただし、表面の大部分が薄く削られており、上方と下方にそれぞれ一文字分の墨痕であることが判明するのみであり、詳細は不明とせざるを得ない。

第八二号木簡 (198)×(13)×2 081 SD2386e

□ □

左側面のみ原形をとどめ、上端・下端および右側面はいずれも欠損する。ただし、左側面も上部は欠損している。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

墨書はオモテ面にのみ確認することができるが、字数などの詳細については不明とせざるを得ない。

第八一号木簡 (101)×16×1 081 SD2386b

・ □

第八三号木簡 (75)×(19)×4 081 SD2386b

・ □ □

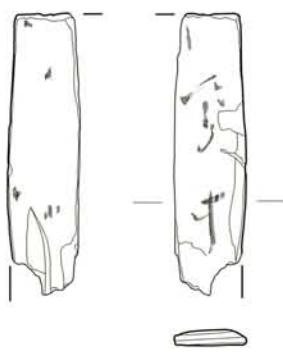
上端・下端はともに欠損する。左右両側面はいずれも一部欠損する

ものの原形をとどめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

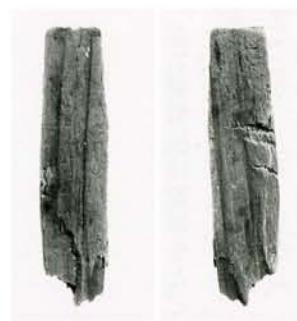
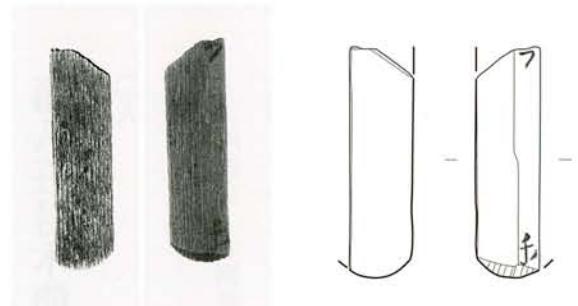
上端のみ原形をとどめ、それ以外は欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

墨書は両面に確認できるが、文字数をはじめとする詳細については不明である。

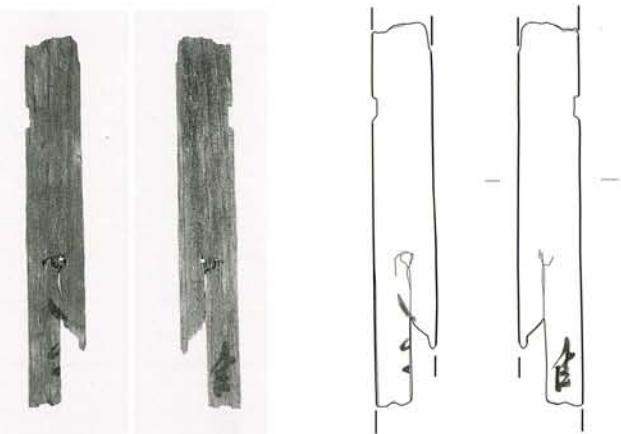
墨書はオモテ・ウラともに確認できる。ただし墨書部分は半分欠損しており、文字の判読は困難である。また、オモテ・ウラ関係も不明である。



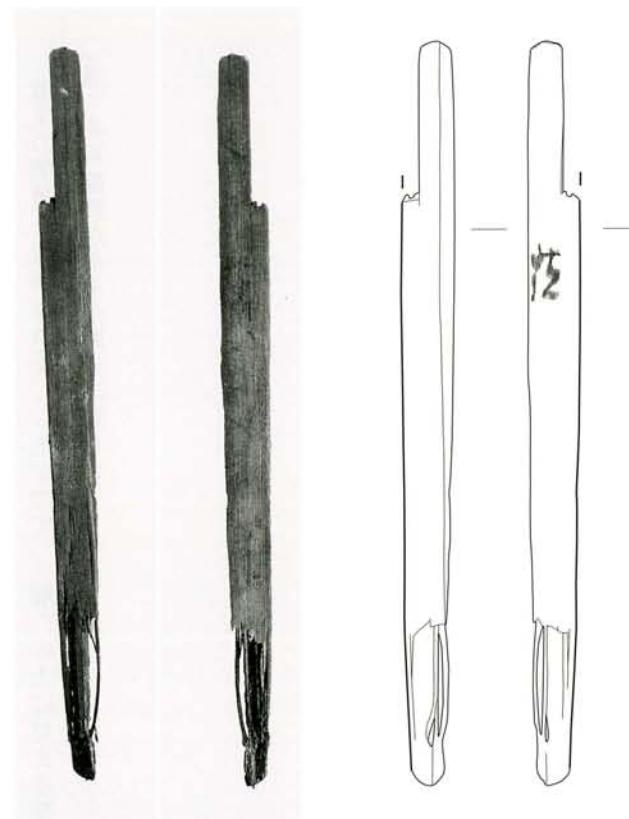
第80号木簡



第83号木簡

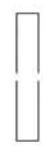


第81号木簡



第82号木簡

第八四号木簡 (132)×15×4 019 SD2386c



上端および下端は欠損するが、左右両側面は原形をとどめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

オモテ面にのみ墨痕を確認することができる。しかし、文字の天地や字数などは判然としない。

第八六号木簡 091 SD2386b



二片接合。ほかに四片の削屑があり、うち一片に墨痕が認められるが、直接接合はしない。

解文の削屑と推測される。したがって、「解」の上に見える墨痕は「謹」の可能性があるが断定は難しい。

第八五号木簡 (40)×(14)×3 081 SD2386g



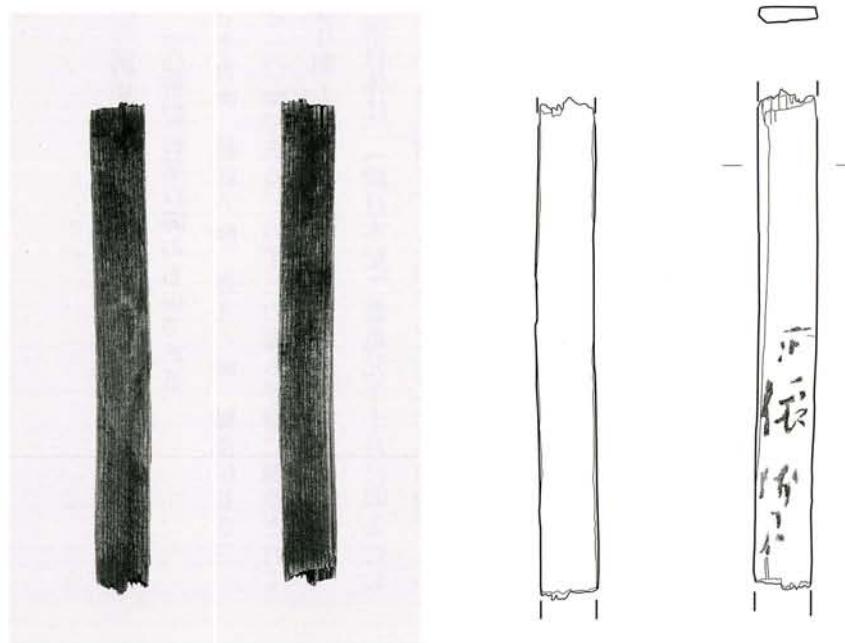
第八七号木簡 091 SD2386b



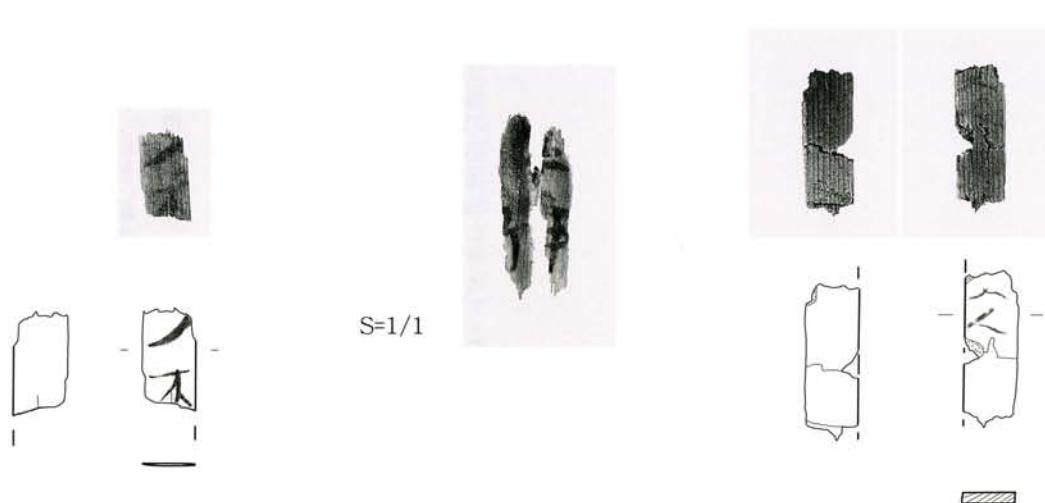
二片接合。右側面は原形をとどめるが、上端・下端および左側面は欠損している。

二文字分の墨痕が確認できる。

二文字分の墨書が確認できるが、詳細は不明である。



第84号木簡



第87号木簡

第86号木簡

第85号木簡

第八八号木簡

396×46×10 061 SD1703f

- ・「精好」 (題簽軸)

西一道路SX一七〇三のF期西側溝から出土した。F期は灰白色火山灰旗下以降であり、一〇世紀前葉以降のものである。

完形。題簽部は長さ七九mm、幅四六mm、厚さ八mm、軸部は長さ三一七mm、幅一三mm、厚さ一〇mmである。いずれの面も平滑に調整されている。軸部下端は面取り加工されている。

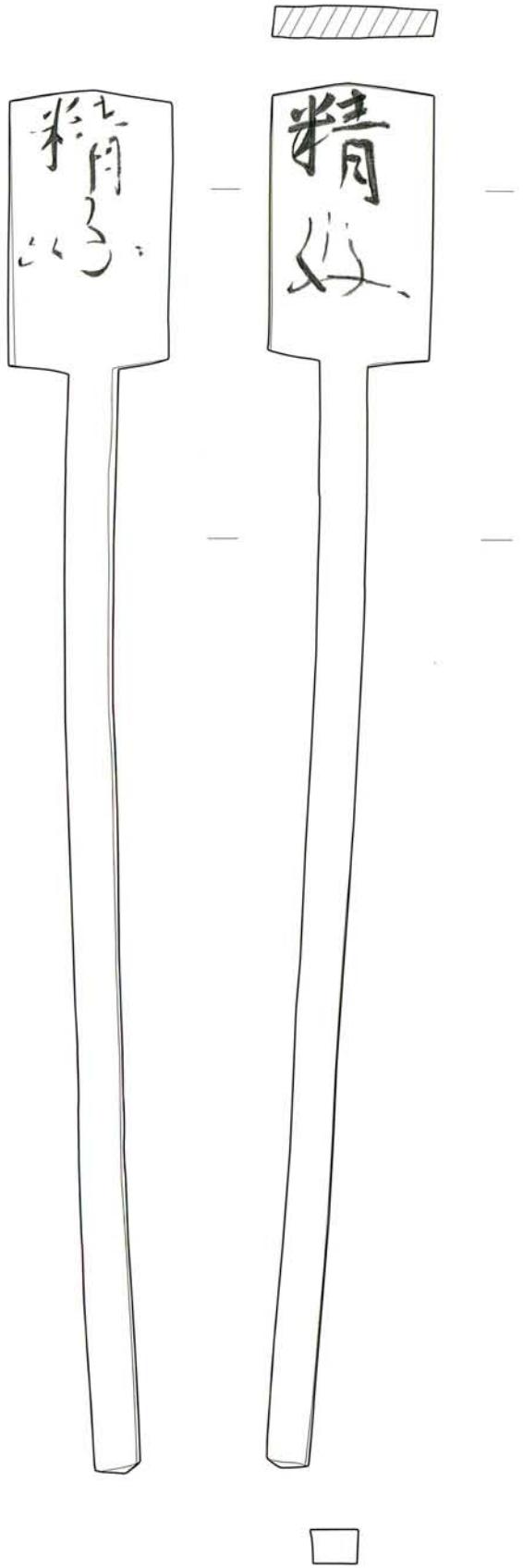
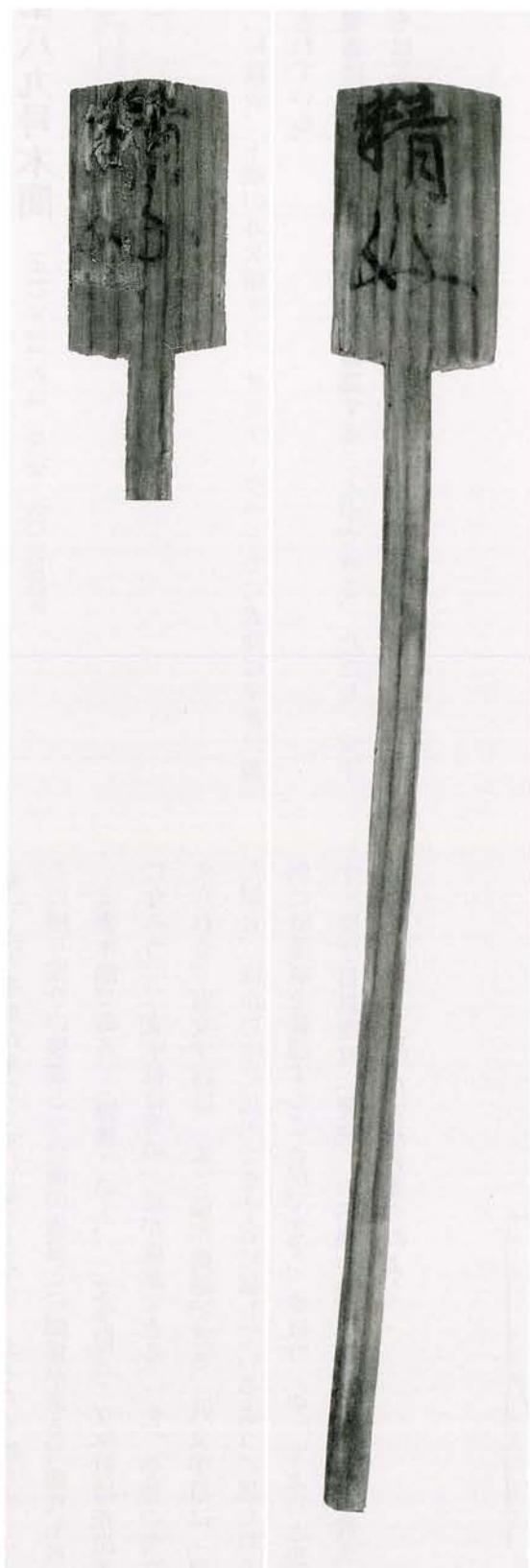
題簽軸。「精好」の語自体は、『続日本紀』靈亀元年十月己卯条において、粟を「於諸穀中、最是精好。」と述べるように、「精密でよい」と。また出来ばえの美しいこと。などの意をもつ(『大漢和辞典』より)。ただし、「精好」の語は、良質な絹を述べる際に使用される例が多く受けられる。たとえば、『尾張国郡司百姓等解文』第六条(永延二年—九八八)では、尾張国守藤原元命が、「当國の美糸」を私用し、「他國の麁糸」を貢進に充てたことが記されているが、「亦至于精好之生糸者、責取當國之美糸、織私用之綾羅、買上他國之麁糸、備貢官之例進」。(以下略)とみえる。また、時期はすこし下るが、『左経記』長元七年(一〇三四)十二月十四日および十五日の両条では、陸奥国が貢納する絹について、述べられている。

十四日庚午、天晴。(中略) 義賢申云。件解文長元六年料載絹數、今年料不載。仍問其旨之処、綱丁申云、所進之絹千二百疋也。而先例所進陸奥絹三百、他国絹三百也。是彼国絹難得也。仍半分以代物一路次之間交易備也。為代之例。而此度絹、彼国絹

三百、他国九百疋也。若依違先例不注絹數歟者、以此旨可申者。

十五日辛未、天晴。(中略) 綱丁安信申云、彼国依絹難得、左右相構當國絹三百疋奉之。遣九百疋交易隣國所奉也者。仰解文付頭弁可令奏。但於絹者、雖當國絹疎惡者可返給也。雖他國於宜者可納也者。

この記事によれば、陸奥国が貢納する絹の粗悪化が進んでいること、その場合は他国良質な絹を代わりに納めていること、その際各年の絹の数を記載した「去今兩年絹解文」が提出されることなどがうかがえる。絹の粗悪化が深刻な事態に至っていることは、陸奥国においても例外ではなかつたことが確認できよう。本木簡「精好」も、十世紀前葉以降の絹に関する文書の題簽軸と考えてよいであろう。

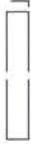


第88号木简

第八九号木簡

(91) × 21 × 3 019 SD1962a

「莫」とも墨痕が重なっていることから、おそらく削り残りであろう。その削り残りの墨書とウラ面の墨書とに関係がある可能性も残る。

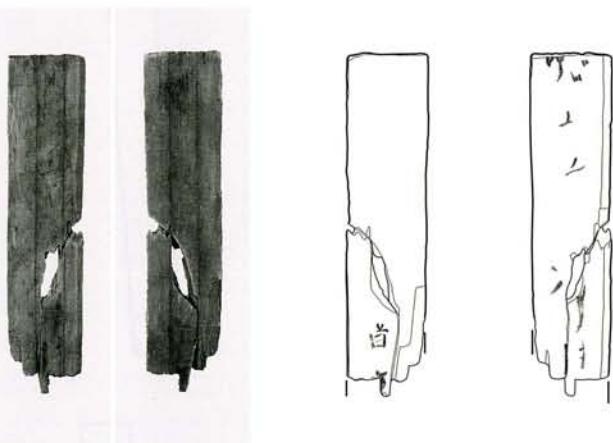
・「 

二片接合。下端のみ欠損する。オモテ・ウラともに表面は平滑に調整されている。

墨書は、オモテ・ウラ両面に確認することができる。ただし、文字数をはじめとして詳細については不明とせざるを得ない。

第九〇号木簡 (342) × 22 × 7 019 SX2479

・「莫[□]謹牒[□]宣捧申便使[□]  知下[□] 

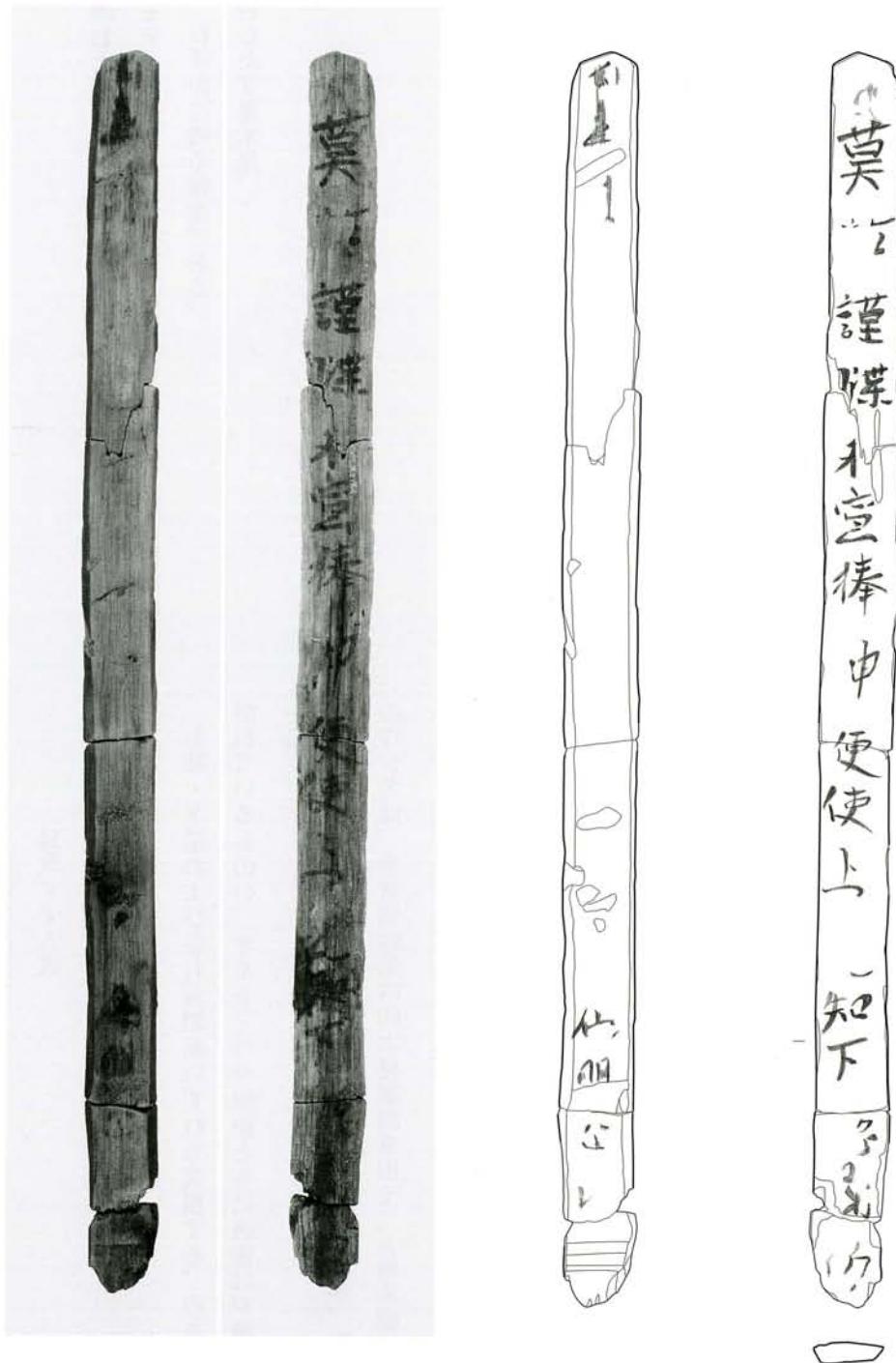


第89号木簡

五片接合。上端および左右両側面は原形をとどめるが、下端は欠損する。表面はオモテ・ウラとともに平滑であるが、ウラ面は一部削られている。

墨書は、オモテ・ウラ両面に確認することができる。オモテとウラとの墨書の関係は不明である。なお、釋文および実測図には示していないが、オモテ面第一文字目「莫」の上に墨痕が確認できる。一部

「莫」とも墨痕が重なっていることから、おそらく削り残りであろう。その削り残りの墨書とウラ面の墨書とに関係がある可能性も残る。文書木簡である。「謹牒」の上、「文字目」と「文字目」は差出者の名前になろう。「文字目」は旁の一部が確認できる。「乞」や「の」の旁などが考えられる。五文字目は「禾」偏が確認できる。八文字目は「申」と見た場合、ほかの字に比べてやや右に偏しているように思われるが、左側には墨痕を確認することができず、やはり「申」でよいと思われる。十一文字目以降は「便使」の名前が記されているものと考えられる。「上部」「上」「上」などが考えられよう。



第90号木簡

第九一號木簡 (103)×28×3 019 SX1735A/B

□解 申進人□

二片接合。上端および下端は欠損するが、左右両側面は原形をとどめる。表面はオモテ・ウラとともに平滑に調整しているが、ウラ面はほとんどが剥離し、わずかに残る程度である。人の進上を報告した文書木簡。

□――

鳥取マ子人成

□升五合 鳥取マ稻人□

上端・下端および左右両側面いずれも欠損する。ウラ面の一部が剥がれているものの、オモテ・ウラ両面とともに表面は平滑に調整されている。

物品の数量単位と人名が確認できる。食料支給簿か。なお、「鳥取部」のウジ名は、多賀城跡第四四次発掘調査出土二九号木簡にもみえる。

第九二號木簡 84×15×3 011 SX2101B

「算取人田太部富得」

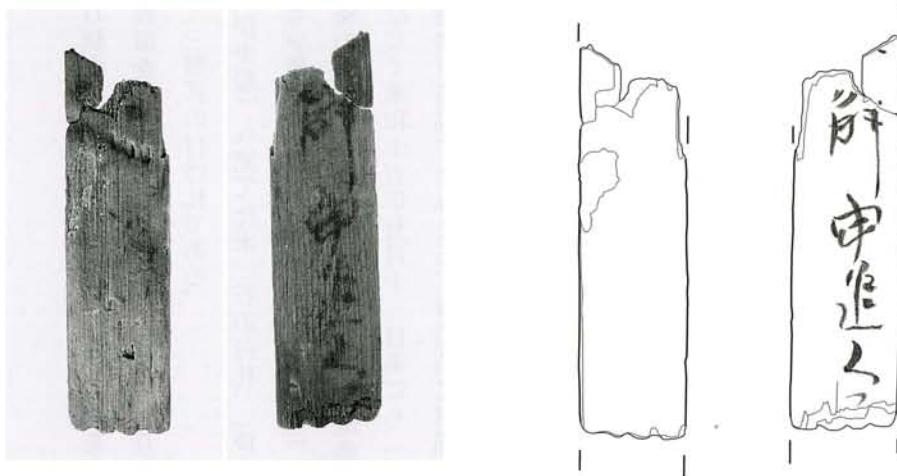
完形。表面はオモテ・ウラとともに平滑に調整している。墨書はオモテ面のみ確認できる。職名十人名の記録簡である。「算取人」は六国史等には未見。

第九三號木簡 (111)×(46)×3 081 SX2365

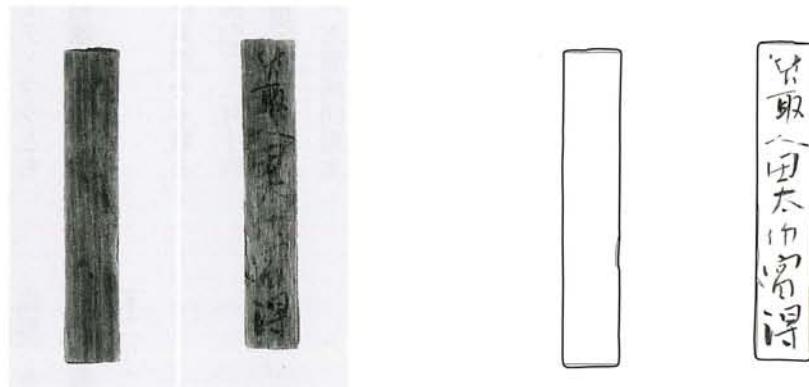
□――

鳥取マ子人成

□升五合 鳥取マ稻人□



第91号木简



第92号木简



第93号木简

第九四号木簡 142×24×6 033 SX1735B

「▽伊少毅一石」

右側面下部が欠損するほかは、原形をとどめる。オモテ・ウラともに表面を平滑に削っている。左右に切り込みがあり、他端を尖らせる○一一一型式の付け札である。

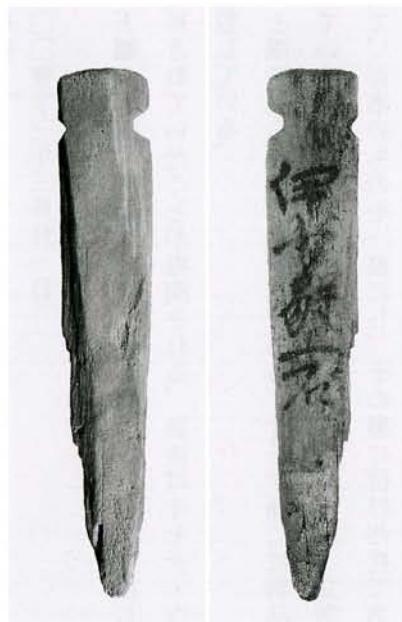
「伊少毅」へ充てた米一石の付札。「伊少毅」とは、伊具郡を本貫とする少毅のことであろう。『続日本後紀』承和七年（八四〇）一月十六日条の賜姓記事では「伊具郡擬大毅陸奥真成等」と表現されている。おなじく承和十五年五月十三日条にも「伊具郡麻積郷戸主磐城団擬主帳陸奥臣善福」とみえる。軍毅名に軍団名を冠するのではなく、郡名を冠する「」とが広く行われていたことをうかがうことができる。

第九五号木簡 145×19×4 032 SX2101A

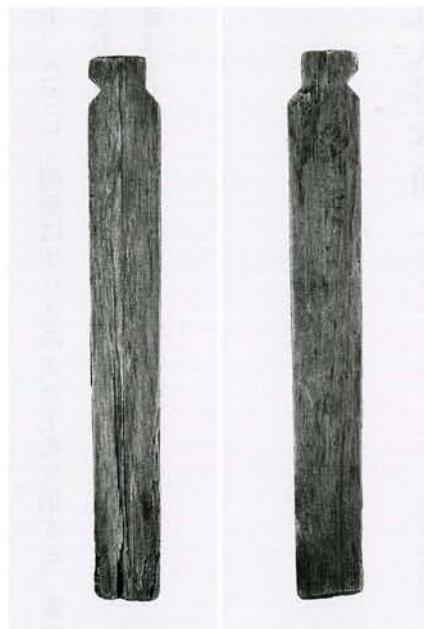
「▽御米一斗一升」

完形。ただし、右側面下部と左側面切込み部より上を欠損する。表面は一部荒れているが、オモテ・ウラともに平滑に調整している。

米一斗一升の付札である。



第94号木簡



第95号木簡



第六号木簡 (104) × (21) × 6 081 SX2379

・ □ 壱 裹 百 串
〔天平
カ〕
・ □□寶字三年三月廿一日」

下端および左側面は原形をとどめる。上端は欠損しているが山形に成形されていたことが推測される。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整している。

上端を尖らせた形の荷札である。オモテ面には物品と数量が記載されている。第一文字目は「月」偏のみ残る。第二文字から下は数量記載で、百串のものを一裹にし、その裏に付けた札である。一文字目は「腊」である可能性を指摘できよう。「腊」の単位としては、「串」のほか「斤」や「古（＝籠）」などが知られる。「串」が用いられた例としては、新潟県八幡林遺跡出土木簡や平城宮出土木簡がある。「平宍□串」（八幡林遺跡出土二四号木簡）「□宍一百串」（同二七号木簡）、「鹿脯卅串 上長」（『平城宮跡出土木簡概報（二）』）などである。ウラ面は貢進日が記載されている。「寶字」の上は墨痕がわずかに見える程度であるが、「天平」であろう。天平宝字三年は七五九年。

第七号木簡 62×27×9 032 SX1735B

「▽」

完形。ただし左側面は切り込みより上を欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

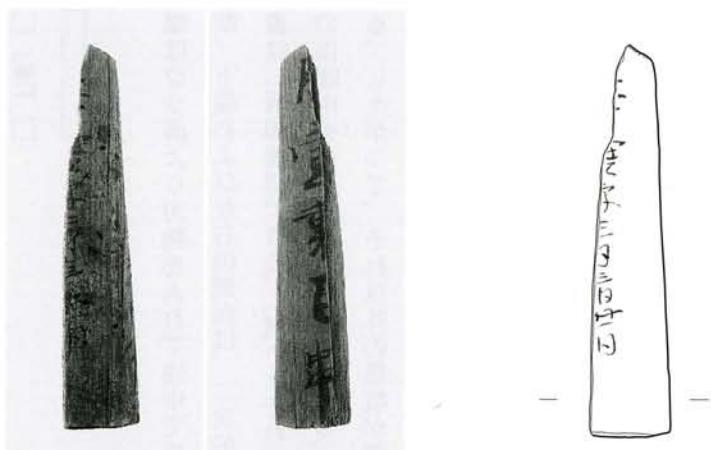
墨書はオモテ・ウラ両面ともに確認できない。

第九八号木簡 115×19×4 032 SX1735B

「▽」

完形。ただし左側面は一部欠損している。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されているが、ウラ面の下半部は剥がれている。

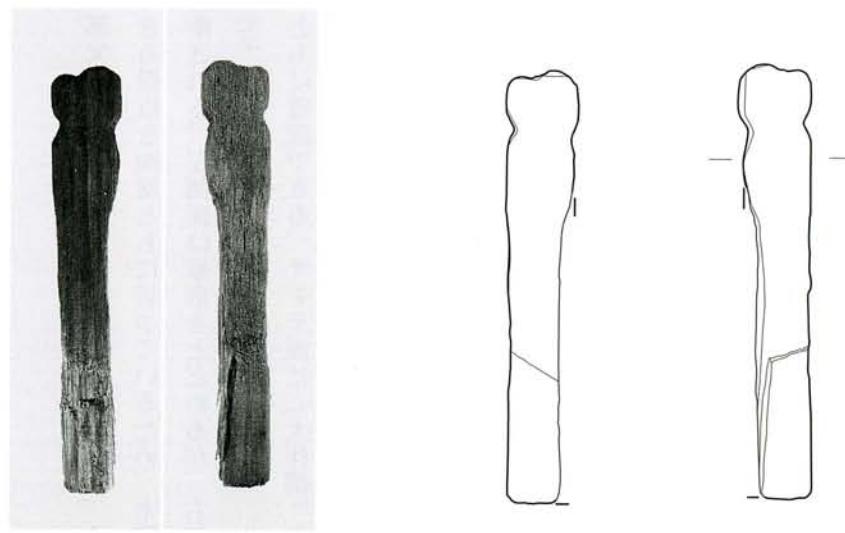
墨書はオモテ・ウラ両面ともに確認できない。



第96号木簡



第97号木簡



第98号木簡

第九九号木簡 (114)×35×10 039 SX1812

・ □□
・ □□『無』□
・ □□□

上端はウラ面より刃物を入れて途中で折る、いわゆるキリオリによ
る切断。下端および左右両側面は、一次的成形がなされている。

墨書は二種類確認できる。「無」とそれ以外の薄い墨書である。「無」
は材のほぼ中央に書かれているのに対し、それ以外の墨痕は切断され
ている。したがって、それ以外の墨痕が書かれた木簡がまず作成・使
用されて不要となつた後に、成形されて「無」が記されたと考えられ
る。その際、オモテ面の表面をカットグラス状に削り取つてあること
も確認できる。また、下方左右両側面に切り込みのようなものが確認
できる。最初に記された墨書よりも内側に見えることから、一次的成
形時のものであると判断されるが、この切り込みが付札としての機能
を持つものであるか否かについては不明である。

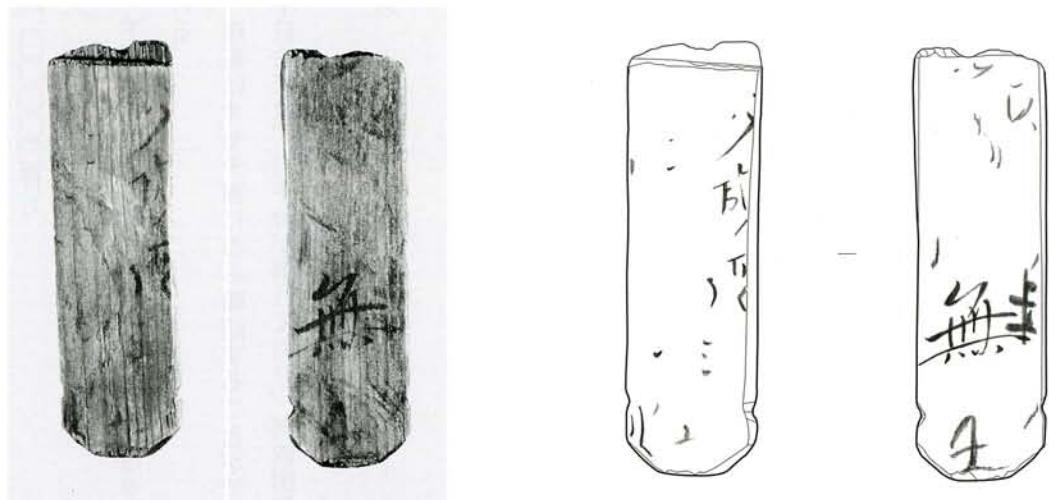
内容は、「無」一文字であるため、不明とせざるを得ない。

第一〇〇号木簡 195×(17)×4 065 SX2379

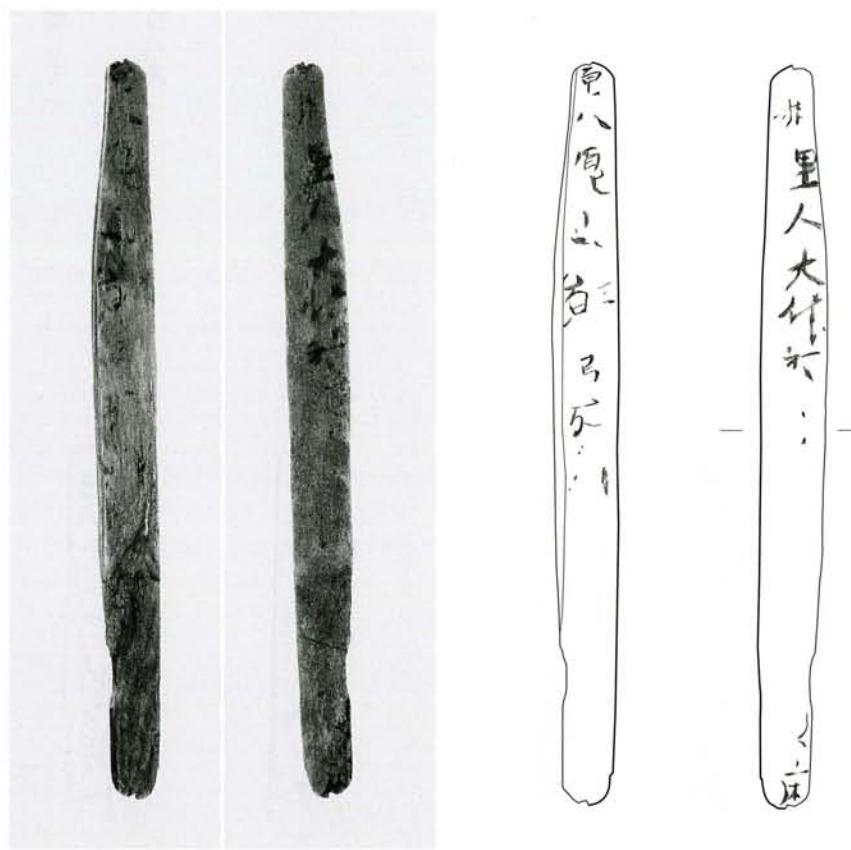
・ □里人大伴部□ □□
・ □□□□□□□□□

上端・下端ともに一部欠損するが丸く成形している。ただし、オモ
テ・ウラ両面に確認できる墨痕を両端ともに切つてあるため、木簡使
用後の成形であると判断される。左側面は原形をとどめるが、右側面
は欠損する。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

墨書はオモテ・ウラともに確認できる。オモテ面に「大伴部」のウ
ジ名が記されているが、人名が記されているのみで、オモテ・ウラの
関係をはじめ、内容その他の詳細については不明とせざるを得ない。
「大伴」氏は、弘仁十四年(823)、淳和天皇の諱大伴を避けて「伴」
氏に改めている。オモテ面最下の文字は「麻」か。



第99号木簡



第100号木簡

第一〇一號木簡 (210)×35×10 019 SX2101A

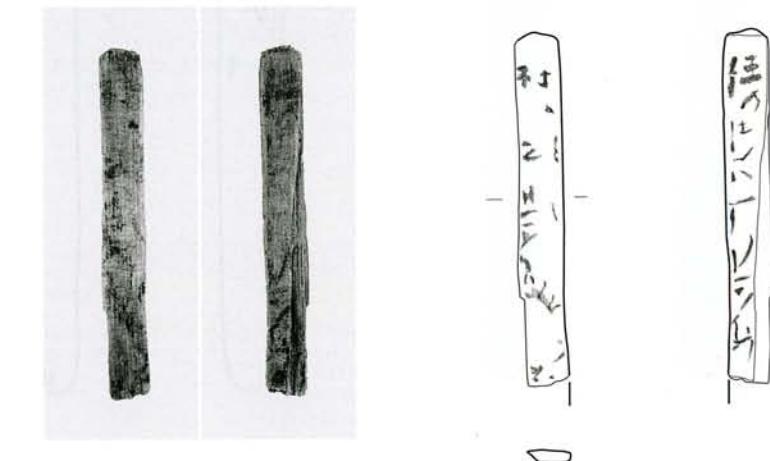
「□□□□□□押万

下端のみ欠損する。表面はオモテ・ウラ両面ともに平滑に調整している。

墨痕はオモテ面にのみ確認することができる。第一文字目から六文字目までは、右半分が削れており、判読困難である。

第一〇一號木簡 (94)×(12)×4 081 SX2101B

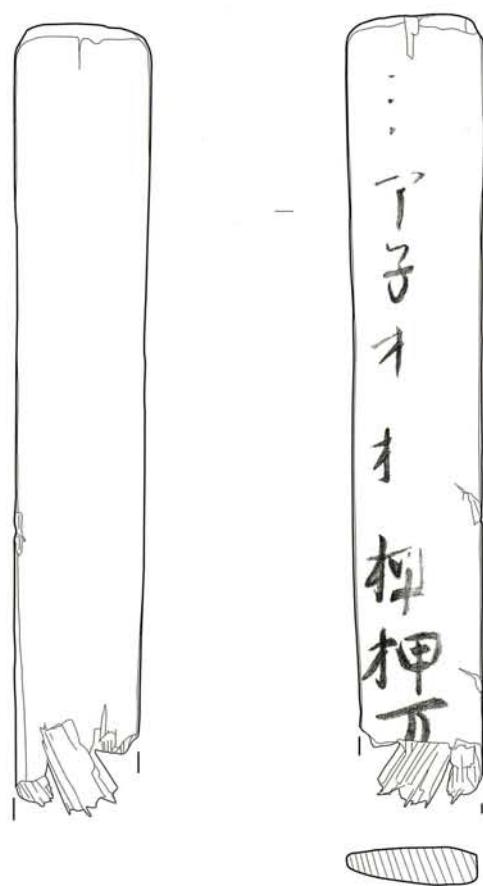
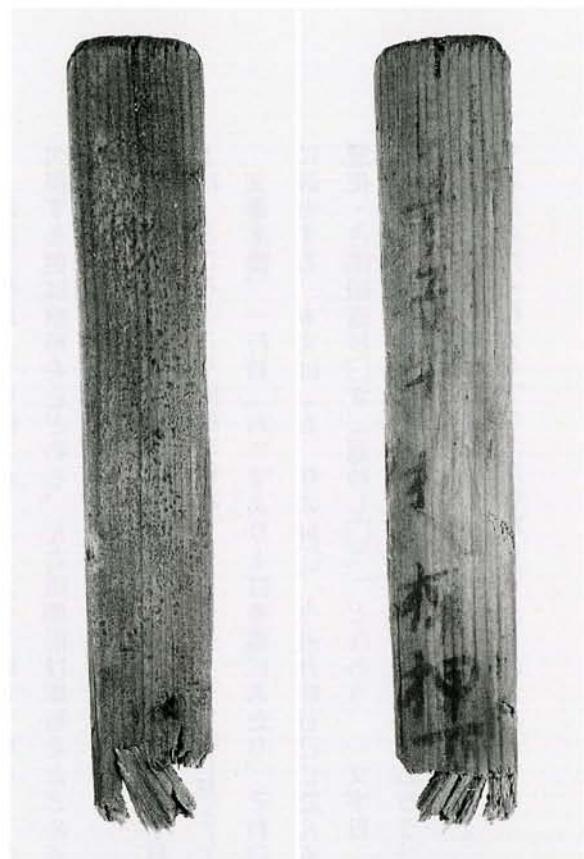
・
「□□□□」
・
「□□□□」



第一〇一號木簡

上端および左側面は原形をとるが、下端および右側面は欠損する。表面はオモテ・ウラとともに平滑に調整するが、オモテ面は一部欠損している。

墨書はオモテ・ウラともに確認できるが、字数その他の詳細は不明である。



第101号木簡

第一〇二一號木簡 (287)×34×8 081 SD2381

□□封□三□ 右件封□今月廿四日

〔已カ〕

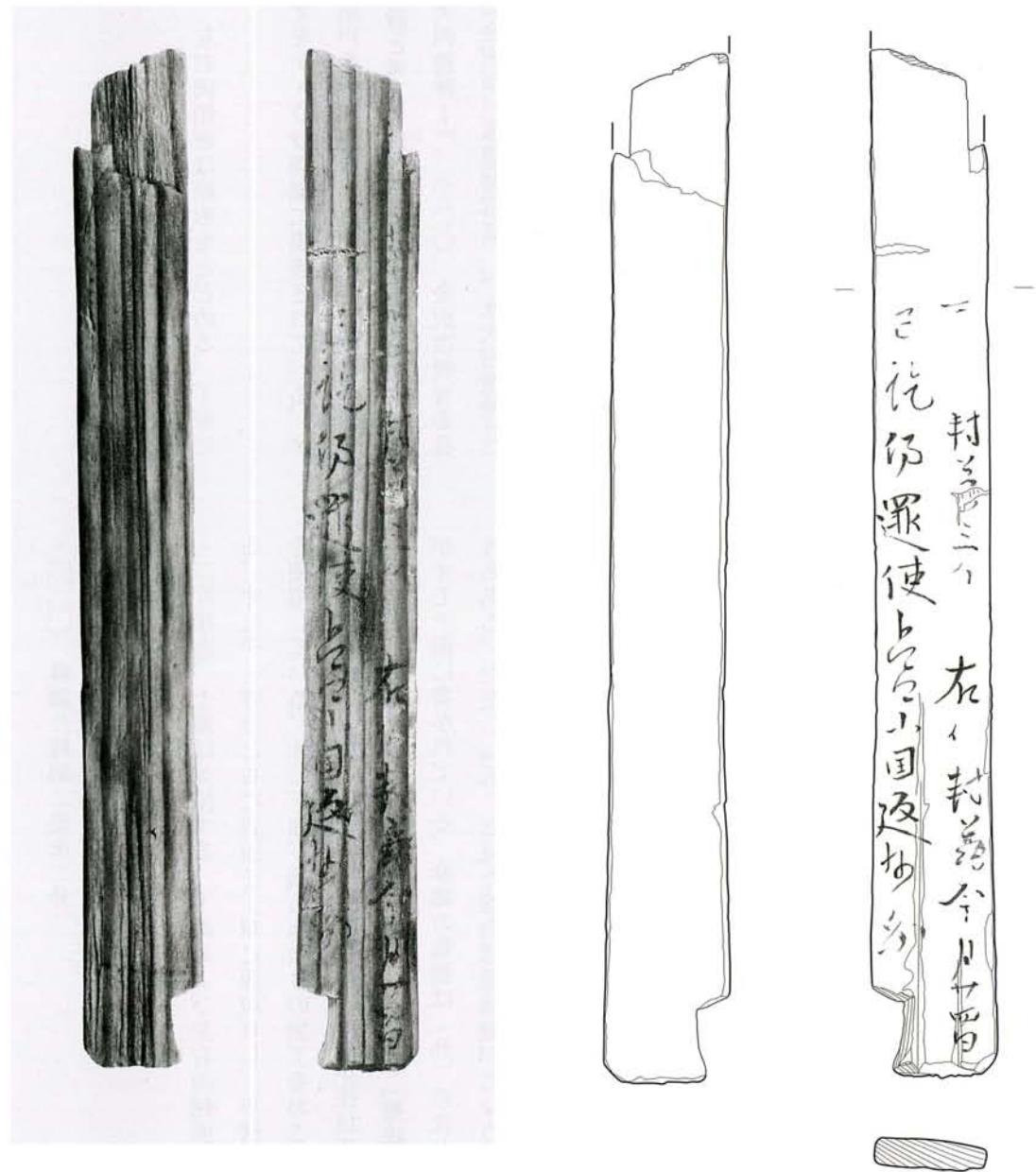
□訖仍還使占マ小国返抄□

」

上端は刃物により切断され、右上方を欠損している。下端は左隅を欠損する他は原形をとどめる。左右両側面は原形をとどめる。表面はオモテ・ウラともに平滑に調整されている。

墨書きは、オモテ面に二行確認することができる。一文字目「封」の上は、ところどころ墨痕を確認することができるが判然としない。

文書木簡。一行目「右」字より上は事書にあたり、それ以下は本文に該当する。本文は「右、件の封□、今月廿四日已に訖んぬ。仍つて還使・占部国返抄□す（返抄し□）」となろう。一文字目「封」の下の字と、七文字目「封」の下の字はおそらく同字であろう。残画からは「藏」などが考えられるが、断定は難しい。なお「封藏」は、「封じておさめたくわえる」（『大漢和辞典』）の意味を持つ。



103号木簡

第一〇四号木簡 (128)×16×8 081 SD2342d

・×年五月廿日舎人家宿買物

□□卷□

□卷子集」

上端・下端ともに欠損する。左右両側面は原形をとどめる。丁寧に面取り加工した枝材である。

内容は、文書木簡である。オモテ・ウラ両面に墨書きされている。オモテ面「舎人家宿」は、石川県戸水大西遺跡から出土した墨書き土器の「宿家」が駅より格下の宿泊施設と考えられている（金沢市文化財紀要一六〇『戸水遺跡群II 戸水大西遺跡I』）「一〇〇〇」、金沢市教育委員会。金沢市文化財紀要一七四『金沢市戸水遺跡群III 戸水大西遺跡II』「一〇〇一、金沢市教育委員会）」などを参考にすれば、「舎人の宿家」の「」とかもしれない。

接合しないものの、同じく枝材を使用した第一〇五号木簡との関連性が注目される。

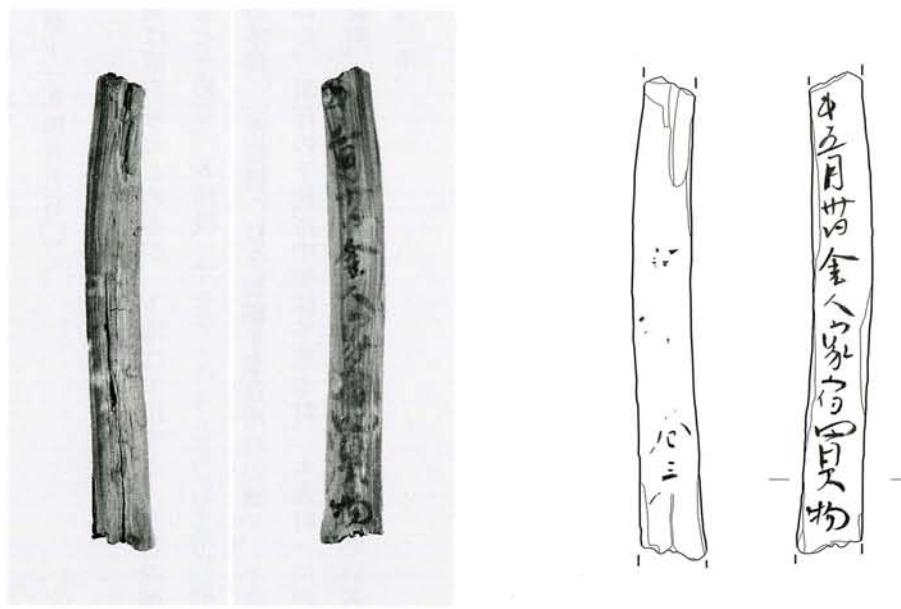
「」とかもしれない。オモテ面に書かれている。麻綿の数量は「升」のほか、「五」の可能性もある。ただし「五」と見た場合は最終画がちょうど欠損部分に該当することもあり、確認できない。「袴綿」は、袴に用いる綿の意と解すれば、数量は「」（単位記載なし）となる。ただし、綿でできた袴という意味の「綿袴」が、「袴綿」と表記された可能性も指摘できるだろう。そのように考えれば、次の「要」字は袴の単位「腰・脣」と解釈できるかもしれない。ウラ面にも何らかの物品が記載されていたと見られ、数量単位「卷」が記されている。「子集」最後に記載されていふ」とからは人名か。

第一〇五号木簡 (150)×18×7 019 SX2451

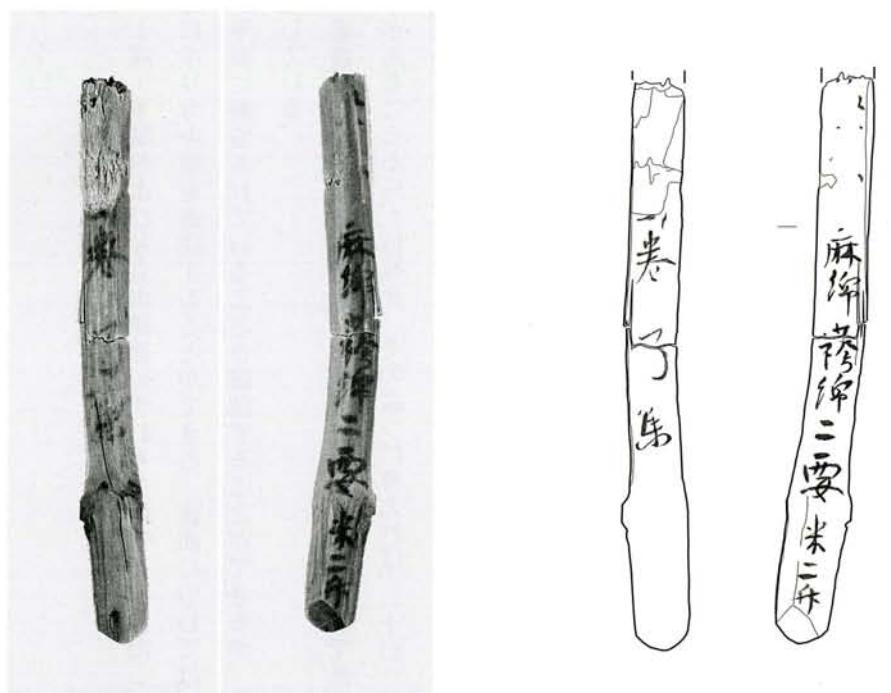
・□□ 麻綿升袴綿「要米一升」

「」とかもしれない。オモテ・ウラともに表面を丁寧に面取りし、平滑に調整した枝材を使用している。オモテ面下端も面取りの加工をおこなっている。同じく枝材を使用した第一〇四号木簡との関連性が注目される。

物品名と数量を列記したものである。「麻綿」・「袴綿」・「米」の数量がオモテ面に書かれている。麻綿の数量は「升」のほか、「五」の可能性もある。ただし「五」と見た場合は最終画がちょうど欠損部分に該当することもあり、確認できない。「袴綿」は、袴に用いる綿の意と解釈できるかもしれない。ウラ面にも何らかの物品が記載されていたと見られ、数量単位「卷」が記されている。「子集」最後に記載されていふ」とからは人名か。



104号木簡



105号木簡

第一〇六号木簡 (104)×17×2 019 SD2163B 1層

・「千葉郷 私馬矢五□

・「延暦十一年四月五日□

□□□ ▼

十 十口

上端は原形をとじめるが、下端は欠損する。左右両側面はいずれも原形をとじめる。表面は、オモテ・ウラともに平滑に調整されている。文書木簡。「千葉郷」は下総国千葉郡所在の郷で、千葉郡の郡家所在郷である。現在の千葉市中央区千葉寺町、大森町・川戸町付近（さらには浜野町、生実町を含める場合あり）に比定されている。延暦十一年は七九二年。

上端・下端および左右両側面いずれも欠損する。ただし、右側面下方にキリカキ痕を確認することができる。表面については、オモテ面が平滑に調整されていることを確認することができるが、ウラ面は剥離している。

墨書は、オモテ面に二行にわたって確認することができる。キリカキがある」とから、付札か。そのように考えれば、「十口」は、物品の数量か。

第一〇七号木簡 (79)×(30)×4 032 SD2386g

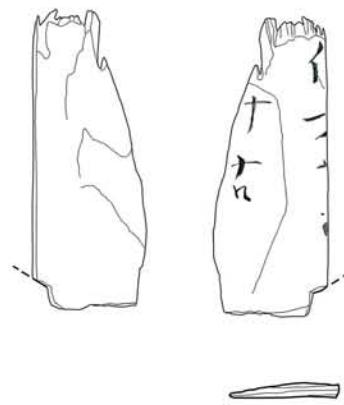
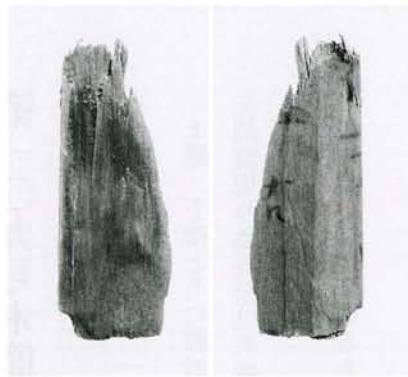
58

第一〇八号木簡 201×26×4 032 SX2451

▽

二片接合。上端・下端および左右両側面いずれも原形をとじめる。表面は平滑に調整されている。

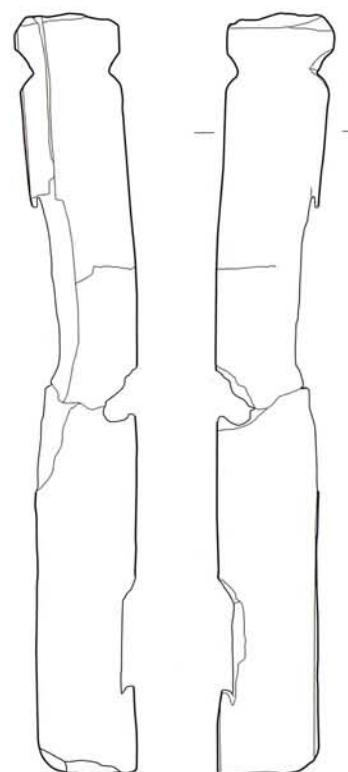
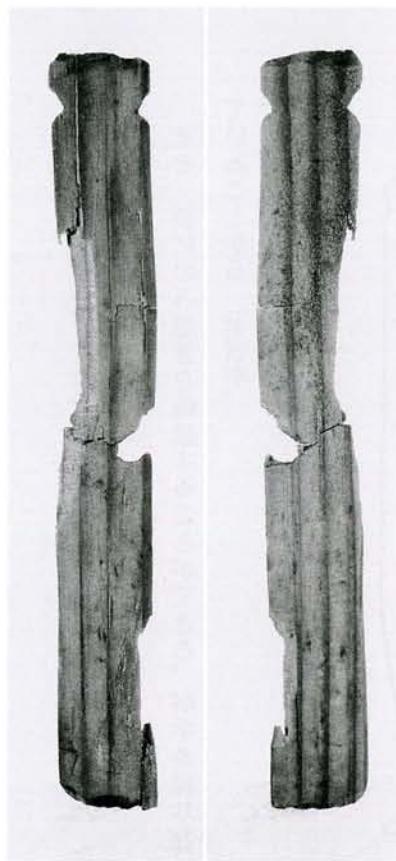
墨書は、オモテ・ウラともに確認できない。



第107号木簡



第106号木簡



第108号木簡

第一〇九号木簡 152×14×2 033 SD2100 2層

「継長」

上端・下端ともに原形をとる。左右両側面も原形をとるが、

左側面切り込み部は欠損している。オモテ面のみ表面を平滑に調整している。

先を尖らせた形態をもつ付札。「継長」は人名か。

第一一一号木簡 445×34×8 011 SD2363

□□

大大大大大大

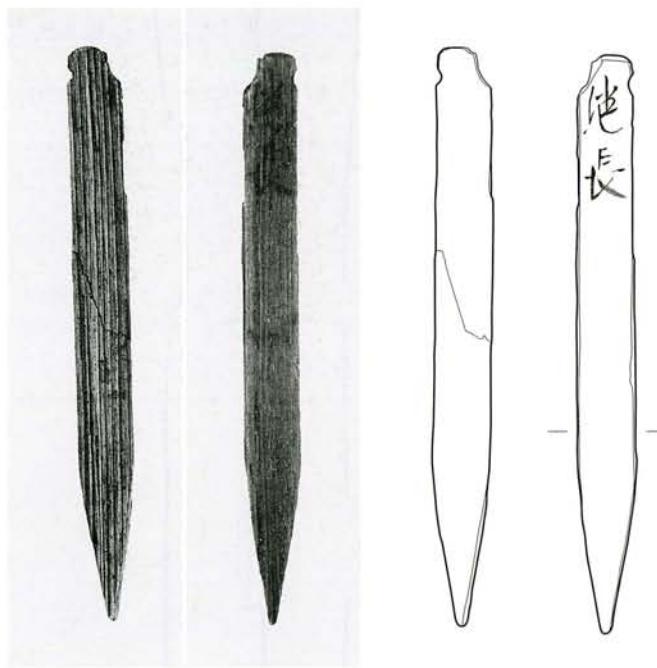
□□道淨河淨河之之之之之人人人人人人

完形。二片接合。オモテ面のみ表面を平滑に調整している。ただし、左下の一部が削れている。

オモテ面にのみ墨書を確認することができる。同字を繰り返し記してゐる」から、習書か。

第一一〇号木簡 223×26×20 065 SD2381

「宦」

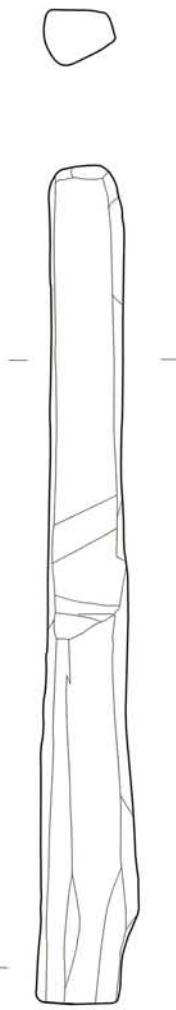


第一〇九号木簡

円柱状の材を不整形に削った木製品。一部欠損している。用途は不詳。下端部は断面が円形を呈しており、その一部を面取りして平坦な面を作り出し、文字を記している。墨書は木製品に伴うものかと推測されるが、詳細は不明。



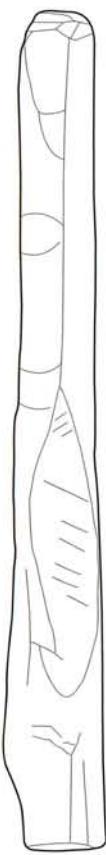
ウラ



左側面



オモテ



右側面

第110号木簡

第一一一号木簡 (209)×(23)×8 081 SE1912

・「□□□□□□□□」

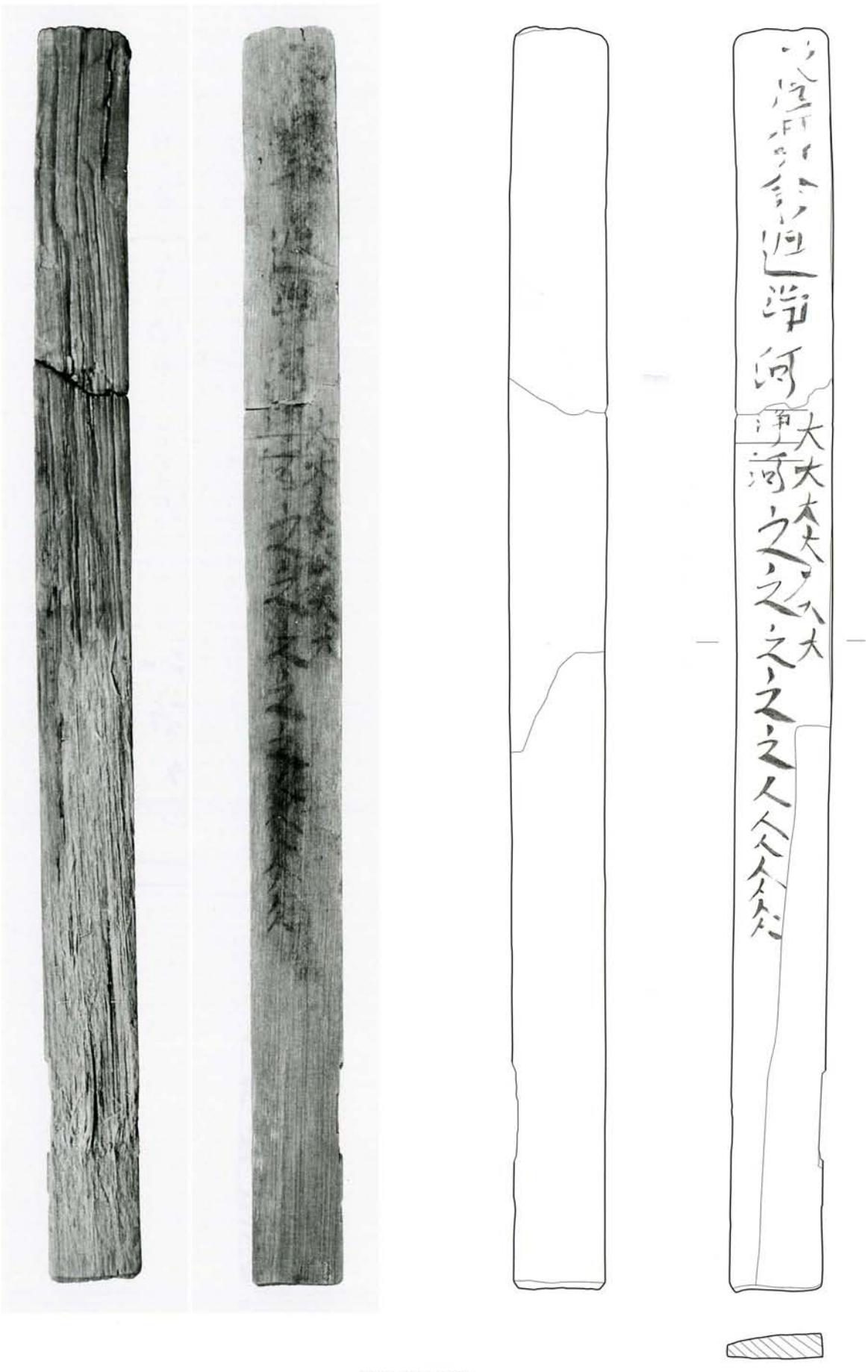
上端のみ原形をとじめ、下端および左右両側面は欠損する。表面は
オモテ・ウラともに平滑に調整している。
墨書はオモテ・ウラ両面に確認できるが、詳細は不明とせざるを得
ない。

第一一一号木簡 (88)×(4)×2 081 SD2386b

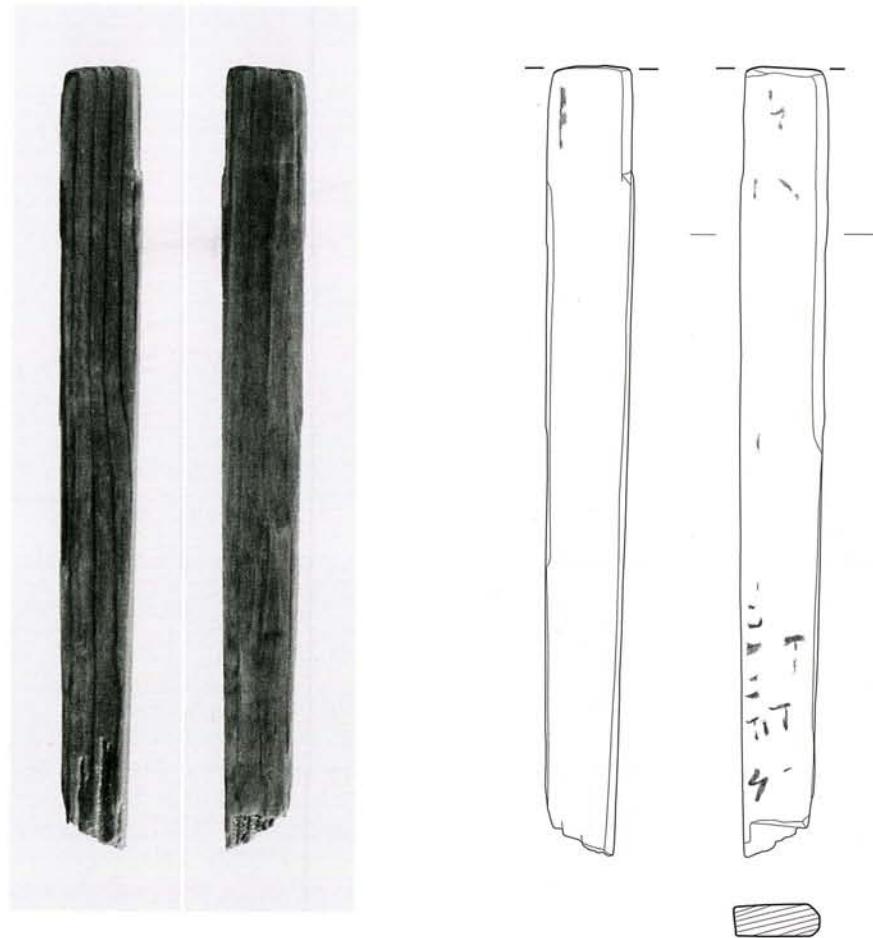
□□

上端・下端および左右両側面いずれも欠損する。表面はオモテ・ウ
ラともに平滑に調整している。

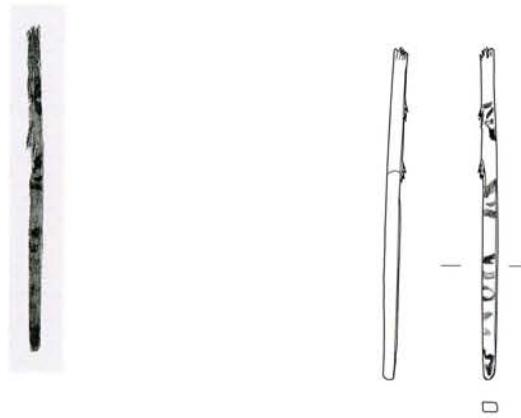
墨痕はオモテ面にのみ確認することができるが、幅がわずか四畳
か残っていないため、文字数等詳細については不明とせざるを得ない。



第111号木簡



第112号木簡



第113号木簡

二 漆紙文書について

本節をなすにあたり、平川南氏（国立歴史民俗博物館教授）にご教示いただいている。

凡例

一、本節は、漆紙文書についてまとめたものである。文字の確認できたものを報告の対象とした。このほか文字の確認できなかつた漆紙は七点、漆付着土器は三点である。

一、漆紙文書については、A区・D区のほか、C区出土のものについても収録している。出土遺構については、『多賀城市文化財調査報告書第七〇集』を参照されたい。

一、釈文に加えた符号は以下の通りである。

□□□ 欠損文字のうち、字数の確認できるもの。

□□ 欠損文字のうち、字数の確認できないもの。

〔 〕 校訂に関する注で、原則として釈文の右傍に付し、本文に置き換えるべき文字を含む場合。

() 説明注

力 筆者、編者が加えた注で疑問の残るもの。

一、掲載した図版類は特に断らない限りほぼ原寸である。

二、
积文

一、 形状

折らずにそのまま廃棄されたもの。法量は一四・二×一二・八cmである。

現状はC字形をしており、全体の四分の三ほどの周縁が残る。容器の復元直径は約一四cmである。ウルシ面にわずかに木質の付着がみら

蓋既としての利用の際は既に内側へ向けて折り入る。

蓋紙としての利用の際に紙を内側へ向けて折り込んでいる。折り込
まれた縁の周囲に、約5mmの幅で固形化した漆が帯状に付着している。
部分があることから、落とし蓋のようにして使用されたと推定される。

文字は両面に確認できた。ウルシ面には八行（復元を含む）が確認でき、文字の大きさは、大きいものが約一・三cm四方、小さいものが約一・〇cm四方、行間は約一・六cmである。オモテ面には四行（復元を含む）が確認でき、文字の大きさは約一・五cm四方、行間は約二cm（位）の部分）である。

ウルシ面には漆の下に墨痕が確認できる箇所があつたため、グラインダーを用いて表面をわずかに削り取つたところ、数文字を確定することができた。なおこの作業以前に写真撮影をおこない、作業中の赤外線テレビカメラ画像はビデオテープに収めた。

なお、以下に掲げる釈文のほかに、才モテ面の上に複雑に折りたたまれていて、どの行に当たるか判断できなかつた墨痕がある。

【ウルシ面】

〔全
力〕

驛馬

□□符一枚柴田郡

傳

〔等等力〕

□及下

武藏
相口

三
物

□部内山道□

(※このほか、折り込まれた部分に墨痕あり)

【オモテ面】

「在カ」
□□□

位

□半飛
□

三、内容

【ウルシ面】

一行目三文字目は「しんによう」が明瞭に確認できる。墨痕からは

「速」「連」などが近い。

二行目一文字目に墨痕は確認できたが判読できなかつた。

四行目一文字目は、漆紙の縁の部分に文字がかかっているが、赤外線カメラにより観察したところ「傳」と判読して間違いない。

六行目一文字目は旁の一部であるが、墨痕からは「繼」「述」などが

考えられる。

七行目の「戸主物」の三文字は天地逆に書かれている。

八行目一文字目は「てへん」もしくは「きへん」が確認できる。六

文字目は「ごんべん」は確認できるが旁の一部を欠き、判読できな
い。字形からは「訊」「諾」などが近い。

ウルシ面は、陸奥国府における駅馬や伝の使用・文書の通送などに
かかわる帳簿と考えられる。

記載の中に「驛馬」（二行目）「傳」（四行目）などと見えるのが注目

される。三行目の「符一枚」については、下達文書の「符」と「傳符」の場合が考えられる。公文書にみられるそれぞれの単位に注目すると、例えば官司間で授受した公文書の目録である「出雲国計会帳」（『大日本古文書』一一五八七）や「伊勢国計会帳」（『大日本古文書』二四一五四七）では文書の「符」の単位として「道」「條」「紙」などがあるが「枚」は見られない。一方「傳符」については、郡稻の收支を記録した「越前国郡稻帳」（『大日本古文書』一一四六一）のなかに「肆剋傳符壹枚」という表記があり「枚」という単位が確認できる。ただし、

文書の性格がやや異なるが、寺院作成の財産目録である「西大寺資財流記帳」（『寧樂遺文』中巻）には「一卷 太政官符并案（五十五枚）」（（）は細字）という表記があり、いづれかを早計に判断するのは避けるべきであろう。

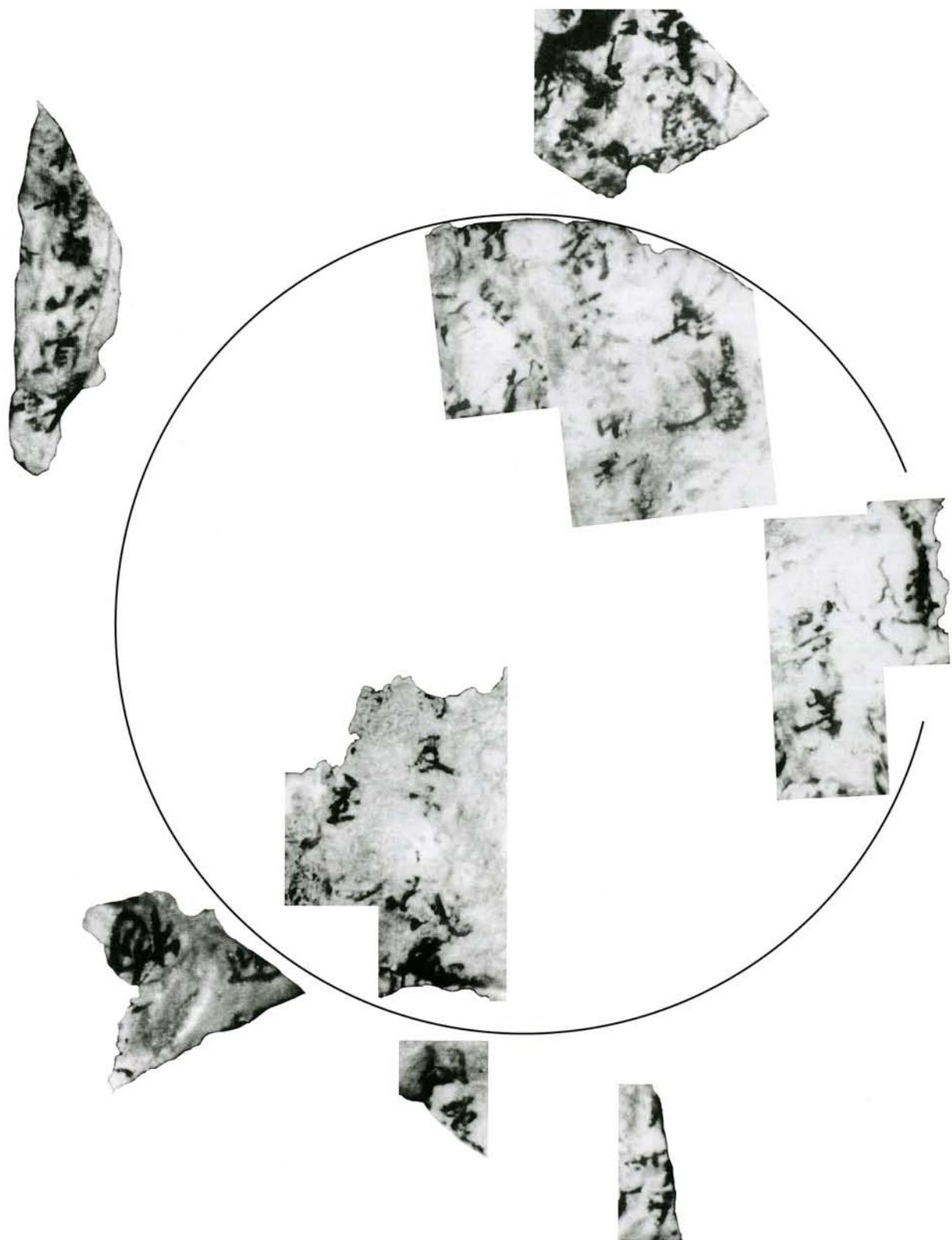
地名に関する記述として「柴田郡」（三行目）「武藏」「相模」（五行目）「山道」（八行目）がある。

陸奥国柴田郡は、多賀城の南西約三〇km、現在の宮城県柴田郡付近に比定され「延喜式」（兵部省）によると、柴田郡には柴田駅があり、駅馬十疋・伝馬五疋が備えられていた。

「相模」については国名（相模国）・郷名（色麻郡相模郷）が考えられるが「武藏・相模」と連続することから国名である可能性が高い。なお武藏・相模という順は、陸奥国から都へ向かうルート上にあり、かつ国境を接している国であることから、仮にこの部分に陸奥国から都へ向かうルート上の国名が列記されていると考えると、「武藏」の上には「常陸」「下総」などの国名が想定される。そこで再び五行目の墨痕に注目すると、三文字目を「下」と読み、一文字目を「国」の下半



■ 部分はオモテ面
--- 部分は折込想定線
第2号漆紙文書 ウルシ面



第2号漆紙文書 赤外画像

とみても字形としては矛盾がない。以上の検討から、五行目を推定復元すると

：国及下総 武藏 相模：

となる。一案として掲げておく。

武藏国は宝亀二（七七一）年に東山道から東海道へ改められており『続日本紀』宝亀二年十月乙卯条、下総・武藏・相模という記載順は東海道に属することをふまえたものと考えられることから、当文書は宝亀二年以降の作成ということになる。

また、一文字目を「国」とすれば、「及」字をはさんで東海道の国が

続けて列記されることは考えがたいので、「及」字の上には、陸奥国と同

じく東山道に属し、征夷の際に物資の補給地として重視されていた上

野・下野などの国名が記載されていた可能性がある。

「山道」（八行目）に関しては『続日本紀』天平九（七三七）年四月戊午条に藤原麻呂からの報告として「山海両道を開き、海道に田夷遠田君雄人を、山道に帰服狄和我君計安壘を派遣して夷狄を鎮撫した」との記述がある。また、宮城県赤井遺跡からは「海道」と記した付札木簡が出土している（『木簡研究』一二三）。当文書には「部内山道」と記されており、「山道」という語が陸奥国内の行政的な地域名称として使用されていたことがわかる。

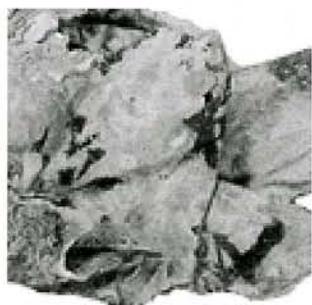
【オモテ面】

オモテ面は複雑に折りこまれた紙片が付着しており、この紙片の下にも文字が存在するが、現状では確認できない。また、ウルシ面の破損した部分から確認できるオモテ面の文字がある。

一行目はウルシ面から確認できるオモテ面の文字である。三文字目は現状では折り込まれており文字の向きが一致しないが、復元すると「□「在カ」」とした文字と同じ行にあたる。文字の旁部分「反」のみ確認できる。

三行目はオモテ面から、現存部分の中央に確認できる。「半飛」の文字は明瞭であり「半」の上にも文字が存在するが、折られた紙片に隠されている。

いずれも謹直な楷書体で書かれているが、内容は判然としない。



赤外線画像



赤外線画像

■部分はウルシ面
----は折込想定線

第2号漆紙文書 オモテ面

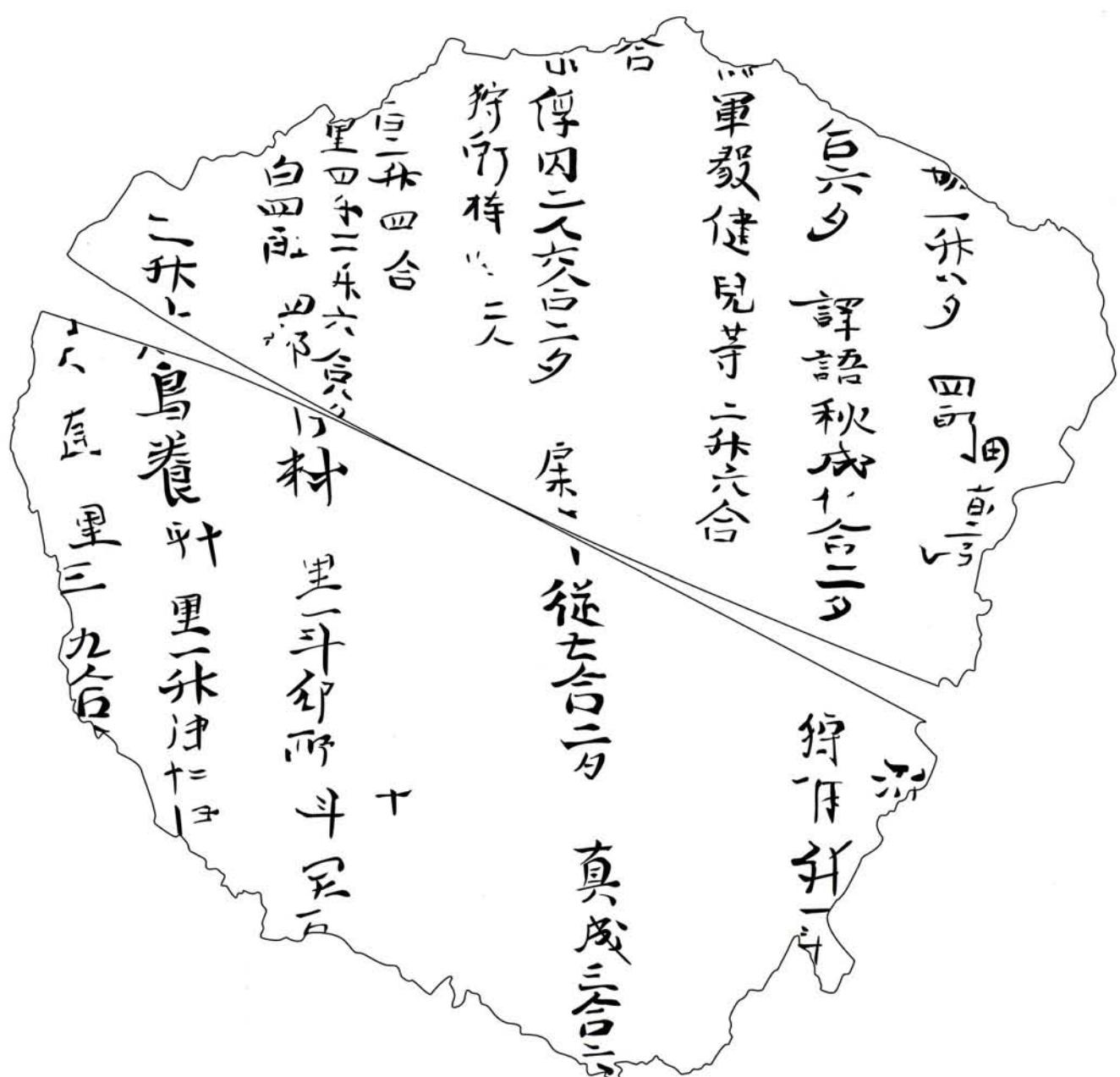
二、
积文

一、形状

漆容器の蓋紙として再利用されたのち、ウルシ面を内側にして二つ折りにして廃棄されたもの。法量は長径一五・五×短径八・二cmで、現状は半円形をしている。漆容器の復元直径は約一六cmである。文字は漆面にのみ確認されたが、漆により密着しているため、はがして観察することはできない。文字の大きさは約〇・八cm四方、行間は約

合六夕 許語秋成合二夕 狩一斗
升八夕 四合二升六合二升六合

俘囚二人	六合二夕	从七合二夕	真成三合
狩	持	二	人
白二升四合			
黒四斗二升九合八夕	〔解力〕		
白四□四□		□料	黒一斗
□一升	□	□	□
□□	鳥養料	□	□
□	黒三	□	□
九合	九	□	□
□	〔料力〕	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□



第3号漆紙文書（反転・展開）

三、内容

一行目一文字目は、「田」のようにもみえるが、他の行と比べて文字が小さく、行も揃わない。

「狩」字は七行目にもみえるが、いずれもその下に続く文字を判読できなかつた。一四文字目は「并」に似る。

六行目一〇文字目は「戸主」のようにもみえるが、確認できる墨痕は「戸」と「未」を合わせたような字形で「戸主」とは考えがたい。

八行目六文字目は「十」のような墨痕が確認できるのみで、上下に文字は確認できなかつた。

九行目の「黒四斗…」と「白四□…」は、行間がこの部分のみ狭いことおよび下に続く文字との関係から、割書であると思われる。下の□料の内訳を記したものであろう。左行五文字目は「おおざと」が明瞭に確認できた。

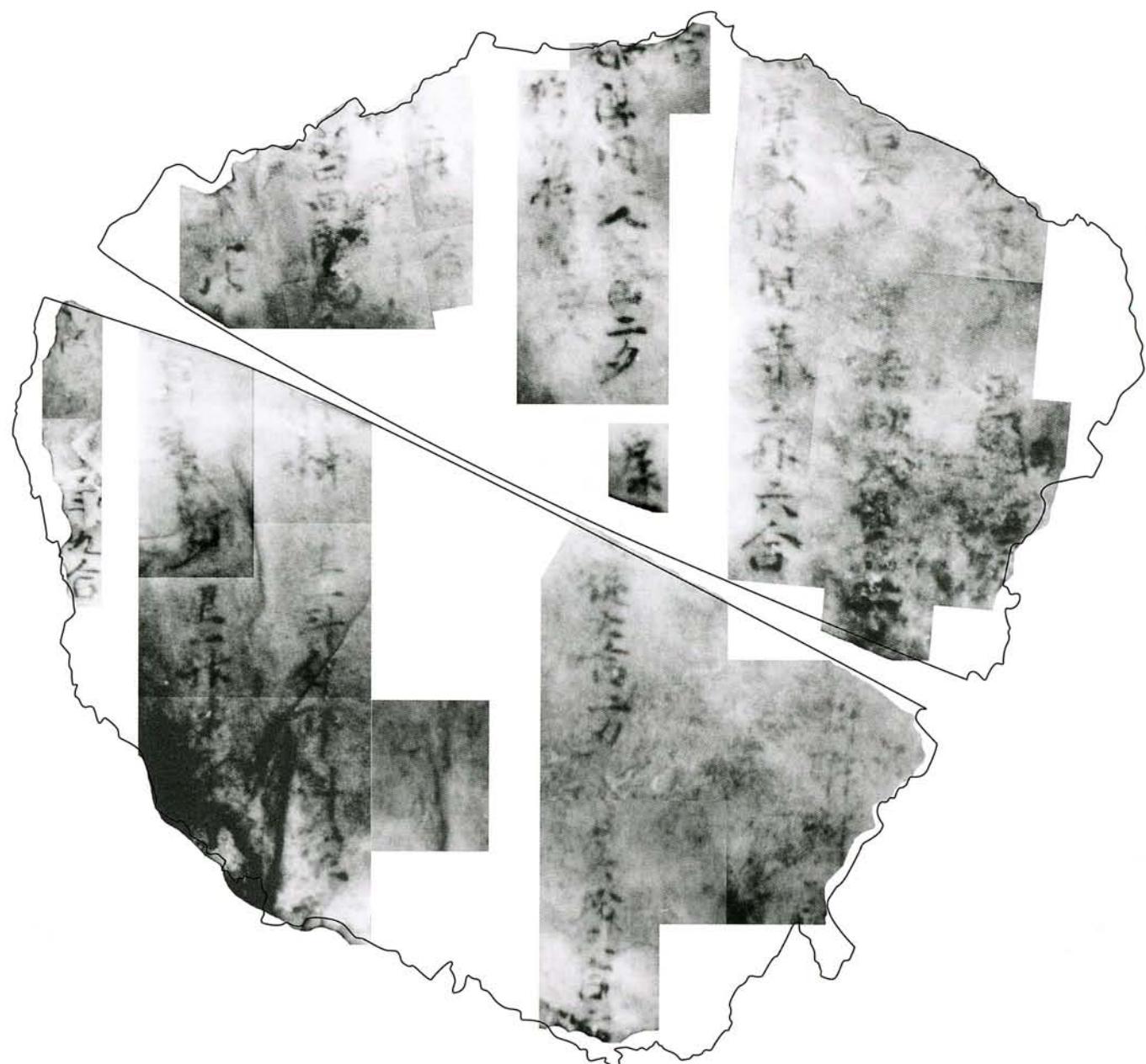
一〇行目一二文字目は「津」に似る。

一行目三文字目は「直」に似る。

全体に「斗・升・合・夕」の単位が確認できる。また、白・黒などの記載があることから「白米」「黒米」という米の単位と考えられ、本文書は食料支給の帳簿であると思われる。前半には軍毅・健児などの職掌名・人数・支給量などが記されるが、八行目を境として、白・黒の別が記されるようになり、一項目の記載量がやや多くなる。また、費目を示すと思われる「〇料」という表記がみえる。

前半の記載のうち、一人当たりの支給額が判明するのは六行目の「俘囚二人六合二夕」つまり俘囚一人当たり三合一夕、および「真成三合□」のみであるが、一人当たりの支給額が約三合と少ないとから、

ここに記されているのは一食分程度の食料支給と考えられる。多賀城作成であれば、国府での行事に参加した者への食料支給などが考えられる。訳語（三行目）については、いちおう職掌名とウヂ名とが考えられるが、六行目に「真成三合□」と人名のみの表記があること、および前半部分には「軍毅・健児」などの職掌名が見られることから考えると職掌名の可能性が高い。職掌としての蝦夷訳語は『続日本紀』養老六（七二二）年四月丙戌条に「征討陸奥蝦夷、大隅薩摩隼人等一將軍已下及有功蝦夷、并譯語人、授勳位各有差。」とあり、『日本三代実録』元慶五年（八八一）五月三日庚戌条に「征討陸奥蝦夷訳語外從八位下物部斯波連永野外從五位下」とあるなど、八・九世紀を通じてその存在が確認できる。陸奥国の健児（四行目）については、史料の初見が大同五（八一〇）年であり、大同元（八〇六）年頃に導入されたと考えられていることから（鈴木拓也「九世紀陸奥国の軍制と支配構造」『古代東北の支配構造』吉川弘文館、一九九八年）、本文書の作成年代は大同年間以降と考えられる。なお『延喜式』（兵部省）によれば、陸奥国に健児三三四人が置かれている。



赤外画像

二、釈文

漆の蓋紙として再利用され、そのまま廃棄されたもので、パレットとして使用した土師器に固形化した漆とともに付着している。土師器は口縁部を欠損しており、残存するのは漆が付着している部分のみである。

漆紙文書は下半を欠損し、不整形な半月形をしており、残存部分の法量は一三・二×一〇・八cmである。

文字は才モテ面に確認できた。文字の大きさは、大字が約〇・八cm四方、小字が〇・六cm四方で、行間は約一・五cmである。文字のほかに横界線が二本確認でき、界線の幅は一・三cmである。縦界線・印影は確認できなかつた。

三、内容

丁女	男
丁女	男
小子	
小女	

（横界線）

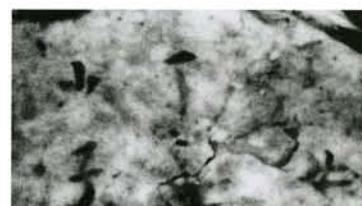
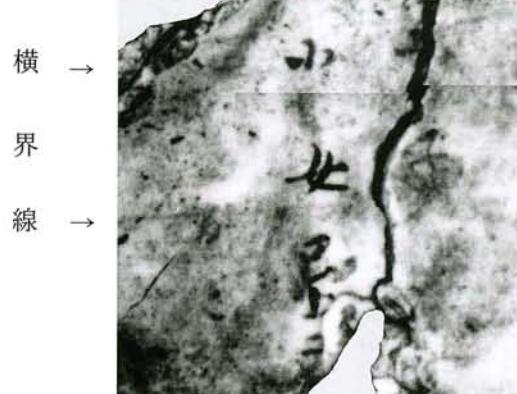
已上七口弘仁九年

已上二口

籍帳様の文書である。二本の横界線で区切られた欄に「丁女」「小子」などの年齢区分を記し、その下の欄に注記を記す。一・三・五行目の年齢区分の下には文字はない。また、文書の奥には二行分ほどの余白があるが、この部分にも文字は確認できなかつた。

一行目一文字目は一部文字を欠損するが「男」として間違いない。ここには年齢区分が記されるはずであるから、「男」のつく年齢区分として「中男」と推定できる（現存の籍帳のなかには「小男」という表記の例もあるが（『讃岐国戸籍』『大日本古文書』一一一一七～三一八など）、当文書には「小子」という表記が使用されていることから、「小男」はあたらない）。

注記の内容については欠損のため不明であるが、戸口の死亡や移動などの注記がなされたものであろう。現存の籍帳のうち類似の書式をもつものとして「陸奥国戸口損益帳」（『大日本古文書』一一三〇五）



第4号漆紙文書

三〇八) が挙げられる (岸俊男「いわゆる「陸奥国戸籍」の残簡」『日本古代籍帳の研究』塙書房、一九七三年などを参照)。

料紙に注目すると、本文書は年齢区分の記載が現存料紙のかなり上方に書かれているのが特徴的である。現存の戸籍・計帳のうち年齢区分が界線によって区切られる書式を持つものは、年齢区分が料紙の上ほどあるいはやや下方に位置するのが普通である。

漆の蓋紙として使用するには、現存部分の周囲にも紙が必要であるから、仮に本文書の年齢区分記載が料紙の中央にあるとすると、蓋をする際に下方の料紙が足りず、不都合を生じる。

前掲の「陸奥国戸口損益帳」は戸籍・計帳の例と異なり、年齢区分がかなり上方に記載されている。この帳簿が死亡や移来の情報を書き込むことを目的としたためであろう。試みに本文書の第一界線と、「陸

奥国戸口損益帳」の第二界線を重ねてみると、残存部分が料紙の縦幅のちょうど中央に位置し、界線の幅はやや異なるものの、文字の大きさ、行間等はほぼ一致することから、本文書の記載様式は「陸奥国戸口損益帳」と同様のものであるとみてよい。和銅年間より弘仁年間まで、同じ書式で戸口の移動がまとめられていた点が注目される。多賀

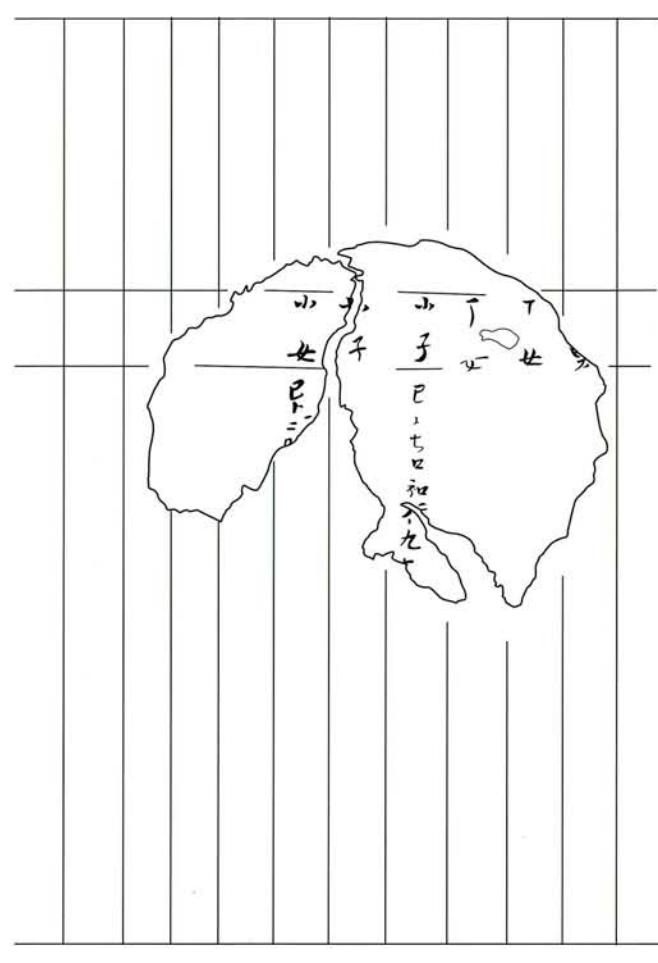
城市的山王遺跡第十二次調査SD一八〇出土の第一号文書は、郷里制下(七一七〇七四〇)の戸口損益帳案とみている。(『多賀城市文化財調査報告書第四五集 山王遺跡I』一九九七年)

「戸口損益帳」は造籍から次の籍年までの戸口の異同を集計したものであるから、この文書が「戸口損益帳」であるとすれば、一次利用された時期は弘仁九(八一八)年以降の最初の造籍年まで、ということになる。平田耿二氏によると弘仁三(八一二)年の造籍後、次の籍年である弘仁九年の造籍は史料で確認できないが(平田耿二「平安時代

の戸籍について」『日本古代籍帳制度論』吉川弘文館、一九八六年の五一二頁第四九表を参照)、和銅元(七〇八)年の造籍のために作成されたとされる「陸奥国戸口損益帳」には、大宝二(七〇二)年から和銅元年までの注記がみられることから、当文書が「戸口損益帳」であるとすれば、弘仁九年の注記を持つ当文書は弘仁九年の造籍を裏付ける史料としてよいだろう。ただし、当文書には弘仁九年の注記しか確認できないことなどから、単年度の集計である可能性を考慮する必要がある。

一〇四行は、一行目以前に三人分の記載を欠き、一戸内における計七人分の異同を抜き出したものと考えられるが、この部分は男女順の配列になつてない。人名や続柄の記載を欠くため判然としないが、養老五年下総国戸籍のように戸主との親等順に配列されていたか。

なお陸奥国の籍帳の書式については、養老五年までは御野型の書式(男女順に配列)であり養老五(七二一)年に全国的に書式の統一が行われるという指摘がある(平川南「古代の籍帳と道制」『九州史学』一六、一九九六年)。



陸奥国戸口損益帳の界線(模式)と見取図



現況(S=1/2)

【ウルシ面】

一、形状

断片であるが、片面にのみ漆の付着が認められるので、蓋紙として再利用された文書の一部であろう。法量は九・五×五・二cmである。

両面に文字が確認でき、オモテ面の文字の大きさは約一・〇cm四方、行間は約一・五cm、ウルシ面の文字の大きさは約一・〇cm四方、行間は約一・二cmである。

二、釈文

【オモテ面】

□ □□□
一 (縦墨線)

並曹備

□ □十
□

オモテ面の一行目は文字の左端が微存している。
二行目には、「二」字の直下より墨線が引かれている。
四行目一文字目は文字を欠損しているが、二・五行目からこのに数字が入るとすれば「十」が近い。
「物品名+数量」という書式が想定される。「並曹備」とは、「(以上の物は) みな曹司に備えられている」の意味か。
曹司については、山王遺跡から「西曹司」墨書土器(『山王遺跡III』宮城県教育委員会)、多賀城跡(SK-100六土壤)から「曹司」墨書土器(『宮城県多賀城跡調査研究所年報』一九九〇)の出土例があり、多賀城内およびその周辺に曹司が存在していたことが知られる。
以上よりオモテ面の内容は、物品の数量と保管場所をまとめた帳簿と考えられる。また、謹直な文字で書かれていることから、一時的な控えなどではないであろう。

ウルシ面は堪田などの田積を記した帳簿である。四行目以降は、漆

□十□

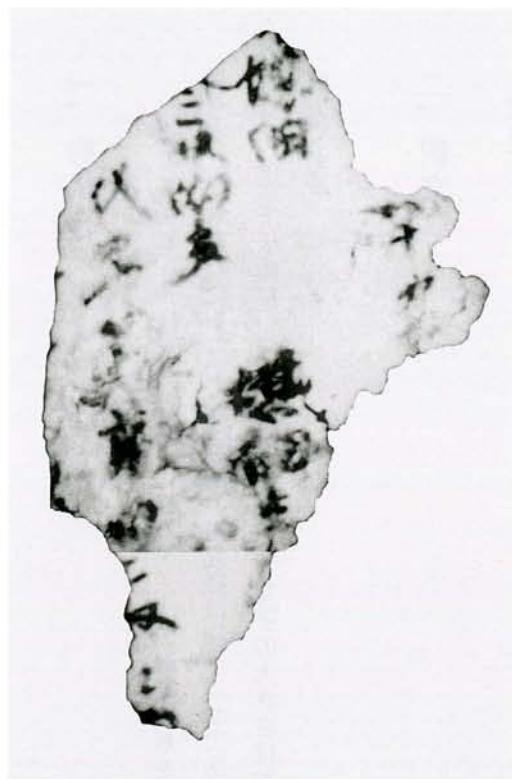
□堪田 堪田壹

参段伯歩

〔田力〕
□代□□□□□一 段三

□□

三、内容



ウルシ面



才モテ面

第5号漆紙文書

付着のため墨痕が明瞭でない。

文字の謹直さからオモテ面が一次利用面であると判断される。

第六号漆紙文書 SK1343 (C区)

一、形状

一点を接合し、長径一・五×短径九・三cmのほぼ円形をしている。

折らずに廃棄されたもので、漆容器の復元径は約一・二cmである。

文字はオモテ面に一行のみ確認できた。文字の大きさは約一・五cm四方である。

二、釈文

宝亀三年

三、内容

右端に年号のみが確認された。宝亀三年は七七一年にあたる。漆紙の状態からは、他の部分がとくに磨滅しているようには見えないところから、墨痕が確認できない部分は余白のまま廃棄されたものと考えられる。年号は文書の末尾部分にあたるか。



第6号漆紙文書

二、釈文

一、形状

四点の小片を接合した大きな断片一点と、小断片、および多数の細片からなる。文字を確認できた断片は五点、墨痕を確認できた断片は三点である。確認できた文字はすべてウルシ面に書かれたものであるが、文字は赤外線カメラによつてもウルシ面からは確認することができず、オモテ面から左文字で確認することができた。

文字が確認できた断片の法量は①一一・二×一〇・五cm、②四・九×四・〇cm、③三・六×二・八cm、④三・七cm×二・五cm、⑤三・三×二・四cmである。文字の大きさは約一・五cm四方、行間は約二・五cmで、各断片ともほぼ共通している。界線や印影は確認できなかつた。

墨痕が確認できた断片の法量は、⑥一・一×〇・八cm、⑦一・四×一・二cm、⑧〇・九×一・三cmである。

なお、漆紙文書のほか一・五×一・三cmほどの漆が付着した布の小片が共伴している。

□ ⑤ □ ④ □ 状 □ 到 □ □ ②

□ □ □ □

延暦九年七月廿□

□ □



①

第7号漆紙文書 ① (オモテ面からの反転実測)

三、内容

①二行目九文字目は、残画からは「九」あるいは「五」が近い。三・四行目には墨痕が認められる。文書末尾の年紀・署名部分にあたるか。

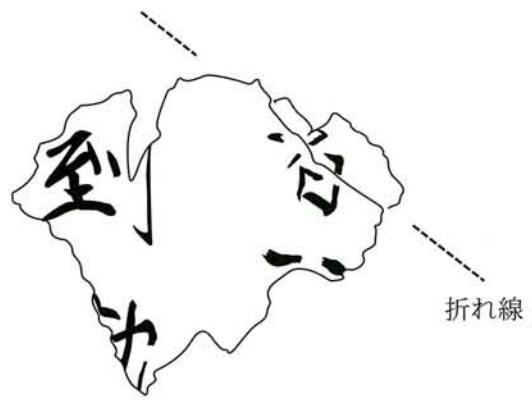
③一行目一文字目は文字の上半が残存しており、残画は「其」に似る。

④一文字目は文字が半存しており、残画からは「軍」が近い。

⑤一・三文字目は墨痕が確認できる。二文字目は字形からは「長」が近い。



⑤



②



③



⑧



⑦



⑥



④

第7号漆紙文書 ②～⑧

二、釈文

① 依忽

米

三片を接合した大断片と三つの断片、三つの小片の計七点からなる。
うち三片の才モテ面に墨痕が確認できた。

①三片を接合した大断片で、法量は九・三×七・八cmである。当文
書は蓋紙として再利用され、のちにウルシ面を内側にして折られて廢
棄されたもので、一・二行目の間に縦方向の折目が確認できる。文字
は才モテ面にあり、大きさは約一・五cm四方、行間約三cmで界線や印
影は確認できなかつた。

②

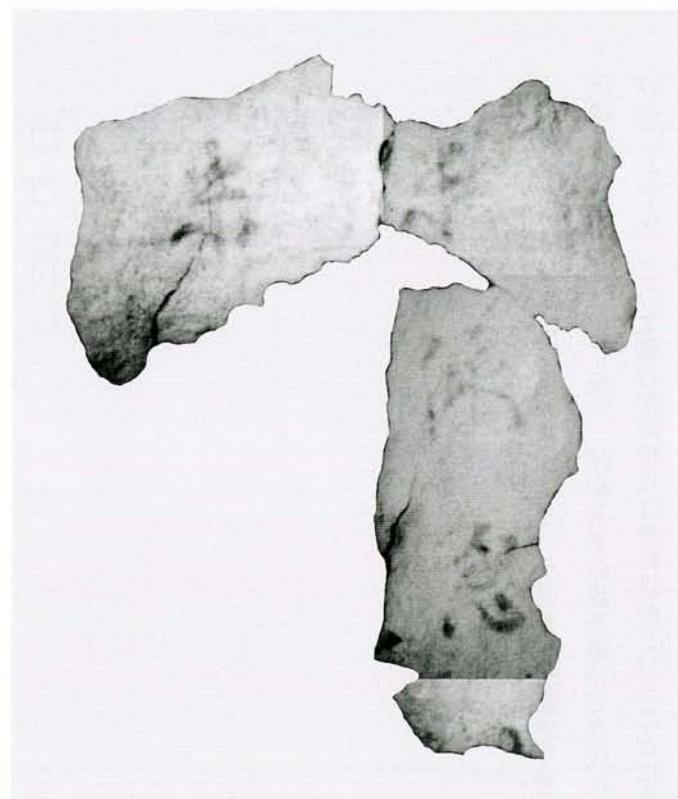
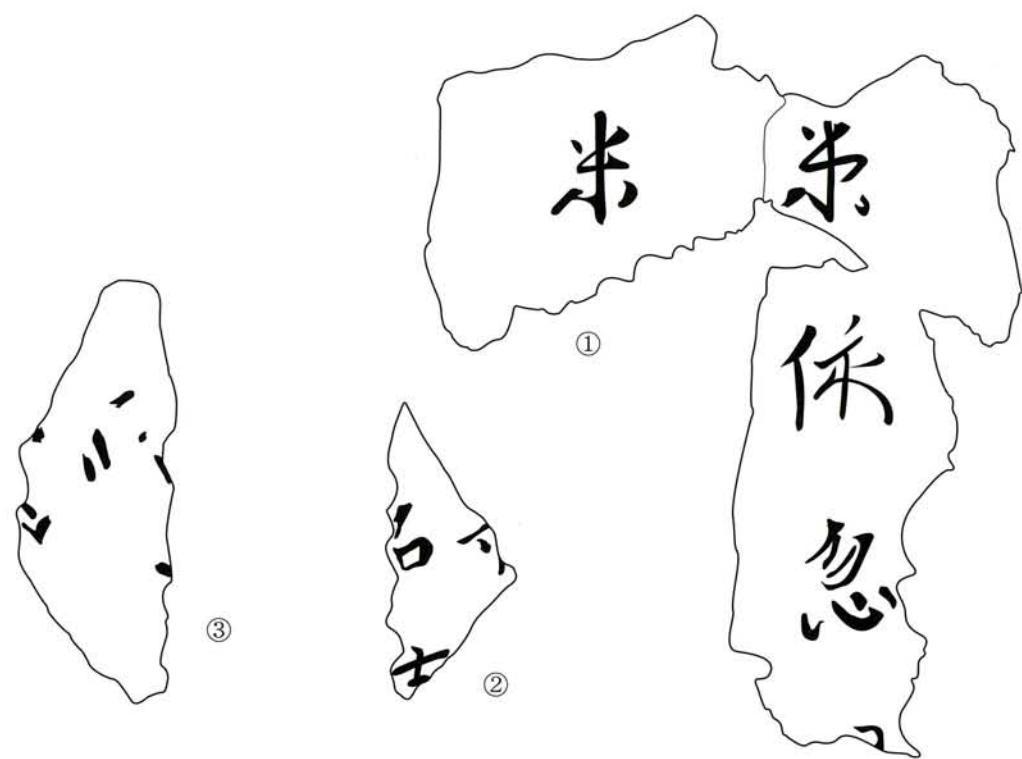
（墨痕）

②長径四・〇cm×短径一・三cmの小片で、才モテ面に墨痕が確認で
きるが、いずれの文字も欠損しており、判読できなかつた。

③長径五・八cm×短径二・一cmの小片で、才モテ面にわずかに墨痕
が確認できる。

三、内容

①謹直な文字であるが内容は不明である。



第8号漆紙文書

一一、釈文

【ウルシ面】

六片を接合した断片 (一三・九×六・五cm) と三点の小片からなる。もつとも大きな断片については両面に文字を確認できた。ウルシ面には二行確認でき、文字の大きさは約一・〇cm四方で、行間は約一・二cmである。界線や印影は確認できなかつた。

当文書は、ウルシ面を内側にして折られて廃棄されたものである。断片は折られた状態で出土したが、その後の調査時に折目がはがれ、ウルシ面の紙質の一部が左右に分かれてしまつてゐる。そのため、折目より左半の文字は左文字でみえてゐるが、これはもと右半の文字と同一の面に書かれていたものである。左半に文字の有無は確認できなかつた。なお釈文は本来の文字の位置を復元して示した。

□□□□
□□□

大伴部□□
□□□□□

一、形状

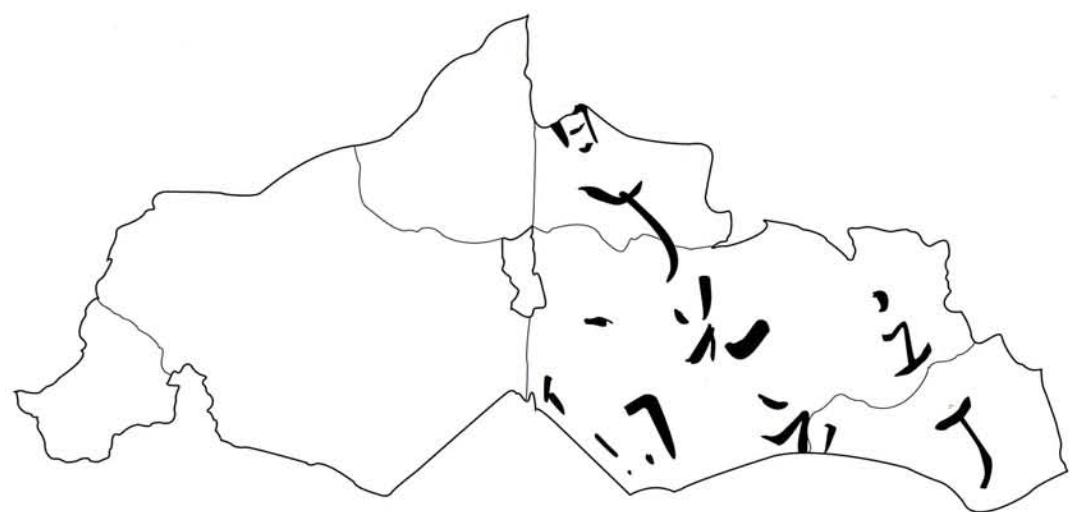
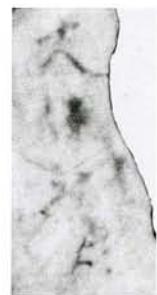
三、内容

ウルシ面の一行目には「大伴部」というウヂ名が確認できた。大伴氏は弘仁十四(八二三)年に、淳和天皇の諱を避けて伴氏に改姓していることから、この文書の作成年代はそれ以前ということになる。

二行目二文字目は「うかんむり」が確認できる。

オモテ面については、墨痕は明瞭であるがいずれの文字も欠損しており、判読できなかつた。文字の大きさは約一・五cm四方で行間は約二・〇cmである。

小片のうち一点 (一・八×〇・七cm) には墨痕が確認できた。



第9号漆紙文書（上：ウルシ面、下：オモテ面）

第一〇号漆紙文書 SD1411 (C区)

二、釈文

□□□

□□

□ 私 □□

□□□

□□□

【参考 釈文復元案】

(※漆の周縁に沿つて文字の断片あり)

漆のパレットとして使用した土器の蓋紙として再利用され、そのまま土器とともに廃棄されたもので、土器底部の直径10cmほどの範囲に漆と紙質の断片が付着している。土器の口径は13・5cmで一部欠損している。

土器底部に残るやや大きい紙片に左文字で数文字が確認できた。つまり文字はウルシ面に書かれていることになる。確認できた底部の文字の大きさは一・五cm四方、行間は一・五cmであるが、釈文の一・二行目は文字が重なっているように見え、判然としない。

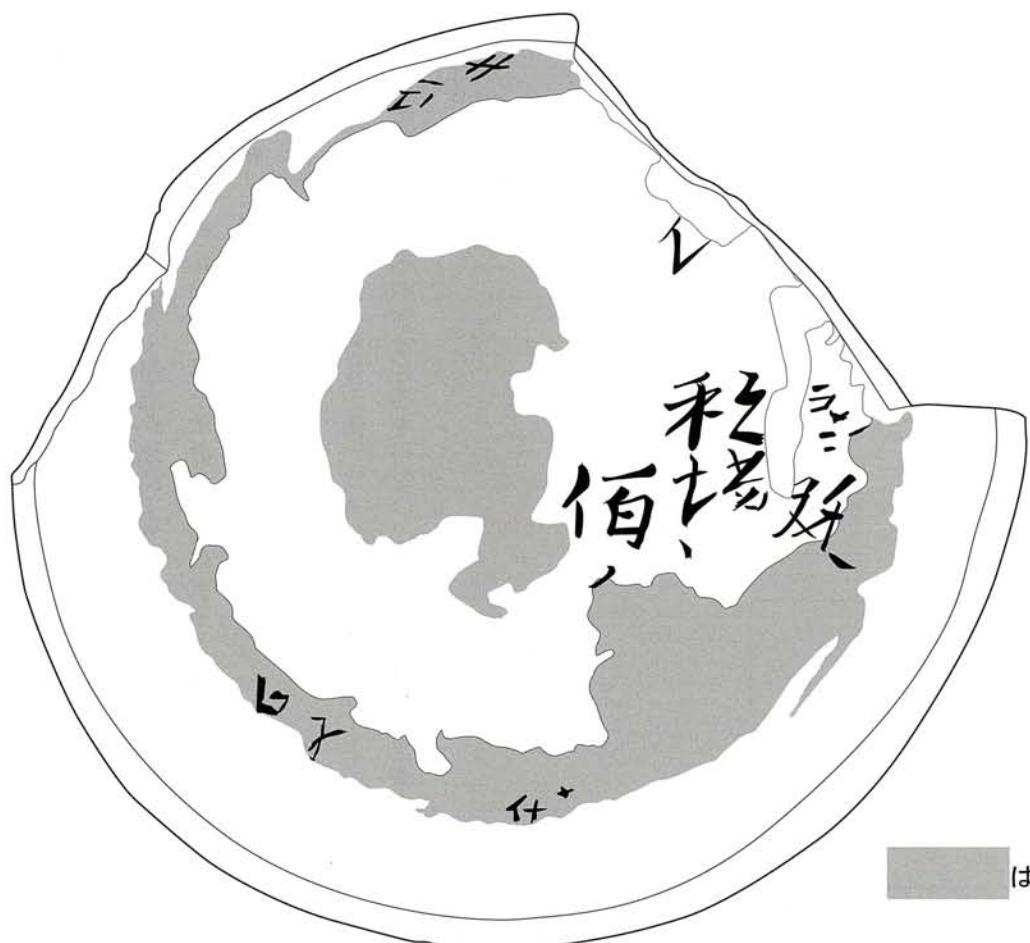
また、漆の周縁に沿つていくつかの墨痕（左文字）を確認できた。この部分には紙質は残っていない。なお、周縁の文字はどの行の何文字目であるかを断定できないので、釈文中に示していない。前記の文字の大きさ、行間で均等に割り付けた際の復元案を示しておくので参考にされたい。

三、内容

一行目二文字目では「のぎへん」であろう。二行目二文字目に一部重なる。

三行目三文字目は「つちへん」および旁の一部が明瞭に確認できるが、判読できなかつた。

文書の内容については不明とせざるをえない。



赤外画像



現況写真 (S=1/2)

第10号漆紙文書 (反転復元)

第一二号漆紙文書 SD2386g (D区)

二、釈文

一、形状

多数の小片からなる。文字・墨痕が確認できた断片については、別表に法量を示した。ウルシ面・オモテ面の両面に文字・墨痕を確認でき、「健児」「勝」「繩」など複数の断片に共通する文字がみられるが、文字の大きさは均一ではなく筆跡も複数存在するため、同一の文書であるかは不明である。また、ウルシ面・オモテ面の利用関係、および文書の内容についても不明とせざるを得ない。ただし、付着した漆の状態はよく似ている。

番号	法量 (縦×横)	備考
1	3.2×2.5	
2	2.8×3.0	
3	4.0×3.2	
4	3.5×4.0	
5	1.9×5.6	
6	2.6×1.7	
7	2.6×2.2	
8	1.5×4.2	
9	1.7×3.3	
10	2.0×1.3	
11	1.7×1.4	
12	2.3×2.0	
13	1.8×1.3	
14	1.5×1.1	
15	1.5×1.6	
16	1.3×1.6	
17	2.9×2.3	墨痕
18	1.8×2.5	墨痕
19	1.8×2.0	墨痕
20	1.9×0.6	墨痕
21	1.6×1.5	墨痕
22	1.7×1.6	墨痕
23	1.5×1.1	墨痕
24	1.1×1.6	墨痕
25	1.2×1.8	墨痕
26	1.1×0.9	墨痕

②
〔オモテ面〕
□西□

①
〔オモテ面〕
□□

〔ウルシ面〕
勝
□西□

〔ウルシ面〕
□□

〔オモテ面〕
③
□健児□

〔ウルシ面〕
□□

〔オモテ面〕
③
□柴□

〔ウルシ面〕
□□

〔オモテ面〕
④
□□

〔ウルシ面〕
□□

繩
〔ウルシ面〕
□□

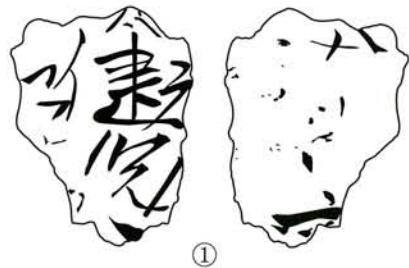
館
〔ウルシ面〕
□□

〔オモテ面〕
□□

〔ウルシ面〕
□□



才モテ面

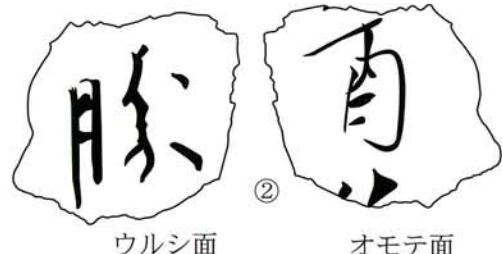


ウルシ面

才モテ面

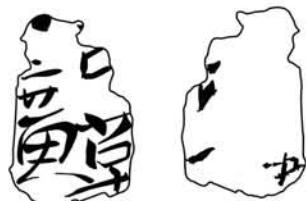


⑤
ウルシ面



ウルシ面

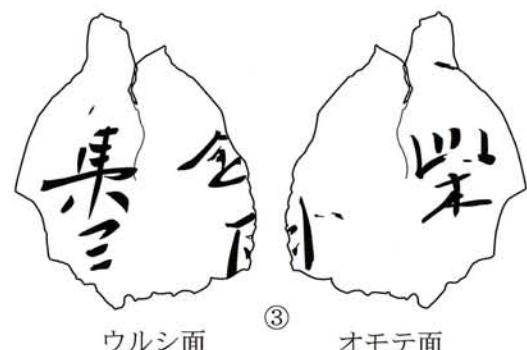
才モテ面



ウルシ面

⑥

才モテ面



ウルシ面

③

才モテ面



⑦
ウルシ面



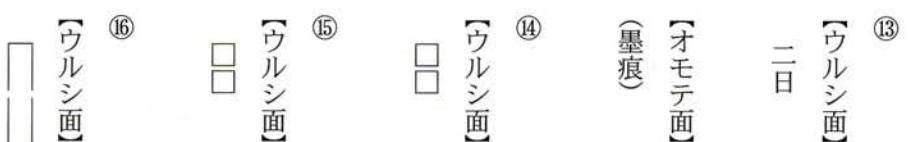
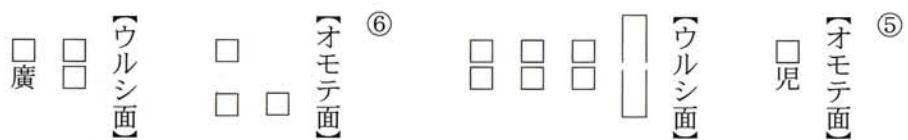
ウルシ面

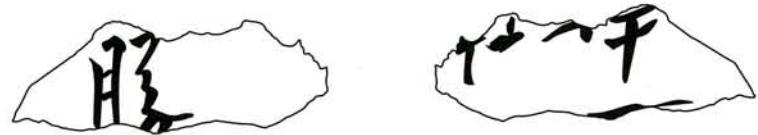
④



才モテ面

第11号漆紙文書 ①~⑦





⑧ ウルシ面 ⑧ オモテ面



⑬ ウルシ面 ⑬ オモテ面 ⑨ ウルシ面 ⑨ オモテ面



⑭ ウルシ面 ⑩ ウルシ面 ⑩ オモテ面



⑯ ウルシ面 ⑪ ウルシ面



⑯ ウルシ面 ⑫ ウルシ面

第11号漆紙文書 ⑧～⑯

三、内容

- ①ウルシ面の文字の大きさは約一・二cm四方。一・二行目の文字は一部重なる。「健児」の文字が確認できることより、当文書の作成年代は大同年間以降と考えられる（第三号文書参照）。
- ②ウルシ面・オモテ面ともに文字の大きさは約二cm四方。
- ③ウルシ面・オモテ面ともに文字の大きさは約一・二cm四方。オモテ面の「柴」字は柴田郡に関わるか。
- ④ウルシ面・オモテ面ともに文字の大きさは約一・五cm四方、行間は約二cm。ウルシ面一行目末尾の文字は「廿」に似る。二行目には「繩」とあり、器仗に関する記述か。オモテ面は「館」字は明瞭に確認できるが、その上の文字は判読できなかつた。
- ⑤ウルシ面の文字の大きさは約一・二cm四方、行間約一・八cm。三分が確認できたがいずれの文字も判読できなかつた。二行目二文字目は「柴」の上半に似る。三行目一文字目は「毅」に似る。オモテ面には「児」字が確認できた。あるいは「健児」か。文字の大きさは約〇・八cm。
- ⑥ウルシ面の文字の大きさは約一・五cm四方、行間は約一・五cm。一・二行目の文字は一部重なる。一行目二文字目は「かわへん」が確認できる。
- ⑦文字の大きさは約一・二cm四方。二行目は各文字の一部を欠くが「健児」として間違いない。
- ⑧ウルシ面の文字の大きさは約一・五cm四方。オモテ面は文字の上半を欠く。
- ⑨いざれも文字の一部を欠く。オモテ面二行目は「馬」に似る。

⑩ウルシ面に「繩」の右半が残る。オモテ面二文字目は「庭」に似る。

⑪文字の大きさは約一cm四方。一行目二文字目は「乘」に似る。

⑫上記以外の断片については、文字の一部を欠くか、墨痕が確認できるのみで、文字の大きさ等を測定できなかつた。

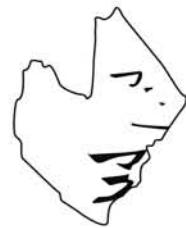


ウルシ



⑯

オモテ



⑯ オモテ面



ウルシ面 ⑯ オモテ面



⑯ ウルシ面



ウルシ面



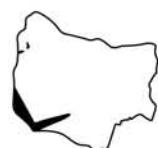
⑯ オモテ面



⑯ ウルシ面



ウルシ面



⑯ オモテ面



⑯ ウルシ面



⑯ ウルシ面



⑯ オモテ面

第11号漆紙文書 ⑯～⑯

二、釈文

一、形状

いくつかの断片を接合した大きな断片四点と、四×三cmほどの断片三点、および多くの小断片・細片からなる。大きな断片のウルシ面には、固形化した漆が筋状に付着していることから、蓋紙の周縁部にあたると考えられる。小断片はいずれも漆の付着が少ない。

文字・墨痕が確認されたのはそのうちの三点で、いずれも才モテ面である。法量は①八・二×三・五cm、②三・八×二・三cm、③二・八×一・七cmで、①は明瞭に「寶」字が確認でき、文字の大きさは約一・五cm四方である。「寶」の上には一~二文字分の余白がある。なお、○区からは「宝龜三年」の年紀を持つ漆紙文書（第六号）が出土していることを参考にすると、①についても年号「宝龜」の可能性がある。②③はいずれも墨痕で判読に至らなかつた。いずれにも界線・印影は確認できなかつた。

また、紙継目とみられる、幅〇・三cm、長さ一・三cmほどの帯状の凸部をもつ小断片（法量は一・六×〇・八cm）が存在する。その糊代の幅からは非常に丁寧な紙継であるといえ、当文書が公文書である可能性が指摘できる。

□ ③ □ ② 寶 ①



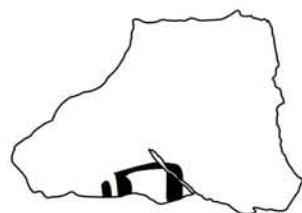
①



①赤外画像



③



②

第12号漆紙文書

第一二号漆紙文書 SX1812 (A区)

一、形状

三片を接合した断片 (八・九×六・三cm) と十一点の小片 (墨痕なし) からなる。最も大きな断片のうち紙質が残っている部分は、才モテ面左半の六・七cm×二・五cmほどの部分で、大部分の紙質は失われている。紙質が残る部分に文字が半存している。

文字は一行四文字が確認できた。文字の大きさは約一・〇cm四方で字間は約一・五cmである。界線や印影は確認できなかつた。

枚

二、釈文

(才モテ面)
部□□□

三、内容

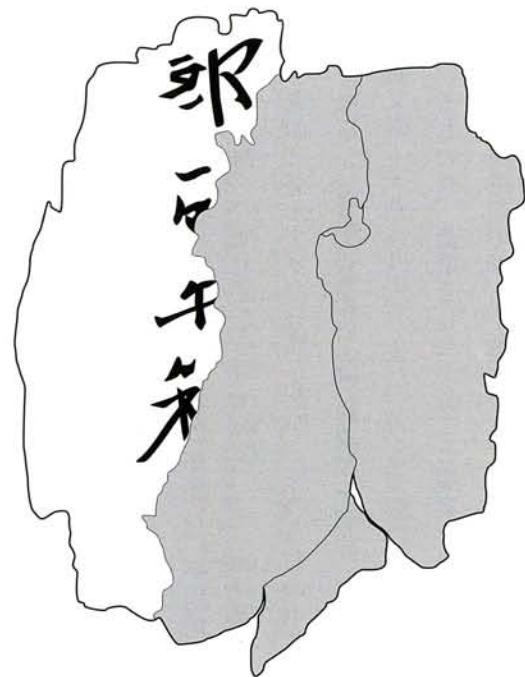
二文字目は残画からは「成」が近いか。
四文字目は残画からは「しめすへん」と考えられる。

第一四号漆紙文書 43区第IV層 (A区)

一、形状

多数の小片よりなる。一点の小片 (二・八×一・三cm) には才モテ面に文字が確認できた。文字の大きさは約一・〇cm四方である。

その他数点の小片に墨痕が確認できた。



■ は漆膜部分

第13号漆紙文書



第14号漆紙文書

まとめ

市川橋遺跡からは計一三点の漆紙文書が出土した。うち文書の作成年代を知りうるものは以下のとおり。

(1) 文書に紀年を有するもの

第六号：宝亀三（七七二）年

第一二号：宝亀（七七〇～七八一）か

第七号：延暦九（七九〇）年

第四号：弘仁九（八一八）年

(2) 文書の内容より年代が推定できるもの

第二号：宝亀二（七七一）年以降

第三・一一号：大同年間（八〇六～八一〇）以降

第九号：弘仁十四（八二三）年以前

年代を知りうる文書の作成年代は七七〇年頃から八二〇年頃までに収まり、他の文書や遺構の年代を考えるうえで参考になろう。

また、文字が確認できなかつた蓋紙も含めると、漆容器の直径が復元できるものについては直径一五cm前後のものが多い。平川南氏は、漆液を入れた容器（曲物）の推定径を一四cm前後、二二cm前後、三三cm前後の小・中・大の三グループに分類したが、そのうちの小グループに属することになる（『漆紙文書の研究』総論第一章註（6）、六〇六一頁、吉川弘文館、一九八九年）。また、ウルシ面に固形化した漆が厚く付着しているものや、蓋紙をした土器ごと廃棄されたものもみられることから、当遺跡周辺では、下地塗りなどに用いる漆が、同時に大量に使用された状況が推測される。

また、内容の判明する文書についてはいずれも陸奥国府多賀城で作

成されたものと考えられ、明確に多賀城以外の施設で作成されたと分かる文書は存在しない。

なお、漆紙文書は文書の保管や移動を考慮せねばならず、文書の作成年代と蓋紙としての利用の年代が必ずしも近いとは限らない点に十分に留意する必要がある。

三 墨書・刻書土器について

凡例

一、墨書土器については、筆のはしりが認められるものはできるだけ採録した。したがつて破片資料も多数含まれている。それ以外の墨付や転用硯などの墨痕については墨書土器の範疇に含めていない。

一、刻書土器については、焼成前の土器に刻んだものを「ヘラガキ」、焼成後の土器に刻んだものを「線刻」と称して区別し、土器に刻む行為の総称として「刻書」の呼称を用いている。

一、本節中において掲載した実測図は、本編から必要に応じて抜粋したものである。縮尺は本編と同じく三分の一である。写真図版については、基本的には墨書の点数は任意の縮尺である。写真図版については、基本的には墨書の天地を基準に掲載した。

一、対象となつた土器については、「墨書・刻書土器一覧表」として掲げ、器種・遺構・層位・文字内容・記載部位・記載方向などをまとめた。

ここでは、若干の傾向を述べる。

墨書は一文字あるいは二文字の墨書が圧倒的に多い。また、それぞれの墨書の出土地には際だつた傾向などはとくにみられず、同一文字の点数もそれほど多くない。そのなかで、SE一六七三井戸跡やSD一六七九溝跡を中心としたA一一区周辺からは「奈」字が多く出土している。他地区に比べると完形品の割合も高い。ただし、意味は現時点では捉えにくい。

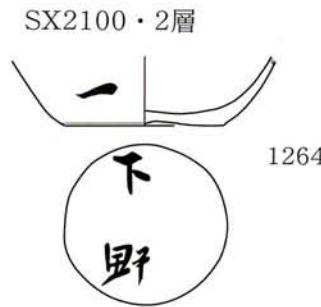
記載された文字の種類、内容は実に多彩である。たとえば地名では

「日理」・「下野」などがある。そのほか、「□郡」と底部にヘラガキされたものもある。人名には「田郷丈部（以下欠）」と記されたものや「中成」「石成」や「秦」「麻呂」などが見られる。あるいは「厨」や「宅」「家」「舍」「政所」などの施設名、「酒」や「魚」などの用途を記したもの、「得万」や「福」「富」「万福」などの吉祥句などもある。また五芒星「☆」の魔除け記号も出土している。横画五本と縦画四本で示すいわゆる「九字」は確認できなかつたが、「井」が出土している。井戸を示す「井」である場合もあるが、井戸跡からの出土は確認できない。したがつて、これは魔除け記号と考えてよいだろう。「神悦」と記されたものも二点出土しているが、文字どおり捉えるならば、神への饗応を示すものであろう。

神への饗応を示すものとしては、ほかに「身代／酒」、「身代／盛」と記された土器がある。これらは下総国を中心とした東国地域に多く見られる墨書土器と共通した記載様式である。いすれも破片資料であるが、「身代」は体部に横位で記され、「酒」・「盛」は体部に正位に記されている。これは、いわゆる多文字墨書土器とされ、「日本靈異記」（中巻一一四）にみえる説話



717



1264

SE1671

𠂔

239

𠂔

240

𠂔

241

SX1812 · 4b層

𠂔

545

𠂔

665

SD2386d

𠂔

954

𠂔

1016

𠂔

2940

SX2365 · 4層

𠂔

1002

𠂔

1004

𠂔

1173

𠂔

1193

𠂔

2961

SD1768a SD2344b

SX1667B

𠂔

111

𠂔

890

𠂔

710

SD1652

SD1667B

SX1667C

𠂔

286

𠂔

313

𠂔

314

𠂔

885

𠂔

766

SD2163 · 2層

SX1812 · 4c層

SX1667C

83区X56

泰

343

泰

(体部) 579

泰

泰

泰

1289

SX1667B

SX2365 · 5層

SX2100 · 2層

SX2365 · 4層

泰

722

泰

1065

泰

1267

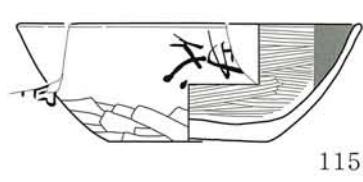
泰

1270

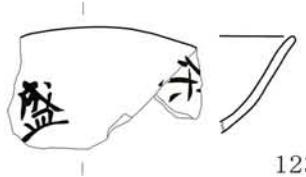
泰

1006

SD1768c

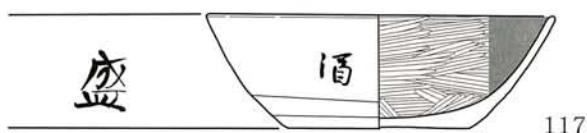


115



123

SD1768c



117

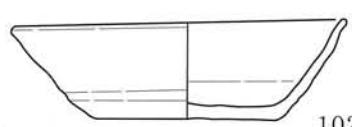
SX2365・4層



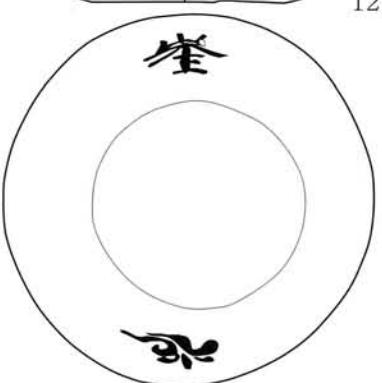
1019



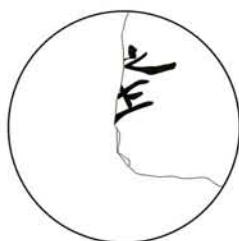
1210



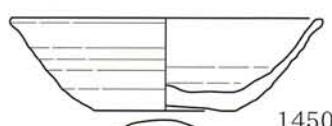
1022



1021



SX1900



1450



を手がかりに理解されている。すなわち「身（＝形＝方＝命）十召十代（替）」という表現形式を持ち、冥界の閻魔王に飲食物を饗應することによつて死を免れようとする信仰・祭祀と深く関わつてゐることを示すものである。また、饗應する飲食物は「酒」であり、器に盛つた状態で字を認識できるよう正位で記しているものと考へられよう。「盛」の場合も、「盛 酒」と記された墨書土器がほかに出土していることを考へれば、同じく酒を盛つたものと考へてよいだろう。則天文字の墨書も確認することができた。則天文字とは、周知のとおり、武周の則天武后が制定し、使用させた文字である。今回の調査地区からは、「塗」（地）、「塗」（人）が出土している。特に塗（地）についてはSX二三六五・四層から、四点出土している。正位で体部に記されたものが一点、底部に記されたものが三点である。記載部位は異なるものの、いずれも体部に記号を伴つてゐる点が注目される。体部に同様の記号が記されているものが一点出土している。破片であるため詳細は不明とせざるを得ないが、これも則天文字「塗」を体部なし底部に伴つたものと考へられよう。

SE1673・3層



SE1673・1層



SE1673・2層



SD1679



SE1673・3層



SE1673・4層



その他の墨書



「奈」字形集成

付表 墨書・刻書土器一覧

〔凡例〕

一覧表中の「文字」の欄で使用した符号の凡例は次のとおりである。

- 「□」 ……釈読は困難だが、一文字記載されていることが確認できたもの。もしくは字数は不明であるが、明らかに墨書ないし刻書・漆書がなされていることが確認できたもの。
- 「□□」 ……釈読は困難だが、文字数の確認できるもの。
- 「□・□」 …同一の部位に記載されているが、熟語ではなく一字ずつで意味を持つと判断したもの。
- 「□／□」 …異なる部位に記載されていることを示す。
- 「□〔カ〕」 …文字を確定しがたいもの。
- 「□（ ）」 …墨書・刻書・漆書の別を記す。ただし墨書に関しては必要な場合のみ記す。
- 「□（ ）」 …文字の内容に関する注記。

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
土師器	甕	SD 1767a 2	人面墨書	体部外面	正位	眉か	62	A 5061
須恵器	杯	SD 1767b 2	「三□」	底部外面	/	二文字目「国」などか	2245	A 5108
土師器	杯	SD 1767c 3	「永」	底部外面	/		63	A 5062
土師器	杯	SD 1767c 3	「上」(墨書) / 「X」(ヘラガキ)	底部外面/底部内面	/		65	A 5067
須恵器	杯	SD 1767c 3	「依知」	体部外面	横位		67	A 5064
土師器	甕	SD 1767c 2	人面墨書	体部外面	正位	2面	69	A 5490
土師器	甕	SD 1767c 3	人面墨書	体部外面	正位	4面	70	A 5489
須恵器	杯	SD 1767c 3	「紀」	体部外面	正位		3198	A 5114
土師器	杯	SD 1768a 2	「今」(墨書)・「□」(線刻)	底部外面	/	門構えの文字	110	A 5503
土師器	杯	SD 1768a	「宅」	底部外面	/		111	A 5065
土師器	杯	SD 1768c 2	「□〔大力〕」	体部外面	倒位		114	A 5007
土師器	杯	SD 1768c 2	「酒」・「身代」	体部外面	正位・横位		115	A 5069
土師器	杯	SD 1768c 2	「酒」・「盛」	体部外面	正位		117	A 5009
土師器	杯	SD 1768c 2	「盛」・「身代」	体部外面	正位/横位		123	A 5008
土師器	杯	SD 1768c 2	「酒」・「□」	体部外面	正位・横位		2247	A 5066
土師器	杯	SD 1768c 2	「□」	底部外面	/		2248	A 5070
須恵器	杯	SD 1768c 1	「□」	底部外面	/		2249	A 5112
須恵器	杯	SD 1768c 3	「□〔林力〕」	底部外面	/		2250	A 5113
土師器	杯	SD 1768c	「□」	体部外面	正位力		2251	A 8104
土師器	杯	SD 1768d 2	「□」	体部外面	/		2252	A 5060
須恵器	杯	SD 1768d 3	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2253	A 5073
土師器	杯	SD 1768d 2	「□判」	体部外面	正位		2254	A 5115
須恵器	杯	SD 1768f 4	「夫」	底部外面	/		131	A 5068
須恵器	杯	SD 1768f 2	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2255	A 3436
土師器	杯	SD 1768f 3	「二」	体部外面	正位		2256	A 5059
土師器	杯	SD 1768f 1	「□」	体部外面	/		2257	A 5063
須恵器	杯	SD 1768f 4	「十」	体部外面	正位		2258	A 5110
須恵器	杯	SD 1666c 1	「□」	底部外面	/		2259	A 2127
土師器	杯	SD 1666e 1	「□」	体部外面	/		2260	A 2118
土師器	杯	SD 1666e 1	「□」	体部外面	正位力		2261	A 2120
須恵器	杯	SD 1666e 1	「□」	体部外面	/		2262	A 2125
須恵器	杯	SD 1666e 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2263	A 2135
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		163	A 1756
須恵器	高台付杯	SD 1701b 1	「六」(ヘラガキ)	底部外面	/		168	A 2132
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		2264	A 1602
土師器	杯	SD 1701b 1	「□□」	体部外面	横位	二文字目福か	2265	A 2117
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		2266	A 2119
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		2267	A 2121
須恵器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		2268	A 2128
須恵器	杯	SD 1701b 1	「中成」	底部外面	/		2269	A 2129
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	/		2270	A 2567
土師器	杯	SD 1701b 1	「□」	体部外面	正位		2271	A 4960
土師器	杯	SD 1703a 1	「*」(ヘラガキ)	底部外面	/		172	A 307
須恵器	瓶	SD 1703b 2	「(記号)」	底部外面	/		178	A 290
土師器	杯	SD 1703f 1	「□」	体部外面	正位		183	A 276
須恵器	杯	SD 1704a 3	「六」	底部外面	/		189	A 277
須恵器	杯	SD 1704a 3	「舍人」	体部外面	横位		191	A 282
須恵器	杯	SD 1704a 3	「□」	体部外面	倒位力		2272	A 281
土師器	杯	SE 2421 挖り方埋土	「□」	底部外面	/		211	A 279
土師器	杯	SE 2421 1	「□」	体部外面	/		2273	A 283
土師器	杯	SE 2421 側内埋土	「大山」	体部外面	正位		212	A 289
土師器	杯	SE 2299 側内埋土 2	「勢」	体部外面	正位		219	A 288
須恵器	杯	SE 2299 抜き穴	「□」(ヘラガキ)	底部外面	/		2274	A 362
須恵器	杯	SE 2148 側内埋土 1	「大方」	体部外面	正位		226	A 2152

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 2	「口〔大力〕」	体部外面	/		2275 A	2147
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 3	「口」	体部外面	/		2276 A	2148
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 4	「口」	体部外面	/		2277 A	2149
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 5	「口」	体部外面	/		2278 A	2150
須恵器	杯	SE 2148 側内埋土 6	「口」	体部外面	倒位力		2279 A	2151
須恵器	杯	SE 2148 側内埋土 7	「口」	体部外面	倒位		2280 A	2153
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 8	「口」	体部外面	倒位力		2281 A	2159
土師器	杯	SE 2148 側内埋土	「口」	体部外面	正位	あるいは二文字	228 A	2146
土師器	杯	SE 2148 側内埋土 2	「伊」	体部外面	正位		3199 A	2843
土師器	杯	SE 2150 側内埋土 1	「口」	体部外面	正位		232 A	2161
土師器	杯	SE 2150 側内埋土	「口」	底部外面	/		2282 A	2144
土師器	高台付杯	SE 2150 抜穴	「平」・「石万呂」	体部外面	正位		2283 A	2140
土師器	杯	SE 2150 挖り方埋土	「雁」	体部外面	倒位		2284 A	2142
土師器	杯	SE 2150 側内埋土	「口」	体部外面	/		2285 A	2143
須恵器	杯	SE 2150 灰白下層	「口」	体部外面	/		2286 A	2145
土師器	杯	SE 2150 側内埋土	「口」	体部外面	倒位		2287 A	2171
土師器	杯	SE 2149 2	「口」	体部外面	/		235 A	2158
土師器	杯	SE 2149 側内埋土	「大」・「口」	体部外面	正位		236 A	2160
土師器	杯	SE 2149 挖り方埋土	「口」	体部外面	正位力		237 A	2155
須恵器	杯	SE 2149 側内埋土 1	「口」	体部外面	正位		2288 A	2845
土師器	杯	SE 2149 側内埋土 2	「口」	体部外面	/		2289 A	2157
土師器	杯	SE 2149 挖り方埋土	「(記号力)」	体部外面	/		2291 A	2156
土師器	杯	SE 1671 側内埋土	「厨」	底部外面	/		239 A	1059
土師器	杯	SE 1671 側内埋土	「厨」	底部外面	/		240 A	1076
土師器	杯	SE 1671 側内埋土	「厨口〔宍力〕」	底部外面	/		241 A	1072
須恵器	杯	SE 1671 側内埋土	「大」	体部外面	倒位		242 A	1074
須恵器	杯	SE 1671 側内埋土	「中」	体部外面	/		243 A	1071
須恵器	杯	SE 1671 抜き穴	「口」	体部外面	/		2292 A	1070
土師器	杯	SE 1671 井戸枠埋土	「○〔文様力〕」	底部外面	/		2293 A	2975
須恵器	杯	SE 1672 側内埋土	「田坏」	体部外面	正位		244 A	1075
須恵器	杯	SE 1672 抜き穴灰白下	「口〔二力〕」	底部外面	/		245 A	2638
須恵器	杯	SE 1672 側内埋土	「石」	底部外面	/		246 A	1062
土師器	杯	SE 1672 挖り方埋土	「仲」	体部外面	正位		247 A	1057
土師器	杯	SE 1673 挖り方埋土	「仲」	体部外面	正位		248 A	1069
土師器	杯	SE 1674 挖り方埋土	「口」	体部外面	/		2294 A	1058
土師器	杯	SE 1675 挖り方埋土	「口」	体部外面	/		2295 A	1060
土師器	杯	SE 1676 挖り方埋土	「口」	体部外面	/		2296 A	1061
土師器	杯	SE 1677 挖り方埋土	「口」	体部外面	正位力		2297 A	1063
須恵器	杯	SE 1678 挖り方埋土	「井」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2298 A	1064
土師器	杯	SE 1679 挖り方埋土	「口」	体部外面	/		2299 A	1066
土師器	杯	SE 1680 挖り方埋土	「口」	体部外面	正位力		2300 A	1068
土師器	杯	SE 1681 挖り方埋土	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2301 A	1442
土師器	高台付杯	SE 1672 枠内灰白上	「口」(墨書)・「口〔田力〕」(線刻)	体部外面/底部外面	/		2302 A	1446
須恵器	杯	SE 1672 挖り方埋土	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2303 A	2963
須恵器	杯	SE 1672 抜き穴灰白上	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2304 A	2974
土師器	杯	SE 1673 抜き穴	「口〔鳥力鳥力〕」	体部外面	正位		249 A	1093
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土	「鳥」	体部外面	倒位		255 A	1046
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土	「縣」	体部外面	倒位		256 A	1049
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 2 層	「静」	体部外面	正位		258 A	1081
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 2 层	「口」	底部外面	/		259 A	1088
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 層	「口〔三力〕」	底部外面	/	ほかに体部外面墨付	260 A	1050
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	体部外面	正位		261 A	1042
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「王」	底部外面	/		262 A	1043
土師器	高台付杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	体部外面	正位		263 A	1052
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	体部外面	正位		264 A	1053
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	体部外面	正位		265 A	1045
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	体部外面	正位		266 A	1055
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	底部外面	/		267 A	1044
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「奈」	底部外面	/		268 A	1054
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「勝」	底部外面	/		269 A	1056
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「勝」	底部外面	/		270 A	1051
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口〔田力〕」	体部外面	倒位力		271 A	1091
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口」	体部外面	正位力		272 A	1085
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 4 层	「中」	体部外面	正位		273 A	1092
土師器	甕	SE 1673 抜き穴	「口」	体部外面	/		2305 A	1047
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口」	体部外面	/		2306 A	1077
須恵器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口」	体部外面	/		2307 A	1078
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口」	体部外面	/		2308 A	1089
土師器	杯	SE 1673 側内埋土 3 层	「口」	底部外面	/		2309 A	1090

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 錄
須恵器	瓶	SE 1673 側内埋土 3層	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2310 A	1458
須恵器	杯	SE 1692 埋土 1層	「口」	底部外面	/	二文字か(二文字目は「上」)	275 A	1065
土師器	杯	SE 2314 拔き穴	「⑤」	体部外面	横位		277 A	287
土師器	杯	SE 2314 拔き穴	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		278 A	397
土師器	杯	SE 2314 拔き穴	「口」	体部外面	正位力		279 A	284
土師器	杯	SE 2314 拔き穴	「万」	体部外面	正位		280 A	285
須恵器	杯	SE 2314 側内埋土	「口」	体部外面	/		2311 A	292
土師器	杯	SD 1652 1	「川口」	底部外面	/		284 A	118
土師器	杯	SD 1652 1	「中成」	体部外面	横位		286 A	111
須恵器	杯	SD 1652 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		308 A	90
須恵器	杯	SD 1652 1	「口〔×カ〕」	底部外面	/		309 A	144
須恵器	杯	SD 1652 1	「×」	底部外面	/		310 A	148
須恵器	杯	SD 1652 1	「×」	底部外面	/		311 A	86
須恵器	杯	SD 1652 1	「(記号力)」	底部外面	/		312 A	87
須恵器	杯	SD 1652 1	「中成」	底部外面	/		313 A	95
須恵器	杯	SD 1652 1	「中成」	底部外面	/		314 A	88
須恵器	高台付杯	SD 1652 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		315 A	89
須恵器	杯	SD 1652 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2313 A	91
土師器	高台付杯	SD 2295 2	「卅」(ヘラガキ)	底部外面	/	九字の略か	323 A	358
土師器	杯	SD 2298 1	「吉」	体部外面	正位		326 A	278
須恵器	杯	SD 2298 1	「口〔万カ〕」	体部外面	正位		327 A	291
土師器	杯	SD 2503 1	「(記号力)」	底部外面	/		335 A	1935
土師器	甕	SD 2317 1	「口取火長口〔令力〕納口」	体部外面	横位		329 A	5495
須恵器	杯	SD 2163 1	「天」・「天」	体部外面	横位		340 A	1929
須恵器	杯	SD 2163 1	「口」	底部外面	/	体部外面墨付	341 A	2162
須恵器	杯	SD 2163 2	「秦」	底部外面	/		343 A	1898
須恵器	杯	SD 2163 2	「大」	底部外面	/		344 A	1912
土師器	杯	SD 2294	「*」(ヘラガキ)	体部外面	正位		2314 A	367
須恵器	杯	SD 2163 1	「大」	体部外面	倒位		2315 A	1901
土師器	杯	SK 1651 1	「山」	体部外面	正位		350 A	113
土師器	杯	SK 1651 1	「山」	体部外面	正位		351 A	114
土師器	杯	SK 1651 1	「山」	体部外面	正位		352 A	116
土師器	杯	SK 1651 1	「口」	体部外面	正位力		353 A	115
須恵器	杯	SK 2164 1	「河」	体部外面	倒位		383 A	401
土師器	杯	SK 2164 2	「三」(ヘラガキ)	底部外面	/		384 A	1862
須恵器	杯	SK 2445 1	「万」/「口」	体部外面/底部外面	倒位		390 A	1883
須恵器	杯	SK 2445 1	「口〔大力〕」	体部外面	横位		393 A	1888
土師器	杯	SK 2446 1	「口」	体部外面	横位力		395 A	1891
須恵器	杯	SK 2446 1	「口口〔万カ〕」	底部外面	/		2317 A	1893
須恵器	杯	SK 1697 1	「本」	底部外面	/		397 A	1094
土師器	杯	SX 1812 1	「口」	体部外面	/		2318 A	4072
土師器	杯	SX 1812 1	「口」	体部外面	正位		2319 A	4075
土師器	甕	SX 1812 2	人面墨書	体部外面	正位	顎鬚	430 A	4418
土師器	杯	SX 1812 3b	「在」	底部外面	/	左文字	490 A	4114
須恵器	杯	SX 1812 3b	「m(記号)」・「m(記号)」	体部外面	正位力		491 A	3963
須恵器	杯	SX 1812 3	「人」・「人」	体部外面	倒位		492 A	4106
須恵器	杯	SX 1812 3	「永」	体部外面	倒位		493 A	4094
土師器	甕	SX 1812 3	人面墨書	体部外面	正位	目と鼻	495 A	5478
土師器	甕	SX 1812 3b	人面墨書	体部外面	正位	部位判然としないが、目か	496 A	4426
土師器	甕	SX 1812 3b	人面墨書	体部外面	正位	目と眉	498 A	4427
土師器	甕	SX 1812 3	人面墨書	体部外面	正位	目と鼻	495 A	5478
土師器	甕	SX 1812 3	人面墨書力	体部外面	/		497 A	4416
土師器	甕	SX 1812 3	人面墨書力	体部外面	正位		499 A	4415
須恵器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	/		500 A	4414
土師器	杯	SX 1812 3	「口〔厨カ〕」	体部外面	正位		2316 A	4112
須恵器	杯	SX 1812 3	「人」	体部外面	正位		2320 A	4095
須恵器	杯	SX 1812 3	「(記号)」	体部外面	正位力		2321 A	4096
須恵器	杯	SX 1812 3	「口」	底部外面	/		2322 A	4099
須恵器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	/		2323 A	4101
須恵器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	/		2324 A	4102
須恵器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	正位		2325 A	4104
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	倒位力		2326 A	4107
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	正位		2327 A	4108
土師器	杯	SX 1812 3	「(記号力)」	体部外面	/		2328 A	4109
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	正位		2329 A	4110
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	正位		2330 A	4111
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	底部外面	/		2331 A	4113
土師器	杯	SX 1812 3	「口〔mカ〕〔記号力〕」	体部外面	正位力		2332 A	4115
土師器	杯	SX 1812 3	「口」	体部外面	/		2334 A	4117

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 1812 3	「口〔主力〕」	底部外面	/		2335	A 4393
須恵器	杯	SX 1812 4	「廷」	体部外面	正位		543	A 4067
土師器	杯	SX 1812 4b	「雄」	体部外面	倒位		538	A 4026
土師器	杯	SX 1812 4b	「色」	体部外面	正位		539	A 4032
土師器	杯	SX 1812 4b	「全山」	体部外面	正位	合わせ文字	540	A 4041
須恵器	杯	SX 1812 4b	「(記号)」	体部外面	正位		541	A 4314
須恵器	杯	SX 1812 4b	「◎(記号)」	体部外面	正位		542	A 4315
土師器	杯	SX 1812 4b	「大二」・「口〔大二カ〕」	体部外面	正位		544	A 4031
須恵器	杯	SX 1812 4b	「厨」	底部外面	/		545	A 4317
土師器	甕	SX 1812 4b	人面墨書	体部外面	正位力		546	A 4419
土師器	甕	SX 1812 4b	人面墨書力	体部外面	/		547	A 4421
土師器	甕	SX 1812 4b	人面墨書力	体部外面	/		548	A 4422
土師器	甕	SX 1812 4b	人面墨書	体部外面	正位	顔の輪郭	549	A 4420
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	底部外面	/		2336	A 4015
土師器	杯	SX 1812 4b	「(記号・文様力)」	体部外面/底部外面	/		2337	A 4018
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	底部外面	/		2338	A 4020
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面	/		2339	A 4021
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面	/		2340	A 4022
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面	正位力		2341	A 4023
土師器	杯	SX 1812 4b	「上」	底部外面	/		2342	A 4025
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面			2343	A 4027
土師器	杯	SX 1812 4b	「口口〔万呂力〕」	体部外面	横位		2344	A 4028
土師器	杯	SX 1812 4b	「衣」	底部外面	/		2345	A 4029
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面	正位	「イ」篇などか	2346	A 4034
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」・「口」	体部外面	/		2347	A 4035
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	体部外面	正位		2348	A 4036
土師器	杯	SX 1812 4b	「伊」	体部外面	正位		2349	A 4038
土師器	杯	SX 1812 4b	「口〔大力丈力〕」	体部外面	正位		2350	A 4039
土師器	杯	SX 1812 4b	「口」	底部外面	/		2351	A 4040
須恵器	杯	SX 1812 4b	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2352	A 4248
須恵器	杯	SX 1812 4b	「口」	底部外面	/		2353	A 4318
須恵器	杯	SX 1812 4b	「二」	体部外面	正位力	画数記号か	2354	A 4319
土師器	杯	SX 1812 4c	「永」	体部外面	正位		574	A 4053
土師器	杯	SX 1812 4c	「縦」(墨書) / 「X」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	正位		575	A 4056
土師器	高台付皿	SX 1812 4c	「宇」	体部外面	正位		576	A 4049
須恵器	杯	SX 1812 4c	「人」	体部外面	正位		577	A 4058
須恵器	杯	SX 1812 4c	「永」	底部外面	/		578	A 3680
須恵器	杯	SX 1812 4c	「秦」 / 「秦」	体部外面/底部外面	正位		579	A 5493
土師器	甕	SX 1812 4c	人面墨書力	体部外面	/		580	A 4417
須恵器	杯	SX 1812 4c	人面墨書	体部外面	正位		581	A 5483
土師器	不明	SX 1812 4c	人面墨書	体部外面	/	口・顎鬚・耳	630	A 4437
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	正位力		2355	A 3818
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	正位力		2356	A 4044
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	正位		2357	A 4045
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	正位力		2358	A 4046
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	/		2359	A 4048
土師器	杯	SX 1812 4c	「千」	体部外面	倒位		2360	A 4054
須恵器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	正位		2361	A 4061
須恵器	杯	SX 1812 4c	「天」	体部外面	正位		2362	A 5511
土師器	杯	SX 1812 4c	「口」	体部外面	/		3200	A 4051
須恵器	杯	SX 1812 4d	「鳥」	体部外面	倒位		584	A 4085
須恵器	杯	SX 1812 4d	「十人」	体部外面	正位		2363	A 4084
須恵器	瓶	SX 1812 4d	「口」(ヘラガキ)	底部外面	/		2364	A 4333
須恵器	杯	SX 1812 4d	「口」	底部外面	/		2365	A 4354
土師器	杯	SX 1812 5	「月」・「月」 / 「月」	体部外面/底部外面	横位		594	A 3926
土師器	杯	SX 1812 5	「○」	体部外面	正位		595	A 3929
須恵器	杯	SX 1812 5	「夫」	体部外面	倒位		596	A 4321
須恵器	瓶	SX 1812 5	「(習書力)」	体部内面	/	筆慣らしの類力	597	A 4268
須恵器	杯	SX 1812 5	「定」	底部外面	/		598	A 4324
土師器	杯	SX 1812 5	「口」	体部外面	正位力		2366	A 3917
土師器	杯	SX 1812 5	「口」	体部外面	倒位	記号か	2367	A 3924
土師器	杯	SX 1812 5	「口」	体部外面	正位	「才」	2368	A 3930
須恵器	杯	SX 1812 5	「口」	体部外面	正位		2369	A 4323
須恵器	杯	SX 1812 5	「口」	体部外面	正位		2370	A 4325
土師器	杯	SX 1812 6	「体」	体部外面	正位		599	A 3676
須恵器	杯	SX 1812 6	「大万」	体部外面	横位		600	A 4080
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	耳と鬚か	415	A 4403
須恵器	杯	SX 1812 7	「ヰ」・「ヰ」	体部外面	正位力	九字の省略形か	615	A 3675
土師器	杯	SX 1812 7	「酒」・「福」	体部外面	正位・倒位		616	A 3933

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 1812 7	「(記号力)」/「(記号)」	体部外面/底部外面	/		617 A 3953	
須恵器	杯	SX 1812 7	「徳」	体部外面	倒位		618 A 3955	
須恵器	杯	SX 1812 7	「財」	体部外面	横位		619 A 3957	
須恵器	杯	SX 1812 7	「藏」	体部外面	正位		620 A 3958	
須恵器	杯	SX 1812 7	「大」	体部外面	正位		621 A 3959	
須恵器	杯	SX 1812 7	「口(生力)口」	体部外面	横位		622 A 3960	
須恵器	杯	SX 1812 7	「大」	体部外面	正位		623 A 3961	
須恵器	杯	SX 1812 7	「十」・「十」	体部内面	正位		624 A 3965	
土師器	杯	SX 1812 7	「集口(來力)」	底部外面	/		625 A 3896	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	目	626 A 4404	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書力	体部外面	/		627 A 4406	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	目	628 A 4408	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書力	体部外面	/		629 A 4410	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位		631 A 4407	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	目か	632 A 4409	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書力	体部外面	/		633 A 4405	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	頸髄	634 A 4413	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	目と耳	635 A 4411	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書力	体部外面	/	部位判然とせず	636 A 4425	
土師器	甕	SX 1812 7	人面墨書	体部外面	正位	目と鼻	637 A 5479	
土師器	杯	SX 1812 7	「上」	体部外面	正位		2371 A 3940	
須恵器	杯	SX 1812 7	「口(本力)」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/	あるいは「大口」か	2372 A 3947	
須恵器	杯	SX 1812 7	「十」	体部外面	/		2373 A 3949	
須恵器	杯	SX 1812 7	「口(春力)」	体部外面	正位		2374 A 3952	
須恵器	杯	SX 1812 7	「口」	体部外面	正位		2375 A 3956	
須恵器	杯	SX 1812 7	「高」	体部外面	横位		2376 A 3964	
土師器	杯	SX 1812	灰白下層	「百」	底部外面		638 A 3969	
土師器	杯	SX 1813	灰白下層	「口」	底部外面	/	旁は寸	639 A 3978
土師器	杯	SX 1814	灰白下層	「下川田」	体部外面	倒位		640 A 3685
須恵器	杯	SX 1815	灰白下層	「十人」	体部外面	正位		641 A 4093
土師器	杯	SX 1816	灰白下層	「口(墨書)」「二」(ヘラガキ)・「一」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	正位	ヘラガキは画数記号	642 A 3966
須恵器	杯	SX 1817	灰白下層	「申」	体部外面	正位		643 A 3681
須恵器	杯	SX 1818	灰白下層	「口」・「見」/「口」	体部外面/底部外面	倒位・横位		644 A 3679
須恵器	杯	SX 1812	灰白下層	「大」・「大」	体部外面	倒位		645 A 4068
土師器	杯	SX 1813	灰白下層	「宮」	体部外面	倒位		646 A 3976
須恵器	杯	SX 1814	灰白下層	「口(荒力)」	体部外面	横位		647 A 4088
土師器	甕	SX 1815	灰白下層	人面墨書	体部外面	正位	2面	649 A 5488
土師器	甕	SX 1816	灰白下層	人面墨書	体部外面	正位	目鼻耳	650 A 5481
土師器	甕	SX 1817	灰白下層	人面墨書	体部外面	正位		651 A 4424
須恵器	杯	SX 1818	灰白下層	人面墨書	体部外面	正位	目と眉	652 A 4299
土師器	甕	SX 1819	灰白下層	人面墨書	体部外面	正位	目と耳か	653 A 4423
土師器	杯	SX 1820	灰白下層	「加」	体部外面	正位		2377 A 3977
土師器	杯	SX 1821	灰白下層	「口(古力)」	底部外面	/		2378 A 3980
土師器	杯	SX 1822	灰白下層	「口」	体部外面	/		2379 A 3982
土師器	杯	SX 1823	灰白下層	「口」	体部外面	正位		2380 A 3983
須恵器	杯	SX 1824	灰白下層	「口」	体部外面	正位力		2381 A 4090
須恵器	杯	SX 1825	灰白下層	「口」	底部外面	/	草冠の文字か、あるいは二文字	2382 A 4363
土師器	杯	SX 1812	「口(升力)」	体部外面	正位力			2383 A 3968
須恵器	杯	SX 1812	「田」	体部外面	正位			2384 A 4073
須恵器	杯	SX 1812	「厨」	底部外面	/			2385 A 4083
須恵器	杯	SX 1812	「口」	底部外面	/			2386 A 4087
須恵器	杯	SX 1812	検出面	「口」	体部外面	正位	「万」の合わせ文字か	2387 A 4341
須恵器	杯	SX 1667B	「⑩」	体部外面	正位			654 A 1150
須恵器	杯	SX 1667B	「口」/「口」	体部外面/底部外面	正位力			655 A 1149
須恵器	杯	SX 1667B	「口(衣力)」	底部外面	/			656 A 1151
須恵器	杯	SX 1667B	「長」	底部外面	/			657 A 1152
須恵器	杯	SX 1667B	「⑩」	体部外面	正位			658 A 1153
須恵器	杯	SX 1667B	「⑩」	体部外面	正位			659 A 1154
須恵器	杯	SX 1667B	「⑩」	体部外面	正位			660 A 1155
須恵器	杯	SX 1667B	「⑩」	体部外面	正位			661 A 1156
須恵器	杯	SX 1667B	「人」/「人」/「人」	体部外面/体部内面/底部外面	正位力/正位力			662 A 1157
須恵器	杯	SX 1667B	「口」/「●」	体部外面/底部外面	正位力			663 A 1158
須恵器	杯	SX 1667B	「十」	体部外面	正位			664 A 1159
土師器	杯	SX 1667B	「厨」	底部外面	/			665 A 1162
須恵器	杯	SX 1667B	「(文様力)」	体部外面	正位	渦巻き文様 6 個		666 A 1160
須恵器	杯	SX 1667B	「片」	底部外面	/			667 A 1167
須恵器	杯	SX 1667B	「上」	底部外面	/			668 A 1164
須恵器	杯	SX 1667B	「井上」	底部外面	/			669 A 1165
須恵器	杯	SX 1667B	「片」	底部外面	/			670 A 1168

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 1667B	「片」	底部外面	/		671 A	1169
須恵器	杯	SX 1667B	「二」・「二」	体部外面	正位		672 A	1170
須恵器	杯	SX 1667B	「生」	体部外面	倒位		673 A	1171
須恵器	杯	SX 1667B	「生」/「生」	体部外面/底部外面	横位		674 A	1172
須恵器	高台付杯	SX 1667B	「口〔真力〕」	底部外面	/	もしくは「十口」	675 A	1174
須恵器	杯	SX 1667B	「舍人」	底部外面	/		676 A	1175
須恵器	杯	SX 1667B	「毛人」	体部外面	倒位		677 A	1176
須恵器	杯	SX 1667B	「真」	底部外面	/		678 A	1177
須恵器	杯	SX 1667B	「大」(漆書)	体部外面	倒位		679 A	1179
須恵器	杯	SX 1667B	「×」(記号)	体部外面	正位		680 A	1178
土師器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		681 A	1183
須恵器	杯	SX 1667B	「大」(漆書)	体部外面	正位		683 A	1185
須恵器	杯	SX 1667B	「丈」(漆書)	体部外面	正位		684 A	1186
須恵器	杯	SX 1667B	「④」	体部外面	正位		685 A	1187
須恵器	杯	SX 1667B	「丈」	体部外面	正位		686 A	1190
須恵器	杯	SX 1667B	「大」(漆書)	底部外面	/	体部外面にも漆付着	687 A	1189
須恵器	杯	SX 1667B	「*」	体部外面	正位力		688 A	1191
須恵器	杯	SX 1667B	「大」	体部外面	倒位		689 A	1192
須恵器	杯	SX 1667B	「大」	体部外面	正位		690 A	1193
須恵器	杯	SX 1667B	「口(記号力)」	底部外面	/		691 A	1197
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	正位		692 A	1200
須恵器	杯	SX 1667B	「大」	底部外面	/		693 A	1203
須恵器	杯	SX 1667B	「木」	体部外面	倒位	転用硯?油煙	694 A	1196
須恵器	杯	SX 1667B	「口〔大力〕」/「大」	体部外面/底部外面	正位力		695 A	1206
須恵器	杯	SX 1667B	「丈」	底部外面	/		696 A	1207
須恵器	杯	SX 1667B	「大」/「大」	体部外面/底部外面	正位		697 A	1210
須恵器	杯	SX 1667B	「×」(記号力)・「口」	体部外面	正位力		698 A	1211
須恵器	杯	SX 1667B	「因」	体部外面	正位		699 A	1212
須恵器	杯	SX 1667B	「丈」(墨書)/「丈」(墨書)/「×」(ヘラガキ)	体部外面/体部内面/底部外面	正位/正位		700 A	1208
須恵器	杯	SX 1667B	「歳」	体部外面	倒位		701 A	1213
須恵器	杯	SX 1667B	「④」・「④」	体部外面	倒位		702 A	1214
須恵器	杯	SX 1667B	「子」・「口」/「相」・「皿子」	体部外面/底部外面	正位		703 A	1217
須恵器	杯	SX 1667B	「尺」	底部外面	/		704 A	1220
須恵器	杯	SX 1667B 1	「舍人」	体部外面	横位		705 A	1748
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	正位		706 A	1253
須恵器	杯	SX 1667B 1	「口」(漆書)	体部外面	正位力		707 A	1651
須恵器	杯	SX 1667B 1	「舍人」	底部外面	/		708 A	5494
須恵器	杯	SX 1667B	「④」	体部外面	正位		709 A	1254
須恵器	杯	SX 1667B	「宅」	底部外面	/		710 A	1233
須恵器	杯	SX 1667B	「生」/「物」	体部外面/底部外面	正位		711 A	1240
須恵器	杯	SX 1667B	「口〔更力〕」	底部外面	/		712 A	1237
須恵器	杯	SX 1667B	「長」	底部外面	/		713 A	1152
土師器	蓋	SX 1667B 1	「口」	つまみ部	/		714 A	1728
須恵器	杯	SX 1667B	「上」・「(記号力)」・「(記号力)」	体部外面	正位	同一記号	715 A	1224
須恵器	蓋	SX 1667B 1	「会」	つまみ部	/		716 A	2098
土師器	杯	SX 1667B 1	「曰理」	体部外面	正位		717 A	5492
土師器	杯	SX 1667B	「口〔干力〕」	底部外面	/	あるいは升	718 A	1259
須恵器	杯	SX 1667B 1	人面墨書	体部外面	正位	2面	719 A	5487
須恵器	杯	SX 1667B 1	人面墨書	体部外面	倒位		720 A	5486
須恵器	杯	SX 1667B 1	「口」	体部外面	/		721 A	2091
土師器	杯	SX 1667B	「田郷丈部」	体部外面	横位		722 A	1234
須恵器	杯	SX 1667B	「争」	体部外面	横位		723 A	1236
須恵器	杯	SX 1667B 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		732 A	2054
須恵器	杯	SX 1667B 1	「囍」(線刻)	体部外面	正位力	九字の省略形か	733 A	2060
土師器	斐	SX 1667B 1	人面墨書	体部外面	正位力	2面	747 A	5491
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位		748 A	1262
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	目と鼻	749 A	1264
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	目	750 A	1272
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書力	体部外面	/		751 A	1266
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	目	752 A	1271
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	鼻と口	753 A	1270
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	口力 複数面あるが詳細不明	754 A	1263
土師器	斐	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	耳	755 A	1273
須恵器	杯	SX 1667B	「中成」	底部外面	/		855 A	1173
須恵器	杯	SX 1667B 1	人面墨書	体部外面	正位		2211 A	5485
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2388 A	1166
須恵器	杯	SX 1667B	「口」・「口〔④力〕」	体部外面	正位・正位		2389 A	1148
土師器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	正位力		2390 A	1163
須恵器	杯	SX 1667B	「大」(漆書)	体部外面	正位		2391 A	1180

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 録
須恵器	杯	SX 1667B	「大」(漆書)	体部外面	正位		2392	A 1181
須恵器	杯	SX 1667B	「ノ」(漆書)	体部外面	正位	体部外面他に漆付着	2393	A 1184
須恵器	杯	SX 1667B	「口(記号力)」	底部外面	/		2394	A 1194
須恵器	杯	SX 1667B	「大」・「大」	体部外面	正位		2395	A 1201
須恵器	杯	SX 1667B	「大」	体部外面	正位		2396	A 1202
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2397	A 1204
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	正位力		2398	A 1215
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2399	A 1218
須恵器	杯	SX 1667B	「口(生力)」	底部外面	/		2400	A 1221
須恵器	杯	SX 1667B	「片」	体部外面	正位		2401	A 1222
須恵器	杯	SX 1667B	「口」/「口」	体部外面/底部外面	/		2402	A 1223
土師器	杯	SX 1667B	「木」	体部外面	正位		2403	A 1225
須恵器	杯	SX 1667B	「片」	底部外面	/		2404	A 1226
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2405	A 1227
土師器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2406	A 1228
須恵器	高台付杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2407	A 1229
土師器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	横位力		2408	A 1230
須恵器	杯	SX 1667B	「宮」	底部外面	/		2409	A 1231
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2410	A 1232
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2411	A 1235
須恵器	杯	SX 1667B	「口(×力)」	底部外面	/		2412	A 1238
須恵器	杯	SX 1667B	「因」	体部外面	正位		2413	A 1239
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2414	A 1243
須恵器	杯	SX 1667B	「口(墨書)・「口(×力)(ヘラガキ)	底部外面	/		2415	A 1244
須恵器	杯	SX 1667B	「口(色力)」	体部外面	正位力		2416	A 1245
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2417	A 1246
須恵器	杯	SX 1667B	「口(墨書) / 「一」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	/		2418	A 1249
須恵器	杯	SX 1667B	「口(墨書) / 「口(一カ)(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	/		2419	A 1247
須恵器	杯	SX 1667B	「口」/「口」	体部外面/底部外面	/		2420	A 1250
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2421	A 1251
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2422	A 1252
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2423	A 1255
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2424	A 1256
須恵器	杯	SX 1667B	「田」	体部外面	正位		2425	A 1257
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	底部外面	/		2426	A 1258
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2427	A 1260
須恵器	杯	SX 1667B	「口」	体部外面	/		2428	A 1261
土師器	甕	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位		2429	A 1265
土師器	甕	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	目	2430	A 1267
土師器	甕	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位	目	2431	A 1268
土師器	甕	SX 1667B	人面墨書	体部外面	正位		2432	A 1269
須恵器	杯	SX 1667B	「生」	体部外面	正位		2433	A 1281
須恵器	杯	SX 1667B 1	「舍人」	体部外面	倒位		2434	A 1757
須恵器	杯	SX 1667B 1	「舍人」	底部外面	/		2435	A 1758
土師器	杯	SX 1667B 1	「二」	体部外面	正位		2436	A 1776
土師器	杯	SX 1667B 1	「口(升力)」	体部外面	正位		2437	A 1777
須恵器	杯	SX 1667B 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2438	A 2051
土師器	杯	SX 1667B 1	「二」・「二」	体部外面	正位		2439	A 1759
須恵器	杯	SX 1667B 1	「二」(ヘラガキ)	底部外面	/		2440	A 2053
須恵器	杯	SX 1667B 1	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2441	A 2054
須恵器	杯	SX 1667B 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2442	A 2059
土師器	杯	SX 1667B 1	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2444	A 2061
須恵器	杯	SX 1667B 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2445	A 2063
須恵器	杯	SX 1667B 1	「二」(ヘラガキ)	底部外面	/		2446	A 2064
須恵器	杯	SX 1667B	「上」	体部内面	正位		2447	A 4541
須恵器	杯	SX 1667B 1	人面墨書	体部外面	倒位		2448	A 5484
土師器	杯	SX 1667B 1	「口」	体部外面	/		2449	A 5512
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		743	A 1764
土師器	杯	SX 1667C 1	「口(原力)」	体部外面	正位		760	A 1747
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口(春力)」	体部外面	/		761	A 1762
須恵器	杯	SX 1667C 1	「大」	体部外面	倒位		762	A 1774
須恵器	杯	SX 1667C	「大口(中力申力)」	底部外面	/		763	A 1161
須恵器	杯	SX 1667C 1	「秦」	体部外面	横位	他に体部外面に墨書あり	764	A 1765
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		765	A 1764
須恵器	杯	SX 1667C 1	「中成」	底部外面	/		766	A 1767
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		767	A 1763
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	正位		768	A 1773
土師器	杯	SX 1667C 1	「m(記号力)(墨書)・「m(記号力)(墨跡)	体部外面	正位	墨書の上に線刻でなぞる。	769	A 2055
土師器	杯	SX 1667C 1	「野」(線刻)	底部外面	/		770	A 2052

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 録
土師器	甕	SX 1667C 1	人面墨書	体部外面	/		771	A 1766
土師器	甕	SX 1667C 1	人面墨書	体部外面	正位	目	772	A 1754
土師器	甕	SX 1667C 1	人面墨書	体部外面	正位	目	773	A 1755
土師器	甕	SX 1667C 1	人面墨書	体部外面	正位	目と鼻	775	A 1753
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2450	A 1760
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		2451	A 1761
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2452	A 1769
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/	月の可能性あり	2453	A 1770
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2454	A 1771
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2455	A 1772
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2456	A 1775
土師器	杯	SX 1667C 1	「大口」	体部外面	正位	もしくは二文字	2457	A 1778
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	横位力		2458	A 1780
土師器	杯	SX 1667C 1	「口〔万力〕」	底部外面	/		2459	A 1781
土師器	杯	SX 1667C 1	「厨」	体部外面	正位		2460	A 1782
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	正位力		2461	A 1783
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		2462	A 1785
土師器	杯	SX 1667C 1	「口〔記号力〕」	体部外面	正位力	「X」か	2463	A 1786
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	底部外面	/		2464	A 1788
土師器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	横位力		2465	A 1790
須恵器	杯	SX 1667C 1	「二」(ヘラガキ)	底部外面	/		2466	A 2056
須恵器	杯	SX 1667C 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2467	A 2057
土師器	杯	SX 1667C 1	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2468	A 2058
須恵器	杯	SX 1667C 1	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2469	A 2062
須恵器	杯	SX 1667C 1	「口」	体部外面	/		2470	A 2126
土師器	甕	SX 1853B 2	人面墨書	体部外面	正位		779	A 5482
須恵器	杯	SX 1853B 2	「口口」	底部外面	/		2537	A 5389
土師器	杯	SX 1715	黒褐色堆積層 「☆」	体部外面	正位		780	A 8079
土師器	杯	8区第I層	「川口」	底部外面	/		813	A 286
土師器	甕	9区第I層	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		843	A 1331
須恵器	杯	9区第I層	「万」/「口」	体部外面/底部外面	倒位		2471	A 2190
土師器	杯	9区第I層	「口〔官力宮力〕」	体部外面	正位		2472	A 2249
須恵器	杯	9区第III層	「生」	体部外面	横位		816	A 1384
土師器	杯	9区第III層	「口」	体部外面	/		819	A 2465
須恵器	杯	9区第III層	「口」	底部外面	/		820	A 2470
土師器	杯	9区第III層	「安」	体部外面	正位		2473	A 1325
須恵器	杯	9区第III層	「車」	底部外面	/		2474	A 1335
土師器	杯	9区第IV層	「十」	底部外面	/		835	A 2433
須恵器	杯	9区第IV層	「右」	底部外面	/		836	A 2443
須恵器	高台付杯	9区第IV層	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		839	A 2454
土師器	杯	9区第IV層	「井」	底部外面	/		2475	A 2440
土師器	杯	9区第IV層	「真」	体部外面	横位		2476	A 2444
土師器	杯	9区第IV層	「仲」	体部外面	正位		2477	A 2445
土師器	杯	9区第IV層	「口」	体部外面	正位		2478	A 2449
土師器	杯	9区第IV層	「口」	底部外面	/	体部外面に漆付着	2479	A 2455
土師器	杯	9区第IV層	「長」	体部外面	正位		2480	A 2767
須恵器	杯	SD 2342a	「春」	体部外面	正位		856	A 5617
須恵器	杯	SD 2342a 1	「口」	体部外面	横位力		857	A 5605
須恵器	杯	SD 2342a	「鳥」	体部外面	正位		2481	A 5598
須恵器	杯	SD 2342a 1	「口」/「木」	底部外面/底部内面	/		2482	A 5604
須恵器	杯	SD 2342c 1	「大」	底部外面	/		866	A 6137
須恵器	杯	SD 2342c 1	「口」	底部外面	/		2483	A 6140
須恵器	杯	SD 2342d 1	「川」	底部外面	/		867	A 6142
須恵器	杯	SD 2362 1	「口」	底部外面		料などか	868	A 6169
須恵器	杯	SD 2342d 3	「十」	体部外面	正位		869	A 5572
須恵器	杯	SD 2342d 檢出面	「石」	底部外面	/		870	A 5573
土師器	杯	SD 2342d	「大」	体部外面	正位		871	A 5616
土師器	杯	SD 2342d 檢出面	「口〔主力〕」	体部外面	/		872	A 5612
須恵器	杯	SD 2342d 2	「富」	体部外面	横位		873	A 6132
須恵器	杯	SD 2342d	「二」	体部外面	正位		2484	A 6133
須恵器	杯	SD 2362 1	「口」	体部外面	正位力		2485	A 6170
土師器	杯	SD 2362 1	「大」	体部外面	倒位		2486	A 6175
土師器	杯	SD 2342f 1	「西」	体部外面	正位		874	A 5574
土師器	杯	SD 2344e 1	「口井」	底部外面	/		884	A 6125
須恵器	高台付杯	SD 2344e 1	「口」	底部外面	/	旁は「女」	885	A 6139
須恵器	杯	SD 2344e 1	「升」	体部外面	正位		887	A 6138
須恵器	杯	SD 2344c	「宅」	体部外面	正位		890	A 5767
須恵器	杯	SD 2344c	「千」	底部外面	/		891	A 5766
須恵器	杯	SD 2344b	「十」	体部外面	/		892	A 5764

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	SD 2342d 3	「十」	体部外面	正位		869	A 5572
須恵器	杯	SD 2342d k面	「石」	底部外面	/		870	A 5573
土師器	杯	SD 2342d	「大」	体部外面	正位		871	A 5616
土師器	杯	SD 2342d k面	「口〔主力〕」	体部外面	/		872	A 5612
須恵器	杯	SD 2342d 2	「富」	体部外面	横位		873	A 6132
土師器	杯	SD 2342f 1	「西」	体部外面	正位		874	A 5574
土師器	杯	SD 2344e 1	「口井」	底部外面	/		884	A 6125
須恵器	高台付杯	SD 2344e 1	「口」	底部外面	/	旁は「父」	885	A 6139
須恵器	杯	SD 2344e 1	「升」	体部外面	正位		887	A 6138
須恵器	杯	SD 2344c	「宅」	体部外面	正位		890	A 5767
須恵器	杯	SD 2344c	「千」	底部外面	/		891	A 5766
須恵器	杯	SD 2344b b	「十」	体部外面	/		892	A 5764
須恵器	杯	SD 2342g 2	「口〔金力〕」	底部外面	/		894	A 5808
土師器	杯	SD 2342g k面	「大」	体部外面	正位		895	A 5929
土師器	杯	SD 2362 1	「仲」	底部外面	/		896	A 6171
土師器	杯	SD 2362 1	「松」	底部外面	/		897	A 5560
須恵器	杯	SD 2362 1	「鎖」	底部外面	/		898	A 5558
須恵器	杯	SD 2362 1	「口」	底部外面	/		899	A 6173
須恵器	杯	SD 2359 2	「春」	体部外面	正位		900	A 5568
須恵器	杯	SD 2450 1	「十」	底部外面	/		901	A 5599
須恵器	杯	SK 2501 1	「主口」	体部外面	横位		902	A 6135
須恵器	杯	SD 2449 1	「夫」	体部外面	横位		903	A 5575
土師器	杯	SK 2499 1	「得万」	底部外面	/		904	A 5635
土師器	杯	SK 2499 3	「美」	体部外面	倒位		905	A 5943
須恵器	杯	SK 2499 1	「大」	体部外面	/		907	A 5839
土師器	杯	SK 2350 1	「☆」	体部外面	正位		908	A 5633
須恵器	杯	SK 2501 1	「口」	体部外面	/		909	A 5632
須恵器	杯	SK 2502 1	「車」	体部外面	正位		910	A 5844
須恵器	杯	SK 2496	「口〔卅力〕」	底部外面	/		912	A 5823
須恵器	杯	SX 2352 1	「口」	底部外面	/		916	A 5805
須恵器	杯	SX 2352 1	「②」	体部外面	正位		917	A 5816
土師器	杯	SX 2352 1	「平」	底部外面	/		918	A 5897
須恵器	杯	SX 2352 1	「口」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/	墨書は一文字ないし二文字	919	A 5908
須恵器	瓶	SX 2451 2	「依」	底部外面	/		921	A 5901
須恵器	杯	SX 2451 2	「口」	底部外面	/		922	A 5930
須恵器	杯	SX 2495 3	「神」	底部外面	/		923	A 5907
土師器	杯	66区P1	「☆」	体部外面	正位		926	A 8078
土師器	杯	66区検出面	「及」	体部外面	正位		927	A 7023
須恵器	稜挽	66区検出面	「田島」	底部外面	/		928	A 6141
土師器	杯	66区第II層 II d	「太」	体部外面	正位		930	A 7025
須恵器	杯	66区第IV層 III a	「口」	底部外面	/		932	A 7022
須恵器	杯	66区第IV層 III a	「疋」	底部外面	/		933	A 7029
土師器	杯	66区第IV層 III a	「口」	底部外面	/		934	A 7033
須恵器	杯	66区第IV層 III a	「口」	体部外面	倒位力		935	A 7030
土師器	杯	66区第IV層 III a	「口」	底部外面	/		936	A 7034
土師器	甕	66区第IV層 III c	人面墨書/「口女口」	体部外面/口縁部	横位	三文字目「収」か	937	A 6669
須恵器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2493	A 504
須恵器	杯	SD 1679 1	「奈」	底部外面	/		2494	A 507
須恵器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2495	A 509
土師器	杯	SD 1679 1	「口」(墨書)・「*」(ヘラガキ)	底部外面	/		2496	A 512
土師器	杯	SD 1679 1	「本」	体部外面/底部外面	正位力	体部外面にも墨付	2497	A 513
土師器	甕	SD 1679 1	「口」	体部外面	正位力		2498	A 514
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2499	A 515
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	倒位		2500	A 516
須恵器	杯	SD 1679 1	「口〔中力〕」	体部外面	倒位力		2501	A 518
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2502	A 519
須恵器	杯	SD 1679 1	「口」	底部外面	/		2503	A 520
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2504	A 521
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2195	A 522
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2505	A 524
土師器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2506	A 525
土師器	杯	SD 1679 1	「田」	体部外面	正位		2507	A 529
須恵器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2508	A 530
須恵器	杯	SD 1679 1	「田」	底部外面	/		2509	A 531
須恵器	杯	SD 1679 1	「口」	底部外面	/		2510	A 535
須恵器	杯	SD 1679 1	「口」(記号力)	体部外面	正位力	あるいは「万」	2511	A 537
須恵器	杯	SD 1679 1	「中」	底部外面	/		2512	A 538
須恵器	杯	SD 1679 2	「口〔中力〕」/「口」	体部外面/底部外面	正位		2513	A 543
須恵器	杯	SD 1679 1	「口」	底部外面	/	匁冠か	2514	A 546

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SD 1679 1	「十」	体部外面	横位		2515 A	547
須恵器	杯	SD 1679 1	「口」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2516 A	548
須恵器	杯	SD 1679 2	「口知」	体部外面	横位	三文字なら「小衣知」	2517 A	549
須恵器	杯	SD 1679 1	「奈」	体部外面	正位		2518 A	550
須恵器	杯	SD 1680 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2202 A	1472
須恵器	杯	SD 1680 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2202 A	1472
須恵器	杯	SD 1680 1	「内」/「口〔内力〕」	体部外面/体部内面	正位/正位		2519 A	630
須恵器	杯	SD 1680 1	「口」	体部外面	倒位力		2520 A	636
須恵器	杯	SD 1680 1	「ノ」・「口」	体部外面	倒位		2521 A	628
須恵器	杯	SD 1680 1	「申成」・「口」	体部外面	正位	二箇所同字か。	2522 A	640
須恵器	杯	SX 2333 河川	「口」	体部外面	/		2523 A	4473
土師器	杯	SX 2333 河川	「政所」	底部外面	/		2524 A	4474
土師器	杯	SX 2333 河川	「集」	体部外面	正位		2525 A	4475
土師器	杯	SX 2333 河川	「口」	体部外面	正位力		2526 A	4500
須恵器	杯	SX 2333 河川	「口」	体部外面	/		2527 A	4503
土師器	杯	4 区 P107	「口」	体部外面	倒位		2528 A	5231
土師器	杯	SI 1797 1	「右」	体部外面	正位		2529 A	5235
須恵器	杯	SX 2529 2	「十」(漆書)	体部外面	正位		2530 A	5243
土師器	杯	4 区第IV層	「鳥」	体部外面	正位		2531 A	5351
土師器	杯	SD 1781 1	「財」	底部外面	/		2532 A	5358
須恵器	杯	SX 1853C	「依」	底部外面	/		2533 A	5379
土師器	杯	SX 1853C	「口〔須力〕」	体部外面	正位		2534 A	5384
土師器	杯	SX 1853C	「(記号力)」	体部外面	正位力		2535 A	5386
須恵器	杯	SX 1853C	「口〔厨力〕」	体部外面	正位		2536 A	5387
須恵器	杯	SX 1853B 2	「口口」	底部外面	/		2537 A	5389
須恵器	杯	SD 1681	「口〔奈力〕」	底部外面	/		2538 A	8076
須恵器	杯	11 区	「真」	体部外面	正位		2539 A	8110
須恵器	杯	11 区	「真」	体部外面	正位		2540 A	8111
須恵器	杯	66 区第 I 層 西壁	「秦」	底部外面	/		2541 A	5623
須恵器	杯	66 区第 I 層 西壁	「口〔秦力〕」	底部外面	/		2542 A	5627
須恵器	杯	SD 2386b 3	「廣」	体部外面	正位		941 D	2469
須恵器	杯	SD 2386b 1	「中口」(墨書) / 「×」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	横位		942 D	2471
須恵器	杯	SD 2386b 1	「今」	体部外面	横位		943 D	2020
土師器	杯	SD 2386b 檢出面	「口」/「田」	体部外面/底部外面	/		944 D	2038
須恵器	杯	SD 2386b 1	「田」	体部外面	倒位		945 D	2511
須恵器	杯	SD 2386b 1	「口」	体部外面	正位		946 D	2512
須恵器	杯	SD 2386b 檢出面	「万福」	底部外面	/		947 D	2501
土師器	杯	SD 2386b 1	「新」	体部外面	正位		2333 D	2468
須恵器	杯	SD 2386b 腐植土	「口」	底部外面	/		2543 D	2472
須恵器	杯	SD 2386b	「口」	底部外面	/	「牛」篇	2544 D	2473
須恵器	杯	SD 2386b 檢出面	「口」	底部外面	/		2545 D	2488
須恵器	杯	SD 2386b 2	「口土」	底部外面	/		2546 D	2502
須恵器	杯	SD 2386b 1	「鳥」	底部外面	/		2547 D	2505
須恵器	杯	SD 2386b 1	「口」	底部外面	/		2548 D	2507
須恵器	杯	SD 2386b 腐植土	「大」	体部外面	横位		2549 D	3047
須恵器	杯	SD 2386c 1	「赤」(線刻)	底部外面	/		2550 D	586
須恵器	杯	SD 2386c 1	「中」	底部外面	/		2551 D	2513
須恵器	杯	SD 2386d 1	「糸子」/「口〔糸力〕」	体部外面/底部外面	正位		949 D	2462
須恵器	杯	SD 2386d a	「中」	体部外面	正位		950 D	2028
須恵器	杯	SD 2386d 檢出面	「永」	底部外面	/		952 D	2467
須恵器	杯	SD 2386d 1	「石」	底部外面	/		953 D	2009
土師器	杯	SD 2386d 2	「厨」	底部外面	/		954 D	2479
須恵器	杯	SD 2386d 1	「口〔解力〕」	底部外面	/	他にも墨書あり	955 D	2007
須恵器	杯	SD 2386d 2	「口〔哉力〕」	底部外面	/		2552 D	2486
須恵器	杯	SD 2386d 1	「口〔廣力〕」	底部外面	/		2553 D	2490
土師器	杯	SD 2386d 3	「口」	底部外面	/		2554 D	2491
須恵器	杯	SD 2386e 1	「十」	底部外面	/		2555 D	2008
須恵器	杯	SD 2386e 1	「口〔本力〕」	底部外面	/		2556 D	2010
須恵器	杯	SD 2386e 1	「口」	底部内面	/		2557 D	2011
須恵器	杯	SD 2386e 1	「口」	底部外面	/		2558 D	2012
須恵器	杯	SD 2386e 1	「中」	体部外面	正位		2559 D	2014
須恵器	杯	SD 2386e 1	「口」	体部外面	正位力		2560 D	2015
須恵器	杯	SD 2386e 1	「口」	体部外面	正位	「足」偏	2561 D	2016
須恵器	杯	SD 2386e 1	「十」	底部外面	/	体部外面にも墨付	2562 D	2475
須恵器	杯	SD 2386e 檢出面	「得」	底部外面	/		2563 D	2476
土師器	杯	SD 2386g	「井」	体部外面	正位		956 D	1968
須恵器	杯	SD 2386g 檢出面	「夫」	底部外面	/		2564 D	1198
須恵器	杯	SD 2386g 檢出面	「口」	底部外面	正位		2565 D	1199
土師器	杯	SD 2386g V 4	「口」	体部外面	正位		2567 D	1202

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 錄
須恵器	杯	SD 2386g	褐色土	「口」	底部外面	/	2568	D 1203
土師器	杯	SD 2386g	V 4	「口」	体部外面	/	2569	D 1204
須恵器	杯	SD 2386g	検出面	「口」	体部外面	正位	2570	D 1207
須恵器	杯	SD 2386g	V 4	「口」	底部外面	/	2571	D 1213
須恵器	杯	SD 2386g		「口」〔鳴力〕	体部外面	横位力	2572	D 1970
土師器	杯	SD 2386g	3	「万」	体部外面	正位	2573	D 1979
須恵器	杯	SD 2386g	2	「口」〔万力〕	底部外面	/	2574	D 1985
須恵器	杯	SD 2386g	北壁2層	「丸」	体部外面	正位	957	D 1000
須恵器	杯	SD 2386g	排水溝	「鳥」	体部外面	/	958	D 996
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	横位力	960	D 947
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	正位	961	D 946
土師器	杯	SD 2386g	排水溝	「口」	体部外面	正位	962	D 1002
土師器	杯	SD 2386g	検出面	「持」〔墨書〕・「×」〔ヘラガキ〕	底部外面	/	963	D 929
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」〔王力〕	底部外面	/	964	D 936
須恵器	杯	SD 2386g	褐色土	「口」	体部外面	正位	966	D 1211
土師器	杯	SD 2386g	1	「本」	体部外面	正位	967	D 1981
須恵器	杯	SD 2386g	1	「大口」	底部外面	/	968	D 1986
須恵器	杯	SD 2386g	1	「鳥」	体部外面	正位	969	D 1998
土師器	杯	SD 2386g	3	「井」	体部外面	正位	970	D 1969
土師器	杯	SD 2386g	検出面	「口」	体部外面	正位	2575	D 932
土師器	杯	SD 2386g	検出面	「口」	体部外面	/	2576	D 933
土師器	杯	SD 2386g	検出面	「口」	体部外面	/	2577	D 935
須恵器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2578	D 937
土師器	杯	SD 2386g		「口」	底部外面	/	2579	D 938
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	正位力	2580	D 940
須恵器	杯	SD 2386g	2	「口」	底部外面	/	2581	D 942
須恵器	杯	SD 2386g	1	「口」	底部外面	/	2582	D 949
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2583	D 953
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	底部外面	/	2584	D 955
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2585	D 956
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2586	D 958
土師器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2587	D 961
須恵器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2588	D 963
須恵器	杯	SD 2386g	3	「口」	体部外面	/	2589	D 964
須恵器	杯	SD 2386g	1	「口」〔鳴力〕	体部外面	正位	2590	D 966
須恵器	杯	SD 2386g	4	「口」	体部外面	正位	2591	D 968
土師器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	体部外面	/	2592	D 976
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「万」〔漆書〕/「万」〔墨書〕	底部外面/底部内面	/	2593	D 977
須恵器	甕	SD 2386g	黒色土	「口」	体部外面	/	2594	D 979
須恵器	杯	SD 2386g	北壁2層	「井」	底部外面	/	2595	D 980
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	底部外面	/	2596	D 981
須恵器	杯	SD 2386g	k面	「口」〔十力〕	体部外面	正位力	2597	D 982
須恵器	杯	SD 2386g	k面	「口」	体部外面	正位力	2598	D 983
須恵器	杯	SD 2386g	k面	「口」	体部外面	/	2599	D 986
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	体部外面	/	2600	D 989
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	底部外面	/	2601	D 990
須恵器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	体部外面	正位	2602	D 992
土師器	杯	SD 2386g	黒色土	「口」	体部外面	正位力	2603	D 995
須恵器	杯	SD 2386g	褐色土	「口」	体部外面	正位	2604	D 999
土師器	杯	SD 2386g	排水溝	「口」	体部外面	/	2605	D 1003
須恵器	杯	SD 2386g	排水溝	「口」	体部外面	/	2606	D 1004
土師器	杯	SI 2087	1	「口」〔久力〕	体部外面	横位	971	D 2754
土師器	杯	SI 2087	1	「×」〔ヘラガキ〕	底部外面	/	2607	D 521
土師器	杯	SE 2372	抜穴	「口永」	体部外面	正位	972	D 2753
須恵器	杯	SE 2372	掘り方	「持」	体部外面	正位	973	D 2748
須恵器	杯	SE 2372	抜穴	「永」	体部外面	正位	2608	D 2755
土師器	皿	SE 874	掘り方2	「口」	体部外面	横位力	974	D 2740
土師器	杯	SE 874	掘り方1	「口」	底部外面	/	975	D 2741
須恵器	杯	SE 874	掘り方(古)	「井」	体部外面	正位	976	D 2750
須恵器	杯	SK 2374	1	「口」	体部外面	正位	977	D 2788
土師器	杯	SK 2374	1	「口」	体部外面	正位力	978	D 2789
土師器	杯	SK 2374	1	「口」	体部外面	/	979	D 2811
土師器	杯	SK 2374	1	「(文様力)」〔ヘラガキ〕	体部外面	/	2609	D 1147
土師器	杯	SK 2374	1	「口」〔ヘラガキ〕	体部外面	/	2610	D 1148
土師器	杯	SK 2382	2	「◎」	底部外面	/	982	D 2818
土師器	杯	SK 2382	1	「口」〔倍力〕	底部外面	/	983	D 2815
土師器	高台付皿	SK 2382	1	「持」	底部外面	/	984	D 2817
土師器	杯	SK 2382	1	「吉」	体部外面	正位	985	D 2813
土師器	杯	SK 2382	1	「持」	体部外面	正位	986	D 2810

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	SK 2382 2	「車」	体部外面	横位		987	D 2803
須恵器	杯	SK 2382 1	「主」	体部外面	横位		2611	D 2802
須恵器	杯	SK 2504 1	「口」	体部外面	正位	○匁い文字	988	D 2816
土師器	杯	SK 2504 1	「万」/「万」	体部外面/底部外面	正位		989	D 2804
土師器	杯	SK 2504 1	「口〔七カ〕」	体部外面	正位		990	D 2814
須恵器	高台付杯	SK 2505 1	「玉」	底部外面	/		991	D 2812
須恵器	高台付杯	SD 2381 檜出面	「口」	底部外面	/		992	D 1195
須恵器	杯	SD 2381 西壁2層	「金」	底部外面	/		993	D 1197
須恵器	杯	SD 2381 3a	「林」	底部外面	/		2612	D 1196
土師器	杯	SD 2381 檜出面	「口」	体部外面	正位		2613	D 1210
土師器	杯	SD 2381 2	「主」	体部外面	正位	九字の略か	2614	D 1212
須恵器	杯	SX 2388 西ヘキトレ	「應」	底部外面	/		994	D 874
土師器	杯	SX 2388 4	「鳥」	体部外面	横位		995	D 852
須恵器	杯	SX 2388 4	「口〔鳥力〕」	底部外面	/		996	D 865
須恵器	杯	SX 2388 2	「鳥」	体部外面	正位		998	D 855
土師器	杯	SX 2388	「口」	底部外面	/		2615	D 853
須恵器	杯	SX 2388 3a	「口」	体部外面	/		2616	D 854
土師器	杯	SX 2388	「口」	体部外面	/		2617	D 856
須恵器	杯	SX 2388 3b	「口」	体部外面	/		2618	D 857
須恵器	杯	SX 2388 西壁トレンチ	「口」	体部外面	正位力		2619	D 858
須恵器	杯	SX 2388 3a	「口」	体部外面	/		2620	D 860
須恵器	杯	SX 2388 3a	「口」	体部外面	/		2621	D 861
須恵器	杯	SX 2388 3b	「口」	体部外面	/		2622	D 862
須恵器	杯	SX 2388 西壁トレンチ	「口」	体部外面	/		2623	D 866
土師器	杯	SX 2388 3a	「口」	底部外面	/		2624	D 867
須恵器	杯	SX 2388 3b	「鳥」	体部外面	正位		2625	D 875
土師器	杯	SX 2388 西ヘキトレ	「口」・「口」	体部外面	正位		2627	D 877
須恵器	杯	SX 2388 西ヘキトレ	「鳥」・「口〔鳥力〕」	体部外面	正位		2628	D 878
須恵器	杯	SX 2388 4	「口」	体部外面	正位		2629	D 881
須恵器	杯	SX 2388 西ヘキトレ	「口」	体部外面	/		2630	D 882
須恵器	杯	SX 2388 4	「口」	体部外面	正位		2631	D 883
須恵器	杯	SX 2388 4	「口」	体部外面	正位		2632	D 884
須恵器	杯	SX 2478 3	「余」	底部外面	/		999	D 2557
須恵器	杯	SX 2478 3	「船」	体部外面	横位		1000	D 2887
須恵器	杯	SX 2478 3	人面墨書/「造」	体部外面/底部外面	倒位	人面三面	1001	D 2886
須恵器	杯	SX 2478 3	「央」	体部外面	正位		2633	D 2888
須恵器	杯	SX 2478 3	「口〔王力〕」	底部外面	/		2634	D 2889
須恵器	高台付杯	SX 2478 1	「口〔一力〕」	底部外面	/		2635	D 2890
須恵器	杯	SX 2478 3	「口」	体部外面	/		2636	D 2891
須恵器	杯	SX 2478 3	「口」	底部外面	/	○匁い文字	2637	D 2892
土師器	甕	SX 2478 3	人面墨書	体部外面	/		2638	D 5106
土師器	甕	SX 2478 1	人面墨書力	体部外面	/		2639	D 5127
土師器	杯	SX 2365 4	「口館」	体部外面	横位		1002	D 10006
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔刺力〕」	体部外面	倒位		1003	D 2589
須恵器	杯	SX 2365 4	「家」	体部外面	横位		1004	D 2593
須恵器	杯	SX 2365 4	「秦」	体部外面	倒位		1005	D 2598
須恵器	杯	SX 2365 4	「魚」	体部外面	正位		1006	D 2658
須恵器	杯	SX 2365 4	「大」	体部外面	正位		1007	D 2671
須恵器	杯	SX 2365 4	「伊万」	体部内面			1008	D 2839
須恵器	杯	SX 2365 4	「大」	体部外面	正位		1009	D 2856
須恵器	杯	SX 2365 4	「高」	体部外面	横位		1010	D 2925
須恵器	杯	SX 2365 4	「土」	体部外面	横位		1011	D 2933
土師器	杯	SX 2365 4	「山」	底部外面	/		1012	D 2885
須恵器	杯	SX 2365 4	「大口〔澤力〕」	底部外面	/		1013	D 2858
須恵器	杯	SX 2365 4	「長」/「長」	体部外面/体部内面	横位/横位		1014	D 2931
須恵器	杯	SX 2365 4	「長」/「長」	体部外面/体部内面	横位/横位	底部にも墨痕あるか	1015	D 2936
須恵器	杯	SX 2365 4	「厨」	底部外面	/		1016	D 2654
須恵器	杯	SX 2365 4	「村」	底部外面	/		1017	D 2584
須恵器	杯	SX 2365 4	「日下」	底部外面	/		1018	D 2843
須恵器	杯	SX 2365 4	「(記号)」/「塗」	体部外面/底部外面	正位	則天文字 地	1019	D 2841
須恵器	杯	SX 2365 4	「(記号)」/「塗」	体部外面/底部外面	正位	則天文字 地	1020	D 10003
須恵器	杯	SX 2365 4	「(記号)」/「塗」	体部外面/底部外面	/	則天文字 地	1021	D 2588
須恵器	杯	SX 2365 4	「塗」	底部外面	/	則天文字 地 体部外面にも墨書あり記号か	1022	D 10002
須恵器	杯	SX 2365 4	「命」	底部外面	/		1023	D 2838
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」(墨書)・「X」(ヘラガキ)・「エ」(ヘラガキ)	底部外面	/		1024	D 2657
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		1025	D 2653
須恵器	杯	SX 2365 4	「山」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		1026	D 2665
須恵器	杯	SX 2365 4	「井」	底部外面	/		1027	D 10009
須恵器	杯	SX 2365 4	「木」	底部外面	/		1028	D 2935

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2365 4	「匁」	底部外面	/		1029	D 2664
須恵器	杯	SX 2365 4	「夫夫 口夫 夫夫 大大大 口大」 〔墨書き〕・「十」〔ヘラガキ〕/「口」〔王丸〕〔墨書き〕	体部外面/底部外面	正位		1030	D 2926
須恵器	高台付杯	SX 2365 4	「益」/「益」	体部外面/底部外面	横位		1031	D 2853
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		1032	D 2581
須恵器	杯	SX 2365 4	「三口」	底部外面	/	三国か	1033	D 2844
須恵器	杯	SX 2365 4	「夷口」	体部外面	横位		1034	D 2918
須恵器	杯	SX 2365 4	「伊万」	体部外面	横位		1035	D 2840
土師器	杯	SX 2365 4	「石」	体部外面	正位		1036	D 2848
土師器	杯	SX 2365 4	「本」	底部外面	/		1037	D 2880
須恵器	杯	SX 2365 4	「日」	体部外面	正位		1038	D 2907
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔刺力〕」	体部外面	倒位		1039	D 2590
須恵器	杯	SX 2365 4	「十」	底部外面	/		1040	D 2666
須恵器	杯	SX 2365 4	「×」	底部外面	/		1041	D 2845
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔中力〕」	体部外面	正位		1042	D 2668
須恵器	杯	SX 2365 4	「内」	体部外面	正位		1043	D 2846
須恵器	杯	SX 2365 4	人面墨書き	体部外面	正位	目	1044	D 2847
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		1045	D 2910
須恵器	杯	SX 2365 4	人面墨書き	体部外面	正位	2面	1047	D 2905
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/	二文字の可能性あり	2640	D 924
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔線刻〕」	体部外面	正位力		2641	D 1675
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔ヘラガキ〕」	底部外面	/		2642	D 1679
須恵器	杯	SX 2365 4	「生」	底部外面	/		2643	D 2579
須恵器	杯	SX 2365 4	「大」	体部外面	横位		2644	D 2580
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2645	D 2582
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位力		2646	D 2583
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2647	D 2585
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2648	D 2591
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔大力〕」	体部外面	正位		2649	D 2592
須恵器	杯	SX 2365 4	「大口」	体部外面	横位		2650	D 2594
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2651	D 2596
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2652	D 2597
須恵器	杯	SX 2365 4	「中口〔女力〕身」	底部外面	/		2653	D 2669
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2654	D 2849
土師器	杯	SX 2365 4	「口〔酒力〕」	体部外面	横位力		2655	D 2850
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2656	D 2851
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	横位力		2657	D 2857
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2658	D 2862
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位		2659	D 2863
須恵器	杯	SX 2365 4	「万」	底部外面	/		2660	D 2865
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔主力〕」	底部外面	/		2661	D 2869
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位力		2662	D 2871
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2663	D 2874
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2664	D 2875
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位		2665	D 2876
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2666	D 2877
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2667	D 2878
須恵器	杯	SX 2365 4	「東」	体部外面	横位		2668	D 2879
須恵器	杯	SX 2365 4	「川」	体部外面	/		2669	D 2881
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2670	D 2883
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2671	D 2906
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔墨書き〕・「一」〔ヘラガキ〕」	底部外面	/		2672	D 2908
須恵器	杯	SX 2365 4	「口田」	底部外面	/		2673	D 2909
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位力		2674	D 2912
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2675	D 2913
須恵器	杯	SX 2365 4	「口日上」	底部外面	/		2676	D 2914
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔大力〕」	体部外面	倒位		2677	D 2915
土師器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2678	D 2919
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2679	D 2921
須恵器	杯	SX 2365 4	「口〔宅力〕」	底部外面	/		2680	D 2922
土師器	杯	SX 2365 4	「口口」	体部外面	正位		2681	D 2924
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	底部外面	/		2682	D 2927
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	/		2683	D 2928
須恵器	杯	SX 2365 4	「口」	体部外面	正位力		2684	D 2929
須恵器	高台付杯	SX 2365 4	「十」〔漆書き〕	底部外面	/		2685	D 3238
土師器	甕	SX 2365 4	「口口」	体部内面	/		2686	D 5136
須恵器	杯	SX 2365 5	「口〔千力〕」	体部外面	正位		1052	D 2517
須恵器	杯	SX 2365 5	「千」	体部外面	正位		1053	D 2520
須恵器	杯	SX 2365 5	「口田」	体部内面	正位	あるいは「富」	1054	D 2663

墨書き・刻書き土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2365 5	「口〔田力〕」	体部外面	正位力		1055 D	2655
須恵器	杯	SX 2365 5	「十」・「十」・「十」(墨書) / 「X」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	正位		1056 D	2932
須恵器	杯	SX 2365 5	「口本」	底部外面	/	一文字目旁は「女」力	1057 D	2659
須恵器	杯	SX 2365 5	「(文様)」	体部外面			1058 D	2538
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	正位		1059 D	2559
土師器	杯	SX 2365 5	「夫」	体部外面	正位		1060 D	2570
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	正位		1061 D	2553
須恵器	杯	SX 2365 5	「主」	体部外面	正位		1062 D	2574
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	底部外面	/		1063 D	2529
土師器	杯	SX 2365 5	「口〔大力〕」	底部外面	/		1064 D	2562
須恵器	杯	SX 2365 5	「麻呂」	底部外面	/		1065 D	2526
須恵器	杯	SX 2365 5	「ヰ」	体部外面	正位		1066 D	2674
土師器	杯	SX 2365 5	人面墨書	体部外面	正位	艶	1067 D	2577
土師器	杯	SX 2365 5	「ヰ」(線刻)	体部外面	/		2687 D	1724
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」(線刻)	底部外面	/		2688 D	1725
須恵器	杯	SX 2365 5	「廣」	底部外面	/		2689 D	2515
須恵器	杯	SX 2365 5	「口〔車力〕」・「口」	体部外面	正位	二箇所同字か	2690 D	2523
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	/		2691 D	2516
須恵器	杯	SX 2365 5	「保」	底部外面	/		2692 D	2521
須恵器	杯	SX 2365 5	「升」	体部外面	正位		2693 D	2522
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	底部外面	/		2694 D	2524
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	底部外面			2695 D	2527
須恵器	杯	SX 2365 5	「大」	底部外面	/		2696 D	2528
須恵器	杯	SX 2365 5	「爻」	体部外面	/		2697 D	2532
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2698 D	2533
須恵器	杯	SX 2365 5	「真」	底部外面	/		2699 D	2534
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」・「口〔口〕」	体部外面	正位		2700 D	2535
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2701 D	2536
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	底部外面	/	「禾」偏か	2702 D	2541
須恵器	杯	SX 2365 5	「口〔主力〕」	体部外面	正位		2703 D	2543
須恵器	杯	SX 2365 5	「口口」	体部外面	横位力		2704 D	2544
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	正位力		2705 D	2545
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	横位力		2706 D	2547
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2707 D	2550
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2708 D	2551
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	横位力		2709 D	2552
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	底部外面	/		2710 D	2558
土師器	杯	SX 2365 5	「東」	体部外面	正位		2711 D	2560
土師器	杯	SX 2365 5	「太」	体部外面	倒位		2712 D	2561
須恵器	杯	SX 2365 5	「(記号)」	体部外面	正位	則天文字「地」に伴う記号。 ただし則天文字は確認できない	2713 D	2564
土師器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2714 D	2573
土師器	杯	SX 2365 5	「船」・「船」	体部外面	横位		2715 D	2563
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	倒位	京、原などか	2716 D	2578
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2717 D	2673
須恵器	杯	SX 2365 5	「口」	体部外面	/		2718 D	2675
土師器	甕	SX 2365 5	人面墨書	体部外面	正位	眉	2719 D	5116
土師器	甕	SX 2365 5	人面墨書力	体部外面	/		2720 D	5117
土師器	甕	SX 2365 5	人面墨書	体部外面	正位	鼻	2721 D	5118
土師器	杯	SX 2365 6	「口田」	底部外面	/		1071 D	2670
土師器	杯	SX 2365 6	「口」	底部外面	/		1072 D	2897
須恵器	杯	SX 2365 6	「口」	体部外面	倒位力		1073 D	2895
須恵器	杯	SX 2365 6	「中」	体部外面	正位		1074 D	2667
土師器	杯	SX 2365 6	「口」	体部外面	/		2722 D	2678
須恵器	杯	SX 2365 6	「口」	底部外面	/		2723 D	2893
土師器	杯	SX 2365 6	「口」	体部外面	/		2724 D	2894
須恵器	杯	SX 2365 6	「口〔一力〕」	底部外面	/		2725 D	2899
須恵器	杯	SX 2365 6	「口」	底部外面	/		2726 D	2900
土師器	杯	SX 2365 6	「口」	体部外面	/		2727 D	2902
須恵器	杯	SX 2365 6	「口」	体部外面	正位力		2728 D	2903
須恵器	杯	SX 2365 6	「口」	底部外面	/		2729 D	2904
土師器	甕	SX 2365 6	人面墨書				2730 D	5107
土師器	甕	SX 2365 6	人面墨書				2731 D	5108
土師器	杯	SX 2365 粗砂層	「千」 / 「口」	体部外面/底部外面	正位		1075 D	2681
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「哭」	体部外面	正位		1076 D	2696
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「哭」	体部外面	正位		1077 D	2702
土師器	杯	SX 2365 粗砂層	「十」 / 「十 口口」	体部外面/底部外面	倒位		1078 D	2700
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「大」 / 「大」	体部外面/底部外面	正位		1079 D	2698
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口〔上力〕」 / 「上」	体部外面/底部外面	正位力		1080 D	2697

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「來」	体部外面	横位		1081	D 2683
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	倒位		1082	D 2688
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	正位		2732	D 2680
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	正位力		2733	D 2685
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	正位		2734	D 2687
土師器	杯	SX 2365 粗砂層	「大」(線刻)	底部外面	/		2735	D 1697
土師器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	/		2736	D 2689
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	底部外面	/		2737	D 2692
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	正位		2738	D 2693
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	底部外面	/		2739	D 2695
須恵器	杯	SX 2365 粗砂層	「口」	体部外面	/		2740	D 2701
須恵器	杯	SX 2364 4	「田」	体部外面	正位		1083	D 926
須恵器	杯	SX 2364 4	「田」	体部外面	正位		1084	D 912
須恵器	杯	SX 2364 4or5	「口〔カ〕」	体部外面	正位		1085	D 1304
須恵器	杯	SX 2364 4	「益」	底部外面	/		1086	D 927
須恵器	杯	SX 2364 4	「井」	底部外面	/		1087	D 10001
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	底部外面	/		1088	D 903
須恵器	高台付杯	SX 2364 4	「乙主」	底部外面	/		1089	D 925
須恵器	杯	SX 2364 4	「本」	底部外面	/		1090	D 891
須恵器	杯	SX 2364 4	「井」/「井」	体部外面/底部内面	横位		1091	D 2923
須恵器	杯	SX 2364	「日」	底部外面	/		1092	D 1090
須恵器	杯	SX 2364 4	「本」	体部外面	正位		1093	D 918
須恵器	杯	SX 2364 4	「下」(墨書)・「*」(ヘラガキ)	底部外面	/		1094	D 915
須恵器	杯	SX 2364 4	「春」	体部外面	/		1095	D 910
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	底部外面	/		1096	D 9995
土師器	杯	SX 2364	「大」	体部外面	倒位		1097	D 1086
須恵器	蓋	SX 2364 4	「大」	蓋外面	/	他にも多数墨書あり	1098	D 922
須恵器	杯	SX 2364 4	「片」	底部外面	/		1099	D 897
須恵器	杯	SX 2364 4	人面墨書力	体部外面/体部内面	/		1100	D 904
須恵器	杯	SX 2364 4	人面墨書	体部内面	正位		1101	D 921
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位		1103	D 7108
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位		1104	D 7110
須恵器	杯	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	4体	1105	D 917
須恵器	瓶	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	鼻・口	1106	D 5158
須恵器	杯	SX 2364 4	「酒」	底部外面	/		1107	D 920
須恵器	杯	SX 2364 4	「片」(墨書)・「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		1108	D 919
土師器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	正位		3201	D 888
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	顔左半分	2233	D 5077
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位		2236	D 5080
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位		2239	D 5098
土師器	杯	SX 2364 4	「口」	底部外面	/		2741	D 890
土師器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	/		2742	D 893
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	底部外面	/		2743	D 898
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	/		2744	D 899
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	/		2745	D 900
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	/		2746	D 902
須恵器	杯	SX 2364 4	「大」	底部外面	/		2747	D 905
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	倒位力		2748	D 907
須恵器	杯	SX 2364 4	「口〔万力〕」	底部外面	/		2749	D 908
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	体部外面	/		2750	D 911
須恵器	杯	SX 2364 4	「口」	底部外面	/		2751	D 914
須恵器	杯	SX 2364 4	「×」	底部外面	/		2752	D 916
土師器	杯	SX 2364 4	「主」	底部外面	/		2753	D 923
須恵器	杯	SX 2364 5	「臣」	底部外面	/		2754	D 1309
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	目	2755	D 5081
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	目と耳	2756	D 5082
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	/		2757	D 5083
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	正位	目	2758	D 5084
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	/		2759	D 5085
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書	体部外面	/		2760	D 5087
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書力	体部外面	/		2761	D 5090
土師器	甕	SX 2364 4	人面墨書力	体部外面	/		2762	D 5092
須恵器	杯	SX 2479 崩落土	「田」	底部外面	/		1109	D 1305
須恵器	杯	SX 2479 3	「佐」/「万」	体部外面/底部外面	倒位		1110	D 1306
須恵器	杯	SX 2479 3	「上」	底部外面	/		1111	D 1311
土師器	杯	SX 2479 3	「持」	体部外面	正位	「持」か	1112	D 1313
須恵器	杯	SX 2479	「冊」	体部外面	正位力	九字の略か	1113	D 1084
土師器	甕	SX 2479 崩落土	人面墨書	体部外面	正位	斎	2234	D 5078
土師器	甕	SX 2479 崩落土	人面墨書	体部外面	正位	二面か	2235	D 5079

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2479 崩落土	「口」	底部外面	/		2763	D 1307
須恵器	杯	SX 2479 崩落土	「口」〔主力〕	体部外面	/		2764	D 1310
須恵器	杯	SX 2479 崩落土	「口」	底部外面	/		2765	D 1314
須恵器	杯	SX 2479 3	「口」	体部外面	/		2766	D 1315
須恵器	杯	SX 2479 3	「口」	底部外面	/		2767	D 1316
土師器	杯	SX 2479 3	「太」	底部外面	/		2768	D 1317
土師器	甕	SX 2479 3	人面墨書力	体部外面	/		2769	D 5103
須恵器	杯	SX 2366 1	「貝」	体部外面	正位		1115	D 1008
須恵器	杯	SX 2366 3	「福」	体部外面	正位		1116	D 1025
須恵器	杯	SX 2366 粗砂層	「十」・「十」/「丈」	体部外面/底部外面	正位		1117	D 1023
須恵器	杯	SX 2366 3	「井」	底部外面	/		1118	D 10008
須恵器	杯	SX 2366 1	「廣」	底部外面	/		1119	D 1007
須恵器	杯	SX 2366 3	「木」	体部外面	倒位	字形は「大」+「」	1120	D 1022
土師器	杯	SX 2366 3	「丈」	体部外面	倒位		1121	D 1031
土師器	杯	SX 2366 3	「口」〔船力〕	体部外面	正位		1122	D 1014
土師器	杯	SD 2366 2	「口主」	底部外面	/		1123	D 1026
須恵器	杯	SD 2366 2	「川」	体部外面	倒位		1124	D 1027
須恵器	杯	SX 2366 粗砂層	「口」/「口」	体部外面/底部内面	倒位力		2770	D 1010
土師器	杯	SX 2366 粗砂層	「口」	底部外面	/		2771	D 1012
土師器	杯	SX 2366 粗砂層	「口」	体部外面	/		2772	D 1013
土師器	杯	SX 2366 3	「口」	体部外面	/		2773	D 1015
土師器	杯	SX 2366 3	「口」	底部外面	/		2774	D 1016
須恵器	杯	SX 2366 3	「加」	底部外面	/		2775	D 1017
須恵器	杯	SX 2366 3	「三」	底部外面	/		2776	D 1018
須恵器	杯	SX 2366 3	「川」	体部外面	正位		2777	D 1024
須恵器	杯	SX 2366 3	「口」	体部外面	倒位力		2778	D 1028
土師器	杯	SX 2366 3	「口」	底部外面	/		2779	D 1029
土師器	杯	SD 2366 埋土	「口」	体部外面	/		2780	D 1030
須恵器	杯	SX 2368	「千」	体部外面	正位		1126	D 1076
須恵器	杯	SX 2368	「千」	体部外面	/		1127	D 1088
須恵器	杯	SX 2368	「千」	体部外面	正位		1128	D 1091
須恵器	杯	SX 2368	「井」	体部外面	正位		1129	D 10004
土師器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/	主か	1130	D 1092
須恵器	杯	SX 2368	「十」/「丈」	体部外面/底部外面	正位		1131	D 1069
須恵器	杯	SX 2368	「中」	底部外面	/		1132	D 1079
土師器	杯	SX 2368	「東」/「今」	体部外面/底部外面	正位		1133	D 1068
須恵器	高台付杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		1134	D 1078
須恵器	杯	SX 2368	「川」	体部外面	正位力		1135	D 1126
土師器	杯	SX 2368	「」	体部外面	正位		1136	D 1116
須恵器	杯	SX 2368	「哭」	体部外面	正位		1137	D 1123
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		1138	D 1065
須恵器	杯	SX 2368	「益」	底部外面	/		1139	D 1085
土師器	杯	SX 2368	「上」	底部外面	/		1140	D 1093
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	正位力		2781	D 1064
須恵器	杯	SX 2368	「口口」	底部外面	/		2782	D 1066
須恵器	杯	SX 2368	「川」	体部外面	正位		2783	D 1067
須恵器	杯	SX 2368	「」・「」	体部内面	正位		2784	D 1070
土師器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2785	D 1071
須恵器	杯	SX 2368	「口」〔古力〕	底部外面	/		2786	D 1072
土師器	杯	SX 2368	「丈」	体部外面	倒位		2787	D 1075
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	正位力		2788	D 1077
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	倒位		2789	D 1080
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2790	D 1081
須恵器	杯	SX 2368	「東」	体部外面	正位		2791	D 1082
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2792	D 1083
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	正位	文字数不詳	2793	D 1089
土師器	杯	SX 2368	「久」	体部外面	倒位		2794	D 1096
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2795	D 1097
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	横位		2796	D 1098
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2797	D 1099
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2798	D 1100
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2799	D 1101
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2800	D 1102
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2801	D 1103
土師器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2802	D 1104
須恵器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/	二文字か	2803	D 1105
須恵器	杯	SX 2368	「千」	体部外面	横位		2804	D 1106
須恵器	杯	SX 2368	「口」〔墨書〕/「升」〔ヘラガキ〕	体部外面/底部外面	/		2805	D 1107
土師器	杯	SX 2368	「口」	底部外面	/		2806	D 1108

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2807	D 1110
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	倒位		2808	D 1112
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2809	D 1113
須恵器	杯	SX 2368	「口〔万力〕」	底部内面	/		2810	D 1114
須恵器	杯	SX 2368	「秦」	体部外面	横位		2811	D 1115
須恵器	杯	SX 2368	「口田」	底部外面	/		2812	D 1117
土師器	甕	SX 2368	「口」	体部外面	正位		2813	D 1118
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2814	D 1119
土師器	甕	SX 2368	「口」	体部外面	/		2815	D 1120
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2816	D 1121
須恵器	杯	SX 2368 1	「口」	体部外面	/		2817	D 1122
須恵器	杯	SX 2368	「口」	体部外面	/		2818	D 1125
土師器	甕	SX 2368	人面墨書力	体部外面	/		2819	D 5111
土師器	杯	SX 2363	「万」	体部外面	正位		1145	D 1046
須恵器	杯	SX 2363 1	「〇」	底部外面	/		1146	D 1047
須恵器	杯	SX 2363 1	「山本」	底部外面	/		1147	D 10007
須恵器	杯	SX 2363 埋土	「中」	体部外面	倒位		2820	D 1049
須恵器	瓶	SX 2363 1	「〇」	底部外面	/		2821	D 1051
土師器	杯	SX 2363 1	「丸」	底部外面	/		2822	D 1055
土師器	杯	SX 2363 1	「車」(墨書) / 「口」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	正位		2823	D 1701
土師器	杯	SX 2363 1	「口」	底部外面	/		2824	D 1056
須恵器	杯	SX 2363 1	「良」	体部外面	横位		2825	D 1058
須恵器	杯	SX 2363 1	「口」	底部外面	/		2826	D 1060
須恵器	杯	SX 2363 埋土	「口」	体部外面	/		2827	D 1061
須恵器	杯	SX 2363 埋土	「口」	底部外面	/		2828	D 1062
須恵器	杯	SX 2363 1	「片」・「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2829	D 1698
須恵器	杯	SX 2378 3	「王」	体部外面	正位		1154	D 1193
須恵器	杯	SX 2378 東壁1層	「口」	底部外面	/	「牛」偏	1155	D 1194
須恵器	杯	27区第I層 河川	「戊」	底部外面	/		1156	D 2485
土師器	杯	27区第I層	「口」	体部外面	正位		2830	D 1354
土師器	杯	27区第I層	「口」	体部外面	正位		2831	D 1355
須恵器	杯	27区第I層	「千」	体部外面	正位		2832	D 1367
土師器	杯	SK 2488 3	「口」	体部外面	正位		1157	D 2785
土師器	杯	100区P149	「夫」	体部外面	倒位		1159	D 868
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「秀」	体部外面	正位		1166	D 2707
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「中」	体部外面	正位		1167	D 2711
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「村」	底部外面	/		1168	D 2715
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「福入口」	体部外面	/		1169	D 2717
土師器	耳皿	100区第IV層 黒色土	「船」	体部外面	正位		1170	D 2728
須恵器	杯	100区第IV層 V 4	「阿」	底部外面	/		2833	D 1345
土師器	杯	100区第IV層 V 4	「口」	体部外面	正位	「木」篇か	2834	D 1347
須恵器	杯	100区第IV層 中トレ河上層	「郷」	体部外面	正位		2835	D 1353
土師器	杯	100区第IV層 V 4	「守」	体部外面	正位		2836	D 1360
須恵器	杯	100区第IV層 黒色土	「口」	底部外面	/		2837	D 2709
須恵器	杯	100区第IV層 黒色土	「口」	体部外面	/		2838	D 2722
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「井」	体部外面	正位		2839	D 2729
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「口」	底部外面	/	内面漆付着	2840	D 2732
土師器	杯	100区第IV層 黒色土	「吉」	体部外面	正位		2841	D 3614
土師器	杯	SD 831 D1	「上」・「丘」	底部外面	/	異筆	1172	D 6703
須恵器	杯	SD 831 D1	「中家」	底部外面	/		1173	D 6706
須恵器	杯	SD 831 E1	「口」	底部外面	/		2842	D 6707
土師器	杯	SD 831 B1	「口」	体部外面	正位		2843	D 6709
土師器	杯	SD 831 B1	「丰」	体部外面	正位		2844	D 6710
土師器	杯	SD 831 B1	「口」	底部外面	/		2845	D 6713
土師器	杯	SD 831 檢出面	「口」	底部外面	/		2846	D 6714
須恵器	杯	SD 831 D3	「口」	体部外面	/		2847	D 6715
土師器	杯	SD 831 B1	「丰」	体部外面	正位		2848	D 6716
須恵器	杯	SD 831 E1	「口 (記号力)」	底部外面	/		2849	D 6738
須恵器	杯	SD 832 E1	「山」	底部外面	/		1180	D 6686
須恵器	杯	SD 832 D3	「升」	体部外面	正位		2850	D 6687
土師器	杯	SD 832 D1	「口」	体部外面	倒位		2851	D 6688
須恵器	杯	SD 832 E1	「口 (王力)」	体部外面	横位		2852	D 6689
須恵器	杯	SD 832 E1	「口 (王力)」	底部外面	/		2853	D 6690
土師器	杯	SD 832 E1	「口 (王力)」	底部外面	/		2854	D 6691
須恵器	杯	SX 830 2	「口 (記号力)」	体部外面	正位力		1182	D 6647
須恵器	杯	SX 830 1	「口」	底部外面	/		2855	D 6635
須恵器	杯	SX 830 2	「口」	体部外面	/		2856	D 6636
土師器	杯	SX 830 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2857	D 6637
土師器	杯	SX 830 サブトレ	「夫」(線刻)	底部外面	/		2858	D 6640

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 錄
須恵器	杯	SX 830 1	「口」	底部外面	/		2859	D 6641
土師器	杯	SX 830 1	「口」	体部外面	/		2860	D 6642
須恵器	杯	SX 830 2	「口」	体部外面	/		2861	D 6643
須恵器	杯	SX 830 2	「口」	体部外面	正位力		2862	D 6644
須恵器	杯	SX 830 2	「口」	底部外面	/	あるいは二文字	2863	D 6646
土師器	甕	SX 830 1	「升」(線刻)	体部外面	正位		2864	D 6649
須恵器	杯	SX 830 1	「口」	体部外面	/		2865	D 6652
須恵器	杯	SX 830 1	「口」	体部外面	/		2866	D 6653
土師器	甕	SX 830 1	「口」	体部外面	/		2867	D 6655
土師器	杯	SX 830 1	「口」	体部外面	正位		2868	D 6657
土師器	杯	SD 922d 4	「方」	底部外面	/		1185	D 7965
土師器	杯	SD 922d 4	「里」	体部外面	正位		2869	D 7964
土師器	杯	SD 922d 4	「本」	底部外面	/		2870	D 7967
須恵器	杯	SD 922d 4	「口」(墨書)・「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2871	D 7973
須恵器	杯	SD 922d 4	「口〔十カ〕」	底部外面	/		2872	D 8682
須恵器	杯	SD 2201a 4	「十倉人」	底部外面	/		1186	D 8758
須恵器	杯	SD 2201a 4	「山方」	底部外面	/		1187	D 8759
須恵器	杯	SD 2201a 3	「田」	底部外面	/		1188	D 8755
土師器	杯	SD 2201a 4	「衣」	体部外面	倒位		1189	D 8760
土師器	杯	SD 2201a 3	「口」	体部外面	正位		1190	D 8862
土師器	杯	SD 2201a 1	「前」	体部外面	横位		2873	D 8748
須恵器	稜椀	SD 2201a 1	「口」/「口」	体部外面/底部外面	/		2874	D 8749
須恵器	杯	SD 2201a 4	「口〔子カ〕」	体部外面	正位		2875	D 8751
須恵器	杯	SD 2201a 1	「口」	底部外面	/	二文字とすれば「口子」	2876	D 8752
須恵器	杯	SD 2201a 4	「十」	底部外面	/		2877	D 8756
須恵器	杯	SD 2201a 3	「田」	底部外面	/		2879	D 8757
須恵器	杯	SD 2201a 4	「X」(ヘラガキ)	底部外面	/		2880	D 9396
須恵器	杯	SD 2201a 3	「卅」(線刻)	底部内面	/		2881	D 9397
土師器	杯	SD 2201b 1	「村人」	底部外面	/		1191	D 8683
須恵器	杯	SD 2201b 1	「口〔村カ〕」	底部外面	/		1192	D 8679
須恵器	杯	SD 2201b 0	「舍」	体部外面	倒位		1193	D 8668
土師器	杯	SD 2201b 1	「本」	体部外面	倒位		1194	D 8688
土師器	杯	SD 2201b 0	「田」	底部外面	/		1195	D 8670
土師器	杯	SD 2201b 1	「(記号力)」	体部外面	正位		2882	D 8663
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	/		2883	D 8664
須恵器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	/		2884	D 8665
土師器	杯	SD 2201b 0	「口〔山カ〕」	体部外面	倒位		2885	D 8666
須恵器	杯	SD 2201b 0	「口」	体部外面	正位	旁は「寸」	2886	D 8667
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	正位		2887	D 8669
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	倒位		2888	D 8672
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	正位力		2889	D 8673
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	/		2890	D 8674
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	/		2891	D 8675
土師器	杯	SD 2201b 1	「口〔王カ主カ〕」	体部外面	正位		2892	D 8676
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	/		2893	D 8680
土師器	杯	SD 2201b 1	「口」	体部外面	正位		2894	D 8681
土師器	杯	SD 2201b 0	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2895	D 9391
土師器	小瓶	SD 2201b 1	「一」(ヘラガキ)・「口」(線刻)	底部外面	/		2896	D 9403
土師器	杯	SD 2201c 1	「口」	体部外面	正位	福などか	1196	D 8687
須恵器	杯	SD 2201c 1	「口」	体部外面	/		2897	D 8684
土師器	杯	SD 2201c 1	「口」	体部外面	/		2898	D 8685
土師器	杯	SD 2201c 1	「口」	体部外面	/		2899	D 8686
土師器	杯	SE 2123 3	「口」	底部外面	/		2900	D 7707
須恵器	杯	SE 2123 2	「山」	底部外面	/		2901	D 7709
土師器	杯	SE 2123 3	「口」	底部外面	/		2902	D 7710
須恵器	杯	SE 2123 1	「口〔十カ〕」	体部外面	/		2903	D 7718
須恵器	杯	SE 2123 2	「口」	体部外面	正位		2904	D 7721
須恵器	杯	SE 2123 3	「口〔十カ〕」	体部外面	正位		2905	D 7723
須恵器	杯	SE 2123 1	「口」	底部外面	/		2906	D 7735
須恵器	杯	SE 2123 1	「口」	体部外面	/		2907	D 7736
須恵器	杯	SE 2131 挖り方	「口」	体部外面	/		2908	D 7714
須恵器	杯	SE 2131 挖き	「口」/「口」	体部外面/底部外面	横位		2909	D 7716
土師器	杯	SE 2131 挖き穴	「厨」	底部外面	/		2910	D 7720
須恵器	杯	SE 2131 挖き穴	「里」	体部外面	正位		2911	D 7724
須恵器	杯	SE 2131 挖き	「十」/「口」	体部外面/底部外面	倒位		2912	D 7725
須恵器	杯	SE 2131 挖き穴	「口」	底部外面	/		2913	D 7729
須恵器	杯	SD 2099 1	「呪」	体部外面	正位		1208	D 6760
須恵器	杯	SD 2099 3	「呪」	体部外面	正位		1209	D 6771
土師器	杯	SD 2099 2	「口」	体部外面	/		1210	D 6766

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
土師器	杯	SD 2099 3	「口〔十力〕」	体部外面	正位		1211	D 6763
土師器	杯	SD 2099 2	「口」	体部外面	/		2914	D 6759
土師器	杯	SD 2099 2	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2915	D 6761
土師器	杯	SD 2099 3	「口」	体部外面	/		2916	D 6764
土師器	杯	SD 2099 2	「口」	体部外面	正位		2917	D 6768
須恵器	杯	SD 2099 2	「口」	底部外面	/		2918	D 6769
須恵器	杯	SD 2099 2	「口〔本力〕」	体部外面	正位		2919	D 6770
須恵器	杯	SD 2099 3	「口」	体部外面	/		2920	D 6774
土師器	杯	SD 2099 3	「口」	体部外面	倒位		2921	D 6776
土師器	杯	SD 2098 1	「林」	底部外面	/		1212	D 6797
須恵器	杯	SD 2098 1	「千」	体部外面	横位		1213	D 6799
須恵器	杯	SD 2098 1	「信」	体部外面	横位		1214	D 6791
須恵器	杯	SD 2098 1	「口」	体部内面	/		2922	D 6609
須恵器	杯	SD 2098 1	「口〔十力〕」	底部外面	/		2923	D 6787
土師器	杯	SD 2098 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2924	D 6790
土師器	杯	SD 2098 1	「口」	底部外面	/		2925	D 6793
土師器	杯	SD 2098 1	「口」	体部外面	/		2926	D 6794
須恵器	杯	SD 2098 1	「口」	体部外面	/		2927	D 6795
土師器	杯	SD 2098 1	「口」	体部外面	倒位力		2928	D 6796
須恵器	杯	SD 2098 1	「口」	体部外面	/	体部外面から底面にかけての墨書	2929	D 6798
須恵器	杯	SD 2096 1	「下毛野」	底部外面	/		1216	D 10000
須恵器	杯	SD 2096 1	「口〔高力〕」	体部外面	倒位		1217	D 6748
須恵器	杯	SD 2096 1	「十」(線刻)	体部内面	正位		2930	D 6747
土師器	杯	SK 2197 1	「子」	体部外面	倒位		1218	D 8706
土師器	杯	SK 2197 1	「子」	体部外面	倒位		1219	D 8707
土師器	杯	SK 2197 k	「山」	底部外面	/		2931	D 8703
須恵器	杯	SX 2101A 3	「里」・「七十」	底部外面	/	異方向	1226	D 6475
須恵器	杯	SX 2101A 1	「口」	底部外面	/	二文字とすれば「十万」力	1227	D 6473
須恵器	杯	SX 2101A 3	「大」	底部外面	/		1228	D 6474
土師器	杯	SX 2101A 2	「下」(線刻)	体部外面	横位		2932	D 6398
須恵器	杯	SX 2101B 1	「井」	体部外面	正位		1234	D 6448
須恵器	杯	SX 2101B 1	「井」	体部外面	/		1235	D 9997
須恵器	杯	SX 2101B 1	「井」	底部外面	/		1236	D 6437
須恵器	杯	SX 2101B 1	「井」	底部外面	/		1237	D 6435
須恵器	杯	SX 2101B 1	「十」	底部外面	/		1238	D 6439
須恵器	杯	SX 2101B 1	「木」	底部外面	/		1239	D 6442
須恵器	杯	SX 2101B 1	「庭見」	底部外面	/		1240	D 6446
須恵器	高台付杯	SX 2101B 1	「口」・「口」	体部外面	横位力・倒位力	他に二箇所墨書あり	1241	D 6440
須恵器	高台付杯	SX 2101B 1	「口」	底部外面	/		1242	D 6443
須恵器	杯	SX 2101B 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2933	D 6373
須恵器	杯	SX 2101B 1	「井」(線刻)	底部内面	/		2934	D 6374
須恵器	杯	SX 2101B 1	「庭見」	底部外面	/		2935	D 6431
須恵器	杯	SX 2101B 1	「口〔木力〕」	底部外面	/		2936	D 6445
須恵器	杯	SX 2101B 1	「口」	体部外面	/		2937	D 6447
須恵器	杯	SX 2101B 2	「吉」	底部外面	/		1245	D 6433
須恵器	杯	SX 2101C 1	「口〔井力〕」	底部外面	/		1250	D 6402
須恵器	高台付杯	SX 2100 1	「口〔夫力天力〕」	底部外面	/		1251	D 6544
土師器	杯	SX 2100 1	「口〔上力〕」	底部外面	/		1252	D 6423
須恵器	杯	SX 2100 1	「大」	底部外面	/		1253	D 6415
須恵器	杯	SX 2100 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2940	D 6385
須恵器	杯	SX 2100 1	「口」	体部外面	/		2941	D 6417
須恵器	杯	SX 2100 1	「口」	体部外面	正位		2942	D 6418
須恵器	杯	SX 2100 2	「田」	体部外面	正位		1260	D 6410
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	体部外面	正位		1261	D 6490
須恵器	杯	SX 2100 2	「糸子」	底部外面	/		1262	D 6424
須恵器	杯	SX 2100 2	「吉」	底部外面	/		1263	D 6509
須恵器	杯	SX 2100 2	「下野」	底部外面	/	体部外面に墨痕あり	1264	D 6501
須恵器	杯	SX 2100 2	「糸子」/「口」	体部外面/底部外面	正位		1265	D 6502
須恵器	杯	SX 2100 2	「丈」	体部外面	正位		1266	D 6504
須恵器	杯	SX 2100 2	「石成」	体部外面	横位		1267	D 6499
土師器	杯	SX 2100 2	「主」(線刻)	底部外面	/		1268	D 6387
土師器	杯	SX 2100 2	「新」	体部外面	正位		1269	D 6506
土師器	杯	SX 2100 2	「石成」(墨書) / 「×」(ヘラガキ)	体部外面/底部外面	横位		1270	D 6507
土師器	杯	SX 2100 2	「石」	体部外面	横位		1271	D 6508
土師器	杯	SX 2100 2	「口」	底部外面	/		2943	D 6420
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	体部外面	/		2944	D 6425
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」/「口」	体部外面/体部内面	/		2945	D 6426
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	体部外面	/		2946	D 6428
土師器	杯	SX 2100 2	「口」	体部外面	/		2947	D 6429

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	底部外面	/		2948	D 6495
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	底部外面	/		2949	D 6496
土師器	杯	SX 2100 2	「大」	底部外面	/		2950	D 6498
須恵器	杯	SX 2100 2	「口」	底部外面	/		2951	D 6503
須恵器	杯	SX 2100 2	「口口」	底部外面	/		2952	D 6505
須恵器	杯	SX 2100 3	「口」	底部外面	/		1278	D 9999
須恵器	杯	SX 2100 3	「口 (記号力)」	底部外面	/		1279	D 10010
須恵器	高台付杯	SX 2100 3	「口」	底部外面	/		1280	D 6409
須恵器	杯	SX 2100 3	「瓦」	底部外面	/		1281	D 6412
須恵器	杯	SX 2100 3	「井」	底部外面	/		1282	D 9998
須恵器	杯	SX 2100 3	「公」	体部外面	倒位		1283	D 6406
須恵器	杯	SX 2100 3	「成」	体部外面	横位		1284	D 6414
須恵器	杯	SX 2100 3	「下」	底部外面	/		1285	D 6403
須恵器	杯	SX 2100 3	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2953	D 6377
土師器	杯	SX 2100 3	「口」	体部外面	横位		2954	D 6407
須恵器	杯	SX 2100 3	「口」	底部外面	/		2955	D 6497
須恵器	杯	SX 2100 3	「井」	体部外面	横位		2956	D 9996
須恵器	杯	SX 2112 1	「加」	底部外面	/		1287	D 6668
須恵器	杯	SX 2112 1	「口」	底部外面	/		2957	D 6670
須恵器	杯	SX 2287 1	「加」	体部外面	倒位		1288	D 6659
土師器	杯	SX 2287 1	「口」	体部外面	/		2958	D 6662
須恵器	杯	SX 2507 1	「秦」	底部外面	/		1289	D 6612
土師器	高台付杯	SX 2508 1	「口」	底部外面	/	「月」篇か	1290	D 6618
須恵器	杯	SX 2180 2	「口」	体部外面	正位	二文字の可能性あり	1293	D 8717
土師器	杯	SX 2180 2	「口」	体部外面	/		2959	D 8714
須恵器	杯	SX 2180 2	「口」	体部外面	/		2960	D 8721
須恵器	杯	SX 2180 3	「舍」	体部外面	正位		2961	D 8724
須恵器	杯	SX 2180 3	「待」	底部外面	/		2962	D 8725
土師器	杯	SX 2180 1	「口」	体部外面	/		2963	D 8726
土師器	杯	SX 2180 3	「口」	体部外面	正位力		2964	D 8732
須恵器	杯	SX 2180 1	「口」	底部外面	/	「才」偏	2965	D 8733
土師器	高台付杯	SX 2180 1	「村」	底部外面	/		2966	D 8734
土師器	杯	SX 2180 1	「船」	体部外面	倒位		2967	D 8735
土師器	杯	SX 2180 3	「口 (十カ)」	体部外面	/		2968	D 8737
須恵器	杯	SX 2180 2	「口」	体部外面	/		2969	D 8739
土師器	杯	SX 2180 1	「口」	底部外面	/		2970	D 8740
土師器	杯	SX 2180 1	「口」	体部外面	/		2971	D 8742
土師器	杯	SX 2180 1	「口」	底部外面	/		2972	D 8743
土師器	杯	SX 2180 3	「口」	底部外面	/	旁は「寸」	2973	D 8745
土師器	杯	SX 2180 1	「口」	底部外面	/		2974	D 8746
土師器	杯	SX 2180 1	「口」(ヘラガキ)	底部外面	/	縦3本横6本の線	2975	D 9383
須恵器	杯	SX 2188 1	「十」	底部外面	/		1294	D 8691
土師器	杯	SX 2188	「生」	底部外面	/		1295	D 8689
須恵器	杯	SX 2188 1	「口 (記号力)」	体部外面	/		2976	D 8718
須恵器	杯	SX 2188 1	「口口」	底部外面	/		2977	D 8851
須恵器	杯	SX 2188 1	「十」	底部外面	/		2978	D 8865
須恵器	杯	SX 2188 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		2979	D 9394
須恵器	杯	83区P89 埋土	「加」	体部外面	倒位		1296	D 6835
須恵器	杯	83区P89 埋土	「口」	体部外面	/		2990	D 6834
須恵器	杯	83区第I層	「稻」	底部外面	/		1297	D 6811
須恵器	杯	83区第I層	「口岡」	底部外面	/		1298	D 6906
須恵器	杯	83区第I層	「井」	底部内面	/		1300	D 6814
土師器	杯	83区第I層	「*」(線刻)	底部内面	/		2991	D 6376
土師器	甕	83区第I層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		2992	D 6810
須恵器	杯	83区第I層	「口」(線刻)	底部外面	/	現存しているのは「井」	2993	D 6812
須恵器	杯	83区第I層	「口 (十カ)」	底部外面	/		2994	D 6815
須恵器	杯	83区第I層	「口」	体部外面	正位	二文字とすれば、二文字目は「マ」	2995	D 6816
須恵器	杯	83区第I層	「口」	体部外面	正位	「示」篇か	2996	D 6909
土師器	杯	105区第I層	「高」	体部外面	正位		1302	D 7963
土師器	杯	105区第I層	「大」	体部外面	正位		2997	D 7961
土師器	杯	105区第I層	「子」	体部外面	横位		2998	D 7962
土師器	杯	105区第I層	「口」	体部外面	正位力		2999	D 7966
土師器	杯	105区第I層	「口」	体部外面	正位		3000	D 7971
須恵器	杯	105区第I層	「口」	体部外面	正位		3001	D 7980
土師器	杯	105区第I層	「穀」	体部外面	正位		3002	D 7982
須恵器	杯	105区第I層	「口」	体部外面	/		3003	D 7985
土師器	杯	105区第I層	「口」	体部外面	正位力		3004	D 7998
土師器	杯	105区第I層	「林」(線刻)	体部外面	正位		3005	D 8027
須恵器	杯	83区第III層	「酒」・「口」	底部外面	/	異筆か	1303	D 6891

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文字	記載部位	記載方向	備考	図番	登録
須恵器	杯	83区第III層	「口」(記号力)	体部外面	/		1304	D 6894
土師器	杯	83区第III層 黒褐堆積層	「(記号)」(線刻)	底部外面	/		1307	D 6821
須恵器	杯	83区第III層	「十」	体部外面	正位		3006	D 6874
須恵器	杯	83区第III層	「口」	体部外面	/		3007	D 6887
須恵器	杯	83区第III層	「口」	体部外面	倒位力		3008	D 6888
須恵器	杯	83区第III層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3009	D 6889
須恵器	杯	83区第III層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3010	D 6890
土師器	杯	83区第III層	「口」[升力](ヘラガキ)	底部外面	/		3011	D 6893
須恵器	杯	83区第III層	「×」(線刻)	底部外面	/		3012	D 6898
須恵器	杯	83区第III層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/	体部外面に墨付	3013	D 6900
須恵器	杯	83区第III層	「口」	体部外面	/		3014	D 6902
須恵器	杯	105区第III層	「舍」	底部外面	/		1308	D 8698
須恵器	杯	105区第III層	「口」	底部外面	/	二文字とすれば一文字目は「子」か	1309	D 8701
土師器	杯	105区第III層 黒褐土	「口」	体部外面	/		1310	D 8710
土師器	杯	105区第III層	「口」	体部外面	横位	旁は「也」	1311	D 8692
土師器	杯	105区第III層	「口」	体部外面	正位	「四」偏	1312	D 7969
土師器	杯	105区第III層	「村人」(墨書)・「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		1313	D 7976
須恵器	杯	105区第III層	「口」	底部外面	/		3015	D 8693
土師器	杯	105区第III層	「口」[山力]	体部外面	正位		3016	D 8694
須恵器	杯	105区第III層	「宅」	体部外面	正位		3017	D 8695
土師器	杯	105区第III層	「口」	底部外面	/		3018	D 8697
須恵器	杯	105区第III層	「宅」	体部外面	正位		3019	D 8702
土師器	杯	105区第III層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3020	D 9400
土師器	杯	105区第III層	「口」・「口」	体部外面	正位	二箇所同字	3021	D 8700
須恵器	高台付杯	83区第IV層	「口」	体部外面	倒位力		3022	D 7317
須恵器	杯	83区第IV層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3023	D 7320
土師器	甕	83区第IV層	「×」(線刻)	底部外面	/		3024	D 7321
須恵器	杯	83区第IV層	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3025	D 7322
須恵器	杯	83区第IV層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3026	D 7323
土師器	杯	105区検出面	「子」	体部外面	倒位		3027	D 8704
土師器	杯	105区検出面	「口」	底部外面	/		3028	D 8705
須恵器	杯	105区検出面	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3029	D 9392
須恵器	杯	105区検出面	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3030	D 9398
須恵器	瓶	105区検出面	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3031	D 9399
土師器	杯	105区検出面	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3032	D 9401
土師器	甕	SD 2231b 1	「×」(線刻)	底部内面	/		1315	D 1656
土師器	杯	SD 2231b 2	「藤」	体部外面	正位		1316	D 1509
土師器	杯	SD 2232e 2	「新」	体部外面	正位		1318	D 1513
須恵器	杯	SD 2232c 1	「加」	体部外面	/		3033	D 1516
須恵器	杯	SD 2232a 1	「口」	底部外面	/		3034	D 2426
須恵器	杯	SX 1940A 2	「口」	体部外面	/		3035	D 6181
土師器	杯	SX 1940A 2	「口」	体部外面	/		3036	D 6182
須恵器	杯	SX 1940A 1	「口」	底部外面	/		3037	D 6187
須恵器	杯	SX 1940A 1	「口」[大力]	体部外面	正位		3038	D 6189
縦系土器	杯	SX 1940D 検出面	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3039	D 6164
土師器	杯	SD 1918b 1	「口」	底部外面	/		3040	D 4304
土師器	杯	SD 1918c 2	「口」	体部外面	/		3041	D 4309
土師器	杯	SD 1918c 1	「口」	体部外面	/		3042	D 4310
土師器	杯	SD 1918c 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3043	D 4313
須恵器	杯	SD 1918e 2	「口」	底部外面	/		3044	D 4306
須恵器	杯	SD 1918e 2	「青」	体部外面	正位		3045	D 4307
須恵器	杯	SD 1918e 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3046	D 4312
須恵器	高台付杯	SD 1919b 2	「上口」	底部外面	/		1329	D 4317
土師器	杯	SD 1919b 1	「口」	体部外面	正位		3047	D 4323
須恵器	杯	SD 1919b 1	「口」[山力]	底部外面	/		3048	D 5332
土師器	高台付杯	SD 1919c 1	「口」	体部外面	正位	「禾」偏か	1330	D 4325
須恵器	杯	SD 1919d 1	「口」	体部外面	倒位力		1332	D 4322
須恵器	杯	SD 1919d 1	「口」	底部外面	/	「イ」偏か	1333	D 4324
土師器	杯	SE 2010 井戸側内2層	「集」	体部外面	正位		3049	D 5505
土師器	杯	SE 2010 挖り方	「口」[升力]	体部外面	正位力		3050	D 5506
土師器	杯	SE 2010 井戸側内2層	「口」	体部外面	/		3051	D 5507
土師器	杯	SE 2010 挖り方	「口」	体部外面	/		3052	D 5508
土師器	杯	SE 2010 挖り方	「口」[石力]	体部外面	正位		3053	D 5512
土師器	杯	SE 2010 挖り方	「口」	体部外面	/		3054	D 5514
須恵器	杯	SE 1926 挖り方	「口」	体部外面	/		3055	D 5026
土師器	杯	SE 1926 挖り方	「口」	体部外面	正位力		3056	D 5027
須恵器	杯	SE 1926 挖り方	「口」	体部外面	/		3057	D 5028
土師器	杯	SE 1926 井戸側内埋土	「船」	体部外面	正位		3058	D 5032
須恵器	杯	SE 1926 1	「口」	体部外面	/		3059	D 5035

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
須恵器	杯	SE 1926 井戸側内	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3060	D 5022
土師器	杯	SE 1872 1	「升」	体部外面	正位		1339	D 5057
須恵器	杯	SE 1872 1	「人」	体部外面	正位		3061	D 5040
土師器	杯	SE 1976 2	「右」	体部外面	正位		1349	D 2355
須恵器	杯	SE 1976 1	「山」	底部外面	/		2566	D 2345
土師器	杯	SE 1976 1	「右」	体部外面	倒位		2626	D 2352
土師器	杯	SE 1924 3	「口」	体部外面	正位		3062	D 5025
土師器	杯	SE 1924 井戸側内埋土	「口」	体部外面	/		3063	D 5033
土師器	杯	SE 1924 3	「口」	体部外面	正位		3064	D 5036
土師器	杯	SE 1924 2	「口」	体部外面	/		3065	D 5037
土師器	杯	SE 1924 3	「口」	体部外面	倒位		3066	D 5038
鶴糞土器	杯	SD 1892 1	「大」	体部外面	/		3067	D 4357
土師器	杯	SD 1896A 2	「東」	体部外面	倒位		1401	D 5296
須恵器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	正位		3068	D 5293
須恵器	杯	SD 1896A 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3069	D 5295
土師器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	/		3070	D 5297
土師器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	横位	「イ」偏か	3071	D 5298
須恵器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	正位		3072	D 5299
土師器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	/		3073	D 5301
土師器	杯	SD 1896A 2	「口〔十カ〕」	体部外面	/		3074	D 5310
土師器	杯	SD 1896A 1	「口」	体部外面	/		3075	D 5314
土師器	杯	SD 1896A 2	「口」	体部外面	倒位		3076	D 5315
須恵器	杯	SD 1896A 1	「×」	体部外面	倒位		3077	D 5316
土師器	杯	SD 1896B 1	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3078	D 5294
土師器	杯	SD 1896B 3	「口」	体部外面	/		3079	D 5306
須恵器	杯	SD 1896B 1	「口」	底部外面	/		3080	D 5307
土師器	高台付杯	SD 1896B 2	「口」	底部外面	/		3081	D 5311
土師器	杯	SD 1896B 2	「田口」	体部外面	正位		3082	D 5312
土師器	杯	SD 1896B 2	「口」	底部外面	/		3083	D 5313
須恵器	杯	SD 1914 1	「東」	体部外面	正位		1403	D 5333
土師器	高台付皿	SD 2055 1	「持」	体部外面	横位		1404	D 5324
須恵器	杯	SD 2055 1	「口」	体部外面	/		3084	D 5329
土師器	杯	SD 2055 1	「口〔車力〕」	体部外面	正位		3085	D 5331
土師器	杯	SD 1897 1	「丈」	体部外面	正位		1408	D 5327
須恵器	杯	SD 1897 1	「口〔十カ〕」	底部外面	/		3086	D 5335
土師器	杯	2233 1	「菲」(ヘラガキ)	底部外面	/	九字の省略か	1410	D 1651
須恵器	杯	SD 2240 4	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3087	D 1398
土師器	杯	2262 2	「魄」	体部外面	正位		1412	D 1403
土師器	杯	SK 2217 1	「岑」(線刻)	体部外面	正位		1413	D 1401
須恵器	杯	SK 2302 2	「口〔賀力〕」	底部外面	/		1417	D 1505
土師器	杯	SK 2303 3	「口〔賀力〕」	体部外面	正位		1420	D 1501
須恵器	杯	SK 2303 4	「口〔賀力〕」	体部外面	正位		1421	D 1502
須恵器	杯	SK 2303 4	「賀」	底部外面	/		1422	D 1504
土師器	杯	SK 2303 2	「口」	体部外面	/		3088	D 1508
須恵器	杯	SK 2303 2	「口〔百カ〕」	体部外面	正位		3089	D 1514
土師器	杯	SK 2244 2	「大」	体部外面	正位		1434	D 1511
須恵器	杯	SK 1974 1	「原」・「原」	体部外面	正位		1442	D 2379
須恵器	杯	SK 1974 1	「史」・「史」	体部外面	横位		1443	D 2369
土師器	杯	SK 1974 1	「山上」	体部外面	正位	あわせ文字	1444	D 2373
土師器	杯	SK 1974 1	「口」	体部外面	/		3090	D 2376
須恵器	杯	SK 1974 1	「口」	底部外面	/		3091	D 9990
須恵器	杯	SK 1974 1	「口」・「口」/「口」	体部外面	正位	体部の二文字は同字。	3092	D 2372
須恵器	杯	SK 1884 1	「廣」	体部外面	正位		1445	D 4242
須恵器	杯	SX 1900 1	「信」	底部外面	/		1449	D 5270
須恵器	杯	SX 1900 1	「至」(則天文字)	底部外面	/	則天文字 人	1450	D 10005
須恵器	高台付杯	SX 1900 2	「大口〔田力〕」	底部外面	/		1451	D 5258
須恵器	杯	SX 1900 1	「長」・「口〔宍力〕」	底部外面	/		1452	D 5268
須恵器	杯	SX 1900 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3093	D 5254
須恵器	杯	SX 1900 1	「×」(線刻)	底部外面	/		3094	D 5255
須恵器	杯	SX 1900 2	「古」	底部外面	/		3095	D 5259
須恵器	杯	SX 1900 2	「口」	底部外面	/		3096	D 5261
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」(墨書)・「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3097	D 5262
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3098	D 5264
須恵器	杯	SX 1900 2	「口」	底部外面	/		3099	D 5265
須恵器	杯	SX 1900 1	「千」	底部外面	/		3100	D 5267
土師器	杯	SX 1900 1	「口〔卅力〕」	底部外面			3101	D 5269
土師器	杯	SX 1900 1	「口〔卅力〕」	体部外面	正位		3102	D 5271
須恵器	杯	SX 1900 1	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3103	D 5336
須恵器	杯	SX 1900 1	「神」	底部外面	/		3104	D 5337

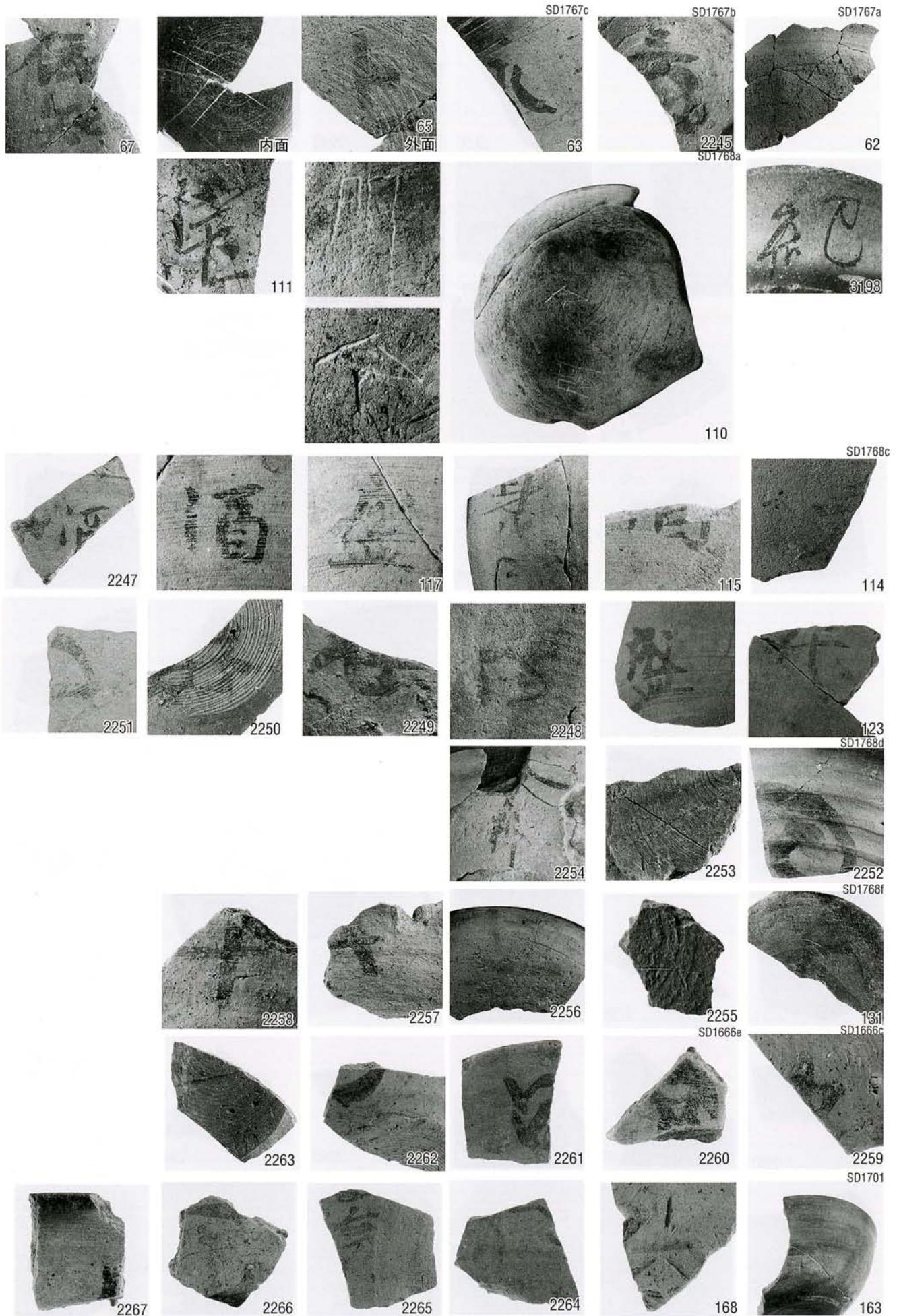
墨書・刻書土器一覧

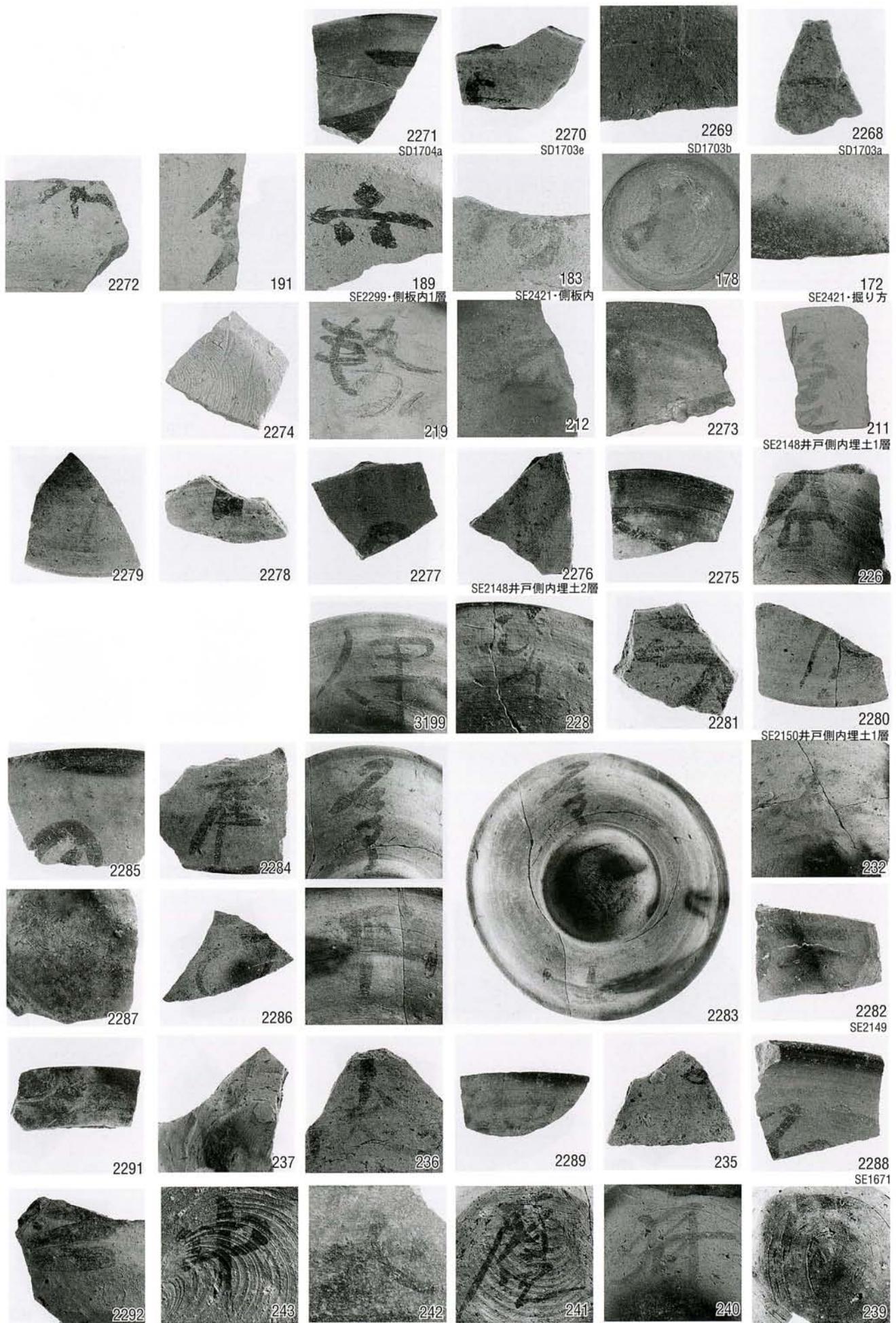
種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登 錄
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3105	D 5338
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3106	D 5339
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3107	D 5340
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/	「イ」偏か	3108	D 5341
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3109	D 5342
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3110	D 5344
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/	「示」偏。「神」か。	3111	D 5346
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3112	D 5347
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3113	D 5348
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3114	D 5349
土師器	杯	SX 1900 1	「□口」	体部外面	正位		3115	D 5351
須恵器	杯	SX 1900 1	「□□」	底部外面	/		3116	D 5352
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3117	D 5353
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3118	D 5354
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/	「神」の可能性あり	3119	D 5355
土師器	杯	SX 1900 1	「□〔本力〕」	体部外面	正位		3120	D 5356
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3121	D 5357
須恵器	杯	SX 1900 1	「口」	底部外面	/		3122	D 5358
土師器	杯	SX 1900 1	「夫」	体部内面	横位		3123	D 5359
土師器	杯	SX 1900 1	「口」	体部外面	/		3124	D 5360
須恵器	杯	SX 1900 2	「口」	底部外面	/		3125	D 5369
土師器	杯	30区第I層	「□〔船力〕」	体部外面	横位		1460	D 5398
須恵器	杯	30区第I層	「□〔上力〕」	底部外面	/		1461	D 5400
須恵器	杯	30区第I層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3126	D 5407
須恵器	杯	30区第I層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3127	D 5412
須恵器	高台付杯	30区第I層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3128	D 5414
須恵器	杯	30区第I層	「十」	体部外面	正位		3129	D 2412
土師器	杯	30区第II層	「西」	体部外面	正位		1464	D 5416
須恵器	杯	30区第II層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3130	D 5418
土師器	杯	30区第II層	「口」	底部外面	/		3131	D 5419
須恵器	杯	30区第II層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3132	D 5421
土師器	杯	30区第III層	「三」(ヘラガキ)	底部外面	/		3133	D 5433
須恵器	杯	30区第III層	「□〔〇力〕」	底部外面	/		3134	D 5438
須恵器	杯	30区第III層	「二」	底部外面	/		3135	D 5443
須恵器	杯	30区第III層	「口」	体部外面	/		3136	D 5444
土師器	高台付杯	30区第III層	「口」	底部外面	/		3137	D 5445
土師器	杯	30区第III層	「口」	底部外面	/		3138	D 5446
須恵器	杯	103区第IV層	「富」	体部外面	正位		1465	D 1503
須恵器	杯	103区第IV層	「口」	底部外面	/		3139	D 1512
土師器	杯	30区第IV層	「口」	体部外面	正位力		3140	D 4241
土師器	杯	30区第IV層	「升」(ヘラガキ)	底部外面	/		3141	D 5464
須恵器	杯	30区第IV層	「口」	底部外面	/		3142	D 5465
須恵器	杯	30区第IV層	「二」(ヘラガキ)	底部外面	/		3143	D 5466
須恵器	杯	30区第IV層	「×」	底部外面	/		3144	D 5468
須恵器	杯	30区第IV層	「山」	底部外面	/		3145	D 5469
須恵器	杯	106区第IV層	「×」(ヘラガキ)	底部外面	/		3146	D 2393
須恵器	杯	106区第IV層	「一」(ヘラガキ)	底部外面	/		3147	D 2394
須恵器	杯	106区第IV層	「口」	底部外面	/		3148	D 2397
須恵器	杯	106区第IV層	「□〔十力〕」	底部外面	/		3149	D 2398
須恵器	杯	106区第IV層	「×」(漆書)	底部外面	/		3150	D 2410
土師器	杯	SX 2486 3	「口井」	体部外面	正位		1468	D 9614
須恵器	杯	SX 2486 3	「井」	底部外面	/		3151	D 9605
須恵器	杯	SX 2486 3	「大口〔田力〕」	底部外面	/		3152	D 9610
須恵器	杯	SX 2486 3	「船」	体部外面	横位		3153	D 9613
土師器	杯	SX 2486 3	「冊」(線刻)	底部内面	/		3154	D 9622
須恵器	杯	SX 2486 3	「卅」(線刻)	底部内面	/		3155	D 9635
土師器	妻	SX 1736 1	人物戲画	体部外面	/		1470	D 74
土師器	妻	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		3156	D 75
土師器	杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	正位		1486	D 70
土師器	妻	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		3158	D 71
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		3159	D 72
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	底部外面	/		3160	D 73
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	底部外面	/		1506	D 69
須恵器	杯	SX 1736 1	「三」	体部外面	横位		1507	D 66
土師器	杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		1508	D 52
須恵器	杯	SX 1736 1	「大」	体部外面	横位		1509	D 60
土師器	妻	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		1510	D 56
土師器	妻	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		1511	D 57
土師器	妻	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		1512	D 51

墨書・刻書土器一覧

種類	器種	遺構・層位	文 字	記載部位	記載方向	備 考	図番	登録
土師器	甕	SX 1736 1	人面墨書力	体部外面	/		1513	D 53
土師器	甕	SX 1736 1	人面墨書力	体部外面	/		1514	D 54
土師器	甕	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		3161	D 55
土師器	甕	SX 1736 1	人面墨書	体部外面	/		3162	D 58
土師器	高台付杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		3163	D 59
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		3164	D 61
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	底部外面	/		3165	D 62
須恵器	杯	SX 1736 1	「口」	体部外面	/		3166	D 63
須恵器	杯	SX 1735B 底面	「大」	底部外面	/		3167	D 2444
土師器	杯	SK 2487 埋土	「口」	体部外面	正位		1533	D 2784
土師器	杯	SK 2487 埋土	「口」〔生力〕	体部外面	倒位		1534	D 2769
土師器	杯	SK 2487 1	「口」	体部外面	正位		1535	D 2774
須恵器	杯	SK 2487 1	「賣」〔墨書〕・「×」〔ヘラガキ〕	底部外面	/		1536	D 2782
鰐系土器	皿	SK 2487 1	「口」	体部外面	正位力		1537	D 2783
土師器	杯	SK 2487 1	「酒」	体部外面	正位		1538	D 2760
土師器	杯	SK 2487 埋土	「口」	体部外面	/		1539	D 2772
須恵器	杯	SX 1917 2	「口」	底部外面	/	偏は「舟」か	3168	D 5210
須恵器	杯	SX 1917 2	「田口」	底部外面	/		3169	D 5211
須恵器	杯	SX 1917 2	「口」	底部外面	/		3170	D 5212
須恵器	杯	SX 1917 2	「口」	体部外面	正位		3171	D 5219
土師器	杯	SK 1899 1	「口」	底部外面	/		3172	D 5233
須恵器	杯	SK 1899 1	「(記号力)」	体部外面	/		3173	D 5235
須恵器	杯	SD 2021 2	「山」	底部外面	/		3174	D 5971
須恵器	杯	SD 2021 2	「神悦」	底部外面	/		3175	D 5972
須恵器	杯	SD 2021 2	「神悦」	底部外面	/		3176	D 5987
須恵器	杯	SK 2025 1	「×」〔ヘラガキ〕	底部外面	/		3177	D 6198
須恵器	杯	SK 2025 1	「奢」	底部外面	/		3178	D 6200
須恵器	杯	SK 2025 1	「宅」	体部外面	正位		3179	D 6202
須恵器	杯	SE 2129 抜き穴	「利」	体部外面	正位		3180	D 7715
須恵器	杯	SE 2129 挖り方	「口〔十力〕」	体部外面	/		3181	D 7719
須恵器	杯	SE 2129 抜き穴	「口田」	体部外面	正位		3182	D 7731
須恵器	杯	SD 1941c 2	「原」	体部外面	倒位		3183	D 6171
土師器	杯	SD 1941c 2	「口」	体部外面	正位力		3184	D 6175
須恵器	杯	SD 1941c 2	「×」	底部外面	/		3185	D 6192
土師器	杯	SD 1941c 2	「升」	体部外面	正位		3186	D 6193
須恵器	杯	SD 2492 2	「客人口」	底部外面	/		3187	D 2121
土師器	杯	SD 2492 2	「口」	体部外面	/		3188	D 2148
土師器	杯	93区第Ⅲ層	「大」	体部外面	倒位		3189	D 2127
須恵器	杯	93区第Ⅲ層	「王」	底部外面	/		3190	D 2129
須恵器	杯	93区第Ⅲ層	「口」	体部外面	倒位		3191	D 2131
土師器	杯	93区第Ⅲ層	「口」	体部外面	倒位		3192	D 2132
須恵器	杯	93区第Ⅲ層	「口」	底部外面	/		3193	D 2141
須恵器	高台付杯	94区第Ⅳ層	「多賀」	底部外面	/			D 2135
土師器	杯	SD 1898 1	「ヰ」〔線刻〕	底部内面	/		3194	D 4290
土師器	杯	SX 2531	「万」〔墨書〕 / 「口」〔線刻〕	底部外面	/		3195	D 2495
土師器	杯	SD 2532 1	「丸」	体部外面	倒位		3196	D 2503
須恵器	杯	SK 2530 1	「十」・「口」	底部外面	/		3197	D 2291
須恵器	杯	SE 1976 1	「山」	底部外面	/		2566	D 2345
土師器	杯	SE 1976 1	「右」	体部外面	倒位		2626	D 2352
土師器	杯	103区p100 埋土	「田」	体部外面	正位		2878	D 1515
土師器	杯	111区第Ⅰ層	「木」〔線刻〕	体部外面	正位		2938	D 5516
須恵器	杯	111区第Ⅰ層	「木」〔線刻〕	体部外面	/		2939	D 5519
須恵器	杯	SX 2051	「口郡」〔ヘラガキ〕	底部外面	/			D 5067
土師器	杯	105区	「真」 / 「万」〔線刻〕	底部外面/底部内面				D 8023
須恵器	杯	SX 2120	「神口」	体部外面	横位			D 9920

墨書・刻書土器一覧







2293
SE1672



2294



248



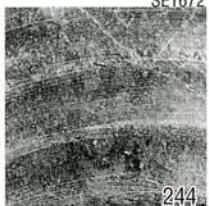
247



246



245



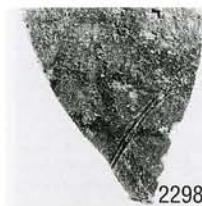
244



2300



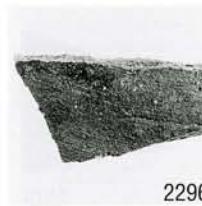
2299



2298



2297



2296



2295



259



258



256



255



2305



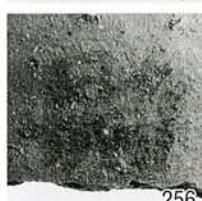
249



259



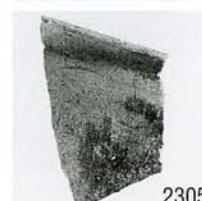
258



256



255



2305



249



265



264



263



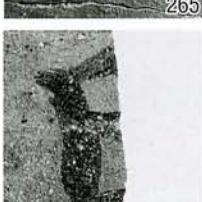
262



261



260



271



270



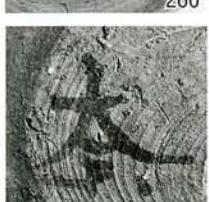
269



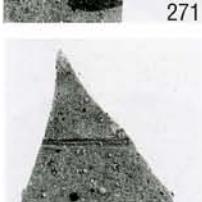
268



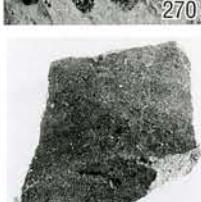
267



266



2310



2309



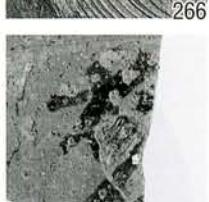
2308



2307



2306



272



SE1673 4層



273



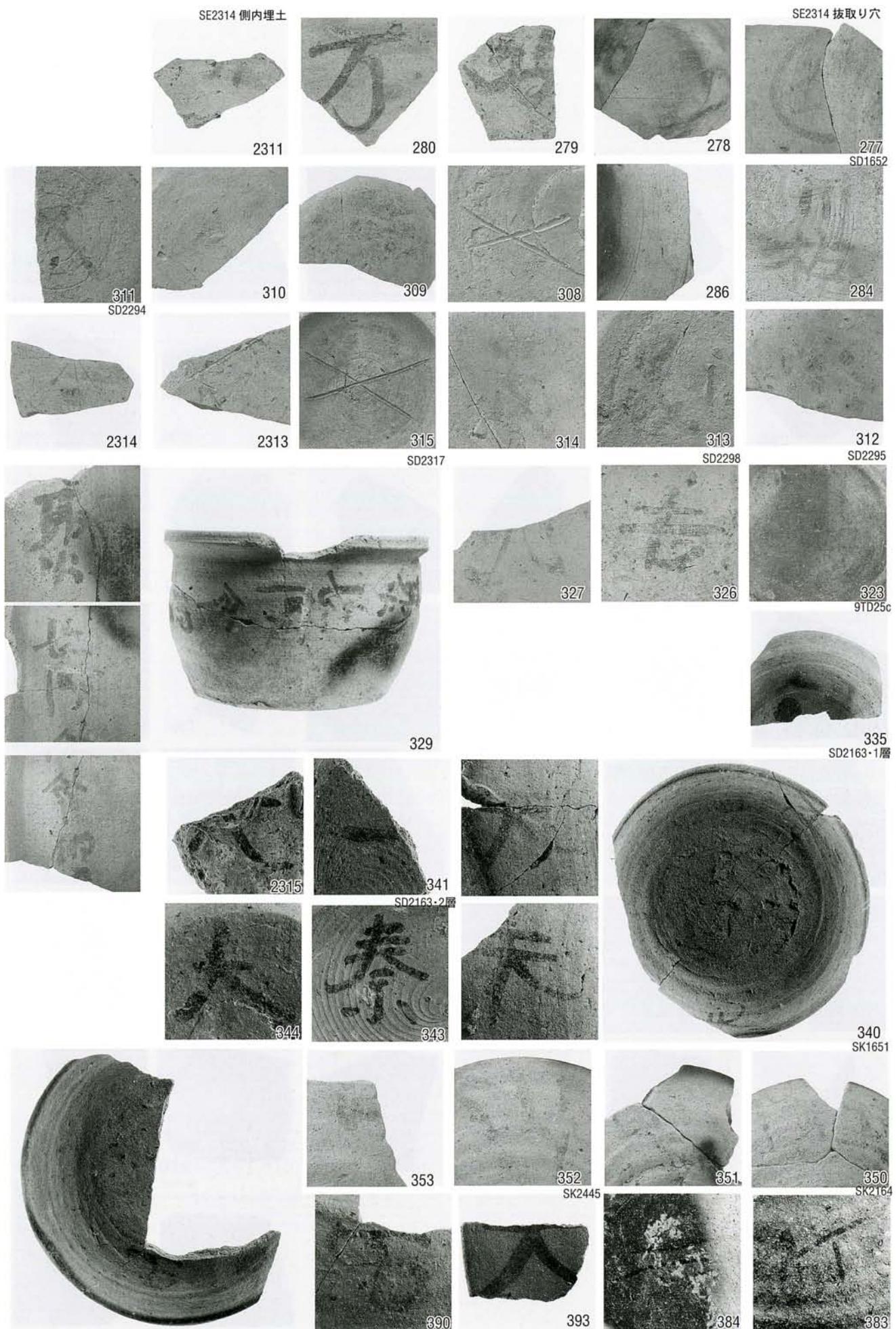
275



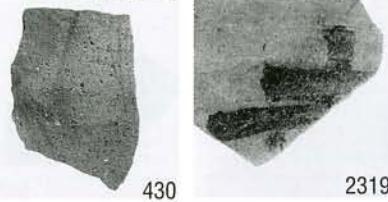
275



273



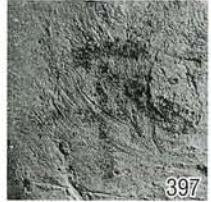
SX1812・2層



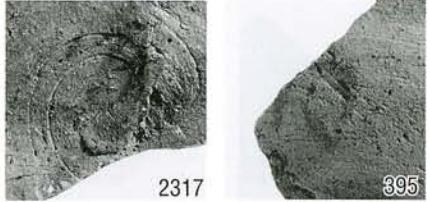
SX1812・1層



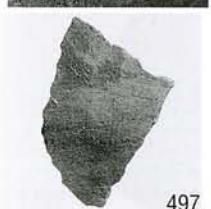
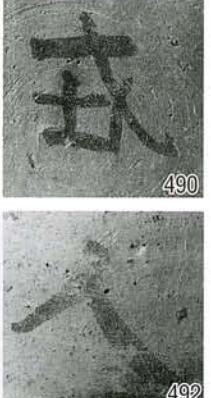
SK1697



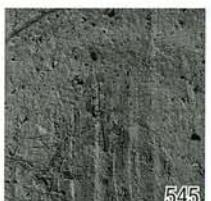
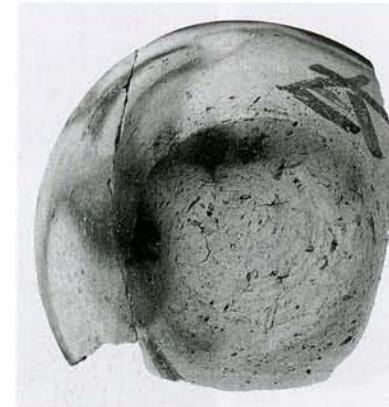
SK2446

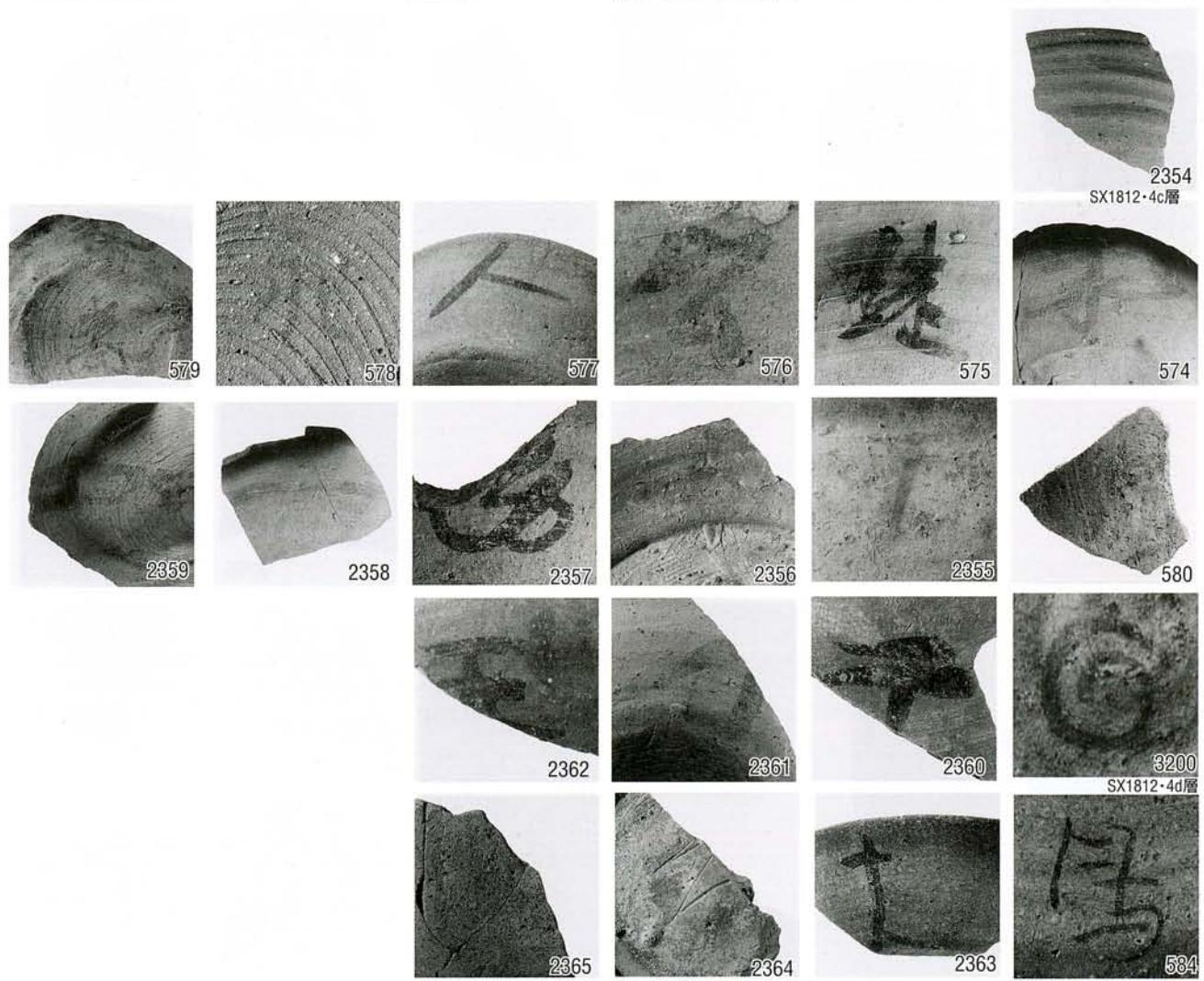
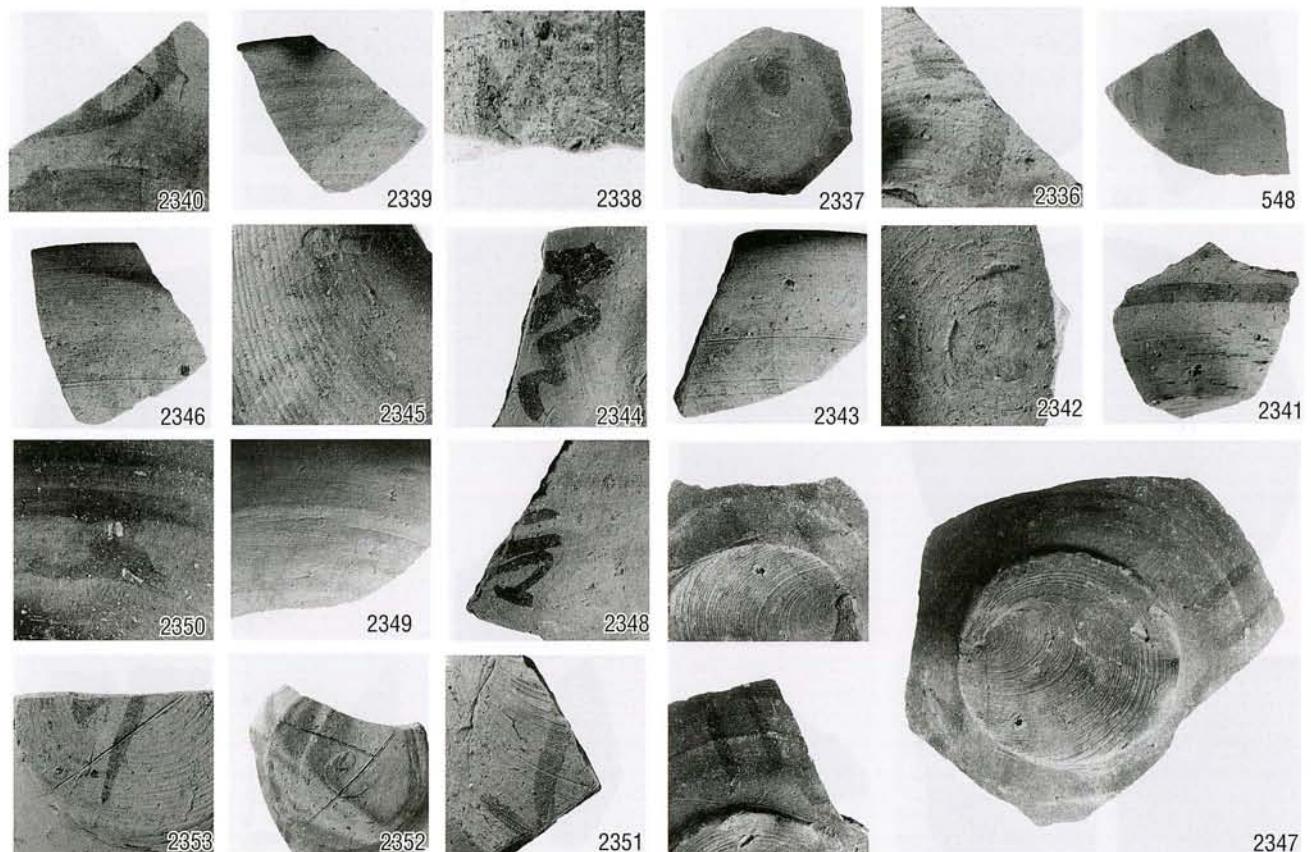


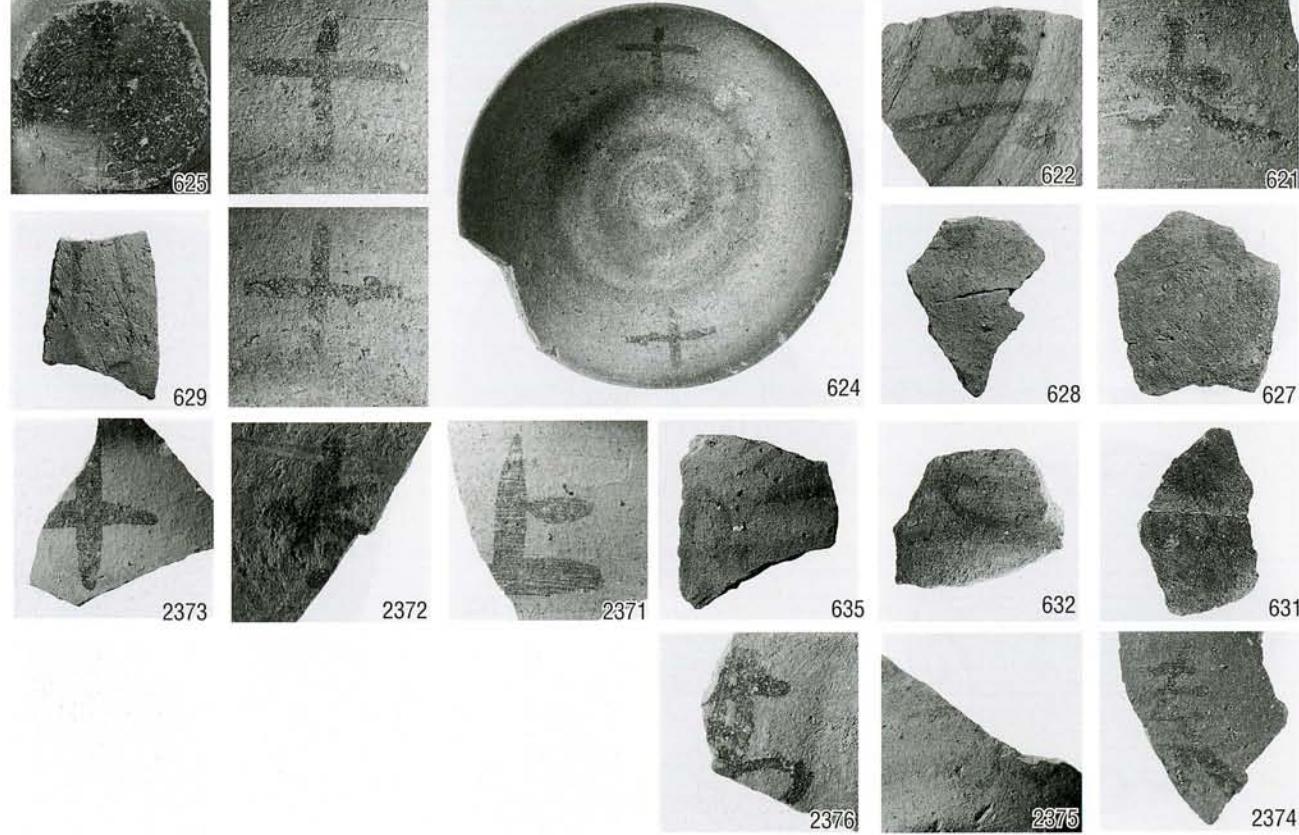
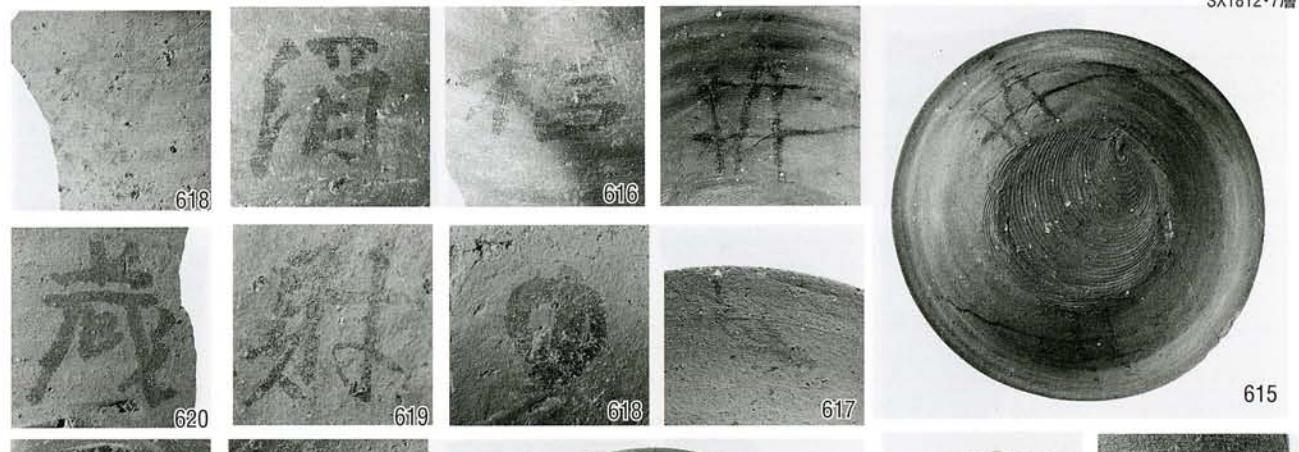
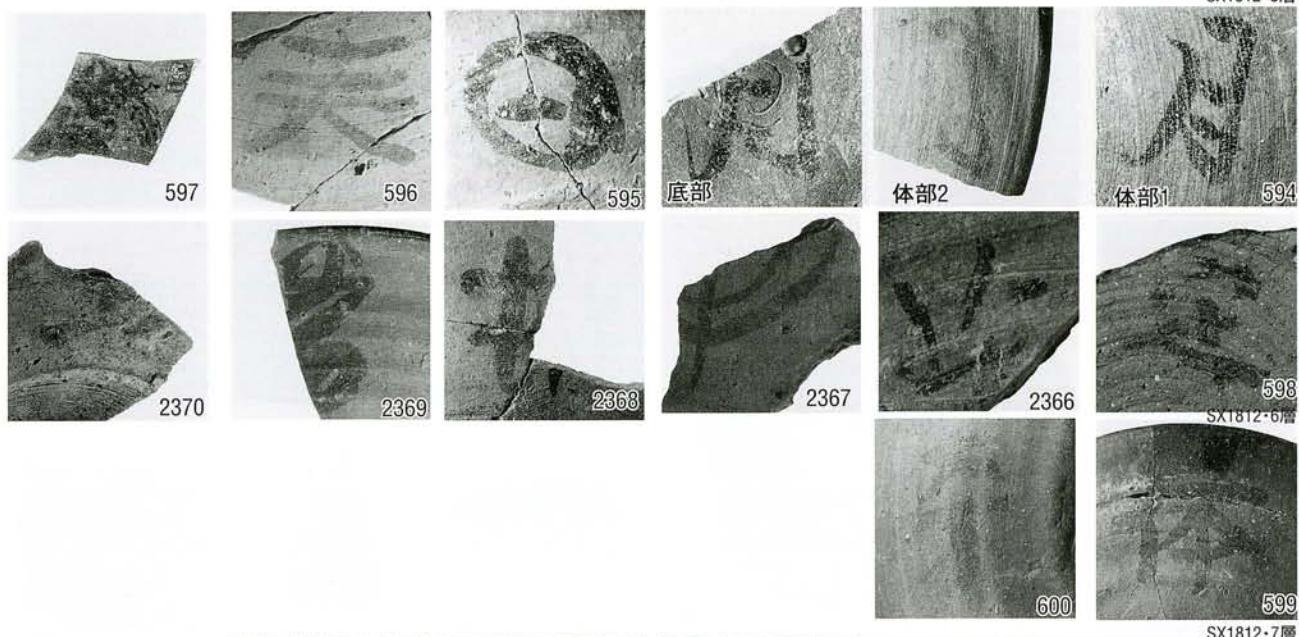
SX1812・3層

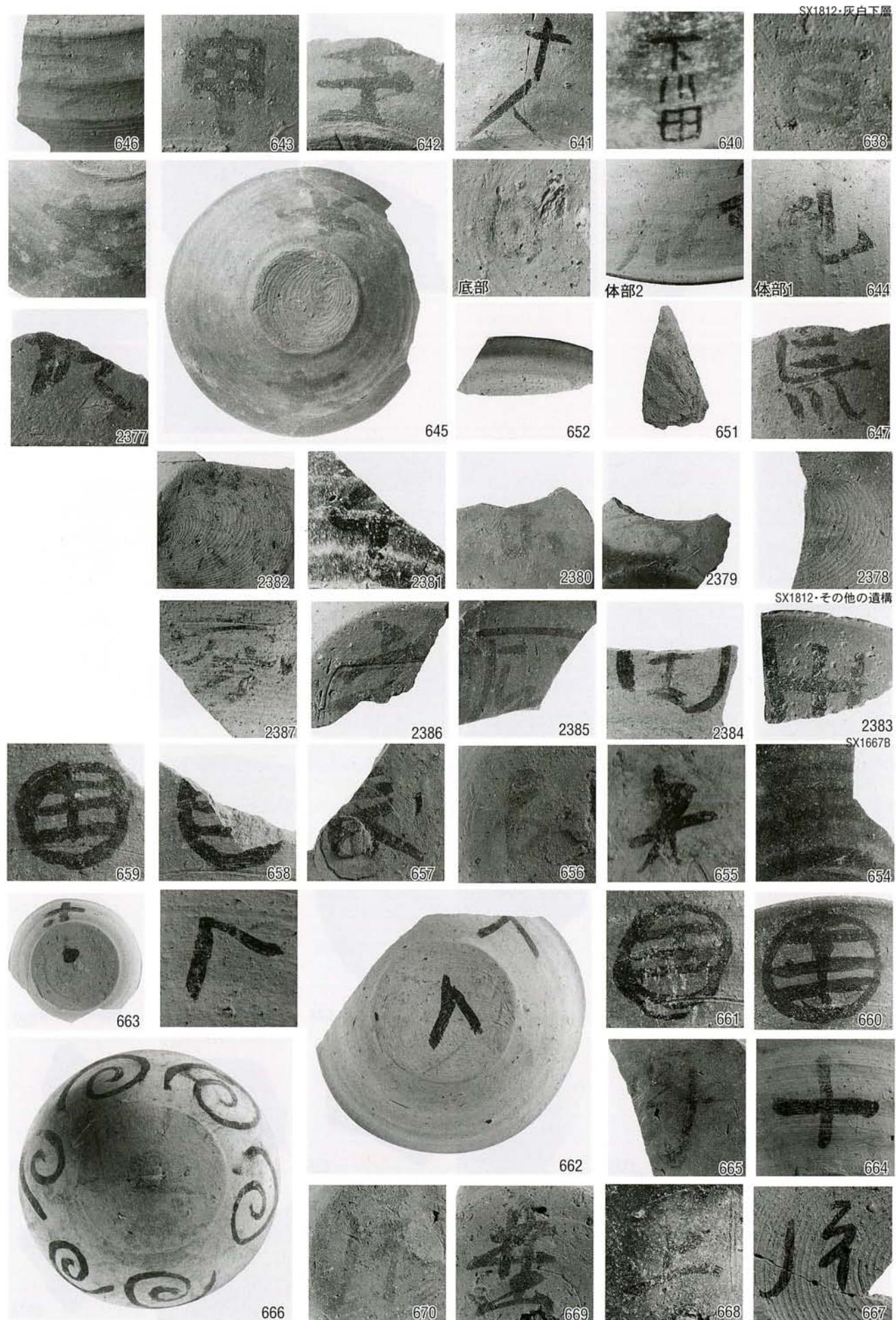


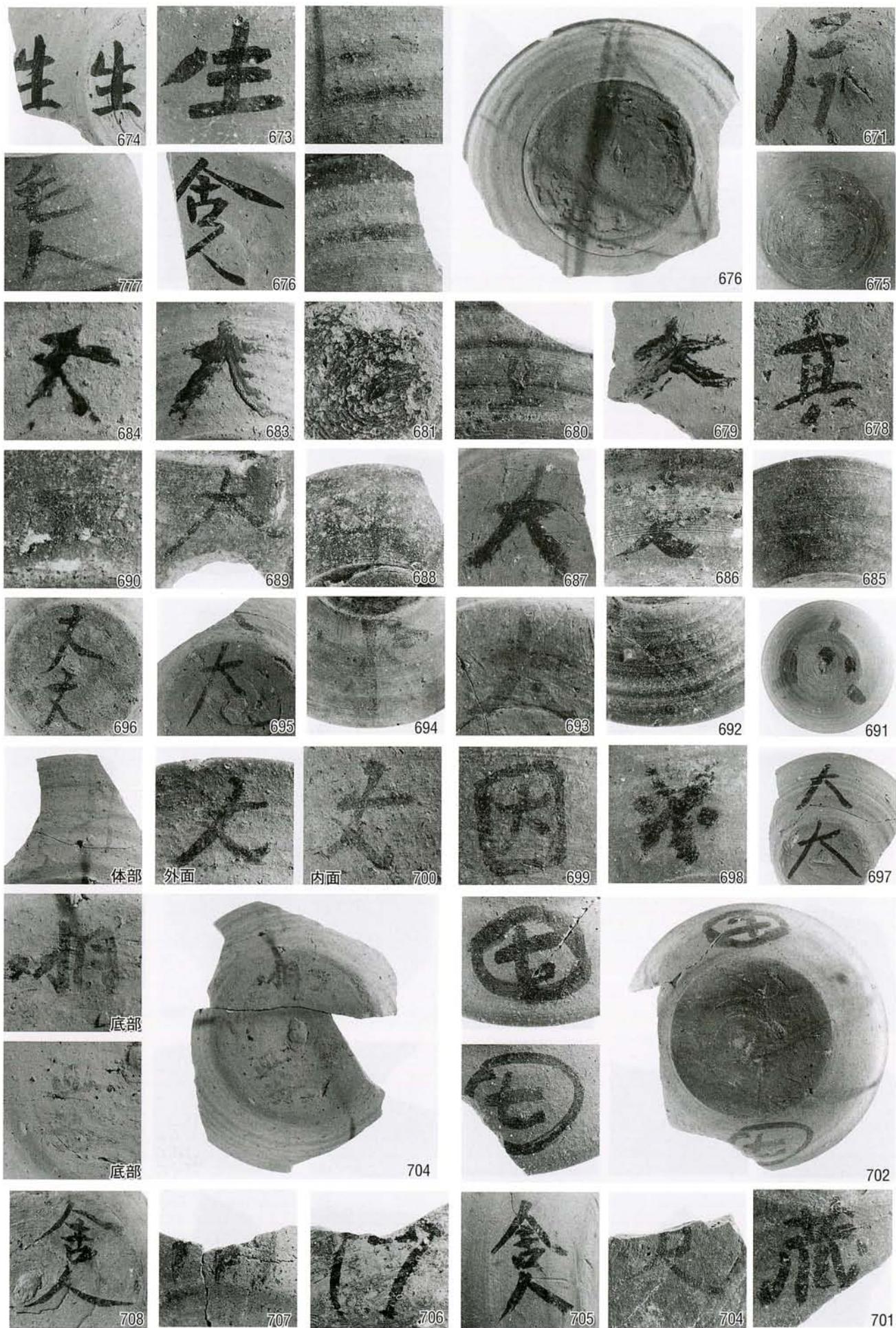
SX1812・4b層

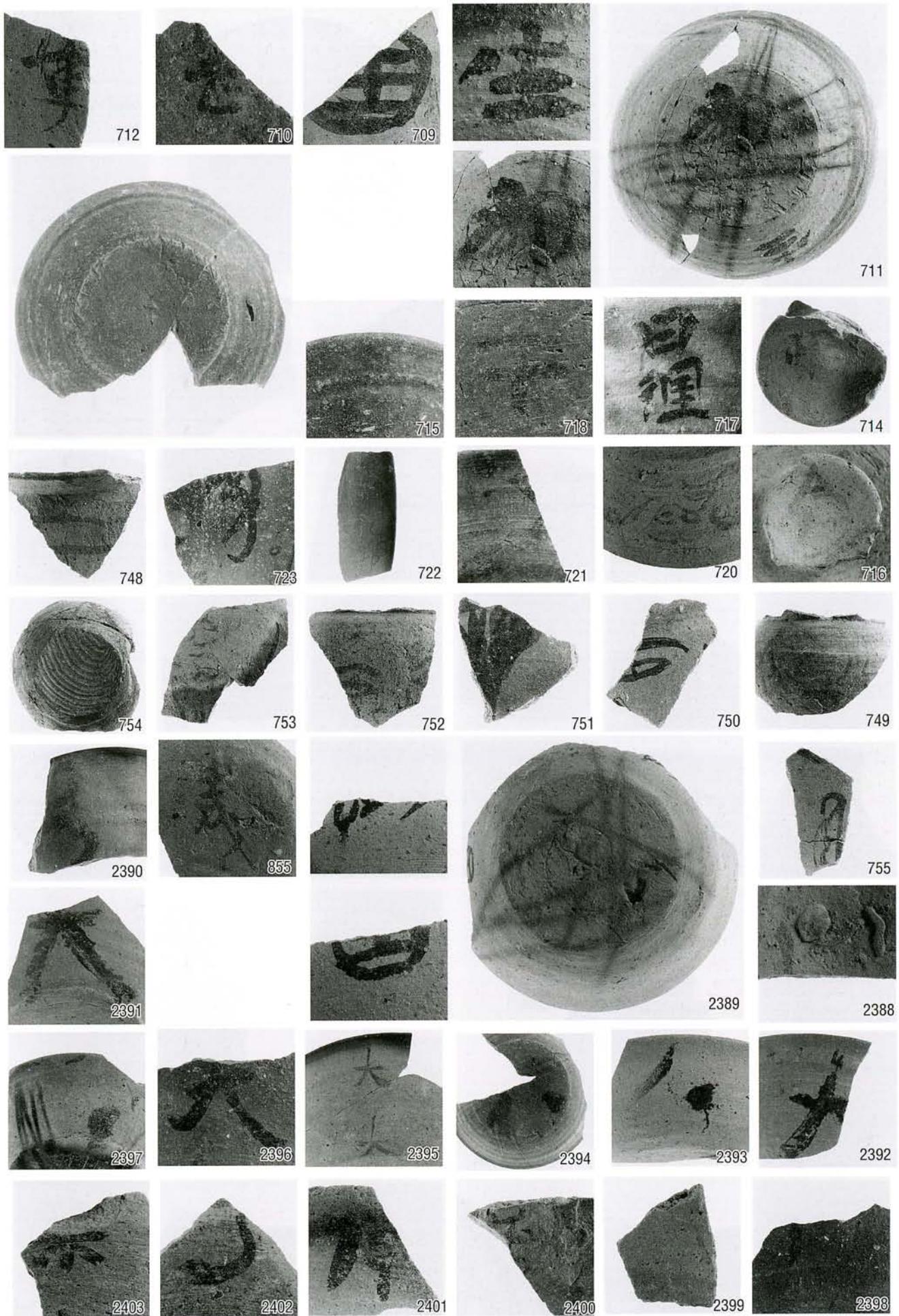


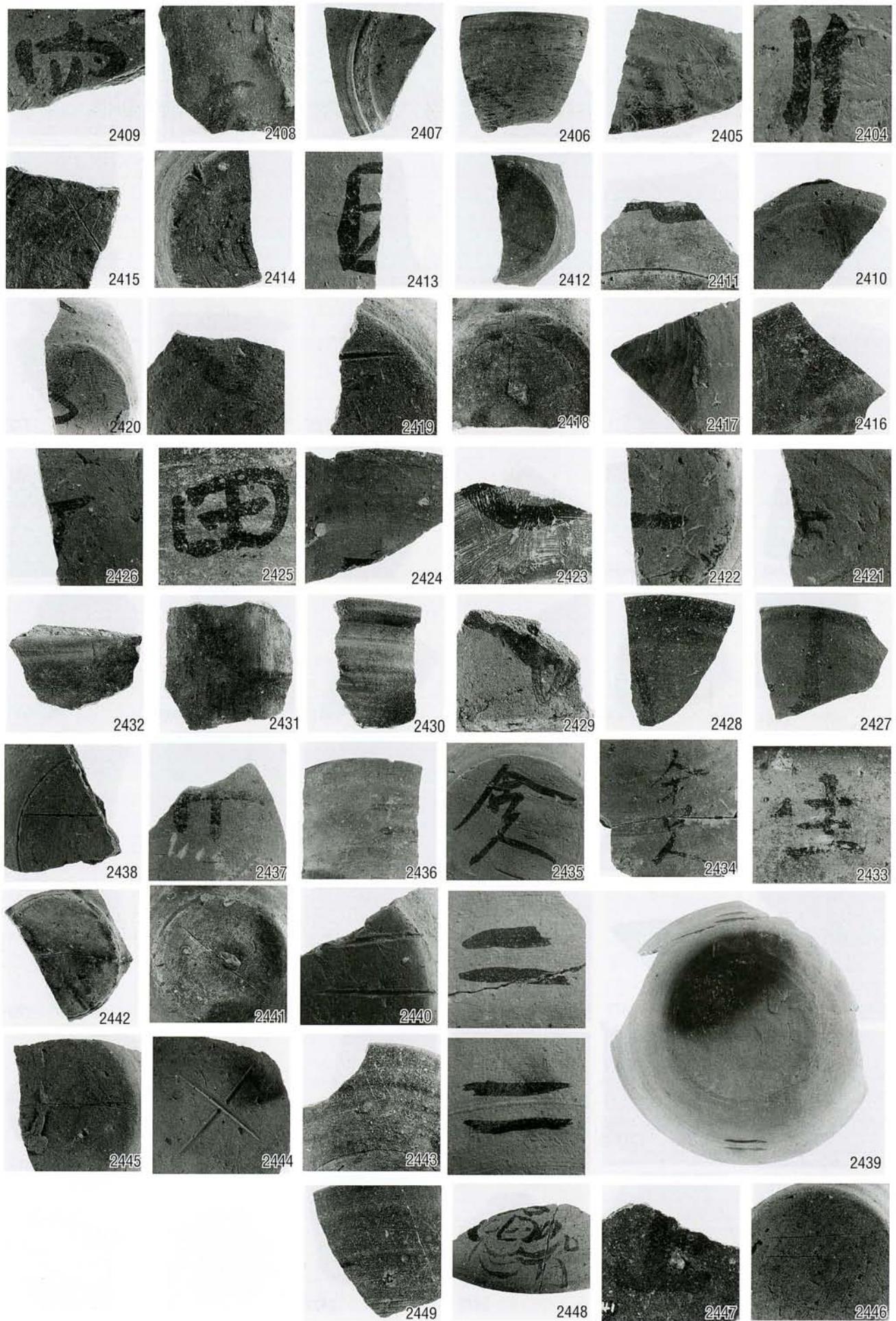


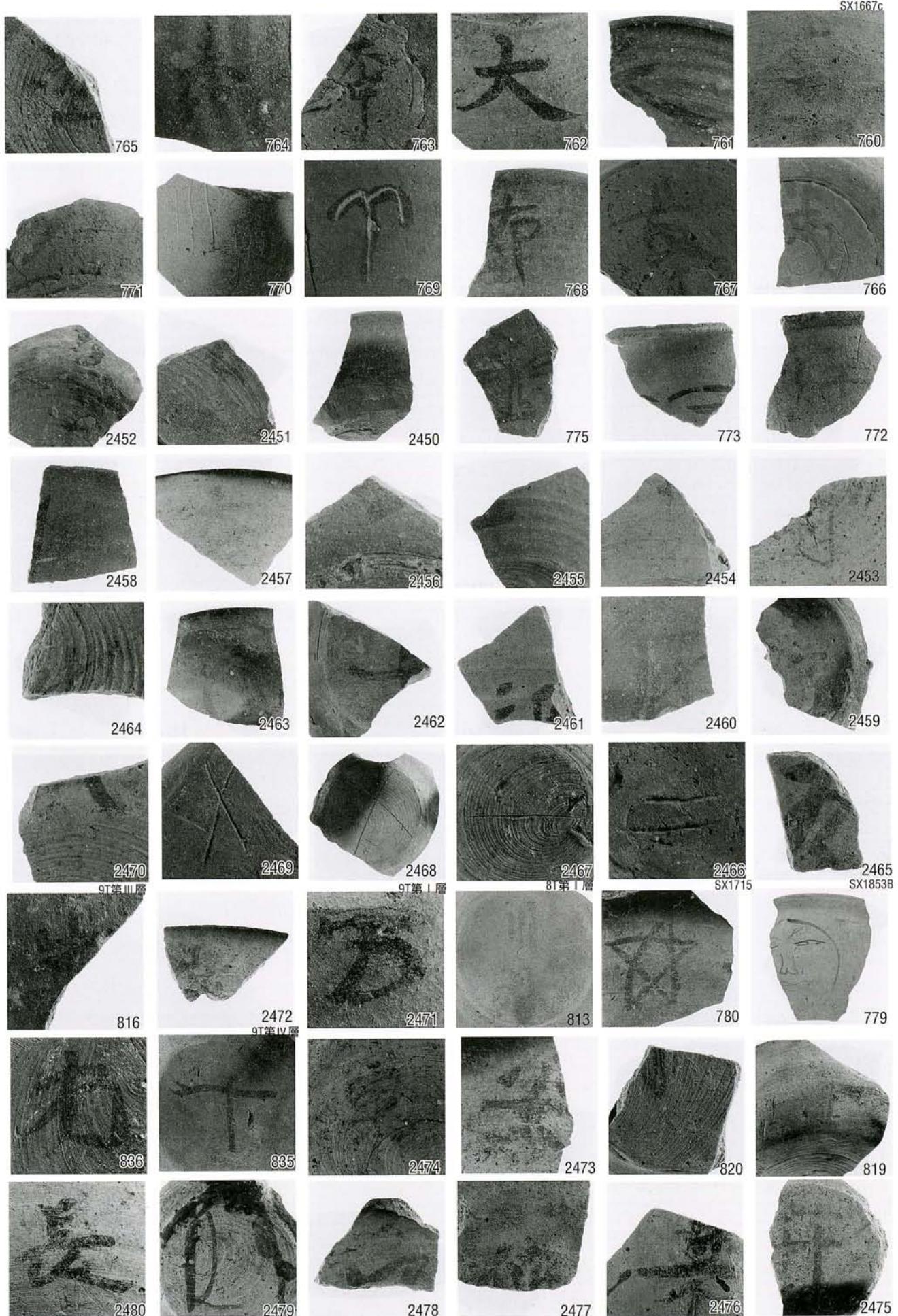


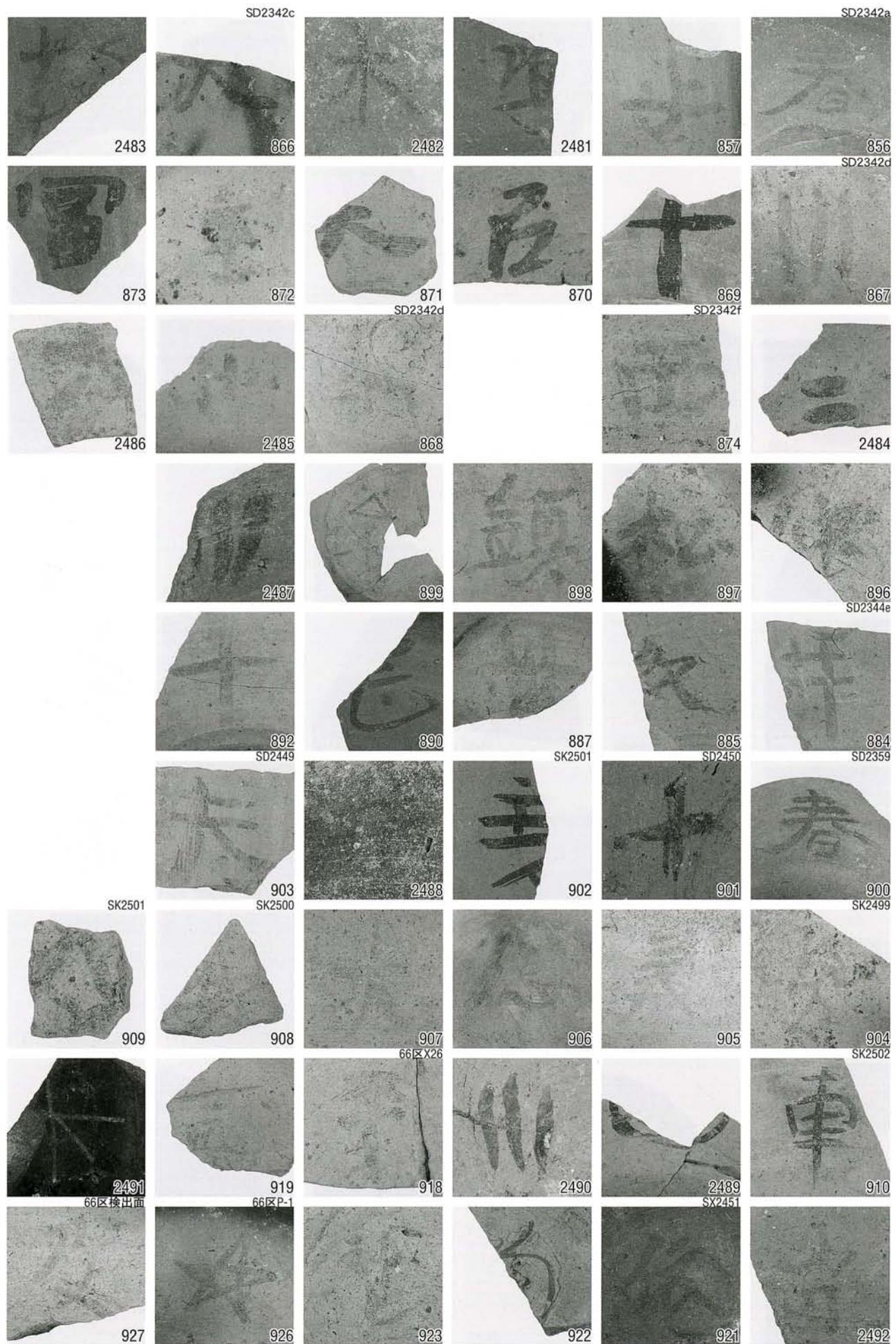


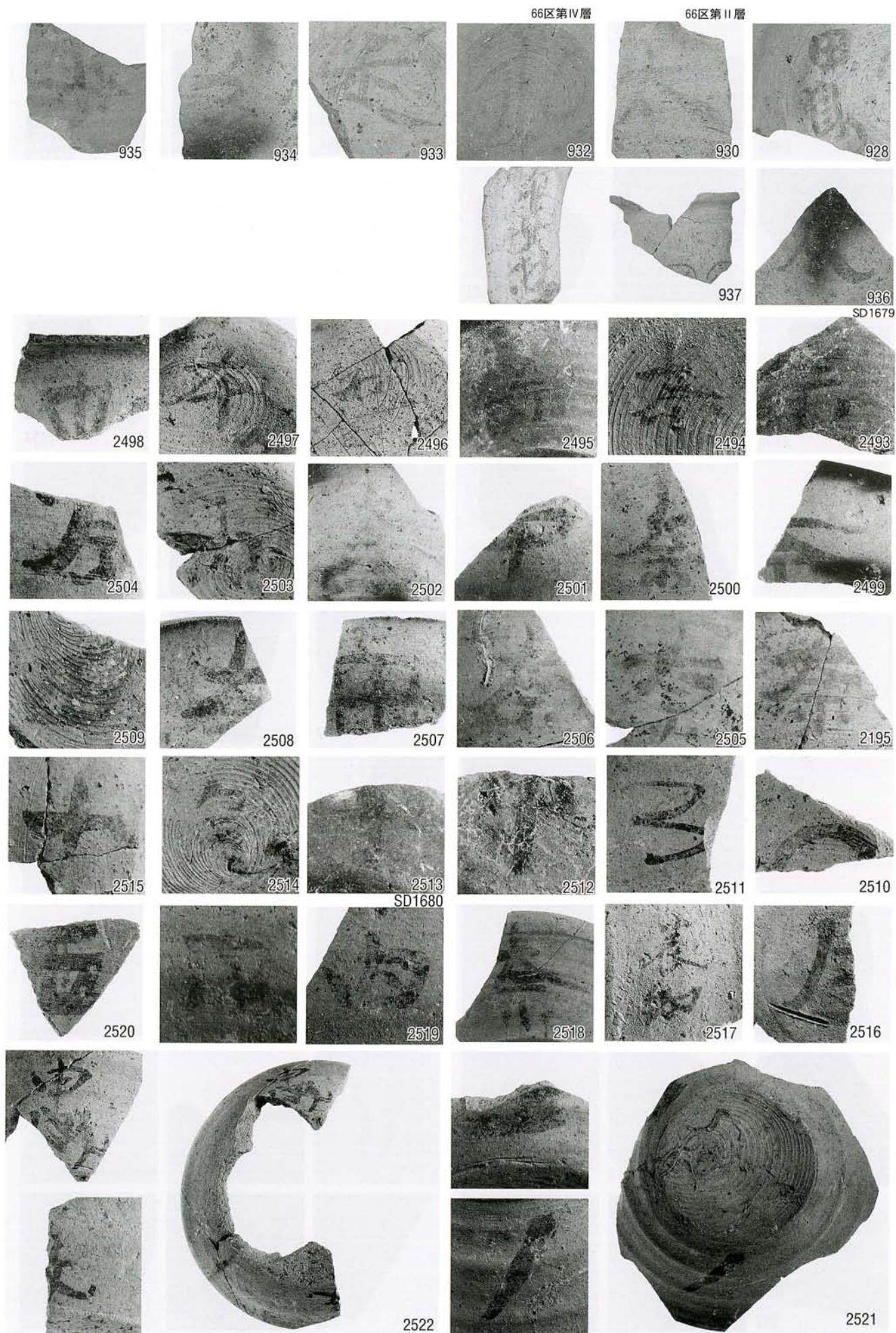


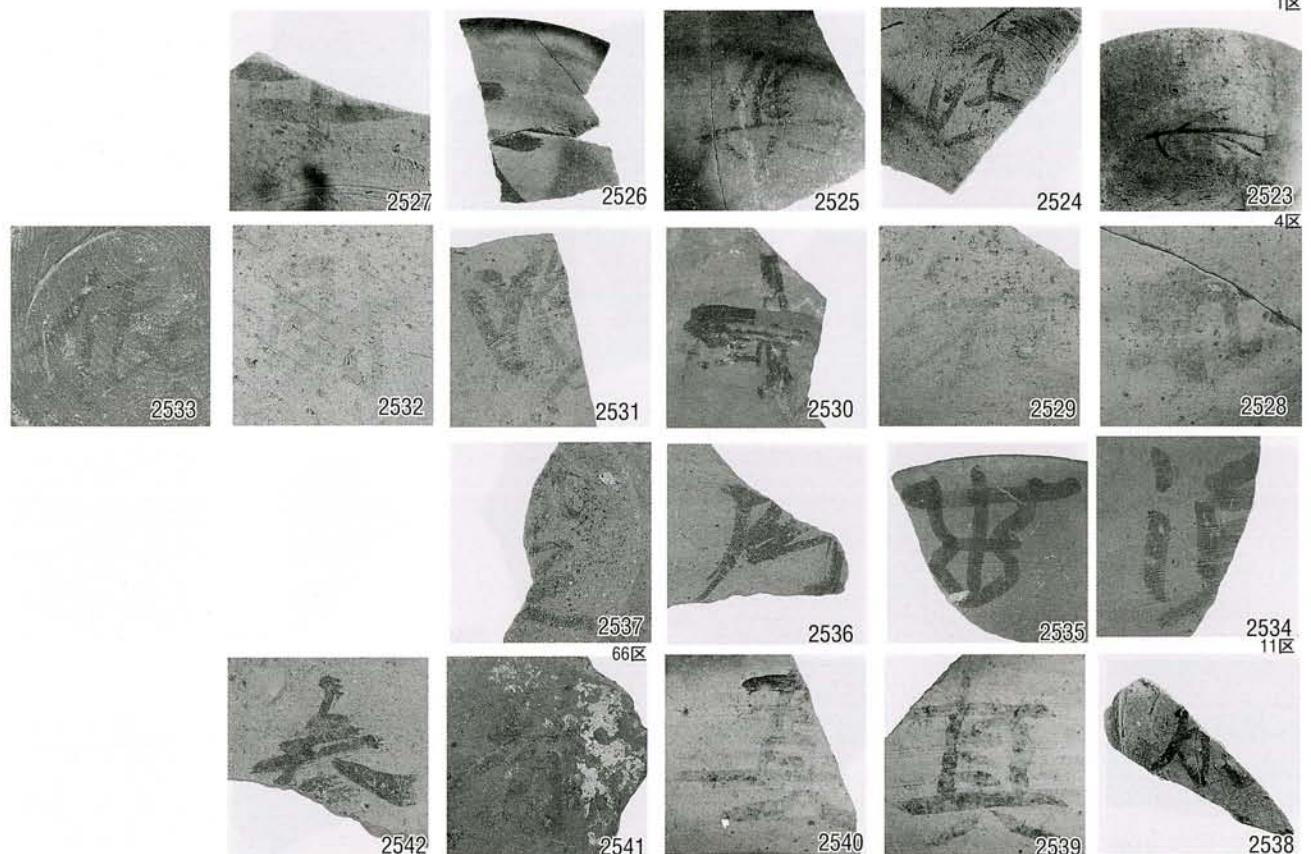


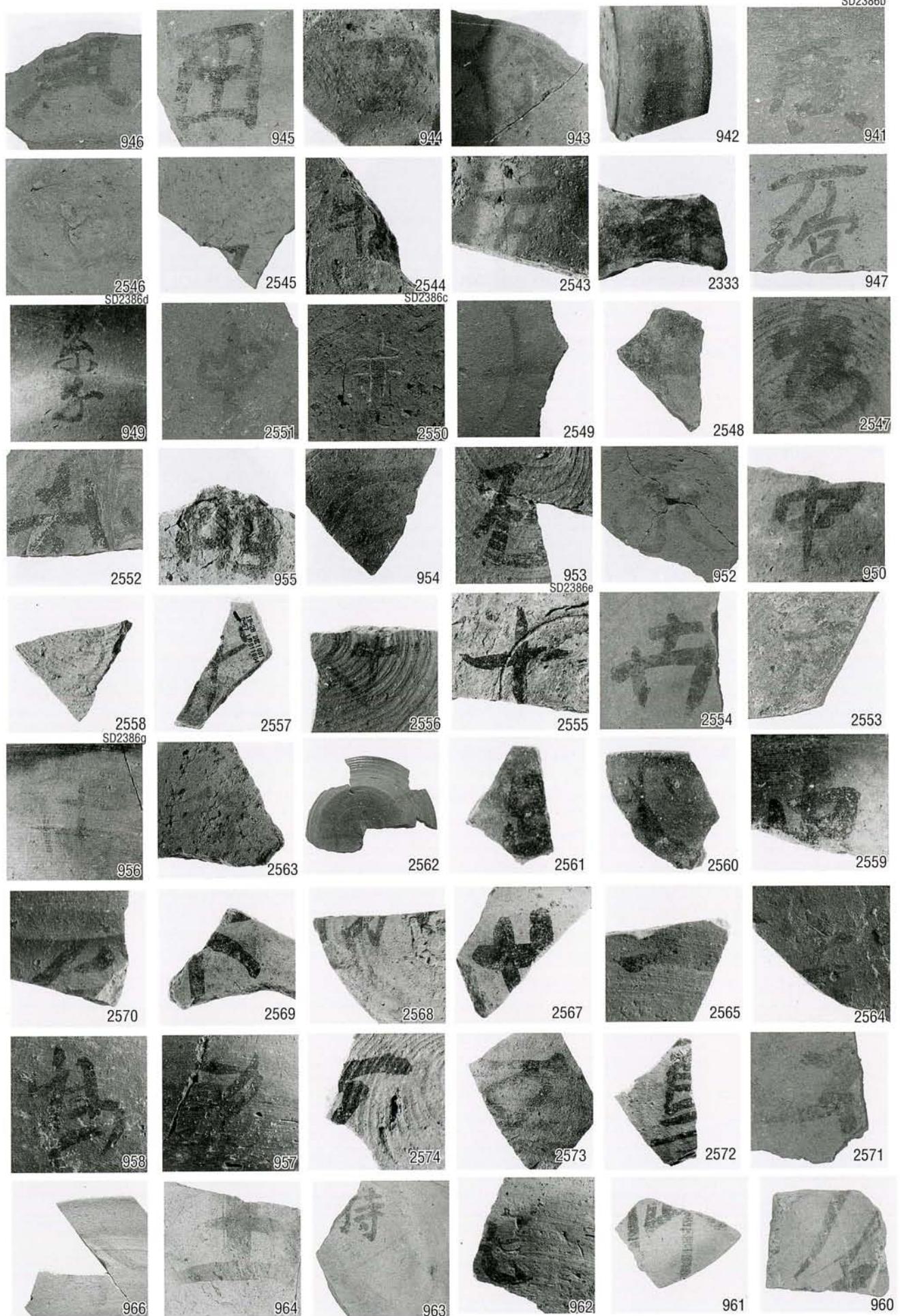


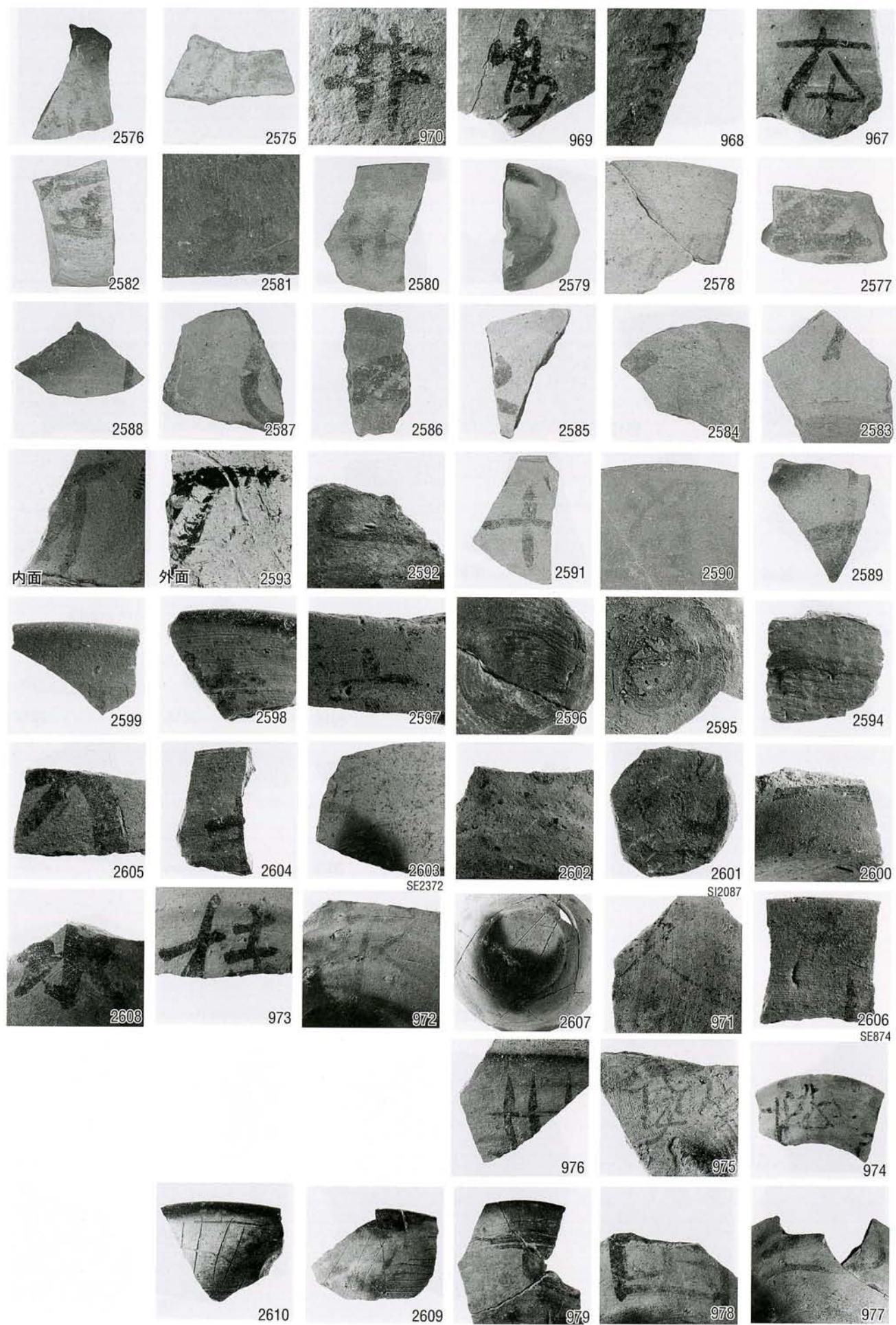


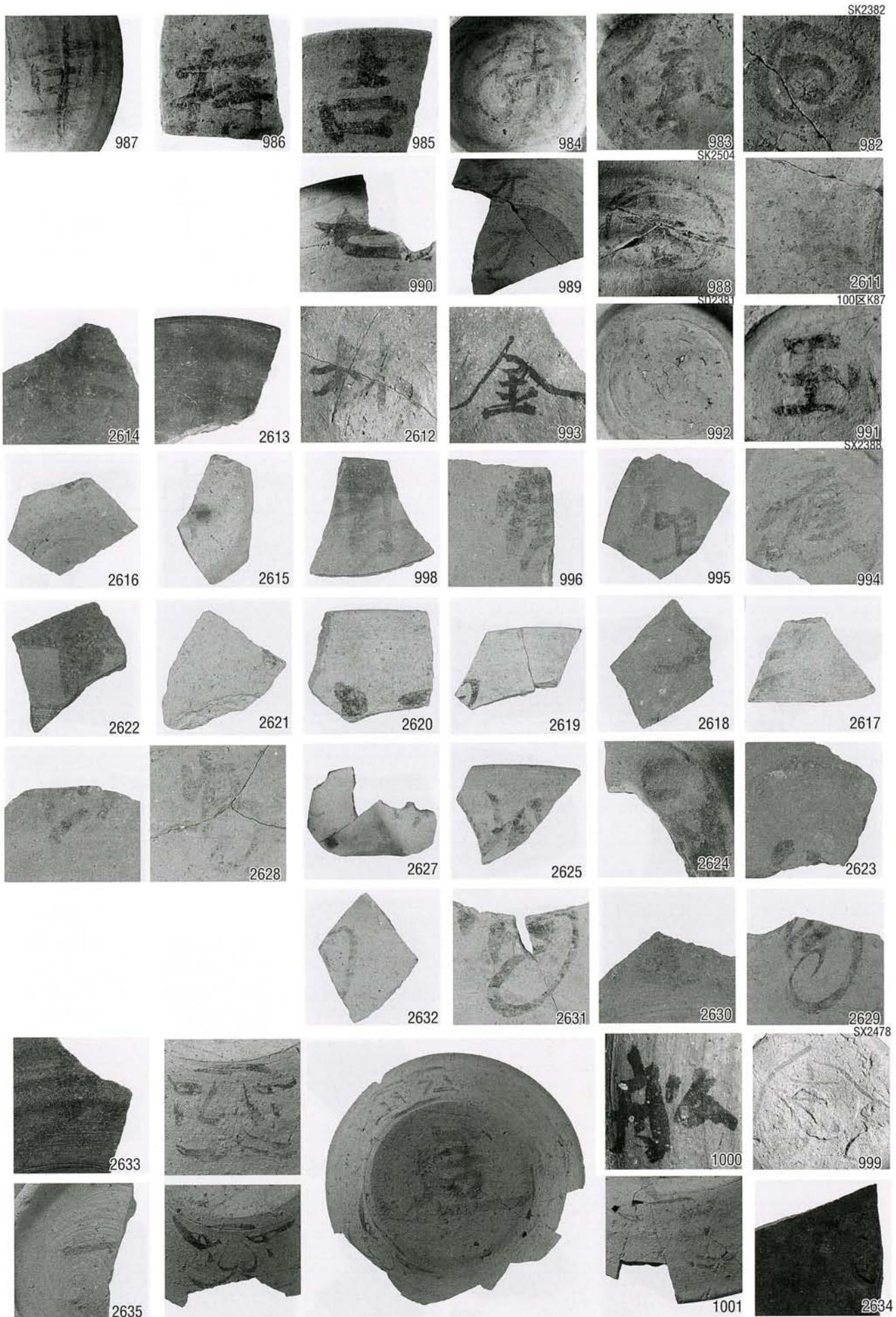




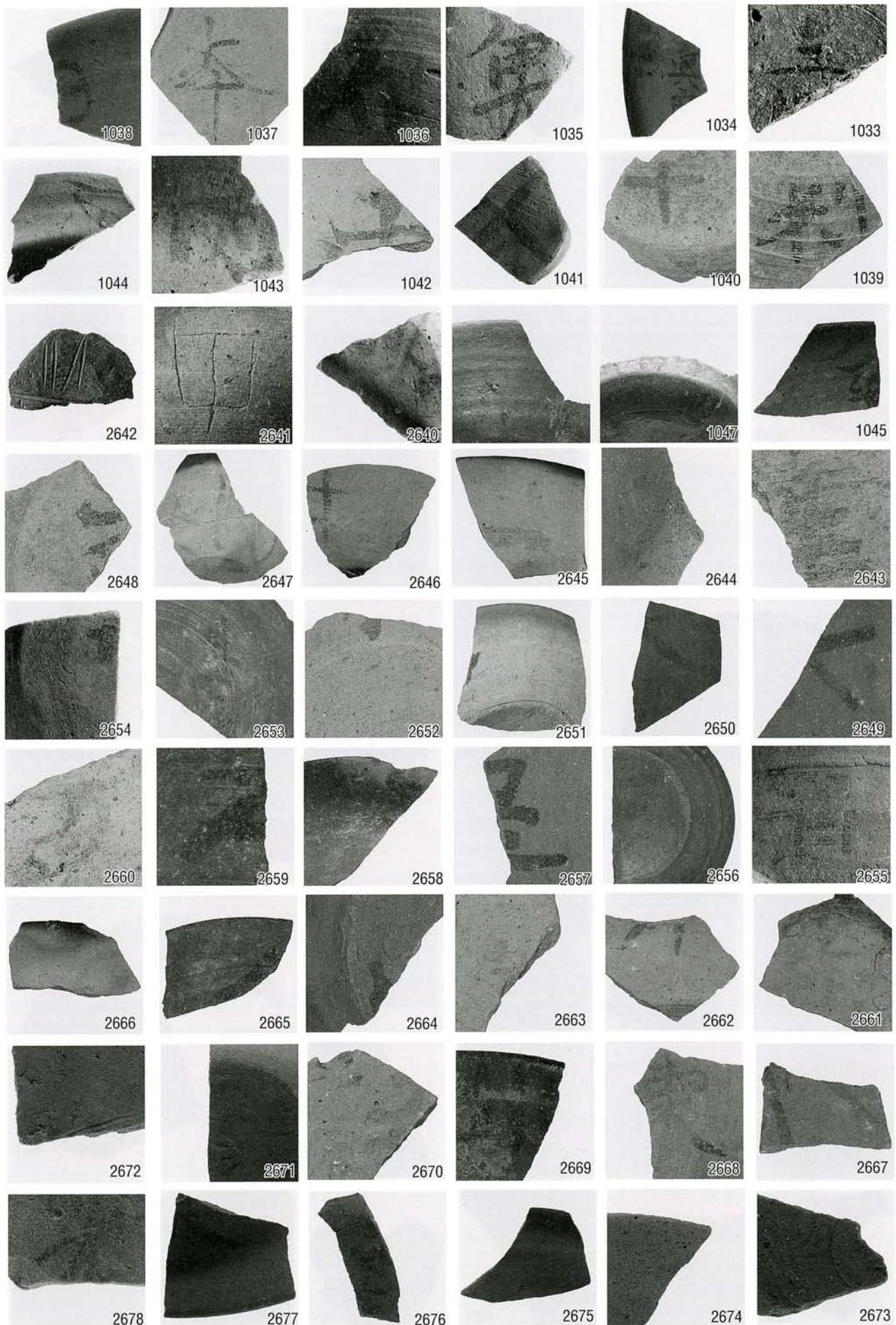


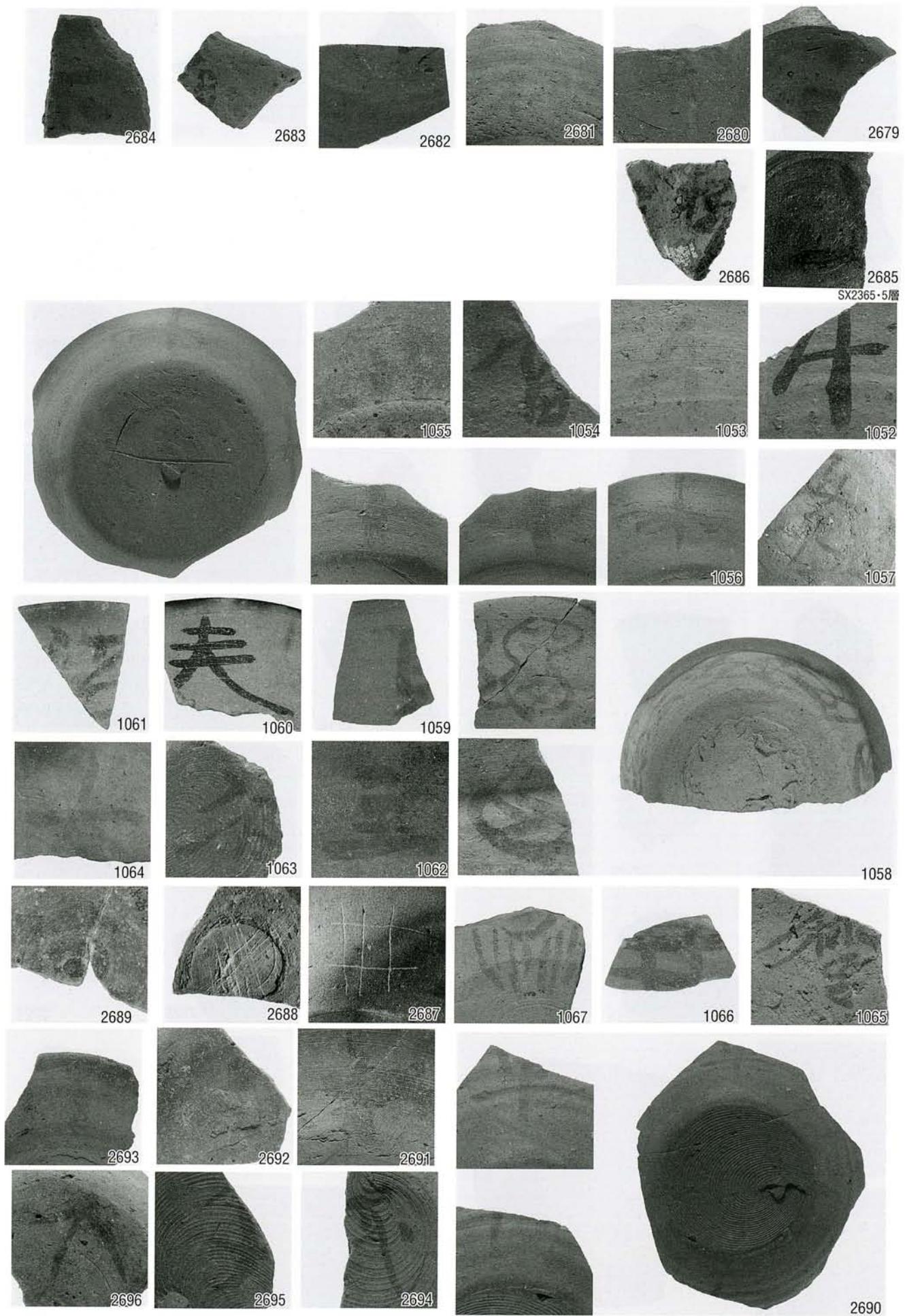


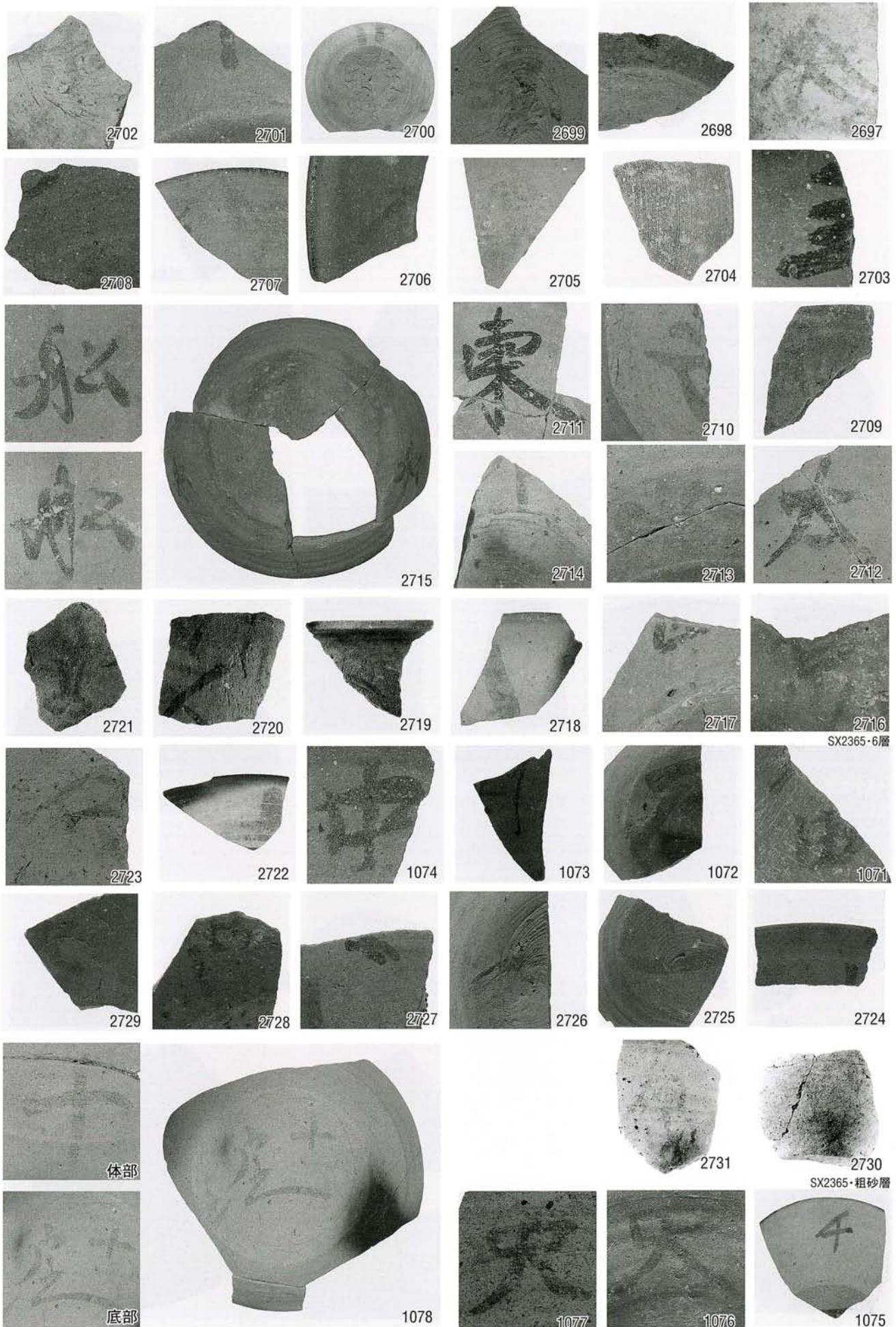


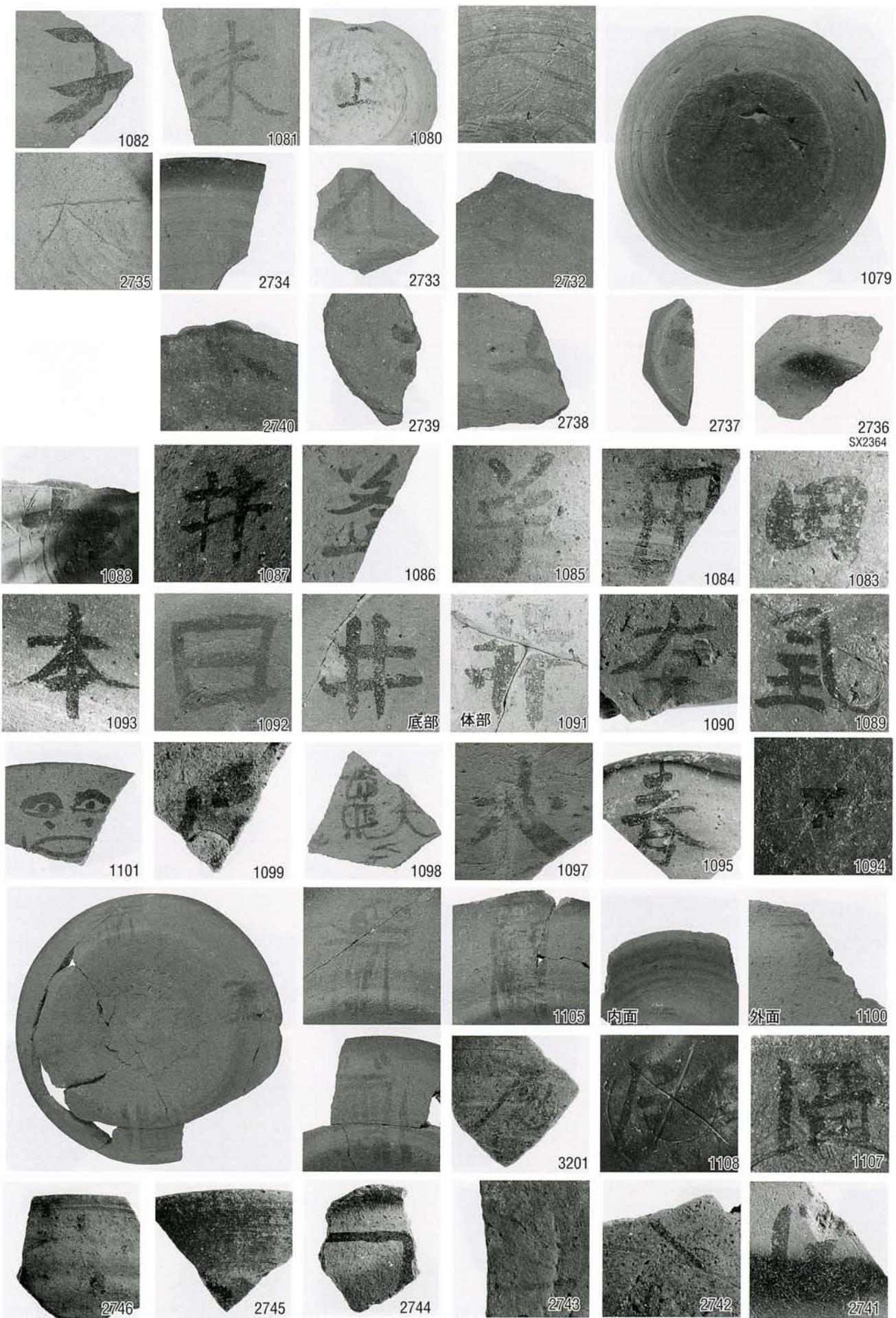


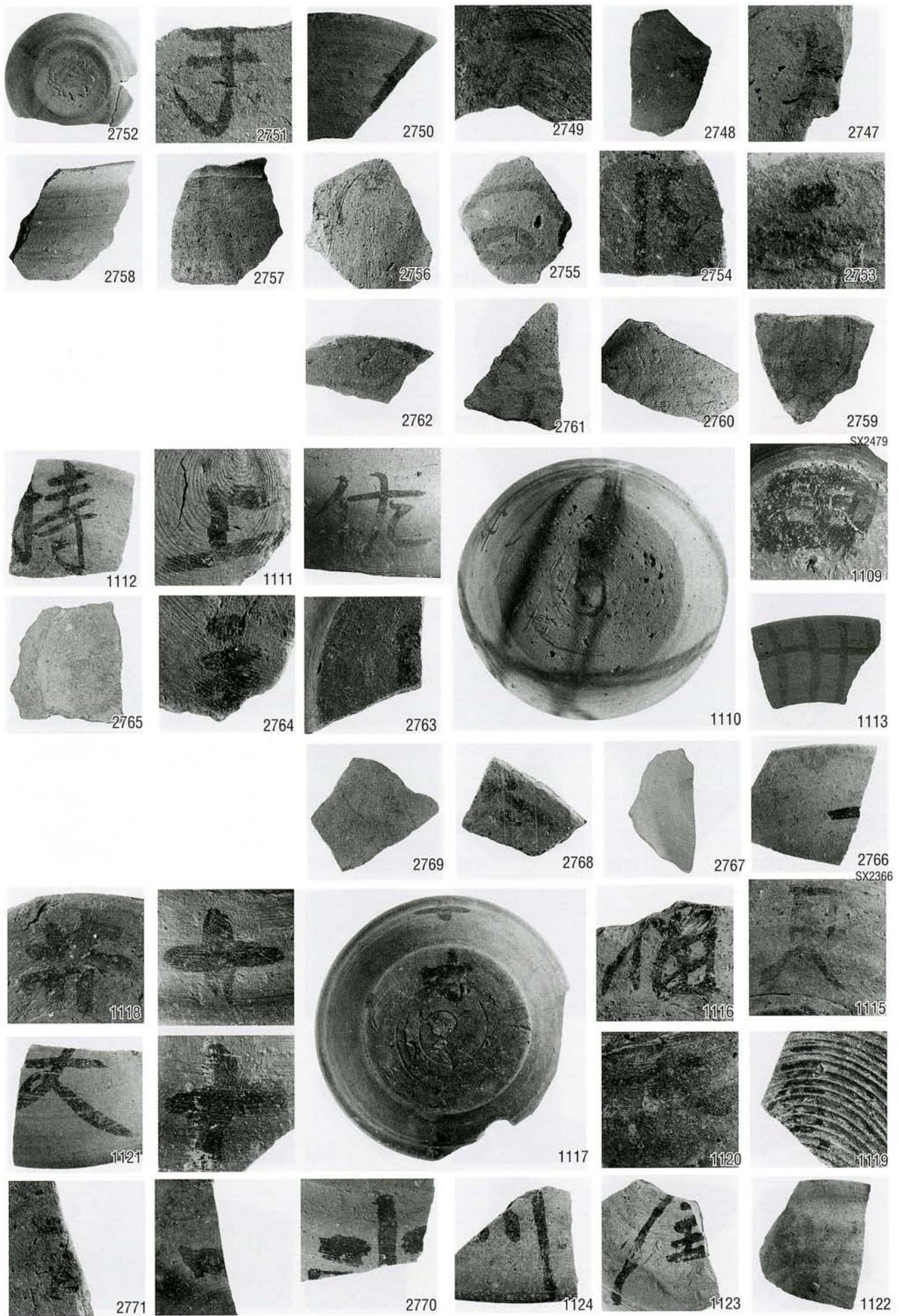


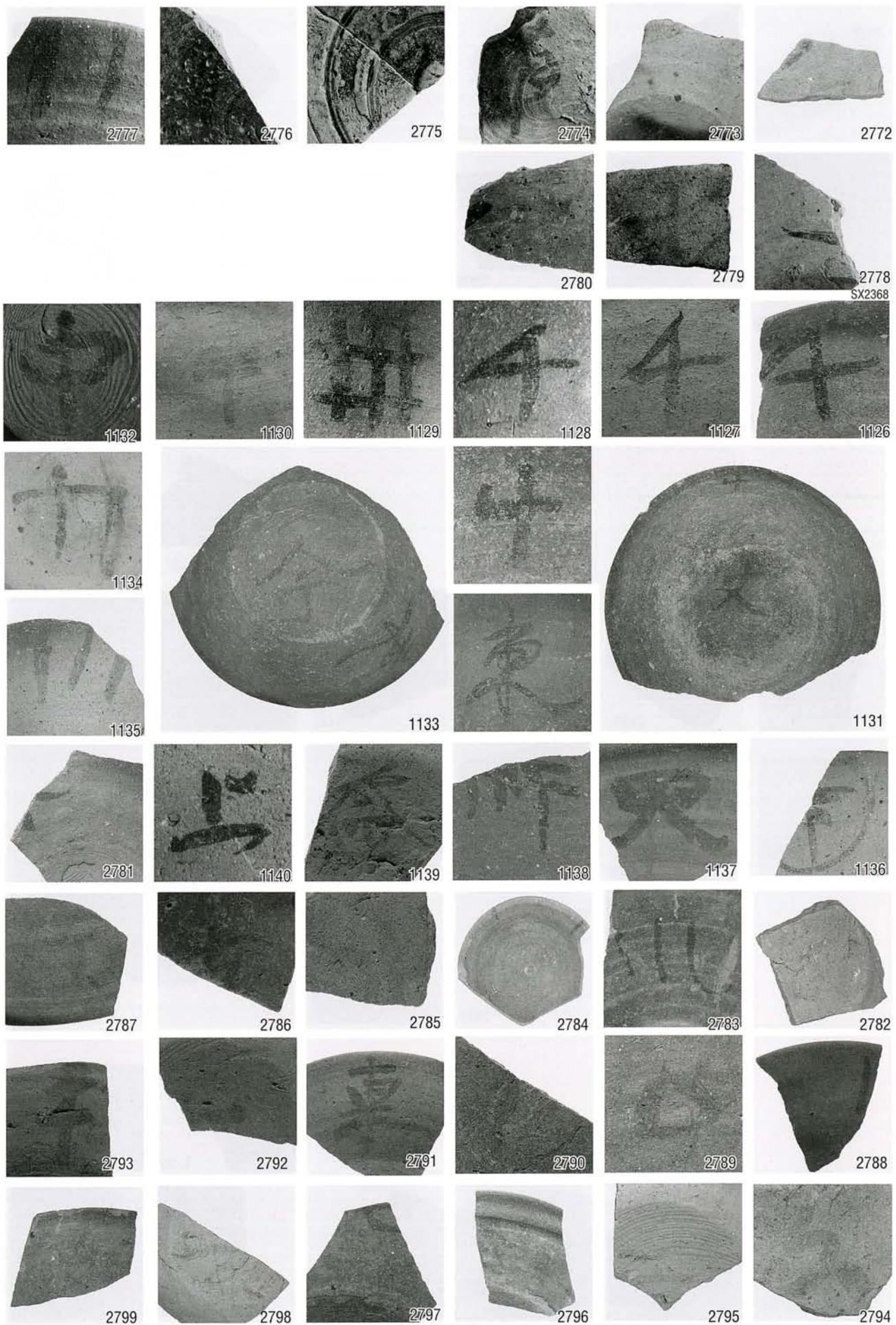


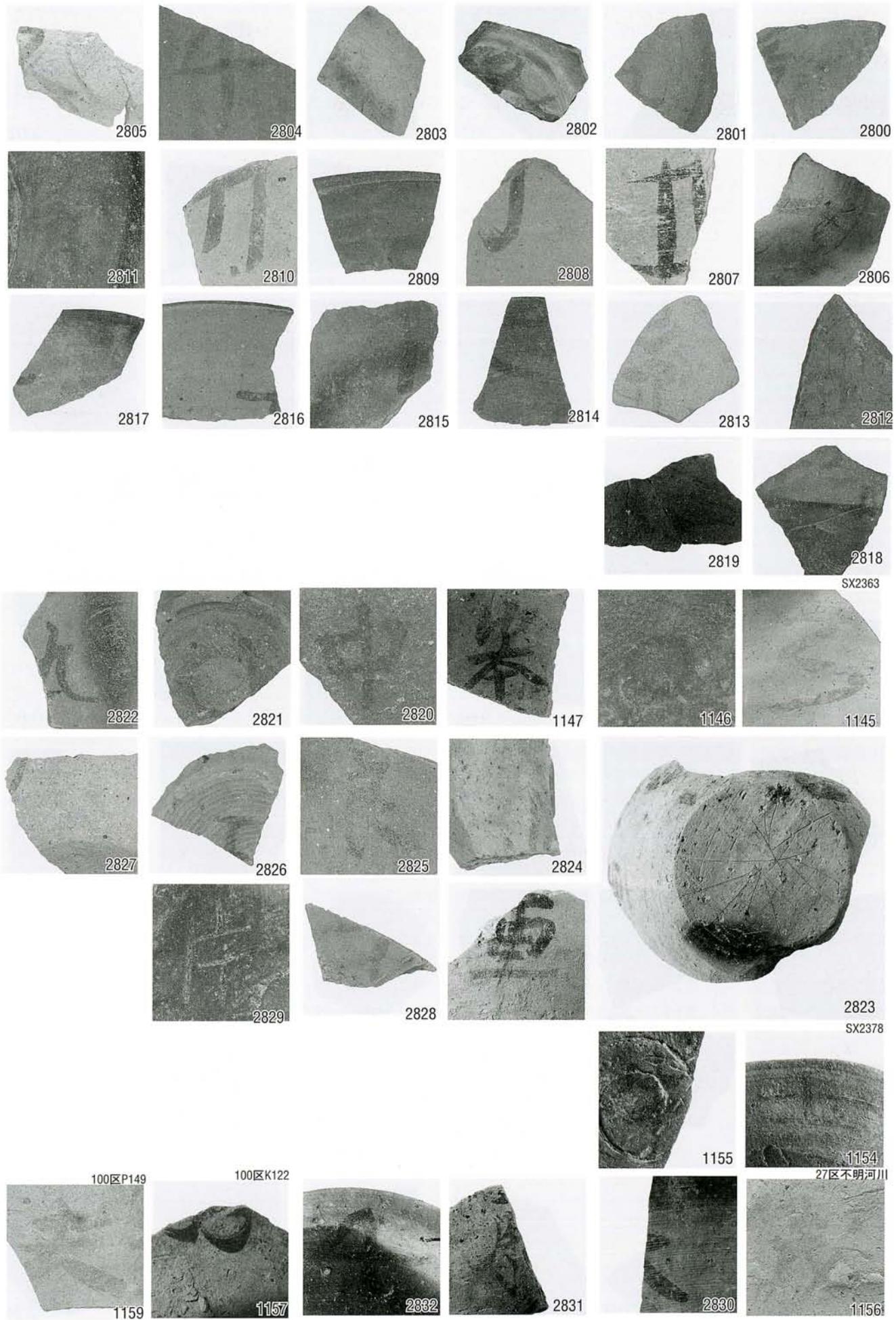


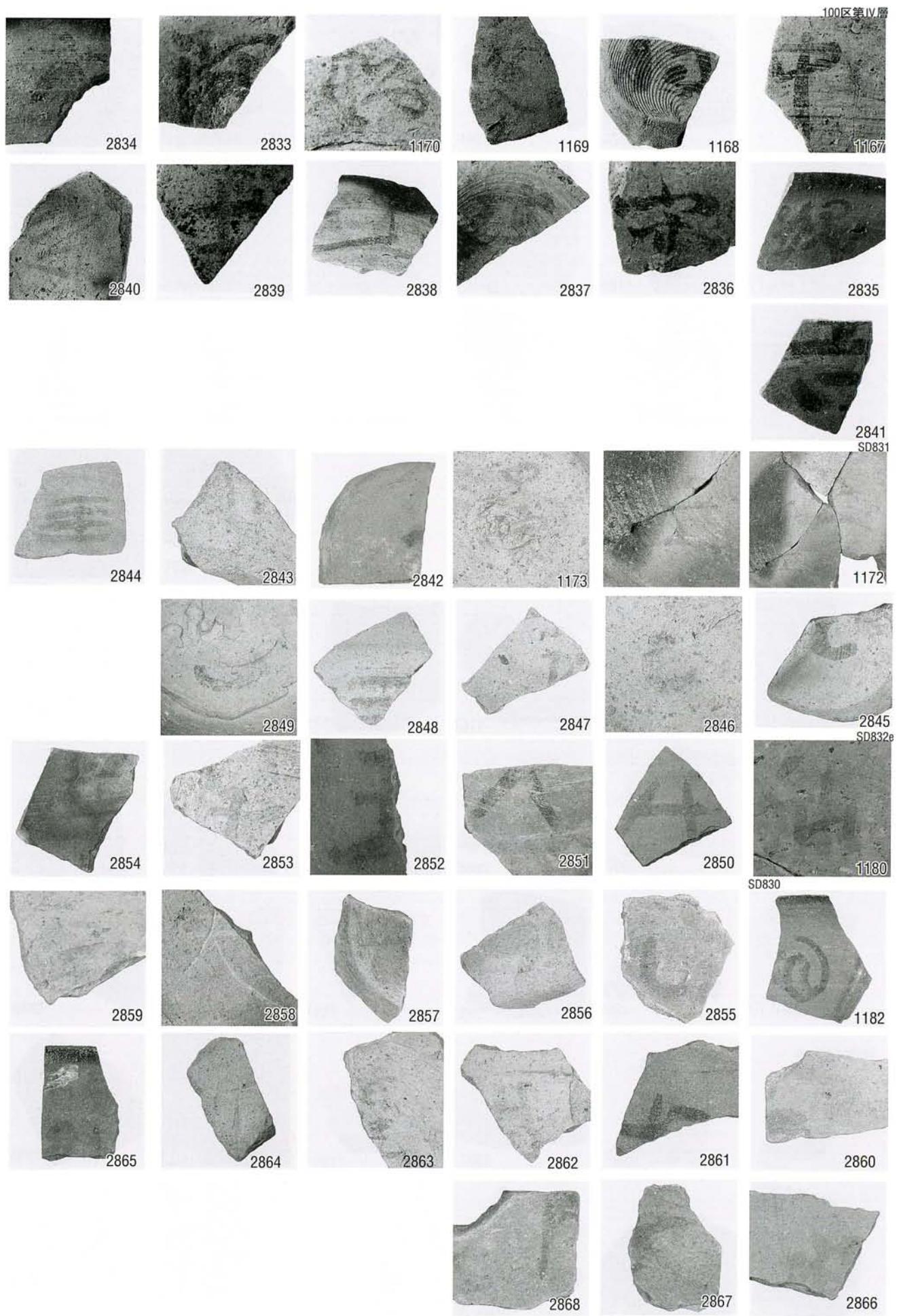


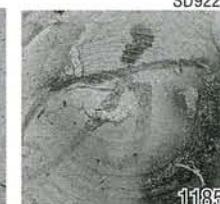
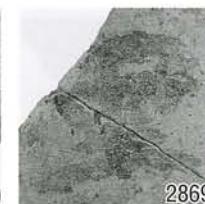




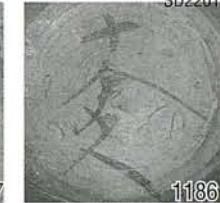
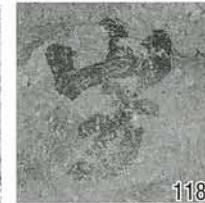
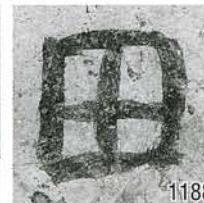








SD2201a



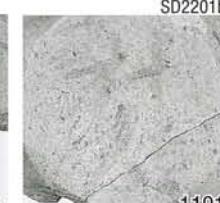
SD2201a



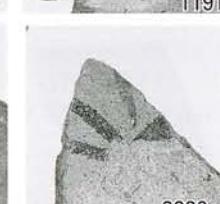
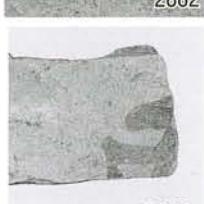
SD2201b



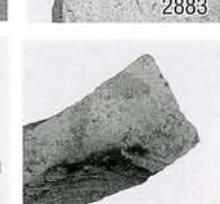
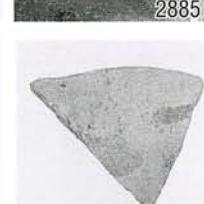
SD2201b



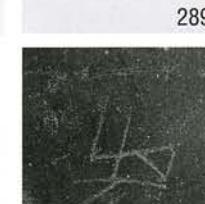
SD2201b



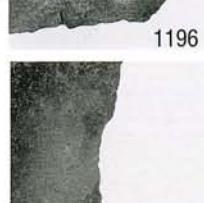
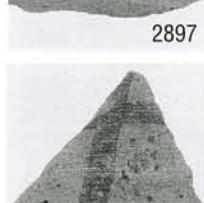
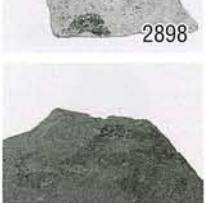
SD2201c



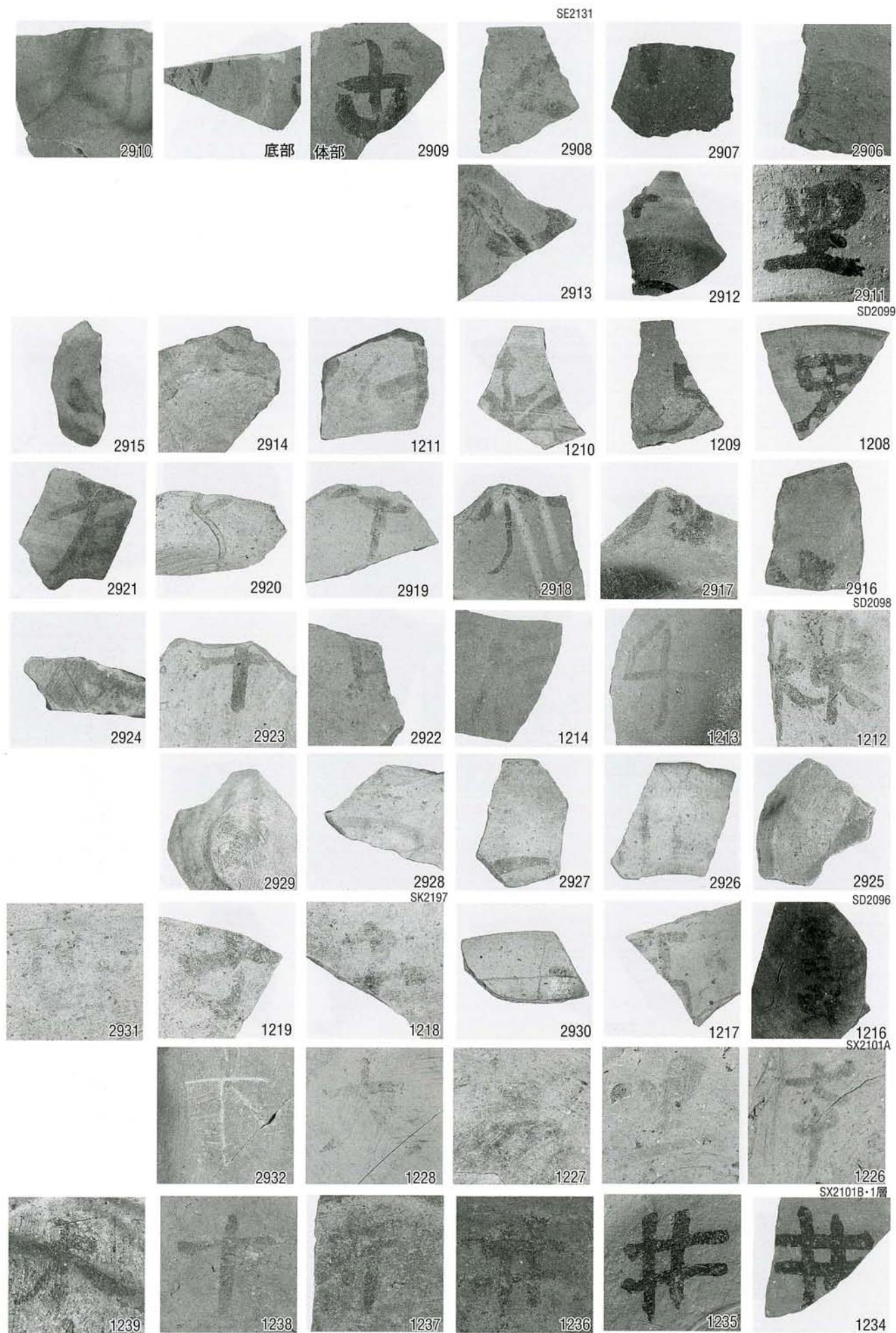
SD2201c

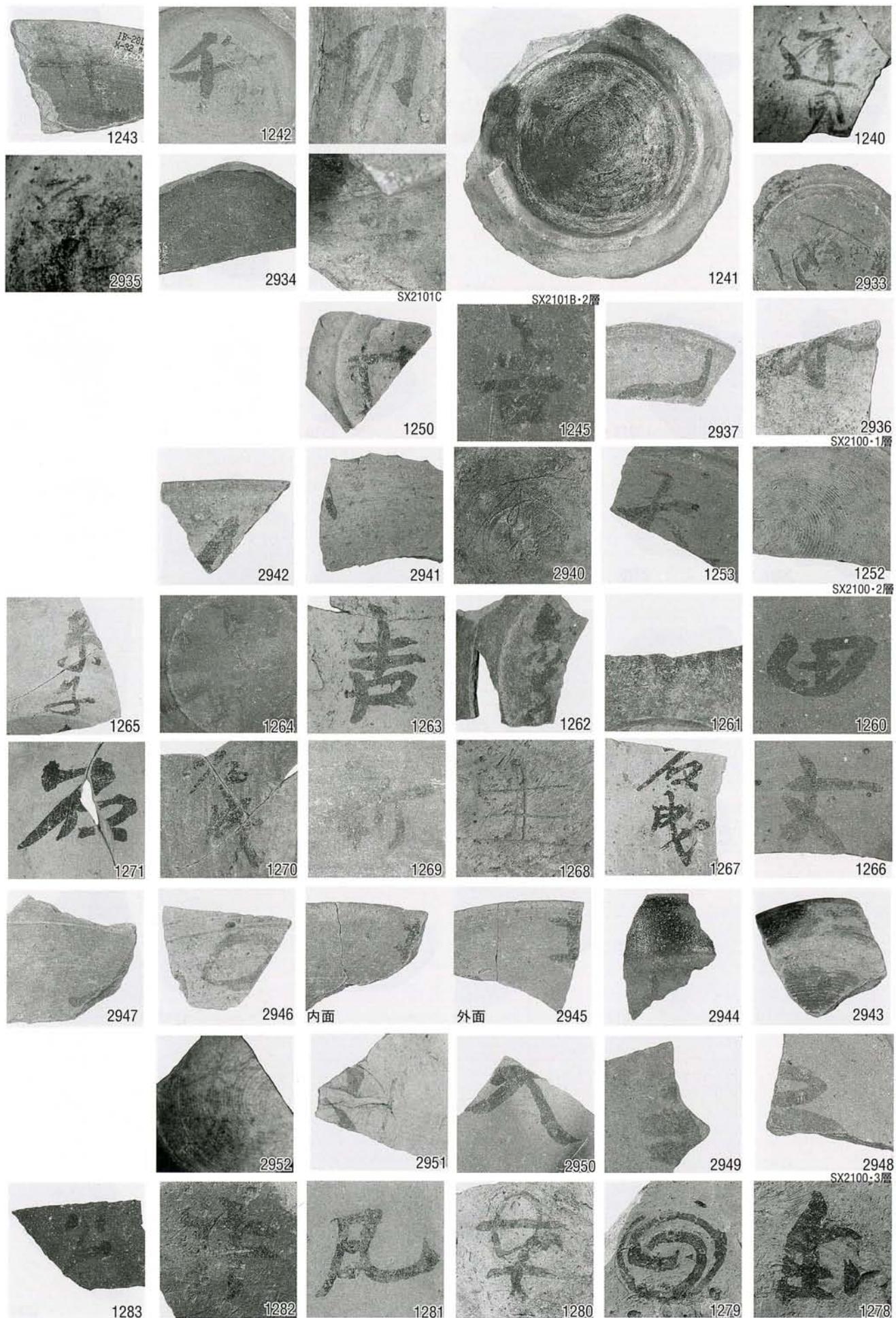


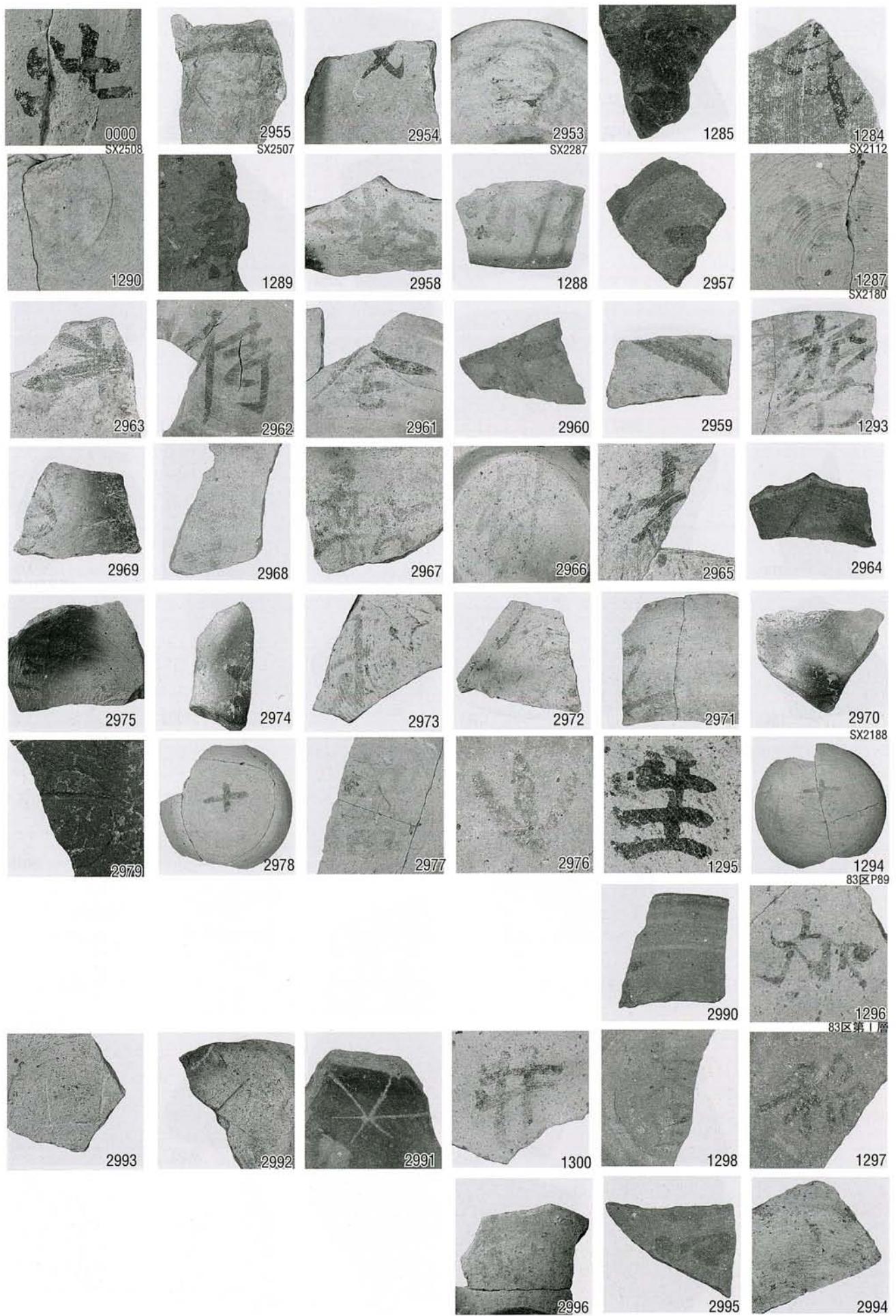
SE2123

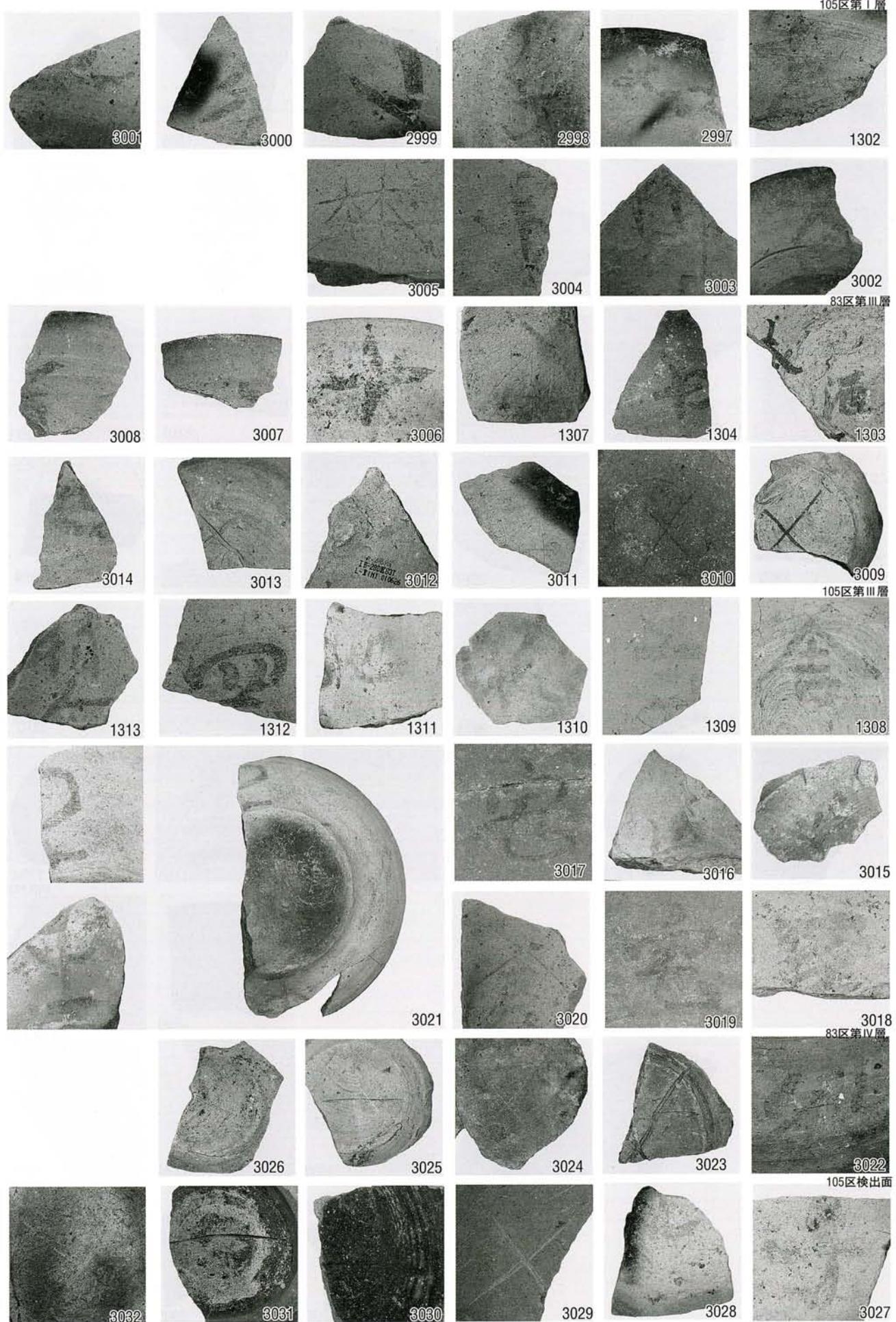


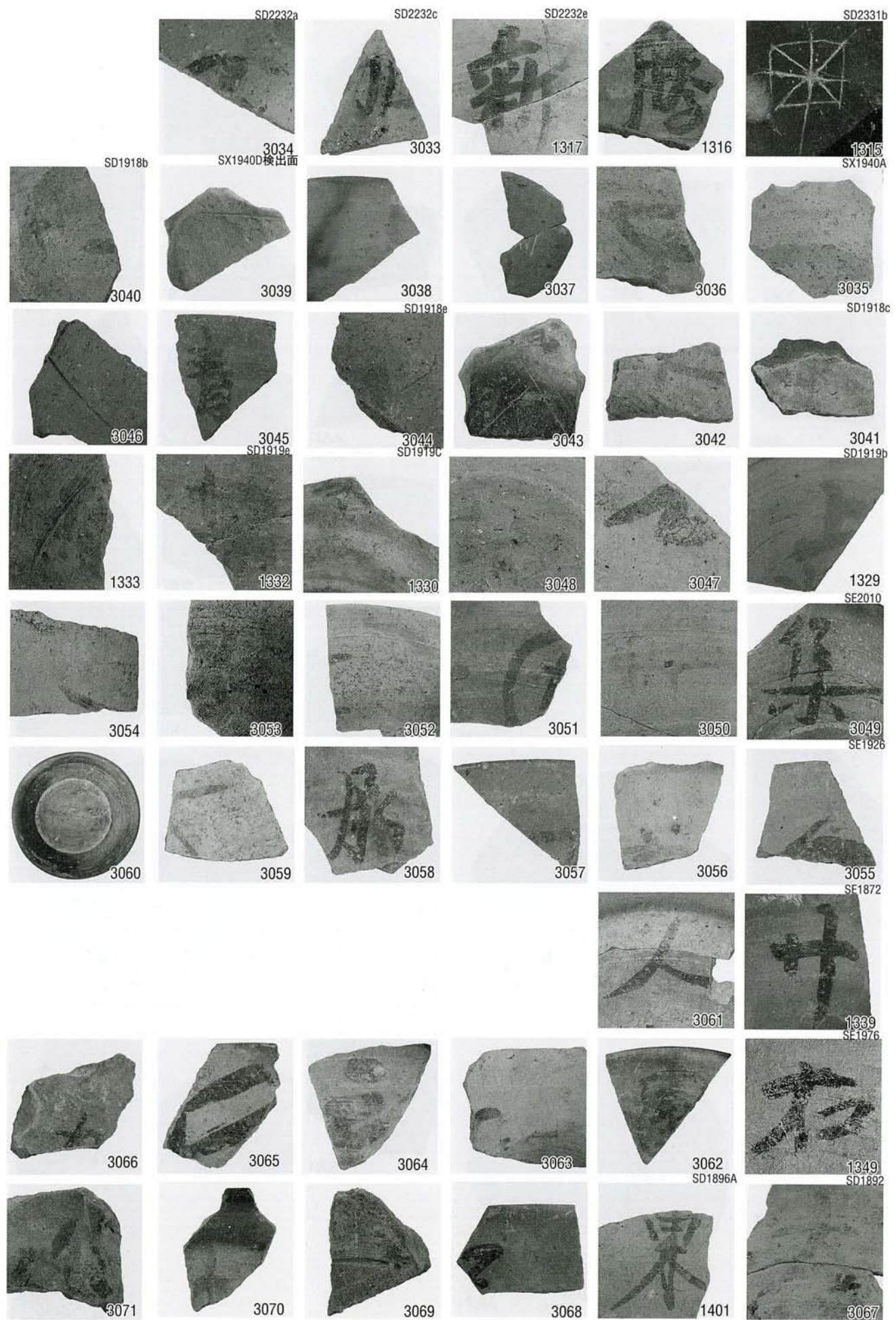
SE2123

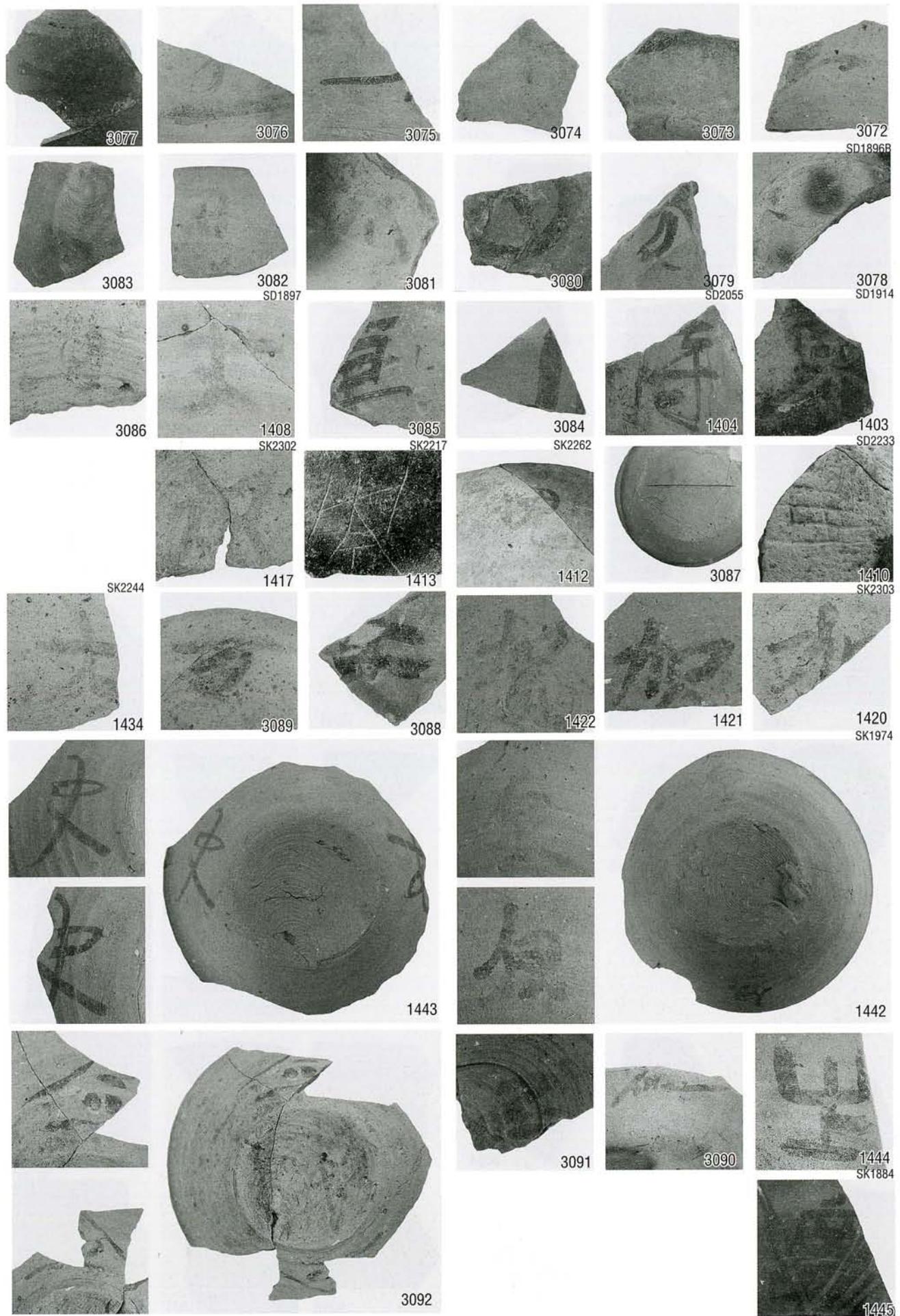


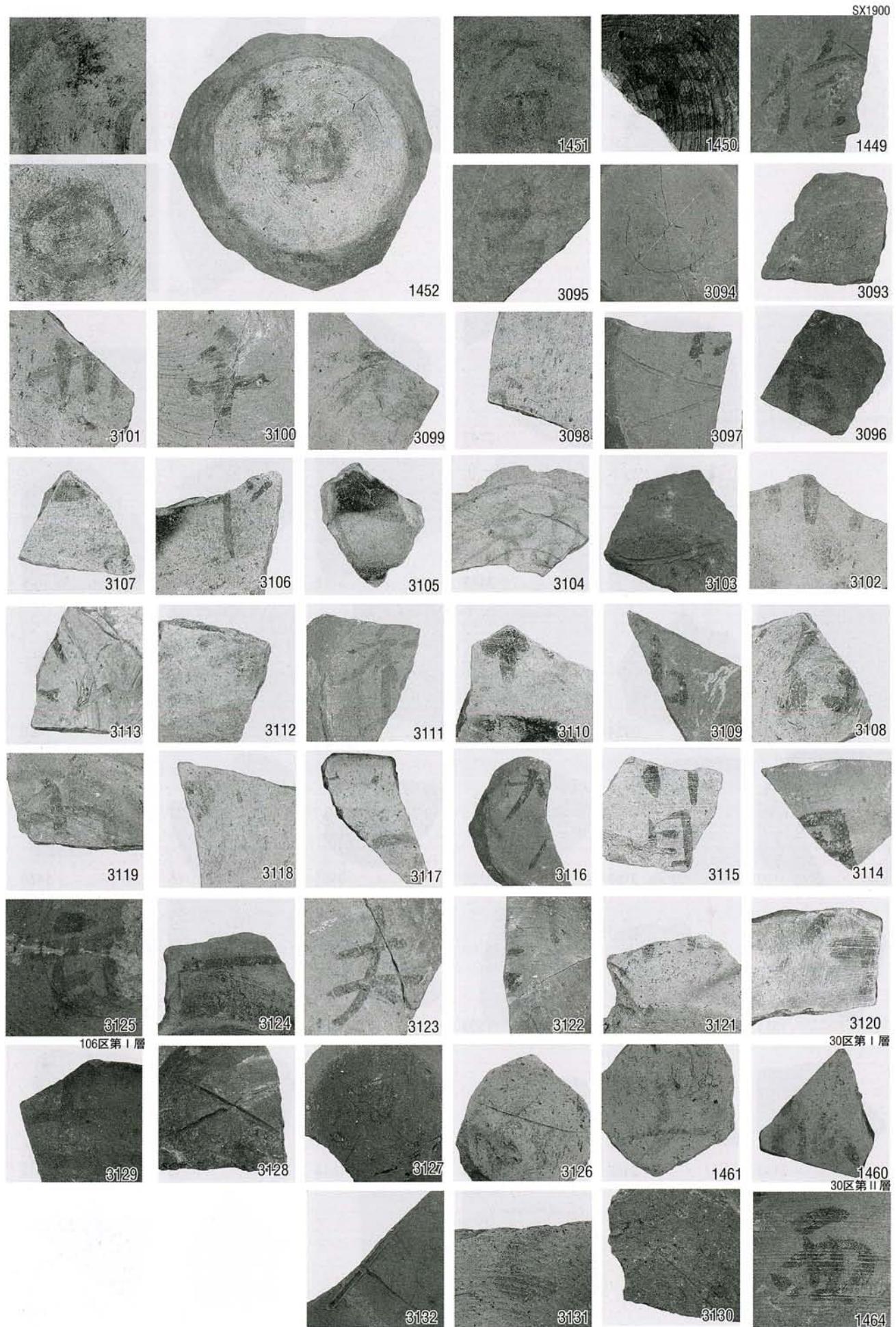














3138



3137



3136



3135



3134

3133
103区第IV層

3139

1465
30区第IV層

3145



3144



3143



3142



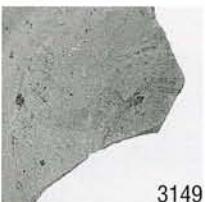
3141



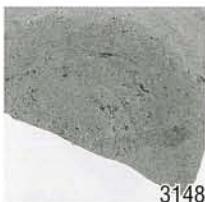
3140



3150



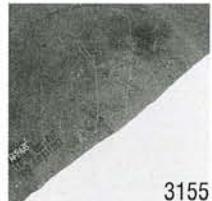
3149



3148



3147

3146
SD2486

3155



3154



3153



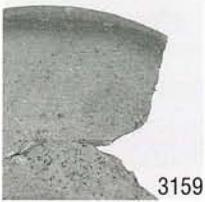
3152



3151

1468
SX1736

3160



3159



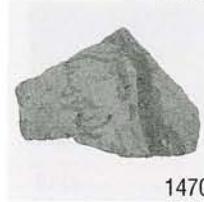
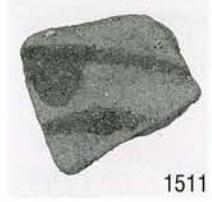
3158



3157



3156

1470
1735B

1511



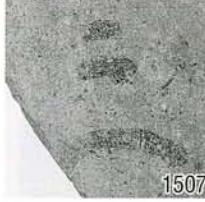
1510



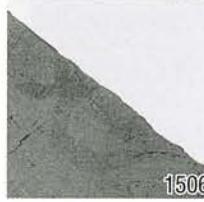
1509



1508



1507



1506



3163



3162



3161



1514



1513



1512



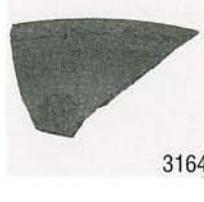
3167



3166



3165



3164

